

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300001	越前和紙：日本の手技第一巻	斎藤 岩雄	源流社	20050615	福井 名塩	3088カラースライド集、手わざ、越前和紙(1977年)を再編集。解説は、歴史、紙種とスライドの解説から構成。特に、工程を豊富な写真入りで解説。鳥の子で名塩の記事あり。伝播し泥入りに、と。流漉の場合、「初水、化粧水」「調子漉」「捨水、払水」から構成。溜漉：ねりを入れない。汲み取りは1回のみ。檀紙：生乾きの時にシワを入れる。適度な湿り気で剥く。
81300002	ゆきと弥助 / 紙すきのうた	角田 雅子	岩崎書店	19870920	岐阜 小説 近世	江戸中期、美濃紙題材の小説。郡上藩の武家の娘ゆきは、没落後、尾張藩紙漉き村長瀬の紙漉き職武本の養女に、下男弥助も伴う。ゆきは、紙漉きを習得、透かし入りや典具帖紙の完成をみる。弥助とは恋中であるが、武本家の後妻に入る。典具帖紙の「のり」は「のりうつぎ」が良いとした。
81300003	みまさかの和紙	立石 俊 宏、船盛 茂、宮地 啓介、竹井 史	西日本法 規出版	19920701	岡山 名塩	p32津山の紙漉：「御北紙」城北の御用紙。天保の頃、因幡の河原(八頭郡)前田弥吉を招く。中尾製紙、安政の頃創業。「箔合紙」上横野、石州から逃れた農民の伝播説。p45和紙の生産過程。p65箔合紙のゆくえ：なめらか、剥がれ易さ、腰の強さ。箔屋は、名塩紙に灰汁、柿渋、卵を混ぜた液につけ空打ち。p81岡山の和紙：備中広瀬、柳井家檀紙(明治廃業)。和気町大田原、津山、中尾製紙(S35廃業)備中町平川、丹下哲夫。新見市高尾、赤木一郎。久世町檜西、小川秀雄(1985年から)。津山市横尾、上田ほか4軒。
81300004	紙の手技・紙漉きの匠遠藤忠雄	井上 英子 編	笹気出版	20030313	宮城	遠藤忠雄の随筆。「物は本物であれ」降伏文書は白石製。楮を根分けて繁殖。トコロアオイは根を利用のため移植はしない。天気と相談。川合玉堂が「葺王紙」と命名。煮る「産日死日は入れるな」父は楮の販売のみで紙漉は一時中断。独鈷の清水。遠藤まし子が紙子復活。
81300005	大クスの木は知っていた	たに けい こ	風塵社	20010115	鹿児島 小 説	蒲生(かもう)和紙の歴史を紹介。和紙と大クスを通じて自然との共生をうたう。現在、手漉和紙は、野村夫妻のみ。蒲生町の無形文化財に指定。
81300006	阪神地域経済史の研究	作道 洋太 郎	御茶ノ水 書店	19980114	兵庫、名 塩、大阪	大阪の地域経済史、兵庫の地域経済史(北攝名塩における紙漉業の発達)
81300006	北攝名塩における紙漉業の発達	作道 洋太 郎	御茶ノ水 書店	19980114	兵庫、名 塩、大阪	成立、生産構造、流通構造、専売制度からなる。一種のギルド的な様相について、文書を元に考察。紙漉仲間による生産、販売の管理、また、専売制への抵抗など。註：2574：阪神地域経済史の研究
81300006	近世大阪市場の成立過程	作道 洋太 郎	御茶ノ水 書店	19980114	兵庫、名 塩、大阪	大阪三郷。天下の台所の形成。問屋制度の発達(難波雀、難波丸：紙問屋)、淀屋の破綻と鴻池、住友、三井の成立。註：2574：阪神地域経済史の研究

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300007	紙すきの里	柳橋真、牧野和春	牧野出版	19751110	産地 見本、塩	兵庫県、名塩紙。由来、紙種など要領良いまとめ。越前側に「名塩の某氏、越前に至って私に製紙法を学び名塩に帰りこれを広めた」との口碑あり？鳥子、間似合、箔打、雲紙(内曇/藍で着色した雁皮繊維をスオウで赤色の繊維を作り天地各2種雲頭状に漉き出す技法)。労働歌記す。吉野紙：以前は座って漉く。宇陀紙は白土入り。
81300008	杉原紙	藤田 貞夫	加美ふるさと塾	19950819	兵庫 名塩歴史	1970年の復刻。p76播磨の紙：天平9年「写経勘紙解」で播磨経紙で初出。1116年梶原庄紙初出。1458年大蔵紙(明石付近)初出。1475年皆田紙(上月町)厚手の紙、初出。兵庫の紙産地。名塩の記事あり。p124杉原紙：多可郡加美町北半杉原谷が発祥地。歴史の変遷や普及。製法と規格、用途など基本文献。cf3234
81300009	歌風土記兵庫県	富田 碎花	神戸新聞社	19501201	名塩、兵庫	歌集。和紙造り。摂津67首。播磨128首。丹波41首。但馬112首。淡路48首からなる。p30有馬郡塩瀬村名塩、中山山教行寺「法城とよぶにふさえる結構を紙漉く村の高きに仰ぐ」
81300010	雲(みぞれ)：名塩川	水上 勉	講談社	19690528	名塩 小説	cf0125：紙祖伝説を小説化。昭和44年オール読み物に発表「社の背は大杉の深い木立で、暗い下道は、白糸を落したように細く曲がっている。弥右衛門は23歳で村を出、美濃に入ったソマ人と設定。安閑天皇の母は味真野の娘「花筐」とダブらせる。妻の衣の土が美しく、土混入のヒント。「豊職人谷捨蔵の憂鬱」「蚊帳」「ござ」ほか。
81300011	出雲和紙	漢東種一郎	木耳社	19730420	島根 随筆	三椏の花咲く道。板目を彫る紙。語る、紙漉きの音。紙すき場にて。乃白の御紙屋。松江藩と紙。広瀬の御紙屋。ハーンと紙布など随筆。写真も豊富。安部栄四郎との交流。板張りには椿の葉を用いるのは、八女でも聴取。安部と棟方。
81300012	紙の道、源流から未来まで	日本・紙アカデミー	わがみ堂	19960901	歴史 名塩	1995年10月国際紙シンポジウム(京都)の講演記録。遙かな紙の道(町田誠之)中国の紙の源流と諸問題(王建生)ヨーロッパの紙製造(リッター・シュミット)デンマーク国立博物館における和紙のコレクション(リッセル)和紙の用と美、名塩紙を紹介(柳橋真)新しい素材としての紙(稲垣寛)環境維持開発における紙(ヤン・レムロッド)。重本(200608)。
81300013	沖縄の紙	安部 栄四郎	沖縄タイムズ	19820425	沖縄 見本	琉球紙の基本文献。標本として芭蕉紙、青雁皮紙。琉球再興の意義(柳橋)琉球紙の歴史(上江)鹿児島から導入。民芸運動と琉球紙(安部)芭蕉紙と琉球紙の将来(勝)芭蕉紙の工程(柳橋)紅型の工程(藤村)で構成。琉球紙再興を記念して発行。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300014	紙漉き七十年	安部 栄四郎	アロー・アート・ワークス	19801110	島根	生い立ちの記。9歳から道に入り79歳の記。柳氏との民芸運動の中で和紙を育てる。大正5年出雲国製紙伝習所入所。昭和6年柳と面接。昭和20年「出雲民芸紙の由来」昭和35年正倉院紙調査。昭和43年国の重要文化財保持者に認定。
81300015	白石和紙、紙布、紙衣	片倉 信光	慶友社	19880310	宮城	白石市鷹の巣、白石和紙工房、白石和紙、白石楮とみちのく紙白石和紙の伝統(仙台藩の和紙、奥州白石郷土工芸研究所)、白石産紙布織、紙衣、紙すき唄、ハワイタバ
81300016	阿波手漉和紙考:徳島の研究第7巻	宇山 清人	清文堂出版(株)	19820720	徳島	p255基本書。川田:明治後期が最盛期(100-200戸)。親方、下役さん、紙すきさん、板張りさん。用具:手漉和紙製造用具は1973年県の文化財に。工程順に古来の用具を紹介。準備(女性の仕事、ヘグリ、は釜、たま桶、まぜいかき、たふ袋)。紙漉(くさ、ねり、かけながし、調子、捨て水、おっとり、鳥居、馬鋏、桁、簀、弓手、しと板)。乾燥(紙張り簾、棕櫚)。漉手は元は男。
81300017	江戸の千代紙・いせ辰三代	広瀬 辰五郎	徳間書店	19771230	東京 見本	見本は「吉原つなぎ」。江戸千代紙、仁兵衛と辰五郎、お長屋談義、大門通り神田弁慶橋、神田から谷中へ、から構成。図版多い。千葉県鷲沼(習志野)出自。谷文ちょう、河鍋暁斎筆。
81300018	津和野町史第三巻	沖本 常吉	津和野町史刊行会	19890201	島根 近世	p1-171津和野藩の製紙について詳しく記載、文書類も多数で基本的文献。沿革。紙の種類(請紙、地楮紙、御買紙、御礼紙、早漉紙)紙方の機構。見取りと津出。廿日市蔵屋敷。瀬戸内航路。大阪蔵屋敷。統計。元禄期「津和野城下侍屋敷明細絵図」添付。
81300019	白石紙とその製品:白石産紙子と紙布:宮城県史9(産業)	菅野 新一	宮城県史刊行会	19780331	宮城	p771白石産紙子と紙布:紙子(紙衣、紙絹):和紙は十文字漉き。揉んでから蒟蒻糊か柿渋。これを蒟蒻糊で重ねる。紙漉村は多いが、紙子は白石の倉本、森合と限定。大車(屋号)佐藤が大きな商売。紙布:縦は絹糸、横は紙糸。1600年中頃から生産?木綿の10倍の値。紙截ち、紙揉み、糸積み、撚り掛け、糸染め、機織、布揉み、布練り、布晒し、仕上げ。
81300019	白石紙とその製品:刈田郡と伊具郡の和紙:宮城県史9(産業)	菅野 新一	宮城県史刊行会	19780331	宮城	p792刈田郡と伊具郡の和紙:刈田(白石市小原、大平)みちのく紙の産地?。慶長6年小関藤兵衛と高野出雲が移住、土佐、市川左衛門から伝授。慶長11年越前、上西藤左衛門が伊達家御用達に。五箇から藤松、吉二、次久招聘。市が立つが明治30年代が山。伊具郡、阿武隈皮の河口、福島、山舟生など影響強い。丸森町と川張、大蔵、耕野に分かれる。
81300019	白石紙とその製品:御前紙の記録:宮城県史9(産業)	菅野 新一	宮城県史刊行会	19780331	宮城	p809御前紙の記録:白石市高野芳太郎家の記録。紙名、寸法、一帖の枚数、重量と値段が記載。また、支倉六右衛門と仙台藩の鼻紙。仙台ほしいい(ほしいいを包む紙)と赤穂義士も伝わる。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300019	白石紙とその製品:越河の塵紙漉き:宮城県史9(産業)	菅野 新一	宮城県史刊行会	19780331	宮城	p830半沢順吉のみ。塵紙の特徴:ヒカス(楮の皮の剥ぎ取り)を腐らして漉く。ヒカス、運び、打ち、荒通し、寝せ。草出し、草打ちなど特徴的。紙漉きは女性で座り漉き。漉き桁には取手なし。簀は(2尺8分、8寸1分)15本又マガヤで目が荒い。
81300020	近世村落の歴史地理的研究	菊地万雄	鈴木文江堂	19680401	産地 新潟 福島 岩手	農村工業として和紙産業を取り上げる。1)内山紙:ピークは明治44、戦後も残存率高い。雪は特殊技術を生む、水は質より量。PHはまちまち。温泉水を利用。経済的豊かな農家を中心。2)会津紙:分布は、西勝、水質悪く完全衰退。小出、出ヶ原、河口は隔離され旧態維持。南会津は分布を見ない。生産意欲小。3)東山紙:伊達藩御用紙。販路は北上川利用。家内工業だが、一部機械導入。
81300021	徳山市史:上巻	徳山市史編纂委員会		19840131	山口、近世、郷土	p475/造紙業:徳山藩は「請け紙」制をひくが「脇紙」も併存しており専売制ではなかった。p476須万村:1537年字奥畑、九郎兵衛が奥山代根笠村から。仕法の記載詳細。p505五箇村(大向、大道理、川曲、四熊、上村)1644年熊谷将監が奨励。p524御用紙:栄谷漉き立て。もや皮で赤色着色。
81300022	本郷村史(第2巻)	本郷村教育委員会	本郷村	19960325	山口 近世	「防長造紙史研究」が下地。p131藩政初頭の紙漉き、起源。p148楮釜数の変遷:三釜で半紙一丸。1653年約74370釜。1854年27924釜。p150見取制度:1649年発足。南桑貸川に紙庁、今津に舟運。各村に下見取、御紙宰領を配置。p161抜紙取締:貢紙後の許可を受けた紙は国内外搬出可。黒保紙は自由。仕法の変遷は詳細。p263本郷市の変遷。
81300023	山をめぐる信州史の研究	笹本 正治編	高志書院	20030315	長野	p183山のめぐみ(山中紙と松代藩御用紙)p235近世松本藩における御用紙漉について
81300024	忘れられた日本史	渡辺 久雄	創元社	19700220	名塩 民話 歴史	1)紙祖の発掘。1855年、弥右衛門の碑建立。1789年、木札;永代経料奉納で最も新しい命日。紙の伝搬を考察。1)×蓮如、1475年名塩に2)×一向一揆避難者説、当時五箇は天台宗。戸籍から弥右衛門を追跡(1598、岩本村「大間検地水帳之写」に弥右衛門の名。1631、1675、1678年なし。1698-1783年まで名続く。過去帳も同じ。1769年「法書」140年前に伝搬と。1626年越前鳥子漉き出す。1638年、名塩紙市場に。
81300025	近世の専売制度	吉永 昭	吉川弘文館	19731108	近世 流通 名塩	諸藩毎の専売制度の成立発展衰弱を独占性、商品特性と販売特性の観点に立って論述した。紙は、萩、岩国、徳山、津和野、浜田、清末、豊浦、広島、水戸、福井、富山、上田、大垣、尼崎、宇和島、高知、松山、徳島、大洲、吉田、西条、今治、福岡、唐津、延岡、佐土原、高鍋、小城、佐伯など挙がる。p269名塩紙:尼崎藩1713年紙会所設置。1719年廃止。1850年、紙専売失敗。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300026	文房四宝、紙の話	榊 莫山	角川書店	19810730	概説 随筆 名塩 産地	文房四宝の一環。紙の白の意味。和紙の美。紙漉の里。紙の発明。楼蘭の紙、中国の宣紙を詳細に紹介。日本紙種(杉原、美濃、檀紙、麻紙など)紙屋(天満の石村重吉)。p136名塩の鳥の子:白い二つの造形、名塩紙を、津高和一(現代画家)が現代アートに。赤松鱗作、山口蓬春も利用。
81300027	パークス和紙コレクション	久米 康生	わがみ堂	19940420	目録 名塩 近代	1900年?パークスはオルコックの後任英大使。コレクションの成立と調査:1871年「日本紙調査報告」を英国会に提出、和紙見本、紙製品を添付。現在、ビクトリア&アルバート美術館に収蔵。明治初期に流通した紙が分かる。目録(紙238種)撰津では13種、間似合(生漉大、白、色、屏風、御朱印)鳥の子、湊(黒、浅黄、鼠)本薄様、本竹、名塩奉書、千年紙。
81300028	和紙の旅	寿岳 文章	芸しゅう社	19730520	名塩	歴史、外国から見た和紙、流漉と溜漉の解説、写真多く、書誌的記載も多い。p126私見と断わるが現在「聖書用紙」の名の通るインディア・ペーパーの産みの親となったのは江戸期キリスト教国の聖書に匹敵する聖經類を印刷し、携帯に便利なポケット版として調法がられた名塩鳥の子の薄様であったに違いないと言う。
81300029	紙のふるさとを行く	町田 誠之	思文閣	19851001	歴史 名塩 産地	紙の関係61箇所の史跡の印象記。飛鳥、奈良、京都の史跡を訪ね、史跡の歴史と紙の因縁を歴史順にたどる。p214:金閣寺(箔打紙)で名塩に触れる。重本(200501)。
81300030	和紙の風土	町田 誠之	シンシン堂	19810320	随筆	原料:麻、楮、桑、三椏、カニヒ。ねり:トロアオイ、リウツキ、ビナンカヌラ、タノキ、マンジュシャゲ、コレ、アオキリ、スミ。染め:ヘビ(カルミン)、アイ(インジゴ)、ムラサキ(シコニ)、キ(ヘルベニ)香染め(オケノール)。加工:のり((アミハクチン、グルテン)、漆(ウルシオール)、蒟蒻(グルコマンナン)、柿渋(シブオール、タンニン)、膠(ゼラチン、コラーゲン、明礬、硫酸アルミ)。書籍の引用多い。
81300031	和紙の伝統	町田誠之	シンシン堂	19841201	随筆 兵庫	史跡、文献を引用しながら和紙の文化を紹介する。p154杉原紙:「吾輩は猫である」に杉原を「すいはら」と発音するくだりがある。p180古代の植物感:古典の中の和紙原料の名前について。さきくさ(三椏?)江戸期の曾占春が解明「国史草木昆虫考」。かにひ(雁皮?)p237「雁皮しゅう録」「貿易備考」重本
81300032	紙の民具	広瀬 正雄	岩崎美術社	19850930	民俗 加工 紙種	古文書の中の紙および加工品、紙具を丹念に記す。全部で51項目。図も面白い。よそおい紙、豊紙、ちり紙、かけ紙、いろ紙、あぶら紙、かうより、もとゆい、たけなか、みずひき、しきし、紙瓦、紙すだれ、屏風、紙そく、紙袋、つづら、紙冠、紙衣、紙合羽、傘、紙草履、紙張、紙盆、お札、みくじなど。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300033	和紙千年	高田 宏	東京書籍	19930730	島根 新潟 高知 福井	和紙の原点:石見和紙、田畑修一郎、雪に恵まれて:内山紙。自然の変化に危惧を持つ。千年持つ和紙は自然の恵みの中で育つ。筆者によれば、全てが昔のままではない。私の和紙年表:各地の起源。五箇の伝搬先として弘前、白石、那須、加賀、美濃、名塩、野白、阿波、大洲、八女をあげる。各地の伝わり方を比較するのも手が。
81300034	万金産業袋(ハンスギハブク)	三宅也来	八坂書房	17310000	近世 名塩	730530復刻。主要産地の紙種、荷印、単位記載。六巻からなり、p4紙類一色:此条下には諸国の紙の品、並びに帖の少数等トメのしるし、固荷の印等を委曲にす。p24摂州名塩紙;鳥の子(百枚切り目売)間に合、鼠鳥子、屏風間似合、広薄様、雲紙、松葉、きら半切、三田口、小山出。名塩よりいずる紙は鳥子漉の類の紙の品ののみなり。百万塔39号
81300035	伊予の手すき和紙	村上 節太郎	東雲書店	19860712	愛媛 近代	愛媛の和紙の基本文献。各地の文献、資料、明治期以降は統計資料を基に詳細に産地解説。宇和(野村)地方:泉貨紙の由来と藩施策。大洲:岡崎治郎左衛門が漉手。越前の宗昌禅定門。藩の施策。松山。周桑(国安)。西条。宇摩:歴史は浅い慶応期から川之江(薦田)三島(石川、住)が製造、仕入れ、販売に活躍。
81300036	和紙の里	林 正巳	東京書籍	19861030	名塩、産地	各地の歴史の触れ略年表で整理。p133兵庫県:この地で始まった紙漉きは技法の工夫改良がなされ、1469-87越前で開発された鳥子が1638年。打曇の技術も1672年名塩で漉かれる。新しい泥入り鳥子は元禄期1701には完成。p231紙祖神信仰/川上御前(ナツ姓が多い、渡来人?)、天日鷲命、人麻呂。紙祖神信仰/名塩、伊野、西島、筑後、青谷、讃岐、石見、山代を紹介。他、カマ神、水神、講に触れる。
81300037	岡本村史(全2冊)	小葉田 淳	岡本村史刊行会	19560929	福井 名塩	越前紙の歴史、本編と資料編。三田村文書、第三編近世の製紙業発達史は庄巻本編:古代の製紙と岡太神社、五ヶ製紙と三田村家、近世製紙業の発達(福井藩の統制、御用紙、漉法と経営、発展、江戸後期、明治)など岡本の製紙史。p426五箇製紙伝搬として名塩紙。資料編:大瀧神社文書、三田村文書
81300038	紙のはなし2	紙のはなし 編集委員会	技報堂出版	19850525	概説	漉く(こすの意味)抄く(すくうの意味)p129風船爆弾:和紙とこんにゃく糊で強靱に。直径10m。水素ガス充填、32個の砂袋。15kg爆弾、2個の焼い弾。ジェット・ストリームを究明。9300個。冬期に太平洋側から発射、2-3日で到着。p29孤高の和紙。p145手つくりの味:流し漉きと溜め漉き。ねり。p155江戸時代と和紙ほか各種和紙の話題を随筆風に解説。
81300039	実物和紙手帖	山本 和	木耳社	19850000	見本 産地	見本48種。22、間似合(585×410ミリ)原料、雁皮、泥土。「間似合とは半間の間尺にあうという意味らしい。生まれつきから襖の紙である。雁皮の明と泥の暗が調和する紙の趣がワビ、サビの風情にも適ったのか。今は画や書にもなじむ」と

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300040	和紙三昧	安部 栄四郎	木耳社	19631205	随筆 名塩 島根 見本	柳宗悦、寿岳文章、大田柿葉、浜田庄司、棟方志功、河井寛次郎、ハート・リーチ氏との交流文書。自伝と随筆。柳との出会いが決定的で、民芸紙の道を進む。地元の伝統というより、安部の創造の域が大きく寄与した。「八雲立つ岩坂に漉く紙の如めぐしあやしや白鷺舞ふは」(志功)
81300041	手仕事について	水尾 比呂志	芸うん堂	197704128	京都 福井 島根 埼玉 奈良	初稿は、日本の工芸4、紙(237)紙紀行(水尾比呂志)生半可な美術家の意匠、民藝を迎えるのは無用と、各産地を批判。茶道の免許状も最高の紙を用いるべきと。自己満足の趣味紙、完全性の弱みも指摘。機械漉きは、まやかしの紙。自然の材料、巧みの造形を排除する単純さが紙にある。黒谷、五箇、岩坂、小川、国栖。
81300042	紙の源流を尋ねて	高尾 尚忠	室町書房	19940520	産地 名塩	紙バ連合機関誌「月刊紙バ」1991年4月から93年9月に掲載。和紙誕生とその歩み。手漉和紙の里を訪ねる：産地の歴史を織り込みながら紙漉人との出会いを記す。紙漉歌、紙に関わる伝説や名勝を小まめに拾い写真多い。p231名塩。
81300043	中国造紙技術史稿	潘 吉星	文物出版社(中国)	19790300	海外 中国	中国における造紙の歴史。起源。論文調査(ハキョウ紙、敦煌石室写経紙、新疆出土品、画用紙、紙葯(トロアオイ)
81300044	百万塔陀羅尼の研究	中根 勝	「百万塔陀羅尼の研究」刊行委員会	19870220	歴史	百万塔の印刷術、用紙、色料について考察。用紙「和紙研究14」1029点について解析。神崎製紙、藤井氏：平均繊維長が大で幅が大変細い。呈色反応で木綿、麻、楮、三椏とほぼ同じ。糊はトロロアオイかノリウツギ。雁皮と三椏の存在は確認できず。岩野平三郎の肉眼鑑定では、大麻紙に近く、トロロアオイで溜め漉き風と。キハダ染。資料(藤井浩)
81300045	古今紙漉紙屋図絵	関 義城	木耳社	19750424	図、名塩、 近世、近代	紙に関する書籍、紙漉き図の集大成。日本180種、中国朝鮮10種、ヨーロッパ、アメリカ14種と紙屋の図絵53種からなる。p33名塩は筑紫紀行の図で紹介。
81300046	手漉紙製造工程図録	関 義城	木耳社	19790915	近世 近代 図録 名塩	基本文献。紙の書籍、図の集大成。各書の内容を確認できる。基本文献。目録作成に利用。紙漉き工程図は秀逸。p216：「内国勸業博覧会出品解説」葉袋紙 / 名塩木村新三郎、抄き終われば板に貼り、ヤマモロの樹皮汁に葛粉を混和せる煎汁を抹き乾す者とす。p137「広益農工全書」
81300047	手漉紙史の研究	関 義城	木耳社	19760720	名塩 歴史	日本紙の発達、特色、加工紙、各種の紙の歴史と特色、随想、東洋の紙、世界の紙からなる論文集。太政官符の大きさ：33.3 * 54.6、p250「江戸時代の紙屋」名塩紙の販売p259家村や太郎兵衛、p262ひらのや仁兵衛、p272紙屋彦兵衛。いずれも文献による検証が正確。
81300048	和漢紙文献類シユリ(古代中世)	関 義城	思文閣	19761012	古代 中世	基本文献。古代、中世の文献を網羅。文献集として取りまとめ紙の記事を抜き書きする。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300049	和漢紙文献類シュリノ江戸時代編	関 義城	関 義城	19730510	近世	基本文献。江戸時代の文献を網羅。文献集として取りまとめ紙の記事を抜き書きする。
81300050	ひこばえのうた	富田 碎花	ひこばえのうた刊行会	19700301	名塩 兵庫 岐阜 福井 詩	詩集。カバーに名塩紙、表紙に美濃紙、見返しに豊岡奈佐紙、本文に越前紙を使用。200部限定版。
81300051	和紙：今立町における体験学習の記録	駒場学園 高校	駒場学園 高校	19840301	福井	調査旅行記録p139-165紙関係事業所調査(1983年)：調査対象122。手漉専業(45%)5人未満57%、10人以上13%。機械漉専業(20%)創業は1945年以降が39%。明治(28%)それ以前(9%)。40歳以上が78%。販売は地元問屋が75%。後継者は65%あり。生産額76億7千万円、一人あたり1200万円。
81300052	紙の大陸	坂本 直昭	大陸の対話社	20000810	随筆 奈良 高知 海外 産地 新潟	p88吉野、高野、女人の紙：昆布きよ、(昆布久、美栖紙、漆漉し紙)和歌山下古沢の中坊佳代子：13枚の簀を順に利用。漉いた後は、立てかける。13枚終了後、最初の簀を紙床に、その後は順に。p99空の映える紙：芝虎見、三谷(十川泉貨紙)を利用。町田美術館。p140障子紙：小国、奉書。奈良の紙、梅田商店。
81300053	料紙	桑田 笹舟	一楽書芸 院料紙研 究部	19720420	名塩 歴史 加工 製造 見本	前編：紙の歴史、製紙技術の変遷、加工紙の歴史、和紙製法、後編：文様、版木、加工材料と用具、用途。加工法。名塩については概略の中で簡単に記載、染め紙、から紙、墨流しなど加工方法の記載。見本紙12種。
81300054	江戸東京紙漉史考	関 義城		19350000	東京 見本 近代	東京各地の紙漉の興廃之記録。見本40片(cf1023)
81300055	越前和紙の歴史展 解説総目録	福井市立 図書館	福井市立 郷土歴史 博物館	19730501	福井 見本 歴史	1973年5月開催の展覧会の目録。見本は奉書、鳥の子、水玉、墨流漉き。写真多い。用紙は岩野平三郎提供。解説は、越前和紙年表、大滝神社文書、三田村家文書、大音家文書、書籍類。製法工程。和紙の種類と利用製品。
81300056	富士市の製紙業(第23回企画展)	富士市立 博物館	富士市立 博物館	19910319	概論 静岡	基本的文献。宿役制度廃止。吉原宿の内山平四郎が製紙法の改良と三椏の増産に着手。内山開墾とコウ玄社設立(内山組合沿革史)。明治20年、芦原万太郎、機械化すすめ、今泉(ガマ)地区に手漉和紙工場。明治20年洋紙、富士製紙設立。真島ジョウ一郎報告。富士市における明治以降の洋紙の発祥、発展を記録。統計資料もあり。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300057	大竹の手すき和紙	大竹	大竹市教育委員会	19910300	広島 近世	p8沿革と概要:小瀬村太郎右衛門が1570代上方から。1615伊予の旅人から。岩国からなど諸説。木野川流域に発達。文政2年紙漉人2731人。中心は大竹、小方、木野。1700年小方に紙座1706完全専売。大阪輸送には船、船主指定。長州戦争1866で打撃。最盛期は1919(T8)で1000戸を越える。最後の漉き手。大村調一氏(標本紙一枚)。
81300058	細川紙手漉用具	東秩父村教育委員会	東秩父村教育委員会	19700701	埼玉 製法	和紙、和綴。細川紙の歴史:初出は正倉院文書(774年)。細川紙は紀伊高野山麓、細川村の奉書は武州に移す。近世大いに発達(武蔵風土記)昭和44年東秩父村の文化財に。間取り。紙漉工程詳細記載。用具について品名、採集地、採集月日、蔵者で目録あり。
81300059	諸職と用具	山口県教育委員会	山口県教育委員会	19890331	山口、現代	p47:紙漉き(湯川洋司)田万川町小川の聞き取り調査。条件:焼畑の跡に楮を移植。作業の流れと作業場配置図。道具。斎藤松子さんのレポート;詳細な作業工程が記載。
81300060	浪速書林古書目録29:和紙研究特集	寿岳 章子、久米康生	浪速書林	20000618	概説 目録	「和紙ぐらし」(寿岳章子)「古文献を道連れに和紙研究の旅」(久米康生)和紙特集で古書紹介215点。名塩紙購入。
81300061	伊勢型紙を中心とした民俗資料 緊急調査報告書 三重県文化財調査報告書第16集	三重県教育委員会	三重県教育委員会	19740300	三重	伊勢型紙の現状について(堀田吉雄)型地紙(美濃紙、渋)、糸入れ(補強)、紗張り(補強、高岡の井上義兵衛が特許取得)、注染、型彫り道具(中村勇次郎は自製2000本と)、写真型の開発、組合:彫刻組合(179名)彫刻技術者労働組合(52名)その他(100名)、型紙販売。型紙の製作用具(津田豊彦)。
81300062	明治前期殖産興行関係史料/愛媛近代史料18	高市 光男	近代史文庫	19660731	愛媛 明治	p123楮・三椏・製紙:組合規約(喜多郡)。楮組合名簿。愛媛県農事概要(明治24年)各郡紙生産高表(明治16、19、20、21年)郡別、種別、紙漉き人数も有り。喜多郡11万貫。上浮穴郡9万貫と続く。
81300063	郷土玩具:(1)紙	牧野 玩太郎、稲田年行	読売新聞社	19690510	産地 加工	紙、土、木の三巻からなる写真集。紙の加工品として、張子、姉様、雛、凧、豆太鼓、面が挙がる。廃絶した玩具も多い。
81300064	福井県の諸職	福井県教育委員会	福井県教育委員会	19930300	福井	p20岩野市兵衛より聴取。素材:加賀から那須へ。ネリのトロアオイに。製作工程と。用具と作業場は図入り。修行は乾燥、塵取り、煮、紙漉、点検の順。主人は全般、女主人が漉き、長男、煮、たたき、乾燥、母、塵取り。個別は製紙用具(吉田実、今立)紙漉(岩野市兵衛、杉本よしゑ、山本俊夫、大野市)若狭和紙(芝三郎太夫、小浜)墨流し(福田忠雄)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300065	三重県の諸職	三重県教育委員会	三重県教育委員会	19890331	三重	p124深野紙(飯南町)野呂修三(昭和15年生)慶長期に郷土野呂市兵衛が美濃から招聘。中折、藩札中心最盛期は250戸。昭和30年頃消滅。間取有り。地元問屋(紙安、佐々木与一)。同業組合、明治44年深野社、大正11年共興社活動なし。p129擬革紙(紙煙草入れ)多紀郡明和町。素材は美濃大永紙。内国博覧会で褒賞。p134浅沓:伊勢神宮用。柿渋和紙を貼付。
81300066	長野県の諸職	長野県教育委員会	長野県教育委員会	19900331	長野	p203内山紙(品沢義一:飯山市)荻原喜右衛門が寛文年間に美濃から導入。昭和63年13戸。p209田立和紙(高橋直夫:南木曾町)昭和58年廃業。松崎和紙(腰原福松:大町市)p211水引細工(関島登:飯田市)元結(吉沢昭吾:飯田市)
81300067	茨城の諸職	茨城県教育委員会	茨城県教育委員会	19880331	茨城	p32紙漉き(菊池順M42二代目五介、菊池栄慈朗S7)山方町諸沢字紙屋。明治年間に岐阜の製紙伝習所で習得、溜漉きから流漉きに。楮は太子町農家30軒と契約(1700円・kg)。苛性曹達、曹達灰、生石灰使用。川水は使用せず。西の内の80%は直販。他に、菊池一男と小野瀬角次。
81300068	埼玉県 <small>の諸職</small> :埼玉県諸職関係民俗文化財調査報告書	埼玉県立民俗文化センター	埼玉県教育委員会	19880331	埼玉	p22埼玉県の諸職について:1830年代「武蔵国村明細帳集成」記載の諸職一覧、川口市、本庄市に紙漉の記載あり。明治期以降「埼玉県統計表」収載の一覧。明治17年1300名、35年9343名。大正5年6754名、昭和15年903名、昭和25年1695名など。調査対象者名:内野要吉、関根隆吉、高橋いち
81300068	埼玉県の諸職	埼玉県教育委員会	埼玉県教育委員会	19880331	埼玉	紙関係8件。p39明治17年1300名、明治20年408名、明治35年9343名。明治40年4119名、明治45年6754名、大正10年4025名、昭和15年903名、昭和25年1695名、昭和35年5052年p314細川紙(小川、東秩父)重要無形文化財、埼玉県小川和紙工業協同組合(昭和53年4月26日認定)p193紙:内野要吉(小川)、関根隆吉(腰越)高橋いち(小鹿野町)
81300069	山梨県の諸職	山梨県教育委員会	山梨県教育委員会	19880331	山梨	p21楮、三椏の県内栽培は長坂町1戸のみ。画仙紙の原料は古紙、マニラ麻、藁、竹も使用。」西島は原料は一晩寝かす。市川の漉き手は男、1月6日が仕事始め。用具は清水から。紙漉き道具は中富町民俗資料館に保管。
81300070	石川県の諸職	石川県教育委員会	石川県教育委員会	#####	石川 名塩	p77箔打ち:安江孝明、金沢市小橋。1808年二の丸御殿出火、金箔の必要性、伊助に許可。1820年以降幕府禁止。1845年再許可。下地の箔打紙は名塩、中島、二俣紙も。白蓋は鶴来町相滝産。切紙は津山産。p116二俣和紙:小松秀雄、金沢市二俣町、医王山登山口、加賀藩公用紙、加賀奉書、杉原、箔打紙。昭和30年まで生産組合。昭和61年振興保存会。御献上紙等御料紙由緒覚書、山田菊雄文書。p166相滝紙:藤田喜作、唐傘紙。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300071	宮城県の諸職	東北歴史資料館	東北歴史資料館	19900323	宮城	p140紙漉:伊具郡丸森町、宍戸信成(昭和14生)船山氏と2軒。4代目、中折紙。農協やスーパーに卸す。白石市鷹巣、遠藤忠雄(大正2)。仙台市太白区柳生、阿部竹治(大正8)以前は、十二郷に居住。明治期は提灯紙、昭和から障子紙。35年廃絶。紙布、紙衣:白石、遠藤忠雄、江戸中期には名産、大正10年頃廃絶。昭和10年頃から復興。紙布は100枚が一反分の緯糸。紙衣は十文字漉きの大判、32枚。染色も
81300072	兵庫県の諸職		兵庫県教育委員会	19880331	兵庫、名塩	p22溜漉と流漉p206名塩、谷野武信(昭和10)馬場孝良(明治41)調査は和田邦平、すでに紙を漉いていた名塩に越前系の技術が導入と考察。p276加美、井上正康p312上月、橋本はつ、橋本岩男。有馬温泉を中心とした諸職:筆、籠、竹細工、福箕。
81300073	熊本県の諸職	熊本県教育委員会	熊本県教育委員会	19850330	熊本	p45紙すき:肥後は2つの製紙系統(越前式、朝鮮式)、御用紙漉として藩の保護。宮地(妙見)鹿北(河原谷、柏の木)人吉の和紙の沿革、生産状況を簡単に記す。鹿北:戦前、岩野和紙工業組合設立、今はなし。宮地:宮田氏のみ。京花紙(3000枚)、障子紙(600枚)。用具の保存:山鹿市立博物館、三加和町、八代。p50:山鹿灯籠:現在は八女、松尾繁記氏から。灯籠師の系譜。
81300074	福岡県の諸職	福岡県教育委員会		19900300	福岡	p13諸職一覧表。p79、239八女市、山口虎雄、俊二:昭和47年11月18日県の無形文化財に指定。八女市に県福島工業試験場、八女伝統工芸館。山口氏は6代続く。原材料は熊本産が約7割。製作工程概要記す。p151、274朝倉郡杷木町志波、足立敏夫、伝:黒田藩三代藩主光之が1650年代、上座紙奉行設置。1782年長門より能見治右衛門を招く。紙漉歌あり。p308京都郡勝山町、井上守、武田小文。
81300075	高知県の諸職	高知県教育委員会	高知県教育委員会	19920330	高知	p13高岡25戸、伊野12戸、物部3戸、大豊1戸、南国1戸、吾川1戸、日高1戸、葉山2戸、窪川1戸。p142三椏蒸し(池川町、安本拋照)楮蒸し(池川町、池内照夫)和紙、図引紙(伊野、田村萌)楮紙(葉山村、山崎昭助)簀桁(伊野、井上昇)
81300076	徳島県の諸職	徳島県教育委員会	徳島県教育委員会	19870325	徳島	p40太布織(曾根石男)楮糸による仕事着、木頭村。p93手すき和紙(柏木仲一、池田町)煙草の包み紙、障子紙、自生楮、明治初年から開始。祭礼用の飾紙が主。p156(井本オキチ、上那賀町)那賀川上流、拝宮和紙、障子紙が主。紙漉は女。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300077	愛媛県の諸職	愛媛県教育委員会	愛媛県教育委員会	19920300	愛媛	p75、p179東宇和郡野村町、菊池定重：泉貨紙、天正年間に創製。菊池氏は6代目。工程を記載。楮70、パルプ30の比。仙貨の他、16文目2双、巳吉、雲井など。用具図あり。p169大洲和紙、長野幸博：昭和52年伝統工芸品に指定。p217川之江、猪川茂：書道半紙、ハルブ、マコ麻が原料。p218川之江、谷健：ハルブ、ワラを原料に改良半紙。p223山紙、宇摩郡新宮村、高橋只夫：天保頃創業。楮紙が主。
81300078	山口県の諸職		山口県文化財愛護協会	19900300	山口 民俗	p143対象者：徳地2、新南陽1、宇部1、田万川1。新南陽、藤永五十美。宇部、石田正人。徳地、千々松哲也。山内幸夫。田万川、斎藤音治。p254：千々松氏見取り図、道具と用具図、寸法、p258概況
81300079	岡山県の諸職：岡山県諸職関係民俗文化財調査	岡山県教育委員会	岡山県教育委員会	19910330	岡山 民俗	備前：「吉備温故秘録」「紙漉多し」大田原、日笠下村。備中：「備中誌」「備中集成志」備中檀紙、釜敷紙（広瀬）十文字紙（高梁市今津）神代紙（下神代）紙（芳井町下鴨、上鴨。備中町平川）その他阿哲郡大佐町、上房郡賀陽町、川上郡備中町、高梁市、総社市、小田郡矢掛町、井原市で確認。美作：箔合紙（横野紙）月田紙（勝山町）中谷厚紙（鏡野町）山手紙（旭町）海田紙（美作町）小ばき紙（英田町）など確認。現在は横野紙（三椏紙）のみ。紙漉者として竹内平吉郎、三椏加工で北村章記載。
81300080	鳥取県の諸職	鳥取県教育委員会	鳥取県教育委員会	19860331	鳥取	p40紙漉き（画仙紙）長谷川国義；気高青谷、楮、パルプを主、トコロアオイは埼玉から。制作工程、製品を記載。山根因州和紙組合は山根12、河原12、小畑1から結成。p91坪内みつ子（鳥取、岩坪）p104森内竹蔵（鳥取岩坪、箕屋）p118漆原芳正（八頭河原）p133前田久男（八頭佐治）
81300081	素材としての和紙に関する基礎研究：国立歴史民俗博物館研究報告第57集	園田 直子	国立歴史民俗博物館	19940425	原料	原料繊維（楮、桑、雁皮、三椏、竹、稲ワラ、麻、カラムシ、クララ）について、染色、顕微鏡下で観察。試料を採取しないで判定法を模索。
81300082	和紙要録：上巻（本論編）	竹田 悦堂	文海堂	19720101	見本 産地 名塩 紙種	cf1275著者は書道家。解説と見本の二冊から構成。p217弥右衛門。馬場孝良氏を訪問。原因として1)時代の推移2)後継者育成せず3)泥特産の競争不足4)京阪神に近い5)問屋の利潤追求。教育で奨励したが父兄は反対のエピソード。各地の訪問記は素直で好感持てる。長野とくに内山に料紙を指導。今立、出雲も解説詳しい。
81300083	和紙要録：下巻（紙譜編）	竹田 悦堂	文海堂	19710227	名塩 産地 紙種 見本	cf1111和紙の説明が秀逸。名塩：間似合紙（昭和23製）箔打紙（昭和23製）程よい墨色を出す。襖紙（昭和23製）自然の紙素と泥の色が落ちついた感じと。福井、鳥根の紙種紹介。加工紙として内山。中国の画仙紙を紹介。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300084	名塩紙;日本民俗文化大系13	和田 邦平	小学館	19860731	名塩 製法 新潟 高知	p160、名塩紙:1638年名塩鳥の子1701年泥土混入の鳥の子1712年同紙1777年21種記載。工程:微細な雁皮のため川晒ししない。泥土は神戸層群第二凝灰岩から採取。「しゃな」はニレの木の皮を発酵柿渋を塗った木綿袋で絞る。石積みによる圧搾。泥入りのため機械干しできず、天日干し、板は銀杏。p154越後の小国紙(柳橋)p157土佐の清張紙(柳橋)
81300085	新村出全集第9巻	新村 出	筑摩書房	19721130	概論 名塩	和紙研究篇p345和紙覚書(和紙研究、昭和14)和紙外聞抄(和紙談叢)杉原紙源流考(和紙研究)「名塩紙」序文(名塩紙、昭和22年)「岡本村史」序文(岡本村史、昭和31年)越後の小国紙(和紙研究、昭和26年)和紙自讃他讃(和紙研究、昭和26年)和紙の歌など(和紙研究、昭和23年)紙漉の歌(創作、昭和12年)
81300085	和紙覚書:新村出全集第9巻	新村 出	筑摩書房	19721130	奈良 岐阜 海外	和紙研究篇p345(1)レゾラントのETCHINGに和紙を使用(2)元禄期の文学に見られる吉野紙、松葉紙の探索(3)木水弥三郎氏の国栖の紙漉唄(4)美濃紙の文献(5)神武天皇の巻の中の吉野紙(6)岐阜笠松郡の改役文書
81300085	和紙外聞抄:新村出全集第9巻	新村 出	筑摩書房	19721130		和紙研究篇:和紙外聞抄(和紙談叢、2867)
81300085	杉原紙源流考(和紙研究):新村出全集第9巻	新村 出	筑摩書房	19721130	兵庫	和紙研究篇:杉原紙源流考(和紙研究)兵庫県加美町に杉原紙の源流とする。堀部正二「杉原紙かつ記」昭和41年顕彰碑。
81300085	「名塩紙」序文:新村出全集第9巻	新村 出	筑摩書房	19721130	名塩	和紙研究篇:「名塩紙」序文(名塩紙、昭和22年):王子製紙より助成。第一回調査地に名塩を選定。中山琇静が出筆。
81300085	「岡本村史」序文:新村出全集第9巻	新村 出	筑摩書房	19721130	福井	和紙研究篇:「岡本村史」序文(岡本村史、昭和31年)小葉田氏。近世製紙業の発達など岡本を中心とした越前造紙史。
81300085	越後の小国紙:新村出全集第9巻	新村 出	筑摩書房	19721130	新潟	和紙研究篇:越後の小国紙(和紙研究、昭和26年)歌集の用紙に採用。(新潟、西窪商店から)小国は信濃川に注ぐ渋海川の谷間の山村。40戸ほど山野田部落で紙漉。「古今著聞集」に乙(きのと)寺の猿と紙漉の話。「著聞集」には常陸那珂郡に同説話。乙寺の所在を探索。
81300085	和紙自讃他讃:新村出全集第9巻	新村 出	筑摩書房	19721130	静岡	和紙研究篇:和紙自讃他讃(和紙研究、昭和26年)「玉勝間」に「紙の用」皇国には国々より出る紙の品いと多くて…」と。「昆陽漫録」に松皮紙。オルコックの「滞日三年」熱海の造紙の記録。
81300085	和紙の歌など:新村出全集第9巻	新村 出	筑摩書房	19721130	福岡 富山 名塩	和紙研究篇:和紙の歌など(和紙研究、昭和23年):「紙漉の歌」(高山、昭和18)。著者「檀(かし)」「重山集」。「流離抄」「寒行」(吉井)の和歌を紹介。p404「摂州名塩の紙についての同人多年の研究の総合によるこの成果もいよいよ近々に世に送られよう」

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300085	紙漉の歌: 新村出全集第9巻	新村 出	筑摩書房	19721130		和紙研究篇: 紙漉の歌(創作、昭和12年): 「千本松原」安部幽香子、高山道之。「山のつと」井上苔溪。「果樹園」高橋刀畔。「71番歌合」(橘曙覧)。「志濃夫迺舍歌集」。「浦塩貝拾居遺」(直好)。「柿園詠草」(加納諸平)を紹介。歌集の用紙に和紙の使用を推奨。
81300086	明治十年全国農産表 日本農業発達史第10巻	日本農業発達史調査会	中央公論社	18790000	統計、産地、近代	明治12年勸農局刊行。普通と特産品で国、郡別に表記。反別、数量、単価が詳細記載。p68摂津12郡995村の紙類は230束で前年より13970束減。どの地方も大幅減少傾向。p93有馬郡89村の記載に紙類はない。781020
81300087	府県物産志	山本 章夫	関西大学経済政治研究所	18740600	産地 近代 名塩	19970331復刻。府県物産志についての解説(角山幸洋)。7巻からなる。紙も殆どの府県で紹介される。兵庫は1巻。p101名塩紙: 生産は407万2千枚。11040円。葉袋紙(96万、1200円)青間似合(300万、9000)生漉模様漉込(200、3)金下地(12000、60)、四寸間似合(5万、400)打曇鳥子(5萬、375)
81300088	産業の発達と地域社会	渡辺 則文	溪水社	19820220	山口 近世 近代	瀬戸内産業史の研究。cf2544。長州藩経済政策と山代請紙制(小川国治)の他、生産と流通: 吉野川の葉藍。長州藩の綿織物。泉南の糖。塩。産業の発達と権力: 毛利氏の流通支配。広島藩の鉄。大和の国訴。高松藩の砂糖。宇和島藩の製蠶。産業と地域社会: 長州藩の貞亨検地。山陽筋の林野。在郷。三菱鉱山。化学繊維工業
81300088	長州藩経済政策と山代請紙制: 産業の発達と地域社会	小川 国治	溪水社	19820220	山口 近世	cf393瀬戸内産業史の研究の一編。p2291)山代紙と大阪借銀。2)山城一揆。3)請紙制からなる。防長造紙史研究では、藩政初期のもので、請紙制は「藩専売制の一種であるが、年貢として収取される点」。それ以後、藩財政の窮乏により農民からの収奪を強め、農民一揆を誘発、再編成への経過を明らかにする。
81300089	書の和紙譜: 解説編、紙譜編	竹田悦堂	雄山閣	19960805	見本、名塩、産地	用語解説、文献解題、産紙歴史比較など重宝。見本は41種(p16)。解説編: 書と紙の歴史、和紙原料と製法、紙種と用語、辞書機能、文献目録、産地。p25間似合の背景として城郭の金地の襖で大型が要求。p153名塩の紹介。伝搬口承。馬場氏の意見。1854年、近江桐生への移出の経緯など。地震に触れてある。
81300090	和漢三才図絵	寺島 貞丈	東京美術	17120000	近世 産地 名塩	上p253鳥子、天子鳥子、摂州名塩、泉州湊村より出ず。泥土を和してこれ造る故、厚重くしかも破れ易い。下p1027名塩村: 大坂より八里半北に在り。村民鳥子紙、半切紙等を漉き出す。又清水在り、弘法の水と名す。
81300091	和紙要録	竹田悦堂	文海堂	19660410	見本、名塩、産地	見本は47種で山梨、越前が中心。p87、中山「名塩紙」を引用し紙種紹介。白土を混合するのは奈良時代から。室町には泥入間似合ができている。溜め漉きからも名塩の技術はこのあたりのものか。? 装飾紙、書の関係詳しい

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300092	紙すき五十年	安部 栄四郎	東峰出版	19631205	随筆 名塩 島根 見本	栄四郎の還暦記念。p202昭和31年6月26日名塩訪問。「いまも昔と同じように坐って漉いている。…簀も沙羅で…上桁と別々で…簀の目の網目は紙の上によく見られ名塩の紙とすぐ見分けがつく。ポツリとした感じ…」と。写真あり。別に限定本購入。
81300093	近世農村産業史論	井上 準之助	明石書店	19800720	近世 奈良 茨城	p175近世大和吉野郡の製紙業：楮栽培、紙漉屋、中買商人間の統制関係を記述。楮値を下げる為に冬場「漉留」や「白土」混入。p191国栖紙商人組合について：国栖(宇田)と吉野に分類。前貸資本を軸として仲買人と零細紙漉農民の支配従属関係が支え。p213近世常陸北部の製紙業：西の内、寛永年間に領主の保護、1688年から専売。領主による統制と名塩の様に自立が必要か区分して考察するもよし。
81300094	今立町誌1	今立町誌 編纂委員 会	今立町	19820331	歴史、福 井、近世	第一巻、本編、第二巻、資料編、第三巻写真
81300095	今立町誌2					
81300096	今立町誌3					
81300097	日本の紙	寿岳 文章	吉川弘文館	19670000	歴史 古代 中世 近代	上代：前史、初期の製紙機構、仏教文化と紙。平安時代の紙。中世。近世。和紙の歴史を豊富な資料を基に実証。基本文献。年表、主要文献。付録に紙漉重宝記、肥前唐津紙漉絵巻(紙漉大概)、紙漉録(止か概要)、製紙勤労の図。
81300098	越前国今立郡誌	森 広三郎	臨川書店	19020905	福井 近代 歴史	1990年復刻。明治期の郡誌。p103製紙：略史と明治期の改革1902年259戸(約半数)内大規模7。西野弥平次の光沢紙。高野次郎の留漉鳥子紙地図用紙勸銀債券紙。西野市兵衛手漉鳥子紙。年産額50万円。岡本村人口3997人。p345西野弥平次信洋社設立光沢紙抄造で紹介。
81300099	産業史1：体系日本史叢書10	豊田 武	山川出版社	19650415	産業 歴史	p271 / 古代産業製紙：「延喜式」図書寮。p404 / 中世：紙屋院没落、南北朝以来は宿紙を中心に紙漉座を組織、御蔵舎人が管理。p459 / 杉原紙、美濃紙、大矢田紙商人：1469年宝慈院に対し紙荷公事納入。
81300100	産業史2：体系日本史叢書11	児島 幸多	山川出版社	19650415	産業 近世 岐阜	p364 / 製紙業：美濃紙における生産高、江戸時代的美濃紙、流通、請負制、幕府及び尾張藩御用紙、大垣藩御年貢紙、苗木藩のお蔵紙、美濃の工法など記載(森義一)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300101	産業史3:体系日本史叢書12	古島 敏雄	山川出版社	19650415	産業 近代	府県物産表(M7)では紙類の生産額は1.4%。生糸1.7%。茶1.1%。明治初期の産業として養蚕、綿作などあがるが紙はない。p163十年代、製紙業は21ヵ所。3は洋紙。平均従業員数は138人で他分野より多い。和紙は15ヵ所。従業員数は4-5人。経営実態不明。
81300102	農隙所作村々寄張 / 日本農書全集5	加賀藩改作御役所	農文協	16910000	近世、石川、富山	1978年復刻。能美郡、石川郡、加賀郡、砺波郡、射水郡、新川郡、羽咋郡、能登郡、鳳至郡、珠洲郡。郡毎の産物を上げる。紙は広く分布。紙漉き村は56村。内、加賀、砺波に多い。貢租を前提にした領主的産物にあがる。
81300102	伝統に生きる紙漉きの村 / 日本農書全集5	高田 善太郎	農文協	19780400	近世、富山	1978年復刻。全集の中の月報。五箇地方。中折紙と加賀藩。
81300102	日本農書全集5	高田 善太郎	農文協	19780400	近世、富山、石川、福井	農隙所作村々寄張(1897)農業蒙訓(1898)伝統に生きる紙漉きの村(1899)
81300103	本願寺史料集成 撰津国諸記1	日野 照正	同朋舎出版	19850925	近世 兵庫 名塩	本願寺と末寺の往復書簡。安永8年(1779)-文化7年(1810)まで。教行寺(8件)教蓮寺(3件)源照寺はなし。撰津における蓮如の足跡解説あり。1463年9月、撰津柴島万福寺が初見。1470年堺。1475年吉崎退去。小浜から丹波撰津を経て河内出口に滞留。撰津の経路は広根・名塩または富田から出口の諸説あり。出口を根拠地として布教。
81300104	万葉草木染め	村上 道太郎	新潮社	19840925	名塩	p93 / 切紙細工に用いる金箔の命は紙として、名塩紙を紹介する。紙の染めについては記載がないが、染めに使う植物の紹介がされている。
81300105	人間国宝事典・工芸技術編	南 邦夫、柳橋 真、大滝 幹夫	(株)芸艸堂	20021005	名塩 福井 岐阜 島根 埼玉 高知	p219名塩雁皮紙、谷野剛惟(2002年認定)父徳太郎に師事。1977年西宮市技術功労賞、1990年兵庫県技能顕功賞。越前奉書:八代岩野市兵衛(1968年認定)九代岩野市兵衛(2000年認定)雁皮紙:安部栄四郎(1968年認定)土佐典具帖紙:浜田幸雄(2001年認定)本美濃紙保存会(1969年指定、1976年認定)石州半紙技術者会(1969年指定、1976年認定)
81300106	日本産業史大系5(中部地方篇)	地方史研究協議会	東京大学出版会	19600725	古代 近世 近代 中部	p16古代中世:「延喜式」中男作物の貢納、42ヵ国中、中部11ヵ国を占める。紙屋紙に。美濃紙:1368年以前「神鳳抄」下有知御厨より伊勢神宮へ。濃州紙、濃紙、1470年頃発達。越前紙:中世は鳥子。1470年頃から京都へ。p68美濃紙(2196)p114駿河半紙(2197)p141甲斐の紙(2198)p241越前奉書(2199)尾西の織物。三河知多の白木綿、有松絞。三州瓦。窯業。茶業。養蚕、製糸。越後縮。羽二重。富山薬。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300106	美濃紙・ちょうちん・傘 / 日本産業史大系5	森 義一	東京大学出版会	19600725	岐阜 近世 近代 中部	p68美濃紙：江戸初期24村、幕末80余村。大直、小菊、障子紙が中心「凡そ障子紙の類、美濃を最上とす…」(紙譜)幕府、尾張藩の御用紙。1611年障子紙で年貢米差引、諸役免除。御紙漉屋(大矢田村与兵衛)取扱1685年御用紙は商人請負へ(五郎兵衛)1842年江戸商人扱いに。牧谷、武芸谷で発達。明治7美濃紙会社設立。岐阜堤灯、岐阜加納傘、起源は諸説。
81300106	駿河半紙：日本産業史大系5	若林 淳之	東京大学出版会	19600725	静岡 近世 近代	p114府中：茶業と共に発達。茶紙中心「森竹文書」「永野文書」流通も茶と共通。強靱性要で、楮、桑が原料、余剰は紙子へ。興津、富士宮：1760-1780年遅い開始。三椏の発見が契機。流通は紙問屋(池谷氏)が握る。明治以降、中央資本(富士製紙)在来資本(かや森貞助、釣玄社)が宿から転換。
81300106	甲斐の紙：日本産業史大系5	苅谷 寛二	東京大学出版会	19600725	山梨 近世 近代	p141沿革：市川大門、写経と関連、平塩寺の僧が伝播。1574年肌吉衆、武田氏御用紙納める。1571年西島、望月清平衛、伊豆より技術導入。大門への対抗策か。1687年16ヵ村。1817年24ヵ村。糊入紙発達。御用紙漉衆：1583年幕府の庇護と統制。1652年14名1839年8名。売紙漉衆：「一村職株」仲間組織形成し価格と品質維持策。1839年西島53戸、大門280戸と集中。
81300106	越前の奉書：日本産業史大系5	小葉田 淳	東京大学出版会	19600725	山梨 近世 近代	p241五箇中心に発達。室町中期鳥子、薄様が記録。天正以来、三田村は奉書を貢納。御紙屋制度：奉書に詔物と商物。1601年結城氏、掃部に黒印状。1665年「御上天下一」の印。1678年和泉、近江、山城、河内の名。1698年商物は岩本に紙会所と判元制度(京都三木権太夫に委任)で統制。1723年運上金で売買可能。1768年紙会所、判元制廃止。1774年紙会所復興。奉書：米糊混和。大滝は漉屋、岩本は仲買中心。1826年柳屋(大阪)に一手仕送。1859年物産総会所。
81300107	日本産業史大系6(近畿地方篇)	地方史研究協議会	東京大学出版会	19600310	古代 近世 近代 近畿	古代中世p26紙と墨：杉原(近衛家領、1219年開始。1278年初見、流布は14世紀)奈良紙(1311年初見。座による生産販売)吉野紙(応永1年初見。漆漉紙、延紙)その他、西陣織。浜、丹後ちりめん。奈良晒。近江蚊帳。摂河泉の綿業。播州木綿。灘の酒。菜種と水油。
81300108	土佐の紙漉：日本産業史大系7	関田 英里	東京大学出版会	19600125	高知 近世 近代	御用紙制、御蔵紙制度：1601年山内入国、安芸三郎左衛門を御用紙方役に、24座の御用紙漉人指定。野中兼山が仕方、一旦廃止後、1714年確立。1787年天明紙一揆、専売制失敗。1789年平紙発展。維新时期以降、連漉器の考案、問屋制の支配、近代技術の発展、製紙マニユファクチャーの発展、機械制へと。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300108	伊予の製紙:日本産業史大系7	景浦 勉	東京大学出版会	1960125	愛媛 近世 近代	p299仙貨紙(二枚合わせ紙)の起源:兵頭太郎右衛門が考案。宇和島藩の専売制:1615年楮元金融資に始まり1688年にはほぼ成立。泉貨方役所、半紙方役所の設置と続く。吉田藩の製紙専売事業:1657年分地。大洲半紙:1688年越前宗昌が技術移入。1754年専売制着手。五十崎に楮役所、内子に紙役所設置。西条奉書と西条藩の専売事業:起源不明、遅れて発達。農民層の反抗、近代産業への変換。
81300108	山代の紙:日本産業史大系7	御園生 翁甫	東京大学出版会	19600125	山口 近世 近代	p235時代を追い山代の製紙を特に制度の面から論述する。山代受紙制度の成立:検地と連動。山代受紙制度と萩藩の紙業政策:楮育成も制度化。紙の原料と種類。山代紙の運送と大阪販売:二万丸70%を大阪に。大国屋善四郎が転売を支配。幕末維新时期における山代紙:1856年和泉屋幸吉(須々万)地下紙売買。維新後の山代紙の新体制:明治4年制度廃止。6年地租改正。
81300108	日本産業史大系7(中国四国地方篇)	地方史研究協議会	東京大学出版会	1960125	近世 近代	製紙関係はp235山代の紙(1881)p289土佐の紙漉(422)p299伊予の製紙(299)十州塩田、阿波藍、讃岐の砂糖、備後表、瀬戸内海の漁業、柳井木綿、長州の檀と蠟、中国山脈の鉄、中国山脈の和牛、雲州そろばん、長州の捕鯨、隠岐の産業、土佐の漁業と鯉節、別子銅山、石見銀山、宇部の石炭。
81300109	日本産業史大系8(九州地方篇)	地方史研究協議会	東京大学出版会	19600925	古代 近世 近代 九州	古代中世の産業。農業:佐賀米、肥後米。薩摩煙草、砂糖。八代みかん。肥後の蠟。薩摩の樟脳。p148日向の和紙。有田陶磁器。博多織。久留米餅。大島紬。近代産業として佐賀藩、鹿児島藩の洋式工業。長崎造船所。
81300109	日向の和紙:日本産業史大系8	日高 次吉	東京大学出版会	19600925	宮崎 近世 近代	p148日向の和紙:延喜式に斐紙記載。佐藤信淵、日向の半切りを名産と。「日向地誌」(明治9-17)本庄、高鍋、穂北、お肥藩、延岡など挙がる。本庄:500戸。20万束。大淀川流域。塵紙主体。和泉屋弥次兵衛が集荷。穂北は一ッ瀬川沿い。開始は不明。明治から土佐の技術導入。お肥藩:本庄からか。1760年頃から。富国策(安井息軒)で発展。佐土原、延岡も同経緯。
81300110	日本産業史大系1(総論篇)	地方史研究協議会	東京大学出版会	1961125	近世 近代	古代から時代を追い産業発展の諸条件を地理的自然的条件、歴史的社会的条件に分類し考察。農業、林業、水産業、鉱業、製糸業、織物業など主要産業の発展をみる。在来産業と近代産業(明治初期の地域性)p43「新猿楽記」(1060年頃)紙の記載は但馬のみ。p292明治初期の製紙業の分布:山口、高知、磐前、愛媛、熊谷、浜田、岐阜の順(54%を占める)
81300111	日本産業史大系2(北海道地方篇)	地方史研究協議会	東京大学出版会	19600825	近世 近代 北海道	古代中世。江戸時代の北海道漁業(鱈、鮭、昆布)開拓使時代(農業、牧畜)道庁設置以降:商品作物(豆、馬鈴薯、麦、玉ねぎ)牧畜、乳業。炭鉱。林業とパルプ工業。沿岸漁業と北洋漁業。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300112	日本産業史大系3(東北地方篇)	地方史研究協議会	東京大学出版会	19600625	近世 近代 東北	農業の展開:庄内米と仙台米。青そと最上紅花。信達の蚕種業。りんごとサクランボ。漁業。林業:秋田杉。津軽ひば。会津の漆と蠶。南部馬。鉱業:院内銀山。阿仁銅山。尾去沢銅山。家内工業:津軽塗と会津塗。米沢の織物。
81300113	日本産業史大系4(関東地方篇)	地方史研究協議会	東京大学出版会	19591215	近世 近代 栃木 茨城	p328常陸下野の紙「諸国紙日記」(2194)。古代中世。行徳の塩業。銚子、野田の醤油。佐原、流山の酒。八王子の織物、製糸。狭山茶。川口鑄物。真岡綿。群馬の生糸。桐生織物。足利の織物。特権的保護産業(上州の砥石。足尾銅山)殖産工業(横須賀製鉄所、富岡製糸所)
81300113	常陸・下野の紙 / 日本産業史大系4	藤田 順子	東京大学出版会	19591215	近世 近代 栃木 茨城	p328常陸下野の紙:774年正倉院文書に常陸紙。1212年頃那須奉書(那須三郎、越前から導入)西野内紙(1620年細貝八郎右衛門開始)地元紙問屋(川和彦三郎、川和小右衛門、竹内忠三郎ら)と江戸問屋の関係深い。船前制度(船主は前金、紙で決済)「諸国紙日記」(2193)
81300114	続アリラン峠の旅人たち	安 宇植	平凡社	19820520	海外 韓国	伝統文化を担う「無告の民」の民俗聞き書き。p161「韓紙を漉く流れ者」:韓紙の伝統、コウゾと水を求めて移住、老紙漉き職人の生涯、再生紙を盛んに利用した朝鮮王朝時代、本場、全州の今昔から構成。材料を求めて移動生活者であった。その他に、山人採取者、宦官、隠れキリシタン、杖鼓手など。
81300115	現代日本民芸展覧会記念号:工芸47号	日本民芸協会	日本民芸協会	19341114	見本 宮城 富山 長野 和歌山	128種。強製紙:名取郡中田村、嘉永大石太吉が創始。蒟蒻粉を用いる。強靱と柔軟が売り。1尺8寸*4尺6寸。阿部亮作。紅柄紙:売薬の預袋「赤傘の相竹」の名も。純楮であったがパルプ混入。八尾、高熊。p84信州の民芸品:内山、松崎。p89伊勢紀行:立紙、国栖紙、紺紙(河根)p96中国、九州の旅:
81300116	筆・墨・硯・紙(増補版)	植村 和堂	理工学社	19870131	概論 海外 名塩	c11343.中国の紙に詳しい。茶毘紙、縦簾紙、白麻紙、色麻紙、絵紙、吹絵紙、澄心堂紙、蔵経紙、蜀箋、側理紙、竹紙、宣紙、画仙紙、玉版箋、棉紙、白紙、唐紙、和紙については工程と時代別の紙種を取り上げる。間似合については名塩。筆触がよく墨色が美しく見える。箔打紙はインデアペーパーの産みの親とも。
81300117	和紙の回想	町田 誠之	東京書籍	20090730	歴史	文化史的な面から和紙をとらえた和紙研究の集大成。1 こころの中の紙(神話と伝説;楮の故事;楮の繊維 ほか)2 暮らしに見る紙(障壁画;からかみ;紙障子 ほか)3 粘りの世界(ねりの役割;とろろあおいとりのうつき;にれ ほか)重本
81300118	紙の道(東から西へ) 出版研究 No1 6	石橋 正子	日本出版学会	19860315	歴史	p30蔡倫以前、前漢紙論争、ろ橋紙を見る。西域の紙、タラスの戦い(751年)、ジャンプールに行く(現代のタラス)、河向こうの世界一の紙、インドへ、そしてヨーロッパへ、モンゴルフィエ伝説(シシリーとフランス)から構成。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300119	伝統産業と地場産業 地域に生きる 熊本大学放送講座	山中 進	熊本大学 学生部	19880825	熊本 福岡	p51地場産業と伝統産業。熊本の伝統産業: 来民団扇、宇土張子、山鹿灯籠、宮地和紙。八女和紙: 1898年68562戸、1901年1366戸。東洋紙、京花紙、中国市場に参入。1953年143戸。1985年17戸(八女14、筑後1、立花1、瀬高1)地元楮(城北もの)を生かす。版画紙、灯籠紙。
81300120	和紙と共に七十五年	山岡 茂太郎	飛鳥出版 社	20070601	高知 自伝	p39和紙との出会い: 三浦商工(株)(金星製紙)典具帖紙と出会い。p75風船爆弾を作る: 9300発発射。昭和19、紙風船は陸軍出資の国産化学工業(株)が研究・作成。国技館で検査。戦後、典具帖紙、タイプライター用を米国輸出。(土佐典具帖氏生産連合会)、昭和24靱皮パルプ研究所。(株)ヘイワ原紙設立。表具師に。
81300121	和紙のすばらしさ: A Papermaking Pilgrimage of Japan, Korea and China(Hunter, Dard)	ハンター 久米康生	勉誠出版	20090825	産地 名塩	製紙の原料、東洋の製紙の漉具、紙郷巡歴の旅、日本の紙: 紙名、起源、歴史と用途、参考文献、図版の説明、標本紙解説から構成。名塩の写真あり。
81300122	肥後における製紙業について: 熊本史 学50号	本田 秀人	熊本史学 会	19771201	福岡 近世	紙楮の生産と流通: 山鹿、玉名で各2万貫。奨励策の史料例示。和紙の生産と流通: 玉名(488戸)山鹿(71)下益城(32)上益城(31)(M15年)転期は明和3、寛政4、文政3、天保13。細川、松井家文書と財政。生産と流通の構造と機能。農業経営に占める役割
81300123	古代製紙の歴史と技術	ダート・ハン ター 久米 康生	勉誠出版	20090825	歴史	構成は、紙以前の古代書写材料。蔡倫と紙の発明。称徳女帝と百万塔陀羅尼。手漉きの漉具。紙料の調製。古代の製紙工程と技法。宗教儀式用の紙。印刷初期の欧米の紙と製紙法。古代の透かし文様。近代の透かし文様。製紙の原料。抄紙機とその発明者、ロベール。印刷が製紙を改革、新原料探求が本格化。手漉き紙と機械すき紙製紙、紙とその用途の年表
81300124	写真で知る 墨・硯・紙	為近 磨巨 登	木耳社	20091009	技術	墨(94枚)、硯(77枚)、紙(56枚)の電子顕微鏡写真から構成。研磨紙、書道用紙、填料
81300125	韓国の紙187		Daewonsa Pub. Co. (韓国)	19960000	海外 韓国	韓国語で記載で内容不明。紙種(簡紙、紺紙、繭紙、郷壮紙、慶紙、鷄林紙、啓目紙、啓辞紙、継色紙、穀紙、勤善紙、金紙、藍紙、蘆花紙、丹木紙、檀紙、大好紙、搗練紙、搗砧白紙、桃花紙、桐油紙、藤紙、麻骨紙、万年紙など。工程と紙製品が記載。
81300126	画仙紙使いになしハンドブック	堀 久夫	可成屋 木耳社	20020610	産地 海外	画仙紙: 書画用の大判紙、宣紙(安徽省宣城が由来)雅仙、雅箋、雅宣は同義。中国産は本画仙紙と呼ぶ。中国の製法は溜漉き、水絞り、紙間に布。近年ではネリを入れ流漉きに。原料は稲藁、マリッパ栗。「和紙信仰」に警鐘。筆と紙。滲みと書き味。原料。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300127	墨と硯と紙の話	為近 磨巨 登	木耳社	20031210	名塩	紙について、にじみを実験的に検証。繊維(雁皮、三桎、楮)による違い、填料の有無などクロマト、電子顕微鏡で。名塩紙の解説あり。
81300128	土佐和紙の里	和田 徳恵	高知新聞社	20030416	高知	写真集。楮の栽培から和紙の誕生まで各工程を丹念に写真で辿る。そこには人間の生活の香りと和紙の光景がある。大豊町立川仁尾ヶ内、吾川村岩戸が主たる取材場所。田晒し(尾崎茂)、干板の刷毛は稲ワラ。
81300129	大阪紙商のあゆみ	大阪府紙商組合	大阪府紙商組合	19821201	大阪 流通 近世 近代	江戸からの大阪紙商の通史。p19江戸の紙商名と分布p114昭和22年和紙組合名簿p127仙貨紙トピックp231戦後の和紙p278大阪和紙会p314資料:三番組沿革史、価格統計など
81300130	岡本創業三百年史、歴代紙屋弥兵衛史考証	岡本 セン一 郎	(株)岡本	19921214	流通、近 世、東京	元禄5(1692)両国回向院隣に紙商創業。現代10代。
81300131	なにわ大阪の歴史と経済:なにわ塾叢書82	作道 洋太 郎	大阪府「なにわ塾」	20020701	名塩 近世	「江戸時代の貨幣について」「大阪の豪商とその経営史」「大阪経済を支えた企業家群像」「家訓と経営理念の系譜」からなる。講座記録。名塩紙は、近世、名塩の和紙と贗造防止の工夫の観点から紹介される。重本200610
81300132	紙碑	成田潔英		19620303	産地 名塩	各地の和洋紙の功労者の碑、墓とその解説。p104。東山弥右衛門之墓。紙碑として称されるものは、墓を除き明治以降のものが圧倒的に多い。その中で名塩のものは墓の体裁をもつが明らかに記念碑的な要素も高く、古い碑の一つである。北海道東北(10ヵ所)北陸(4)関東(7)中部(14)近畿(7)中国(10)四国(16)九州(7)。
81300133	紙と文化 / 産業史三編	宮本 常一	未来社	19760625	歴史、産 地、名塩	宮本常一著作集22。和紙の起こり、紙の文化と生活、近世における和紙からなる。文献を引用しながら、各地、時代毎の和紙の発展を述べる。仏教から貴族、武士、庶民へ。記録から生活へと発展する。特に住居、建具への利用が大きい。近世に付いては産地毎に特徴を記載する。p93名塩紙記載。山口の楮は撰津木の部の苗木。 1910
81300134	紙の世界	相馬 太郎	講談社	19970131	岐阜 福井 近世	歴史、地方史:美濃(川の流れとともに)越前(始祖神話の国)伊勢(中世の紙の流通)情報制度と紙:土佐の村送り、郵便。再生紙:言霊、宿紙、漉き返し、再生パルプ。生活の中の紙:紙幣、煙草、トレットペーパー。印刷、物性。p292;泥入り紙、藩札利用として紹介。杉原紙、甲斐紙は糊入りで米。江戸では白土を添加

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300135	紙すきうた		製紙博物館	19511201	名塩 民俗 産地 詩歌	p114名塩「色紙と見るや名塩の村紅葉」(政長)「首出して初雪見ばや此襖」(竹戸)(有馬名所記)。諸国紙すき歌(越前、土佐、牧谷、伊勢飯南、長崎湯江、信濃島田、磐城丸森、越中野積谷、伊予川之江、紀伊吉野熊野、周防徳地西市、甲斐市川、宮城柳生、肥後宮地)紙に関する和歌、狂歌、俳句、川柳の収集。
81300136	日本の名随筆 / 紙	寿岳 文章 ほか	作品社	19920920	随筆 産地	39編からなる紙に関する随筆。手漉きの紙(大村しげ)半紙(山本和)和紙を漉く町(芝木好子)和紙の美(柳宗悦)紙の王様(安部栄四郎)和紙はどう生きる(原弘)和紙史考(池田秀夫)紙祖伝説の背景(久米康生)和紙と私(寿岳文章)ほか
81300137	蔡倫と和紙(Life of Ts'ai Lung and Japanese Paper Making)	紙の博物館	紙の博物館	19800000	概要	英文。蔡倫の人生。和紙の歴史。日本の手漉和紙の工程。墨流しや料紙については特別に記載。
81300138	歴史を歩く(伊都・橋本の郷土史から見た)	北尾 清一	大和出版社	19871103	和歌山	p198伝統絶やすな高野紙:九度山町古沢(こざわ)地区。起源は弘法説も。高野紙十郷(笠木、上古沢、下古沢、中古沢、椎出、河根、東郷、西郷、東細川、西細川)紙すき恵比寿講で結束。問屋制前貸し制度(大阪、平野屋、毛馬屋)その後「慈尊院村取扱所」。明治、大正と障子紙、傘紙。昭和期には下古沢に限定。昭和15年福岡より京花紙導入。現状は、中坊君子、加代子のみ。「ためうけ」技法を継ぐ。紙漉歌あり。
81300139	岡山県の民芸:民芸叢書6	外村 吉之 介	岡山民芸協会	19520320	岡山 見本	重本。p15楮と三椶の栽培多い。津山:中尾は和紙工場としては最大級。パルプ混和。新見:三椶が主、備中三つ折(見本有)。大田原:障子紙(十間三段)楮。勝田郡。英田郡。苫田郡。金箔間紙:苫田郡高田村横野、三椶の薄紙。大高檀紙:高梁町広瀬、柳井家、途絶。
81300140	加賀金沢の金箔	下出 積興	(株)百万石文化圏	19761020	石川 名塩	1696年江戸に箔座、幕府統制。金沢は1808年から能登屋佐助が公認運動1864年許し。上澄工程:金と銀銅の合金。西に内が澄打紙。延金から小兵、荒金、大重へ。箔打紙は名塩紙。灰汁で何度も漬け打つ。4 - 5回が箔打に。製箔。用具の説明も詳細。
81300141	紙漉きの歌	日高 一雄	長谷川書房	19740701	鹿児島	蒲生和紙を利用、3部構成。第一部「紙漉きの歌」大樟(樹齢1500年、蒲生八幡境内)。蒲生の概要:昭和20年70名が漉く。「蒲生の地に土族の業と伝わりし手漉きの和紙の白美しき」ほか65句。
81300142	紙のおはなし	原 啓志	(財)日本規格協会	19920620	概論 名塩	p37雁皮紙、文化と紙としてレゾナント、透かし、楽譜、相撲として力紙、番付など、年代が推定できるという。和紙の調理ブックとの表題で工程を易しく解説。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300143	紙の生い立ち	渡辺 薫	精興社	19811018	産地 歴史 名塩	日本、中国、西欧を太古、上古、中古、近古、近世と分類に記述。p84摂州の間似合紙として紹介するが、三椏を原料と記述は、明らかに誤り。p107薬袋紙で土佐と同様、徳川中期から優秀な薬袋紙を作るとした。(紙譜を引用)
81300144	ももよの和紙恋い紀行	海部桃代	丸善	19891123	産地、名塩	名塩ほか34県の紀行文。名塩：谷野剛惟氏と面談。父は特太郎。水上の「名塩川」を紹介。その他、山田五十鈴、水野半次郎、櫻山文枝、駒敏郎らとの対談。
81300145	和紙周遊	小林 良生	ユニ出版社	19881003	紀行 産地 名塩	和紙探訪：白石、五箇、阿波、伊予周桑、土佐岩原、津山。和紙の活路と機能：p129金箔(上澄工程：澄打紙、製箔工程：箔打紙、名塩紙を下地にして柿渋と卵の灰汁につけ主紙を作る)扇子、金唐和紙、千代紙。外から見た和紙：タイ、ネパール、ダート・ハンター製紙博物館、タバ紙、
81300146	土佐の手技師	西岡 寿美子	風とう社	19920630	高知	p6手漉和紙、よりつける利かぬ気の革命児(森田康生、こうせい)専門は父の代から。3人兄弟の末弟。就業は17歳。野村製紙へ修行へ。漉(おり)で練習。ワンプ(包み紙)漉き。2年後独立。機械漉きができない紙(雲竜、春木、麻入り、雲芸)を挑戦。書道紙、ワラの品種、部位を限定し成功。楮も種別、契約栽培に。p手漉和紙用竹ひご(高橋房江)。重本。
81300147	西ノ内紙	山方町文化財保存研究会	筑波書林	19810615	茨城、歴史、流通、製法	基本文献。西の内紙の沿革、漉き方年表からなる。元は久慈郡諸富野村、現在、那珂郡山方町大字西野内。諸沢川、久慈川。紙漉岩あり。紙問屋(細貝家)「常陸紀行」「諸国日記」に常陸・下野の紙漉村、紙名あがる。西の内紙の他は那須紙、水戸物を称す。楮市(月6回)。光圀が奨励。専売仕法。宝永4年中止以降問屋発達。明治23年選挙用紙に。昭和46年県、昭和52年文化庁の無形文化財に。
81300148	美しき工芸技術	奥原 国雄	島根県文化財愛護協会	19700331	島根	p51石州半紙：昭和44年重要無形文化財に指定、当時の会員数は12名(古市場は久保田、西田義夫、村川、倉井、西田正美、川平、長見。三隅は曾我。井野は殿森。旭町木田は西田豊市、定巳、茂)工程記述詳細、短歌を添える。p65石見の紙布：明治中期まで常用。明治10年の物産取調書(百万塔21)に単価30銭、木綿40銭。製作工程詳述。桜江町市山湯浅サヨ(明治5生)の聞書。市山方式と吉賀方式は全く異なる。(cf1923)島根県立図書館でコピー
81300149	資源愛護読本「紙」	関根 康喜	成史書院	19390620	流通、見本	リサイクル商品としての紙を考察。時局柄もあるが、資源愛護の考えは現在に通じる。p62：和紙の種類と価格、商工省の第一回公定価格表が記載。見本は印刷紙、模造紙、ざら紙、包装紙、半紙、障子紙など小片。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300150	土佐人物ものがたり	窪田 善太郎	高知新聞社	19860328	高知	p38上田虎次:コピー紙、典具帖紙を輸出。大正には抄紙器9、手漉き槽245、職工1851人に。1934年から伊野町長。p56新之丞。p74養甫尼(よほうに)世を捨て高野山に。安芸三郎左衛門は御用紙方役に。従五位に。p75吉井源太:大型漉き簀、米糊に変わり白土、原料の混合し新製品。典具帖紙の製造。「日本製紙論」は口述。p
81300151	我等の郷土と人物:第4巻	前川 新一	福井県文化誌刊行会	19641001	福井	p58五箇製紙業経営の変遷:歴史を簡潔に表現。p296岩野平三郎:明治11.7.30生。姉ひさは西野弥平次に嫁ぐ。ここで2年間修行、雲紙。その後、武生広場治左衛門から雲紙、水玉紙。24歳で結婚。大正4年、栖鳳用大滝紙、大観用大徳紙発売。大正14年岡大紙。
81300152	東京の秘境秋川溪谷	甲野 勇	校倉書房	19630315	東京	p43紙を漉く村・落合:十里木、落合に紙漉き家は数軒。手漉きは高野源一氏のみ。祖父の代(80年前)から。ピーターは使用。乙津村に大畑紙の記載(風土記稿)
81300153	海からの紙:海藻紙の系譜	小林 良生	ユニ出版(株)	19930520	名塩 東京	浅草のりとの製造工程の比較:紙の定義、短繊維、水分散、ろ過脱水とウェブ形成、乾燥時に繊維間形成。のりは短繊維でないこと。ろ過制御しないことから紙でない。漉き法は、浅草紙の技術が転用?手広げからアヒル付け、投げ付けへ。楽水紙:海藻の漉き込み、襖紙。田村佐吉が考案。
81300154	土井利忠公と大野藩	土井利忠公百年祭奉賛会	土井利忠公百年祭奉賛会	19660600	福井 名塩	
81300155	岐阜県産業史	岐阜県	岐阜県	19150331	岐阜	三大産業:織物、陶器、紙。第二編製紙:1)我国製紙の沿革2)美濃国の製紙3)美濃国の山水と美濃紙の品質(武儀郡、恵那郡、加茂郡、土岐郡、山縣郡、本巣郡、揖斐郡)。武儀郡:太田姓系図。書院紙、貿易品、武儀郡製紙改良会、美濃紙同業組合、紙舟役、紙の種類。
81300156	文化財学の課題:和紙文化の継承	富田 正弘、湯山 賢一	勉誠出版	20060405	中世 流通	中世における紙の流通:紙名を年代順にデータベース化。地方産の紙を租税として徴収し都に搬入。年貢だけでなく商業ルートと併用。都は原料がないので地方で清算、中央で加工が姿。「陸奥紙」は檀紙かまゆみ紙か検討要。鎌倉末に讃岐檀紙(米紛なし、厚手)。杉原(米紛入り)は室町。戦国期に雁皮紙、美濃紙(米紛なし)。やわやわは反故紙。杉原は一枚一文が基準。p30溜漉きの打紙加工が必要でない流漉きの素紙が料紙に用いる時期と流漉きが主流になった時期が一致(平安前期)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300157	手漉和紙：薄口紙漉きの思い出	北瀬 富男	北瀬 富男	19910920	岐阜	薄口紙の原料：岐阜市河原通りの大野、深尾から購入。楮と洋紙の復古紙の混合。楮（かみ）もみ：武儀川、にない籠（鉄線）を考案（弥吉）。本だくりは障子紙にたくり屑は塵紙に。楮煮。楮さらし、楮しぼり、楮たたき、煮つぶし：しぶ（格外品）を苛性ソーダ、晒粉、濃硫酸で処理30%添加。紙漉き：女性が漉く。2枚取りで2400枚/日。乾燥板：栃。荷造り：48枚*20*5。美濃紙同業組合：明治34年11月設立。
81300158	平安京の紙屋紙	町田 誠之	京都新聞出版センター	20090330	京都	紙屋紙の生い立ち：図書寮造紙所「紙戸」出雲路橋付近。長岡京で紙屋院が設置されたとすると小畑川のほとり？官製の紙作り「延喜式」巻13「図書寮式」紙屋院は平安京以降に。約2万張、原料、工程を記載。麻布600gと雁皮180gから色紙30枚。平安文化と和紙の伝統、紙屋紙を愛でた人びと、紙屋川（かみや、しおく、かんや、かや）の今昔：野宮の東の位置は？、北野神社と平野神社間に流れる紙屋川畔。紙屋川の川筋に変遷。
81300159	プレ・グーテンベルク時代	鈴木 敏夫	朝日新聞社	19760210	歴史	製紙・印刷・出版の黎明期：蔡倫の生涯。異説だらけの印刷起源。製紙術の日本伝来と発展（紙屋院、紙漉重宝記）。3つの世界最古の印刷物（百万塔印刷、仏国寺）
81300160	笠松左太夫の生涯と山保田組の歴史	高垣 重造	彩流社	20090330	和歌山	笠松は紀州の庄屋。製紙（保田紙）を導入、灌漑整備に努める。p150保田紙の始まり。奈良県吉野郡、伊都郡高野寺領から熟練工を6人雇い入れ。1659年始めて献上。「おまんの紙」工女の引き抜き伝説あり。
81300161	紙漉きのまち伊野：歴史地域の変容	池谷 江里子	大明堂	20000913	高知	明治期以降、新製品や改良品の技術開発と市場開発。時代に即応した生産体制。第二次大戦後、平成10年、手漉和紙0.4%、機械漉き51%、不織布24%、紙加工品14%、衛生材料9%。伊野の手漉き和紙は13（内4休業）槽数10、従業員23人、生産額8400万円、表具紙、手工芸用など。
81300162	レンブラントと和紙	貴田 庄	八坂書房	20050225	海外 名塩	レンブラントが版画に用いた紙：ホワイトペーパー（主、フランス製簀の目紙、透かし）、オートミールペーパー、和紙（後期は主、1645年に集中、80点、雁皮紙、中国紙、インディアンペーパーなど。船積みは1643年か1644年秋。著者の修士論文が基。「レンブラントと和紙」（百万塔1982）「レンブラントと和紙（2）」（百万塔1983）「和紙とレンブラントの銅版画」（早稲田大学紀要1990）
81300163	多摩の伝統工芸1	下島 彬	中央大学出版部	19901020	東京	軍道紙の再開を果たした紙すき職人：西多摩郡五日市町乙津（おつ）地区、高野源吾、萩原吉種、昭和40年廃業。高野は昭和44年町、平成2年都のの無形文化財保持者に指定。昭和62年秋川溪谷に「町立軍道紙工房」竣工。近世初頭から「紙舟役」、大畑、大幡、大端紙と呼称。埼玉小川と関係あり、縁組、楮種が同じなど。明治中頃までは養蚕用。風船爆弾用も。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300164	ふくしま和紙のはなし: 歴春ふくしま文庫96	栗城 正義	歴史春秋社	20010715	福島	p128障子寸法p129藩政時代の紙: 二本松藩、鑑札制「紙漉札」交付、障子紙が主。磐城紙、享保期(1716)以降。上遠野村に「紙楮会所」開設。信達地方、山舟生(やまふにゅう)延享期(1747)の記録、大阪の役の落人が伝えた口伝。会津藩、「家世実記」。p136明治以降の製紙: 「福島県史」M8蚕原紙が圧倒。p149福島県紙紀行: 上遠野(いわき市)「上遠野和紙沿革史」瀬谷安雄。上川崎(安達町)安斎イセ、安斎信夫、石橋靖子。安達町和紙伝承館。山舟生(染川町)S47断絶。伝承会結成。海老根(郡山市)明治期静岡から。柳津、後藤倉重復活。
81300165	伊勢型紙を生きる	西本 俊三	日本繊維新聞社	19981115	三重 伝承	伊勢型紙は三重県白子(しらこ)寺家(じけ)の伝統産業。伊勢型紙資料館は寺尾家(型紙問屋)を利用。材料の紙は美濃、柿渋は揖斐産。伝承: 久太夫、有虫喰いの葉から(子安観音寺)。戦国の頃、乱から逃れ萩原中納言が絵巻絵を伝える。
81300166	和紙風土記	寿岳 文章	河原書店	19411120	名塩 近代見本 歴史 産地	cf0050歴史と紙郷の記録。19870925復刻(筑摩叢書315)。和紙事始、和紙と時代、昭和の和紙から構成。歴史の中での和紙に触れる。名塩はp80鳥の子の由来と名塩薄様がインディアナポリスの産みの親か。p164摂津の和紙で触れる。重本。
81300167	カラー日本の工芸8、紙	柳橋 真、 黒崎 彰、 広瀬 辰五郎	淡交社	19780814	歴史 福井 長野 東京	紙の歴史。紙探訪記(越前、飯田)。現状と将来の展望。江戸千代紙から構成。カラー図版が豊富。(重本)
81300168	和紙の源流	久米 康生	岩波書店	20041028	海外 歴史	基本文献。海外文献や現地調査を駆使して、中国、韓国を経ての和紙の伝播の探る。寿岳が唱えた流し漉き、ネリの日本独自開発の説に異議を。元々、中国にもありと。日本における発達も詳述。
81300169	近世甲斐産業経済史の研究	飯田 文弥	国書刊行会	19820330	山梨	近世甲斐は、国中(山梨、八代、巨摩: 釜無川、笛吹川、富士川)、郡内(都留: 山中湖、桂川、相模川)に二分。郡内地方の絹織物(秋元量、運上仕法)国中地方の産業(養蚕、葡萄、木綿)p229河内地方の産業(市川大門)
81300169	河内地方の産業: 近世甲斐産業経済史の研究	飯田 文弥	国書刊行会	19820330	山梨	p229河内地方の産業: 近世市川大門・河内領の紙業: 芦川など富士川支流に沿って発展。市川大門を除けば85%は森林。大門、西嶋、岩間で農業余間。糊入の特産紙、肌吉紙(新右衛門、新左衛門): 1582年恩典。紙干板は檜、この入手も特典で御用紙のみで使用。西嶋は望月清兵衛が伊豆から導入。大門と岩間に紙改所と蔵設置。1765年代官所設置。御用紙14軒。売紙漉172軒。この間で紛争あり。西嶋は笠井半兵衛が取立。逸見: 武川はわずか。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300170	美濃のお民:水上勉選集4	水上 勉	新潮社	19680925	岐阜 小説	初出「オール読物」(昭和41年2月)「鐘の音」(昭和42、文芸春秋)お民は越前大野の和泉村の出。美濃上牧谷の設楽(しだら)九右衛門の養女に。
81300171	蓮如、畿内・東海を行く	岡村 喜史	(株)国書刊行会	19951017	名塩	近畿、東海の蓮如の足跡を辿る。自筆の特徴と鑑定法:名号は約一万点残る。「南無阿弥陀仏」が多い。光、行人偏、土に癖。御影像:右耳の揉み上げに長く伸びた髭。生母伝説:不明、六歳の時、「鹿の子御影」を持ち去ったと。備後の人? p154名塩関係の記事:お箸杉と形見の名号、名塩和紙、蓮如上人が掘った二つの池からなる。重本
81300172	和紙のデザイン	森島 紘史	鹿島出版会	20031210	概論 名塩 工芸	p31楮はカヅノキとヒメコウジの交配種。雁皮から粘液成分が出て水中の原料が分散することから、流し漉や粘料の発見へという。p51平安末期には、兵庫県の撰津の名塩で襖を5枚の紙で間にあわすことができる和紙が漉かれ始め、と。
81300173	和紙落葉抄	寿岳 文章	湯川書房	19761220	名塩 産地 随筆	和紙の関する随筆:p51技術の秘密:弥右衛門の伝説を産業スパイの切り口で紹介。印象に残ったのは、紙漉歌(労働歌)は単独作業には存在しない。一壺亭茶話の著者、近藤楮作は備後屋で下流者の収容の運動者。
81300174	和紙百話	春名 好重	(株)淡交社	19770525	随筆	書道史から書跡と利用した紙を考察。縦簾、茶毘(茶毘した骨を漉き込む)香、丁子吹、焼絵、装飾紙(打曇、飛雲、墨流)など特有の紙を記載。薄様は、色違いを重ねて使用と。
81300175	紙漉村旅日記	寿岳 文章	明治書房	19440720	紀行 名塩 産地 近代	昭和10年代の全国紙産地の技術、様子を伝える。衰退時期といっても未だ健在。民俗学の観点からも秀逸。p194、訪問日は1938年10月6日弥右衛門の伝説は億川氏から伝聞。当時は間似合が主。反故紙のため品質悪い。箔打紙は馬場孝良、野条啓行。雲紙は馬場六治郎。間似合は北野儀造。松茸が土産。
81300176	武名埋り候とも	西岡 まさ子	河出書房新社	19981225	山口 名塩	p144「その名塩紙、泥が入っとります。手蝕りがちがいましゃる。間似合紙という。泥入り鳥の子でんな。厚く重く裂けやすい。襖の下張りといわれたらこれを」と紹介。徳山藩は、萩本藩の領界の騒動で改易、蟄居となる。奈古屋里人はその復興を願い叶うが、その時、主は他界していた。
81300177	句集 和紙	林 翔	竹頭社	19700910	詩歌	p141書名は「秋風の和紙の軽さを身にも欲し」に拠る。p233薫風に求めて軽き山中紙」の二句のみ。和紙が「軽い」の共通の認識が面白い。
81300178	七色の紙漉く里 はしりかねと八つの村のものがたり	辺見 じゅん 北井 一夫	文芸春秋	19770825	高知	はしりかねとは海の娼婦の意。七色の紙漉く里(仁淀川)新の丞はころされた。七色紙の秘法を守るために。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300179	書物の世界	寿岳 文章	朝日新聞社	19490615	概要 歴史 名塩	p283インデア・ペーパール: 日本では王子製紙都島工場で大正12年から製造。名塩紙に由来とするが、考証は他日と。p286名塩紙を精密に処理すればアート紙に代わる網目版用紙が。p255書物と紙: エスパルト紙(英国)
81300180	和紙の研究	高橋 正隆	近代文芸社	19950301	歴史 名塩	紙の誕生とその伝播。抄紙術の伝播。日本の紙: 京師の製紙術の地方伝播に名塩の記載あり(p138)。麻紙の復活: 太政官紙や抄紙局の顛末など。紙の加工として、よこがみ破り。古文献に学ぶことども(般若経が中心)、桂離宮の紙など。
81300181	近世製紙業の研究	斎藤 左文 吾	山梨日日新聞社	19960700	山梨	市川大門、肌吉文書の掲載。紙業経営(副業、紙漉株仲間、運上)、御用紙漉の特質と経営形態。近世製紙業の技術(工程、労務管理、用水、道具)
81300182	目でみる富士市の歴史	鈴木 富男	緑星社出版部	19750701	静岡	p102富士南麓の製紙の歴史: 明治2年内山に三極の栽培(内田平三郎)。明治20年こう玄社設立(栢かや森定助)。明治20年手漉和紙発祥地(今泉ガマ 湿地、芦川万次郎)、駿河ものの中心地は富士郡の西北部。明治21年製紙伝習所(芦川)。明治23年富士製紙。明治27年機械漉工場(三木慎一)。手漉きは富士川町松野石川製作所。
81300183	紙と共に生きて	ダート・ハンター	図書出版社	19920420	名塩、海外、福井、高知	口絵に名塩の漉き場の写真が掲載。ハンターの自伝。樹皮紙(南太平洋)、東洋の手漉き紙。原始の紙づくり
81300184	正倉院の匠たち	青山茂編	草思社	19830712	古代、奈良、島根	p155安部栄四郎: 正倉院の和紙について語る。漉き方を溜めぐみ(糊なし)、溜め漉き(捨て水なし)、流し漉きに分類。紙料は、楮、雁皮、麻、三極紙はない。「東大寺献物帳」は中国紙に書かれる。その他の工芸にばちる、漆、古裂、研磨。
81300185	紙生産と地主制の形成	丹羽 弘、 船戸 政一	栄文堂書店	19601225	岐阜	基本文献
81300186	名古屋叢書(第11巻)産業経済編(2)	名古屋市教育委員会	名古屋市教育委員会	19621130	愛知 近世	収録: 尾陽産物志。御国産吟味之留。岷山先生治水伝。陶器法伝記。尾州濃州紺屋惣帳。p237紙漉職辰巳氏留記。再録、寛文から嘉永。熱田魚世話方肝煎願達留。熱田講記録。延米商濫觴記並暦年記。御国産御用留。名古屋諸色直段集。御払材極直段帳。
81300186	紙漉職辰巳氏留記(1): 名古屋叢書(第11巻)産業経済編(2)	名古屋市教育委員会	名古屋市教育委員会	16610000	愛知 近世	cf1211.p237寛文11年以降の尾張藩御用漉。黒印紙、うね幣紙を担当。天明2、職人弥吉に刃傷し罷免。親戚の新左衛門と弥吉が継承。各種願届書、注文書が主体。製紙、原材料、給与、貸借、由緒、家督、業務、家事など記事。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300186	御国産吟味之留:名古屋叢書(第11巻)産業経済編(2)	名古屋市教育委員会	名古屋市教育委員会	18310000	愛知 岐阜 近世	cf1211.p171土岐郡:色紙(日吉)。可児郡:紙(上郷)、楮(伊岐津志)。武儀郡:紙(岩佐、宇多院、平、高野、大矢田、小知野、中洞、舟越、佐野、日永、出戸、相戸、柿野、洞戸、乙狩、上野、御手洗、蕨生、神洞、片知、長瀬、松森)。池田郡:紙(西横山)。大野郡:紙(東横山)。信州木曾谷:紙(湯舟沢、山口田立)。山県郡:楮(長滝)
81300186	紙漉職辰巳氏留記(2):名古屋叢書(第11巻)産業経済編(2)	名古屋市教育委員会	名古屋市教育委員会	16610000	愛知 近世	cf1211.p237寛文11年以降の尾張藩御用漉。墨印紙、うね幣紙を担当。天明2、職人弥吉に刃傷し罷免。親戚の新左衛門と弥吉が継承。各種願届書、注文書が主体。製紙、原材料、給与、貸借、由緒、家督、業務、家事など記事。付録に「紙漉所仕様」「伝書」に技術の記録。御墨印紙
81300186	御国産御用留:名古屋叢書(第11巻)産業経済編(2)	名古屋市教育委員会	名古屋市教育委員会	18680400	愛知 近世	cf1211.p439明治1年朝廷は殖産奨励のため、京都に商法司設置。それを受け名古屋藩では勘定奉行所の国産懸かりを設け振興を図る。紙、元結懸かり:生田屋弥七、山口屋六兵衛、三河屋栄助。
81300187	走り者	大崎 二郎	青帖社	19821001	高知 見本 (雁皮紙)	cf1180土佐の紙漉工の逃亡の記録。大崎二郎詩集に収録。走り者とは逃亡者の意味。労働歌とも言える。決して裕福にはなれない報われない紙漉の仕事。迷う紙、乾くな、紙漉きの掌、紙漉きのわらい、走り者など。池川の逃亡を詩に。和紙の美などは戯言と、ぎりぎりの生活、真実が詩に。
81300188	筑紫紀行 / 帝国文庫22	吉田 重房、菱屋平七	博文館	19301015	名塩 図絵 紀行 近世	cf0201。1806年古今紙漉紙屋図絵275。p719巻10「東久保村、此所をすぎて峠に至れば、大阪城はるかに見ゆ、それより坂を下りゆくまに人家あり、よき茶屋多し、独こ水といふ清水宿屋のうちにあり、30丁計下がれば名塩村、人家すべて400軒ばかり茶屋宿多し、此所鳥の子紙、松葉紙を漉く家多し名塩紙といふなり」他に、
81300188	紀行文集 / 帝国文庫22		博文館	19301015	名塩 図絵 紀行 近世	cf0201。2388。吾妻路之記(東海道)。岐蘇路記(木曾)。西北紀行(山城、丹波、丹後、若狭)。南遊紀行(山城、河内、和泉、紀伊、大和)。続諸州めぐり(摂津、伊勢など)。和州巡覧記(大和)。長崎行役日記。西遊雑記。東遊雑記。筑紫紀行。甲申旅日記。
81300189	紙と伊予	森実 善四郎	伊予三島ロータリークラブ	19640000	愛媛	川之江を中心とした宝暦以降の発達史。伊予からの伝播箇所:山口山代(中内馬之丞)。広島紙屋通り(伊予屋九郎左衛門)。讃岐(亀遠 南部伊平)。p89紙漉風土記:宝暦の紙屋、川井家。春日講。紙業界の恩人、新之丞君。仙貨紙と泉貨居士。元結から水引へ。風船爆弾。
81300190	紙、種類と歴史	浜田徳太郎	ダヴィット社	19580120	歴史 名塩	p58紙漉の秘密:名塩の薬袋紙は土佐から、東山弥右衛門は越前からと。p85間似合紙:古式の紙は下等のものでない。p222インディアペーパー:寿岳の和紙風土記を引用。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300191	紙の手帖	山本 和	木耳社	19811110	産地 名塩	紙の教養と実用p26半紙の世界：江戸からの半紙の歴史、半紙の産地が書物を引用しながらあがる。p50寸法いろいろ：p58日本製紙論(明治30)の寸法一覧。日本の紙の寸法。名塩の生漉中鳥の子縦1尺4寸横1尺7寸。間似合紙は縦1尺2寸5分から1尺3寸、横3尺1寸から3尺2寸。襖1枚が5枚で貼れる。1帖は100枚。
81300192	あおばなと青花紙	阪本 寧男、落合雪野	サンライズ出版	19980920	滋賀	青花紙：ツククサの栽培種を花卉に含まれる青色の色素を和紙にしみこませ乾燥したもの。友禅などの下絵書きに用いる。水で色が消えるのが特色。栽培から製造まで記す。
81300193	土佐和紙物語	西沢弘順		19730901	高知	河野製紙の80周年記念。一部は西沢「あきない風土記」より。明治以降の歴史。明治初年の生産は山口、高知の順。「興業意見」で和紙増進をと。1663年「愁訴47か条」1755年津野山騒動。平紙の獲得。山村型は副業。平場型は都市部専門。佐伯の「本邦製紙業管見」平賃金は紙商人が因と。土居喜久弥はコピー紙の海外販路の開拓に功績。土佐紙業(株)は機械化推進。丸一争議。第二部は朝日新聞。
81300194	東の紙から西の紙へ	奥村和久	秋田文化出版	19980610	歴史 秋田	紙の文化をさぐって：小宮英俊との対談、p55秋田の和紙づくり1703年、稲庭で開始。十文字紙、佐々木清男、平鹿の和紙は江戸中期、土屋治兵衛が山形県金山町から導入。p90サイズ：にじみ止めとして樹脂、ゼラチン、デンプンの添加は奈良時代から、名塩の泥もその延長か。他に紙と印刷文化にせまる。
81300195	深山紙	奥村 幸雄	松川屋書店	19690610	山形 見本	白鷹町、上杉藩と深山紙、伊達家と和紙、起源、鷹山時代、文化年間以後、紙の種類、明治・大正期、工程、物理的性質、年表。1644年「上り紙」、紅花袋用紙、箕和田村で御用紙。
81300196	信濃の手漉き和紙	岩見 光昭	信毎書籍出版センター	19791220	長野	歴史編、産地編：概況、内山紙：内山組の荻原喜右衛門が導入、順次拡大。内山には現存せず。中心は飯山、野沢温泉村、栄村など。雪晒し、節取りには湧き水を利用、スルブライト、苛性澱粉など改良、阿部は機械漉きを導入し唯一の専門。下伊那紙：元結、紙問屋騒動。安坂紙、麻積民芸紙、松崎紙：木の葉ずき、山中(さんちゅう)紙、丸子・立岩紙：蚕種原紙では全国一も。
81300197	土佐藩工業経済史	平尾 道雄		19570715	高知	高知和紙の基本文献。p99製紙業：伝来(伊予から)成山と伊野、御用紙製法の秘密。紙業の発展。野中兼山の専売仕法。御蔵紙沿革。平紙沿革。紙価と産紙税。大阪の土佐問屋。維新後の紙業概観と時系列に配置、古文書を引用しながら論述する。その他に鉾山、石灰、製糖、陶、造船、鑄砲を紹介。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300198	紙衣	大道弘雄	リーチ書店	19550925	名塩 加工 産地 見本	紙衣の歴史、製法と特質を詳述:限定500(A110、B390)本書はB版。紙衣の産地:白石、阿部川、美濃、越前、京、大阪、紀州、二月堂、播州、安芸、土佐、伊予、八代。p104大阪紙衣の原料は名塩紙ではないかと推察。摂津紙子(明治8、日本物産字引)も名塩紙と。
81300199	北陸産紙考(上巻)	高田 長紀	(財)紙の博物館	19701103	富山 見本	基本文献。医王山麓の紙漉き村、五ヶ山、藩政時代、貸商人(城端、井波)、加賀藩改作により楮は増えず。他所から移入に高い楮を使用。収益はわずか「紙漉は山の者しかできない」と。御用紙は二俣で藩の保護。変遷と紙種。p161加賀の鳥子:
81300200	北陸産紙考(下)	高田 長紀	紙の博物館	19780520	富山 見本 名塩 近世	富山藩紙会所、八尾産紙と売薬紙、加賀御料紙、加賀藩の紙漉村(資料)からなる。2種(染紙、加賀奉書)見本あり。八尾の歴史に詳しい。野積谷の紙業は富山藩分封(1639)以後で越中売薬と関連して発展。反魂丹の表装は楮製の鳥子p150薬袋紙は1856年以降名塩から輸入の記録。何故八尾で発達しなかったか?
81300201	荒妙と川田和紙	宇山 清人	阿波和紙伝統産業会館	19880401	徳島	忌部氏は天日鷲命の子孫。木綿(ゆふ、楮の皮で作った布)荒妙(あらたえ:麻糸を織った織物)を献納。川田和紙:高越山。富士製紙企業組合(藤森実、県無形文化財)が藍染め紙開発。山川町に(財)阿波和紙伝統産業会館(昭和63)設立。
81300202	川崎の紙漉(登戸付近)	角田 益信	玉川製紙株式会社	19890801	神奈川	多摩川の紙漉は文化3年に中野島村の田村文平が開始。後、菅村の勇蔵、五反田村の忠左衛門が加わり駿河よ「原料を入れ、唐紙を漉く。明治末、浅草紙(7軒)、大正期、桜花紙(18軒)。昭和初期より機械漉き、戦後、南部、鈴木、進興、神奈川、武蔵野、玉川の6工場で仙貨紙、包装紙を漉くが、現在は丸栄、玉川の2社。玉川の所在地は登戸2768
81300203	土佐物語	朝日新聞高知支局編	金高堂	19740815	高知	p74:和紙/農民パワー:老人や婦人を残し逃散。軍艦工造紙:吉野源太。明治の老兵:一号抄紙機。ジャンボペーパー:神宮紙。テング革命:機械化、高岡丑太郎。風船爆弾。白への挑戦:ガスさらし漂白法。ハッピーコート。裏方さん:県庁に紙業課。紙電車:伊野線の開通。七色守:浜田夫妻の献上紙。美術紙の執念。その他、高知の産物を紹介
81300204	和紙の旅:ふるさと百話	後藤 清吉郎	静岡新聞社	19730201	静岡	静岡の紙の案内としては秀逸。p119修善寺紙:色よし紙と呼ばれる淡紅色(リンボク)染め紙、下学集に記載。p121駿河半紙:清水市両河内、明和期(1760)大門から習得。三楹を利用。p129熱海雁皮紙:五雲箋、五色雁皮紙、今井半太夫が復活、江戸で好評。その他:清沢(茶箱目張り用、溜め漉きに近い)、朝比奈紙、天方紙、阿多古紙、

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300205	九州・沖縄の民芸	高田 一夫	たわら書店	19630901	福岡	p95八女の和紙、昭和38年の八女漉き屋分布図。柳瀬22、忠見6、津之江7、山門東山5、川崎2、溝口1。堤灯、和傘産業と連動、いずれも衰退の方向。民芸協会が支援。使用の和紙は、八女、高田泰一製。その他、小石原、小鹿田など窯が多い。沖縄民芸も紅型、芭蕉布など。
81300206	和紙文化	町田誠之	思文閣出版	19770210	随筆	p116: ガンビ紙の歴史的一考察:ヘミセルロースを含むと抄紙しやすい。楮はセルロースのみを得やすいがそのとき抄紙は困難なため粘剤が必要となった。一方、雁皮はヘミセルロースを多分に含み、粘剤の役目を果たす。当初の斐紙は楮と雁皮であるが雁皮の役割は粘剤的な作用と推察。
81300207	紙漉風土記:代表的時代小説第四巻	小田武雄	東京文芸社	19571200	近世 小説 愛媛 高知	天明期の伊予、土佐が舞台。暴政に対する一機、他所への逃散した時、丈六は、彼の愛人を狙っていた男に崖から落とされる。しかし、勘助に助けられ、部落の娘と結婚し紙漉きを再生する。初出は「オール読物」32年12月号
81300207	代表的時代小説第四巻	日本文芸家協会	東京文芸社	19780730	小説	昭和33年の佳作選集。「紙漉風土記」(小田武雄)の他、「朧夜」(伊藤桂一)「小島代官所」(井伏鱒二)「鬼子母」(土師清二)「異人二十一人」(新田次郎)など
81300208	紙遍路	北条 令子	四国作家の会	19710510	紀行 高知 奈良 産地	四国作家叢書8。紙漉場の訪問記録。癌の手術後の切れのある随筆。三椏の花。和紙礼賛。檀。黄蜀葵。紙漉村をたずねて。紙にふれる。国栖にて。紙遍路。土佐岩原の紙漉小屋(武田三郎の版画)
81300209	紙漉の歌	高山 道之	日本書籍	19431225	詩歌 近代 福岡	福岡県八女郡上妻村出身。紙漉きしながら作歌。牧水門下。p28寒漉「雪明りまぶしくもあるか北向きのさむき窓辺に紙漉きており」「さびしさに今は馴れはて紙漉くと槽の氷に湯をそそぎけり」
81300210	私の和紙地図手帖	久米 康生	木耳社	19750420	名塩 産地	42府県の該当地図と概説からなる。p109兵庫:東山弥右衛門の墓、水上の「名塩川」渡辺の「忘れられた日本史」などを紹介。その他兵庫の紙の記録は、加美、皆田紙(上月紙)但馬紙(豊岡市伊賀谷、奈比谷、美方郡村岡町、浜坂町、養父郡養父町、朝来郡朝来町、生野町、青垣町に紙問屋。
81300211	大和のうるしこし吉野紙	岸田 定雄	豊住書店	19950120	奈良 山形	吉野紙(漆漉紙)の基本文献。丹生の村:才五郎顕彰碑、吉野紙の創始者とされるが不明。漆漉紙は丹生のみ76株。国栖とは別と梶本氏。漆漉紙の漉き方:楮を原料、基本は同じ。舟は広く浅い。漉手は女。一枚ずつ貼りつけ乾燥。仲買人、奈良の紙漉き村の聞き書き。山形県上市市との関係:高松、松本総本家は吉野郡広橋村の松本の子息で寛永年間に伝えたとの伝承。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300212	和紙と日本人の二千年	町田 誠之	PHP	19830210	歴史 名塩	日本人と和紙(歴史、流漉き)みずみずしい和紙(書用の紙、印刷、百万塔、料紙)すこやかな和紙(紙の名前、斐紙、泥入り紙の化学性:粘土とコロイド状態)しなやかな和紙(折り曲げ)世界の中の和紙から構成。粘土微粉がセルロースに吸着して特性発揮。粘土微粒子がネリと混ざり疎水性ゾルに。
81300213	ふるさとの匠と技:中国地方の伝統工芸1	中国電力		19930000	岡山、広島、鳥取、島根、山口	p62大竹、和紙鯉のぼり:大石雅子、防鹿:正木積、丸本イツコ。p192石州和紙、久保田保一。斎藤五郎(郷土史家)p252徳地和紙、山内幸夫、幸彦。河野正(図書館長)杉井杉陽(書道家)。p282因州和紙(佐治村)前田久男、茂徳、尊利。筆切れず。
81300214	ふるさとの匠と技:中国地方の伝統工芸2	中国電力		19941200	岡山、広島、鳥取、島根、山口	p66出雲民芸和紙:安部信一郎「誠実な人、誠実な仕事は愛される」p96横野箔合紙:上田繁男、三極が原料、箔合紙は戦後。p276樫西和紙:小川秀雄、昭和61、久世の町起こしで開始。三極栽培は全国一。
81300215	ふるさとの匠と技:中国地方の伝統工芸3	中国電力		19940600	岡山、広島、鳥取、島根、山口	p116斐伊川和紙、三刀町、井谷岩夫、宝暦年間1750盛ん。現在1軒。「和紙無私二して美浄し」
81300216	造紙の源流	久米 康生	雄松堂出版	19851020	海外、中国	「和紙の源流」の普及版cf1441。cf3690。中国の造紙事情を詳細に紹介。古代紙。原料(麻、構皮、桑、藤、瑞香、木芙蓉、青檀、竹、稲、麦)。加工技術(みがき、粉末、膠、蠟、染色など)、加填法。宣紙。竹紙(殺青)。印刷術。紙郷の広がり(16省)
81300217	土佐紙業史	清水 泉	高知県和紙協同組合連合会	19560331	高知	中世の土佐紙の由来、近世の消長、明治以降の生産品種など詳細に記載。維新前後:大阪市場と三番組、吉井源太の業績(ヤネ入り、郵便半切、白土、簀桁の改良、販路の拡大、普及)。規約。明治期:紙業組合、合資会社、試験場の創設。大正期:土佐紙業会。昭和期:黄蜀葵の特許問題。県紙業試験場設立、配給協議会の設立。終戦後:土佐典具帖紙、県紙業課。昭和26年の統計。
81300218	和紙年表	池田 秀男	三茶書房	19740120	古代 中世 近世	和紙関連文献資料の年表:神武から慶応まで文献と共に記載。また、和紙史考を述べる。和紙つくり。
81300219	越前和紙のはなし	斎藤 岩男	越前和紙を愛する今立の会	19730501	福井 見本 名塩	基本文献。越前和紙の川上御前の伝説。大滝寺。越前奉書。鳥の子。大滝掃部。御用紙。藩札など歴史。紙漉数:246軒(1775)162軒(1789)163軒(1832)132軒(1838)。他国への伝播:1700年、他所への出稼ぎ禁止。東山弥右衛門、日源、矢筒部新左衛門、新右衛門、新之丞、熊谷喜兵衛、善之進、中条善右衛門。紙漉唄など。見本紙5種。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300220	芭蕉と紙子	夏見 知章	清風出版社	19720000	歴史 見本 宮城 石川	紙子の歴史を詳解に説明。紙子の産地として、白石紙子、紀州華井紙子、安部川紙子が挙がる。紙子史は、出家着用、武家、庶民、風流人に分類し、詳細に紹介。芭蕉が記した紙子について網羅した。見本は、白石、二俣の7種。模様付も。
81300221	楮及び楮紙考	成田 潔英	王子製紙(株)	19400226	名塩 紙種 近代 見本	見本の港紙は名塩製。楮に関する論文集。見本(12種)楮文学楮考(関アキラ)楮の栽培と楮皮の生産(矢澤頼忠)楮皮及び三椋皮(佐伯勝太郎)。楮(吉井源太郎、日本製紙論cf768)。紙漉必要(大蔵永常
81300222	紙譜:江戸科学古典叢書5	木村 青竹	恒和出版	17770000	名塩 近世 産地 紙種	p41撰津名塩物品々、漉き返し半切り類。p73名塩松葉(1尺3分×1尺4寸7分)p74藤(ヤク)袋紙;名塩より出るもの下品なり(1尺7分×1尺4寸7分)p77半切紙(5寸1分×1尺4-5寸)p79間似合、数品撰州名塩より漉出す。但し、生漉ものは掛目にて売買す。尤も色紙望みに随いて制す。
81300222	紙漉重宝記 / 江戸科学古典叢書5	国東 治兵衛	恒和出版	17980000	製法 近世 島根 図	1976年復刻。浜田領の紙祖を人麻呂とする。各工程図とその解説から構成される。真楮、楮刈り取り、楮売買、楮蒸し、剥き、干し、白楮売買、皮漬け、削り、灰汁抜き、煮、灰汁抜き、ネリの種類、楮叩、紙漉、その道具、紙干し、裁ち、仕立て、荷造り、浜出し、人丸神社の図からなる。
81300222	紙漉大概 / 江戸科学古典そう書5	木崎 盛標、丹羽 桃溪	恒和出版	17840000	近世 製法 佐賀 図	1976年影印復刻。図と解説からなる。著者は佐賀唐津。主たる図は、楮など材料、楮蒸し、楮売買、楮踏み、晒、干し、叩、紙料調合、漉き、押え、紙干しと道具図からなる。反故から紙つくりにも触れる。
81300223	和紙風土記・筑摩叢書315	寿岳 文章	筑摩書店	19870925	名塩 歴史 近代 産地	歴史と紙郷の記録。2492の復刻。和紙事始、和紙と時代、昭和の和紙から構成。歴史の中での和紙に触れる。名塩はp80鳥の子の由来と名塩薄様がインジアパールの産みの親か。p164撰津の和紙で触れる。
81300224	紙と日本文化	町田 誠之	NHK	19891120	歴史 概説	仏教、王朝文化の中に和紙の歴史を辿る。暮らしのなかで書くための紙だけでなく各種加工品、住まい、着物、実生活の中の紙を語る。紙の科学にも触れる。
81300225	和紙散歩	町田 誠之	淡交社	19940220	随筆	和歌をまじえ、文学作品や史跡を通じて紙の文化をまとめる。特に、染め紙については、べに、藍、むらさき、き、緑、茶、薄墨、黒などページを割いた。化学者ながら文学的博学に関心。
81300226	和紙	東野辺 薫	文芸春秋社	19430000	福島 小説	芥川賞全集3(19820425復刻)。昭和18年下半年受賞作。上川崎村の紙漉き家族を題材にする。生産への執着を縦糸に出征した兵隊の妻となる女を家に入れ、家の者のいたわり、女の気づかいが横糸となる。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300227	津和野ものがたり7 上納紙制度と紙漉哀話	岩谷 建三、池田 潔	津和野歴史刊行会	19761030	島根 民話	1428年頃、藩主吉見弘信が日原町柳、柿木村大井谷に楮植え付け。1601年、坂崎、吉賀澄川与助に命じ肥前、豊後から楮移植。多胡主水、殖産政策。1696年紙が年貢など津和野藩における紙専売制度を詳述。p50義民、仁右衛門父子物語；白髪による検証。
81300228	大日本産業事蹟2	大林雄也	平凡社	18910000	近代 産地 起源	p247各地の起源を紹介。19870825に復刻。土佐製紙。周防楮祖神：中内与左衛門。石見半紙：美濃郡紙村斎藤六左衛門。伊勢稲木壺屋紙：池部清兵衛。長門美祢郡製紙：徳地。美濃紙。紀伊保田紙：吉野。因幡ホウキ製紙：越前より。石見那珂郡製紙：防州広兼又兵衛。伊予泉花紙：兵頭太郎左衛門勝正。石見オチ郡製紙。武蔵江戸唐紙。
81300229	大日本産業事蹟1	大林雄也	平凡社	18910000	近代 産地 起源	
81300230	暮しの紙	山本 和	木耳社	19781220	紙種 名塩 随筆 加工	紙おむつ、半紙、新聞紙、紙幣、ちり紙、紙歌。紙幣：p110名塩紙は印刷特性に優れ、泥土の色違い、雲紙も特徴。偽造防止策として、顔料、スカシなどエピソードも豊富。p123尼崎札。紙歌も興味深い。p200紙漉きの労働歌だけでなく、俳句、短歌、狂歌など幅寛く収集。
81300231	最新紙業提要	成田 潔英	丸善	19530925	産地 名塩	紙の分類、寸法、品質、設備、資材など要領の良い辞書的まとめ。p50和紙の製造。p64和紙の種類と用途：名塩紙は襖紙として箔打ち間似合(130*180)三寸広間似合(130*355)色間似合(125*320)湊紙(127*310、茶室壁腰用)福井、高知の例が圧倒。p154規格。
81300232	手すきの紙郷	久米 康生	思文閣出版	19780530	名塩 産地 紀行	p208間似合紙「名塩川」「忘れられた日本史」で紙伝搬を紹介。類似伝承として、「保田紙」をあげる。この場合、行商人の美男が吉野の紙漉き女をつれ帰り結婚というハッピー-エンド。主要産地(岐阜、福井、高知、愛媛、鳥取)。中規模。点在漉き場と分類して紹介。
81300233	美濃のお民：水上勉全集1	水上 勉	中央公論社	19760601	岐阜 小説	初出「オール読物」(昭和41年2月)「鐘の音」(昭和42、文芸春秋)お民は越前大野の和泉村の出。美濃上牧谷の設楽(しだら)丸右衛門の養女に。
81300234	民謡歳時記(上)	加藤 文三	青木書店	19801001	産地 民俗 名塩	p75紙漉唄：楮草より(高岡郡戸波村)楮打ち(山梨西八代、高知)、紙漉き(越前、愛媛、国栖、飯南、丸森、高知、西八代)。「下京や紙打音も冬枯るる」一茶。福井を訪問。寒天。砂糖締、油絞り、石切、漆搔きなど
81300235	民謡歳時記(下)	加藤 文三	青木書店	19801001		轆轤、酒造り、索引充実(文献、人名、一般事項、植物、動物、民謡)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300236	迷う紙:ふるさと文学館45高知	大崎 二郎	ぎょうせい	19931225	高知	「走り者」に収録(cf1407)「…人はそれをこの上もなく美しいという…だがしんじつそうか…伝統的工芸品産業だ?キワニス賞だ?…紙すきにとって何なのだ…白濁のめまいをいえ。…たぐってゆけば逃散紙一揆にはじまる…これが紙かよ、まるで絹かよと思うほど美しいのお。とほめられて 大の男が顔をあからめ…今日限りの和紙をいちまいいちまい漉きあげていく」
81300236	土佐の和紙村:ふるさと文学館45高知	壺井 栄	ぎょうせい	19931225	高知 紀行	cf2375:p67手漉き紙、障子紙で日常から導入。百円紙幣廃止に絡み三椏栽培業者が業がならず、家出娘を例にあげる。近藤慎二「三椏の花」。紙工場は漉手の冷たさと乾燥の暑さを対比して、厳しい労働を表現する。土佐訪問記。三椏の花の時期に訪問。当時、三椏業者による百円紙幣の廃止運動とのからみが面白い。ここに働く女性に焦点を当てる。日当はニコヨンの半分、しかし、澁刺としているという。
81300237	宇部市史 上	宇部市史編集委員会	宇部市史編集委員会	19921128	歴史 山口 郷土	通史2巻、資料2巻、年表からなる。旧版も有。上巻p763近世、商品生産の発達。変化を瀬戸内沿岸、山間部、街道筋で追う。p781紙は宇内、上小野で収入として半紙、漉返し2貫700(6.9%)が挙がる。市宇野は極わずか。商品生産は木綿織が全域に。下巻p45生業(M13)、厚狭郡半紙30000束、半切紙、塵紙があがる。p193副業(T5)小野半紙1300㍻(32戸)障子紙600㍻(5戸)昭和は記載ない。総じて農業記載少ない。
81300238	宇部市史 下	宇部市史編集委員会	宇部市史編集委員会	19921128	歴史 山口 郷土	通史2巻、資料2巻、年表からなる。旧版も有。上巻p763近世、商品生産の発達。変化を瀬戸内沿岸、山間部、街道筋で追う。p781紙は宇内、上小野で収入として半紙、漉返し2貫700(6.9%)が挙がる。市宇野は極わずか。商品生産は木綿織が全域に。下巻p45生業(M13)、厚狭郡半紙30000束、半切紙、塵紙があがる。p193副業(T5)小野半紙1300㍻(32戸)障子紙600㍻(5戸)昭和は記載ない。総じて農業記載少ない。
81300239	中国の紙と印刷の文化史	銭存訓 久米康生	法政大学 出版局	20070309	海外 中国	緒論、紙の性質と変化:蔡倫前の紙について言及、造紙の技術と方法、紙の用途と紙製品:印刷、筆記以外の利用についても解説、中国印刷術の起源と発展。中国印刷の技術と工程、中国印刷の芸術性と図絵、紙と印刷術の西伝、紙と印刷術の東漸と南伝、紙と印刷術の世界文明への貢献から構成。
81300240	森の名人ものがたり	森の聞き書き 甲子園実行委員会	アサヒビール(株)	20051231	岡山 愛知	p190備中和紙の創始者に訊く紙づくり(丹下哲夫、聞き手赤松加奈子)方言での聞き取り。21年養子、昭和25年ビーター導入。湯野村備北製紙設立(愛媛県から人)大正10年倒産。清川内で手漉きは一人。煮熟は炭酸ソーダ。土佐流は手前からすくい手前に落とす。伊予は手前ですくい向こうに捨てる。塵がつかない。昭和39年倉敷に、平成16年県重要文化財に認定。p207草木染め、紙漉き(水野美代子、豊田)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300241	鹿児島県の工芸	飯田 正毅	春苑堂書店	19820310	鹿児島	p130蒲生和紙の生い立ちと技法を紹介:薩摩藩では生産が藩の統制下。下級武士の救済策。蒲生:1647年家老島津久通が創設。楮蔵を字川東に設置。3月納入。共同組合的組織化。部落毎に和衷共同の責任。明治17年297戸が従事。35年和紙組合設立。昭和19年46人。戦後復員者により復活したが障子紙のみで年末の需要のみ。金回りつかず衰退と。野村氏「パルプ入り書道紙」に疑問。
81300242	日本技術の社会史第一巻:農業・農産加工;和紙	高埜 利彦	日本評論社	19830515	福井 近世流通	p240越前和紙の近世を中心に記載。紙座の解体と新興漉屋の進出:紙座(1575)、三田村氏。贗紙と他国売り禁止。紙会所制度と問屋前貸制度。運上金と漉き屋の保護の両面の機能。漉屋の下請け化。商人資本の没落と物産総会所。その他農産加工品(酒、醤油、燈油、蠟、砂糖)
81300243	静岡県の職人衆	杉山 正	静岡新聞社	19840612	静岡	p79紙漉き用簀桁(藤波博平、56)興津中町。父新吉は漆職人。「漆塗り簀桁」を製作。「口を動かすより手を動かせ」。145cm*80cmが多い。ひごは40cm*0.7mm。2800本必要。「玉」(分銅)は桜材で鼓型(2cm)。ひごは四国。高橋房美(85)から購入。桁は木曾檜。萱簀の復元目指す。
81300244	フランク・ホーレーと和紙研究/生活文化研究所年報8	横山 学	ノートルダム清心女子大学生生活文化研究所	19941209	島根、宮城、目録	生活文化研究所年報8:フランク・ホーレー氏収集和紙関係文献目録、422件、矢富熊一郎との出会い、紙漉重宝記、白石和紙との出会いを書簡などで検証しながら論述する。「日本紙漉きに関する国東治兵衛の論文」を再録。
81300245	越前和紙に生きる	武安 正行	わがみ堂	19991105	福井 自伝	福井県和紙工業協同組合事務長、今立町和紙の里会館館長を歴任。生い立ちからの自伝。
81300246	北陸ゆかりの手仕事	水木 省三	楓工房	20060701	富山 福井 石川	越前(五十嵐美佐子、岩野市兵衛、長田和也)、加賀雁皮紙(加藤瞳)、五箇山(宮本友信)、二俣(斎藤博、小松秀雄)、八尾(吉田泰樹)若狭(芝三津男)
81300247	新たな生きる方 伝統工芸職人の道	山下 英一郎	学苑社	19940930	名塩 産地	取材編:秋田杉桶、雪村うちわ、日光下駄、藤岡鬼瓦、豊橋筆、長浜轆轤、京くみひも、紀州漆器、大川桐箆、久留米漆器、沖縄。アンケート編:紙漉きはp250高松手漉和紙(上山市)、内山紙、越中和紙(八尾)、揉み唐紙(草津)、近江雁皮紙、国栖紙、石州和紙(10万円)、出雲民芸紙(日給4200円)、伊予手漉和紙(川之江)、土佐和紙(0円)、八女手漉和紙(10万円)p315名塩紙:後継者必要なし。特殊で。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300248	山鹿灯籠 肥後の和紙	森川 恒臣	古閑 一夫	19670810	熊本 福岡 見本	松本清記翁(山鹿灯籠製作者)米寿記念誌。灯籠師系譜。p124灯籠紙製作者、松尾繁記(明治29年生、八女柳瀬):天日干し板は銀杏。椿葉で撫でる。p157紙:和紙は山鹿手永、南関郷産。天保は藩の紙会所。p159紙不在:八女の松尾、三加和村和仁福原志江(70)、重唐紙(しげどう、中国産薄手染色紙)p194肥後の和紙:歴史。p205八女
81300249	技術文化史12講	下間 頼一	森北出版(株)	19830405		p147紙と筆五千年の歩み:記録法(タブレット、パピルス、パーチメント、バイタラ、蠟板、木版、紙と筆、木簡、竹簡、絹、植物繊維紙、漢代の古紙)。p169紙の世界一周二千年旅行:紙の西進(カーターの書)757年サルカド、794年バクダット、1040年頃トリポリ、1150年パティル、トド。1157年仏。1276年伊ファブリア/紙透かし、上質の水彩画紙。1370年オーストラリア、1390年独コテンバルク、1405年ベルギー、ユイ、1494年英ウエストミンスター、1690年米フィラデルフィア。東進:久保田氏の写真。
81300250	トコトンやさしい紙の本	小宮 英俊	日刊工業新聞社	20011228	概論 名塩	紙の一般解説。製紙が主。紙の歴史、紙の性質。身近にある紙、変わった紙。紙を守る・紙で遊ぶから構成。初期の技術:朝鮮で紙が作られたのは4-6世紀。無垢浄光陀羅尼経は世界最古の印刷物(751)。欧州は簀は、針金、たわまないようにリブ(肋材)さらにすき枠(デッケル)を使用。名塩と土佐七色紙の伝説を紹介。
81300251	かみのしごと	萩原 百合、大谷道子	(株)ラトラス	20041215	岐阜 見本	美濃紙漉人と紙を豊富な写真で多面的に紹介。上野(うへの)地区の15名。石原英和(S10生)市原智子(S16)太田秀雄(S8)太田弥八郎(S9)後藤明(S5)澤村正(S5)本美濃紙、家田美奈子(S51)鈴木豊美(S27)加納武(S47)沢木健司(S55)倉田真(S54)高橋まゆみ(S43)長谷川聡(S39)喜代子。保木成敏(S42)。
81300252	伊勢型紙と染織暦譜:骨董縁起帳2006秋冬	与野 冬彦	(株)光芸出版	20060000	三重	p32地紙は和紙を2,3枚柿渋で楮の繊維が縦横交互になるよう張り合わず。歴史年表付。室町中期から始められたと。1595年型紙商は127人の記録残る。九鬼、高虎、徳川と変遷。諸権利確保。特に明治以降の記載は詳しい。
81300253	白の豪商たち	阿子島 雄二	株 山一	19690101	宮城	紙と紙布・繭と生糸を担った人々:白石の名産は紙、饅頭、生糸。白つながり。大内氏の古文書を解析。産業の変遷は日本資本主義発達史の縮図。p43紙の経済史。文献初出は毛吹草。その後、片倉代々記(1659)他領出を禁ずる品(1669)和漢三才図会、奥羽観跡聞老志(1719)封内土産考(1719)紙布は縦糸に絹、横糸に紙糸。絹は移入で調達。綿の輸入により壊滅。養蚕に転業。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300254	蔵王山麓風物誌	菅野 新一	萬葉堂書店	19740530	宮城	こけし、白石紙、民俗探訪。p71白石の和紙：刈田郡：1602年片倉小十郎が拝領。藤兵衛が中目村に移住。越前、藤松、吉二、次久を招聘。白石に二七市。明治以降、片倉家が蝦夷開拓に移住、自滅。昭和49年で計14戸。鷹巣遠藤氏。伊具郡：福島の流れで開始か。p88越河(こすごう)の塵紙漉き：ヒカス(楮の外皮を引き取ったカス)を自然発酵。伊具郡から購入。明治30年頃まで落とし紙で。p92紙子(紙衣)p100紙布(宮城県史参照1177)
81300255	越前紙すき歌：福井県の民話：県別ふるさと民話41	日本自動文学者協会	偕成社	19830300	昔話 福井	現代民話。今立郡今立町。奉書「お殿さまでも將軍さまでも五箇の奉書の手にかかる」太政官札紙「五箇は太政官じゃご金札御用じゃ、かさをぬがんせ木戸のうち」川上伝説「清き心で清水ですいて、ほした奉書の色白さ」岡本神社「神のさずけをそのままついで親も子もすく孫もすく。川上さまからなろうた仕事なんでちゃかばか、かえりりよか」
81300256	高知県の民話	日本児童文学者教会	偕成社	19780600	高知	p86タヌキの紙すき(吾川郡)加田の里。成山の紙漉きの秘密をもらったものは処刑にあう。新助は成山から加田の伊五六に養子にくる時も同様であった。伊五六はタヌキが紙漉きすると言う。たぬきの手法についつい手助け。成山の手法をたぬきと思い手を貸す。加田で紙漉きは繁盛するが、たぬきから伝わったことになっている。と。
81300257	山口県の民話		かい成社	19810501	民話 山口	p54紙すき毛すき：津和野の話と類似。周防のあわれな話として紹介。主人公は弥兵衛。悪徳代官の仕打ちに紙の自分の毛を漉き込み証明するが、打ち首に。紙専売制の一面を伝える。
81300258	紙すきのうた：県別ふるさと童話館30	木暮 正男	リブリオ出版	19990830	和歌山 小説 近世 紙祖	cf1741：和歌山県有田郡清水、保田紙を題材。山保田の荘の庄屋笠松左太夫は、大和の古沢や五条、下市で紙漉きを学ぼうとしたができません。帰村後、若者3人(多吉、良助、平太)を派遣、各々嫁を得て帰村、紙漉きを始めた。殿に献上。保田紙隆盛となる。左太夫は1672年没。
81300259	紙をつくる	小林 一夫	大月書店	19890330	子供 埼玉 概論 製造	著者は「ゆしまの小林」「おりがみ会館」安政5年創業。4代目。染色は自然光の元、仕事は5時まで。紙の概略。ティッシュで紙づくり(模様入りはがき、七夕紙、花の漉きあわせ、打ち曇、雲竜、墨流しなど。
81300260	紙すきの村：しゃかいの絵本18	仁科 琴児 市川 禎男	ポプラ社	19720520	絵本 埼玉	小川町。紙の製作工程を辿る。絵本
81300261	和紙：越前和紙 シリーズ日本の伝統工芸1	武安 正行	リブリオ出版	19870410	福井	工程毎写真を多用して紹介。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300262	山のかあさんと16びきのねずみ	大川 悦生	ポプラ社	19720300	絵本 東京	息子を赤紙一つで戦地に送った母はもくもくと紙漉きに励む。ねずみが手伝った紙にはねずみの尻尾模様があり、夕日に映え好評を得る。藩政の白髪を漉き込む話をモチーフにした絵本。
81300263	紙:「もの」と「ひと」シリーズ6	善本 知孝	フレーベル社	19860100	概論 子供	歴史:中国で誕生、ヨーロッパへの伝播。印刷技術との関連。木材パルプと近代製紙。和紙の誕生。日本の近代化。技術:紙の特性。紙の種類など。
81300264	和紙を漉こう:ほじまりのもの体験シリーズ4	宮内 正勝	(株)リプリオ出版	20030310	概論 歴史 加工	牛乳パック、楮、わら、笹などから紙を漉く技法を紹介。p37ホームページの紹介:髪への道、和紙の部屋、紙のホームページ、紙と森のエトセトラ、紙漉き大漉き、好き好き紙漉き、九州の手漉和紙と紙漉き人など。
81300265	安部栄四郎記念館		安部栄四郎記念館	19831004	島根 名塩	作家コレクション(柳宗悦、バーナード・リーチ、浜田庄司、河井寛次郎、富本憲吉、芹沢ケイ介、棟方志功、平塚運一、山下清など)紙製品、民芸、書籍、紙用具コレクション。名塩紙、谷野の簀あり。
81300266	日本の技6 / 近畿に薫る技の華	岩井 宏実	集英社	19831010	名塩、奈良、滋賀	p64近畿の和紙(柳橋真):名塩紙を「ひたむきさゆえの苦難」として紹介。吉野の昆布氏の写真。p132青花紙のこと(辻村次郎)p162兵庫の製品で紹介。越前からの和紙の製法に加え石粉を混入する独特の技法を開発。光沢の良い紙を作った。
81300267	美濃紙の今	大滝 国義	美濃紙を愛する会	19960310	岐阜	作り手の素顔と副題する写真集。紙漉き。蕨生(19軒)上野(9軒)片知(4軒)。道具作り(金具、装置、桁、刷毛、箕、漉き舟)見るからに高齢者が多い。若手は長谷川夫妻のみ
81300268	職人 / 仕事と暮らし、土農工商 / 太陽コレクション	奈良本 辰也	平凡社	19790825	近世 福井 三重	住まい、食べ物、装い、趣味の品をつくる職人を紹介。紙関係は、三重白子の型紙、今立の和紙。他に見本、千社札、許可書、錦絵あり。
81300269	和紙の製造・板紙の抄造	小路 位三郎、帯川安彦、高橋邦夫	紙パルプ技術協会	19681217	製造	紙パルプの製造技術全書第7巻。和紙の製造、原料、製造、機械すき和紙、特殊施工、性質の論立てで種々の技術改良、進展を含めて論述する。特に機械すきにおける抄紙機(円網ヤンキー、短網ヤンキー、懸垂式短網など)機械を図入りで紹介する。
81300270	ふくしまの和紙	安斎 保夫、安斎宗司	歴史春秋社	19790000	福島	安達郡上川崎村の歴史を辿る。記録から検証。藩政時代、川崎紙:二本松藩の地障子紙(8.3寸×1.8尺)で年貢の対象。紙漉札(82枚)を発行。岩城紙:棚倉藩、上遠野紙。会津藩:出ヶ原、河口、西勝、西方、小出。信達地方。明治7年物産表では福島は第3位。遠野紙が中心で蚕原紙、半紙。野地勝吉が技術導入。明治後期には衰退、蚕、石炭に。東野辺薫「和紙」

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300271	紙の流通史と平田英一郎		紙業タイムス	19880330	流通 歴史 近世 名塩	p57江戸時代と和紙 / 紙商について詳しい。p62名塩紙。紙一揆:1598-1845で60件、内防長は50%を占める。藩札:1661福井藩1675松江藩は越前導入。株仲間:1766紙商仲間(独占権と冥加金)1841解散1851諸問屋再興令、大阪の紙商は再建に動かず1865から動くが維新で打撃。「ヨ州府志」宿紙とネリの初出。平田は中井商店を再建。日本紙パルプ商事(株)に。
81300272	本の正座:独語と対談	寿岳 文章	芸しゅう堂	19860201	随筆	書物美の原点として紙を取り上げ、和紙とわたくし、和紙礼讃、和紙の工芸性、和紙復興の4作品と対談を掲載。書誌学の原点は書物の初版の特定が重要、そのため、西洋紙では透かしを検証材料としたと。
81300273	筆・墨・硯・紙	植村 和堂	理工学社	19770601	概説	紙の起源、パピルス、中国の紙:種別に解説。日本の紙:書道に関連して、種別、歴史的な文献に表われる紙について解析して解説する。
81300274	七色紙誕生の謎を追う	北村 唯吉	南の風社	19981120	高知、見本	土佐和紙の七色紙誕生のもう一つの仮説を紹介。養甫、家友、新之丞を各々見直す。
81300275	日本産業発達史の研究	小野 晃嗣	法政大学出版局	19810525	歴史、流通、中世、近世	原本は昭和16年発行、中世の動向、文献に詳しい 上代、中世の生産地 / 市場 / 販売機構、近世
81300276	木から紙になるまで	成田 潔英	丸善出版(株)	19470630	製法 産地 名塩	子供向きの解説書とは言え、読み応えある。歴史を紐解き、各地の紙を紹介。名塩鳥子が例に。洋紙製造はM5、襷襦から、M21パルプからの一貫工場(気田)、戦争が新聞の増刷に。和紙の製造は詳述。工程毎、素朴な図を添え説明する。
81300277	農村地域の工業化	山中 進	大明堂	19911116	熊本 福岡	p153地方農村の工業化(1)筑後農村の和紙業:幕末から明治14、東洋紙成立、中国と取引。明治末まで、急速に発展、協同組合、模範工場。大正期、中国閉塞、江下家没落、和唐紙、京花紙へ。1928年、機械製紙。戦時統制、気球紙。戦後、産地診断。(2)熊本県城北地方の農村と和紙業:玉名、鹿北、菊水に朝鮮式紙漉50年足らずで衰退。明治期は漉返紙、養蚕や楮原料産地に。
81300278	和紙文化史年表	前川 新一		198000 00?	福井、高知	吉井源太、真柄武十郎、加藤覚太郎、西野弥平次、高野治郎および五箇村の比較年表。
81300279	匠のこころ	吉田 甦子	東方出版	19980305	京都 滋賀 三重	p18黒谷和紙(石角蝶)p28揉唐紙(松田喜代次)滋賀県草津、元は京都「唐喜」(唐紙問屋)小揉、中揉み、大揉み、榛原揉み、大倉揉み、菊揉みが基本。p222伊勢形紙(今坂国雄、中島嗣雄、中辰)
81300280	父と娘の歳月	寿岳 章子	人文書院	19881220	随筆	寿岳章子と文章の対談、和紙の旅、安部栄四郎の死、和紙辞典など対談形式で語る。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300281	日本紙の話	小栗 捨蔵	早稲田出版部	19530605	名塩 産地 概説	p30中山の「名塩紙」をベースに紹介。弥右衛門の碑文。口碑の紹介。名塩紙：鳥子(土混入小)、間似合、湊紙(青縮/アオサビ、柿縮/カサビ；イ力墨で染め)、藩札。p162鳥の子の由来：色or産地。広益農工全書「摂州名塩の産亦佳也。之を名塩紙という」p174間似合：抄紙法は鳥子、間似合は溜漉法、葉袋、塵は流漉法
81300282	日原の民俗資料	大庭 良美	日原町教育委員会	19860331	島根	p120紙漉き：明治20年代楮にかわり三椏紙。昭和48年下森芳右衛門の死により日原の紙漉きは終わった。紙漉き用具の写真あり。
81300283	岐阜県手漉紙沿革史	森 義一		19461025	岐阜 歴史	美濃紙の基本文献。和紙製。美濃紙の来歴：上代(官設抄紙場)、中世(大矢田の紙市、武儀の紙祖伝説、飛騨紙の起源)。近世(生産地と紙、幕府「御用紙」、尾張、大垣、苗木藩御用紙)。明治以降(美濃紙会社、万国博、紙ナプキン、紙業指導所、原料統制、親方制度、養女奴隷の崩壊)
81300284	藩史大事典 / 第5巻近畿編	木村ほか	雄山閣	19890420	歴史、名塩、近世	近江、山城、大和、摂津、河内、和泉、紀伊、丹波、丹後、但馬、播磨からなる。摂津国の尼崎藩：1670年銀札発行。1769年幕府は西宮、兵庫津、灘目公収、経済力激減。1828年名塩村など替え地。1850年、名塩紙の専売制失敗。藩年表あり。
81300285	彩飾和紙譜	久米 康生	平凡社	19940808	加工	加工した和紙の通しての文化誌。生活文化材としては書写材。基礎加工法は抄紙工程では、染色、漉模様、土、糊、米粉混入。成紙の二次加工では張り合わせ、寒天、蠟、明ばん引き。油、漆、柿渋塗布。染色、もみなど。用途として、文化記録。工芸素材。住居建具。生活用品。産業素材。
81300286	江戸時代人づくり風土記、兵庫	酒井 一	農山漁村文化協会	19981012	名塩、兵庫、近世	p64天明4年、小浜、米谷、生瀬で打ちこわし。p128名塩紙専売と尼崎藩p162名塩紙の略歴、杉原紙。p202名塩蘭学塾。p215摂津関係の地誌：有馬温泉関係：有馬縁起、温泉湯治養生記、摂州有馬湯記、有馬湯治日記、有馬地誌、有馬私雨、有馬大鑑迎湯抄、有馬名所鑑、有馬山温泉小鑑、有馬山温泉記、有馬山温泉記追加、有馬温泉手引草、有馬温泉古由来、有馬勝景図、有馬日記、有馬温泉効能略記。摂陽群談、摂津志、摂津名所図絵
81300287	江戸時代人づくり風土記、島根		農山漁村文化協会	19941031	島根 近世	p55紙で大きな収益をあげた津和野藩の産業開発：家老多ゴ氏の主人畑(もんどはた)山畠開発と楮植え付け。寛文5、紙の専売仕法。元禄9、米に代えて紙の納付を許可。p92石州半紙と遠田表で農山村に産業進行：国東治兵衛「紙漉重宝記」益田遠田にしょう徳碑。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300288	江戸時代人づくり風土記、山口	小川 邦治	農山漁村文化協会	19981012	山口、近世	防長四白(米、紙、塩、燻蝋)撫育方(宝暦)1631年請紙制。1831年7月26日天保一揆、小鯖村から。p104山代:中内右馬丞(1555 - 58)安芸から。岩国:1573年-小瀬村柚木迫の太郎右衛門、上方から「小太」の検印。1596年-玖珂野口の庄屋清左衛門、岩国の米屋助左衛門が石見から楮を導入、1688 - 渋前村(美和)の広兼又兵衛、紙祖村、斉藤六左衛門から製紙を。1688 - 1716年が最盛期(10000丸)、1850年には2000丸に。茶に転換。
81300289	日本職人史:4職人の現在		雄山閣出版	19920320	産地 埼玉	11紙漉:大日本物産図会(越前、駿河)。諸国名産図絵巻(常陸佐竹)。少年工芸文庫(製紙の巻)。小川和紙の工程毎写真。
81300290	紙の造形:紙づくりから作品製作まで	黒崎 彰	六耀社	20001109	概論 加工	紙の制作から紙を利用した作品づくりの手引書。p42薬品の使用目的と使用量など具体的な記載、写真説明が多い。著者は京都精華大学芸術学部教授。
81300291	江戸事情第二巻産業編	NHKデータ情報部	雄山閣出版	19920120	名塩 島根	P113和紙:「製紙勤労之図」「紙漉重宝記」「紙漉大概」から引用。工程を説明。紙屋。紙衣づくり、唐紙づくり、団扇、扇地紙売り、名塩紙の漉き場(西宮市立郷土資料館)の紹介。
81300292	伝統工芸品銘鑑	サンケイマーケティング	サンケイマーケティング	19830318	産地 徳島 鳥取 福井 高知	p164伝統工芸指定日、業者数、従業員数、売上、その他の順:阿波和紙(19761212、6社、40人、12千万円、染紙)因州和紙(19750510、53社、478人、166千万円、書道、画仙紙)内山紙(19760602、53社、148人、9千万円、障子紙)越前和紙(19760602、92社、850人、80億円、局紙)大洲和紙(19771014、6社、60人、15千万円、書道)土佐和紙(19761215、50社、180人、39千万円、典具帖、清帳は無形)
81300293	文房四宝 4 The 紙	埼玉県製紙工業試験場	日貿出版	19850220	埼玉 製法 名塩 産地	産地の歴史と現状を記す。工程の写真と解説。地元では、東秩父村の生産用具を写真で。埼玉県小川和紙標準技術指針(昭和33年、埼玉県製紙工業試験場)は工程を追い、詳細に規定。p32名塩/起源、現状、特徴と種類をあげる。(雁皮、土、男の座り漉き、溜め漉き)
81300294	紙の大百科:デザインの現場112号		美術出版社	20001110	概論	紙の文化誌:紙の誕生とその歴史(小宮)和紙が物語る日本文化(かや野)紙好きによる紙の本(竹田)欧米の手漉紙(阪本)近代製紙業の歴史(四宮)現代生活と紙:暮らしのなかで出会う紙(小林)紙幣のはなし(植村)情報・資料:知って得する基礎知識(原)紙の種類いろいろ(原)紙の文献リスト(竹田)インターネットで探す紙の情報
81300295	福井県和紙工業協同組合五十年史、本編	前川 新一	福井県和紙工業協同組合	19821010	福井、近代	明治以降の岡本史。1868年太政官札抄造に始まり、越前和紙の盛衰を伝える。1900年重要物産同業組合法の制定を契機に組合結成の動き。1898年福井県岡本村製紙組合、越前製紙を経て、1929年福井県和紙工業協同組合の前身越前製紙工業組合設立。初代理事長は岩野平三郎。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300296	「紙」の大研究4:紙の実物図鑑	岩崎書店 編集部	岩崎書店	20040420	産地 見本	4巻シリーズ:紙の歴史、紙とくらし、紙をつくろう、紙の実物図鑑。パピルス、画仙紙、越前雲肌麻紙、本美濃、土佐薄雁皮、黒谷三椏、黒谷竹、小川強勢、備中提灯、麻入り、杉皮、内山障子、土佐典具帖、伊予奉書。および各紙解説からなる。
81300297	西の内紙	山方町教育委員会	山方町文化財保存研究会	19760401	茨城、歴史、流通、製法	西の内、水戸藩
81300298	手漉和紙が出来るまで	丹下 哲夫		19781015	岡山 見本	備中和紙の和紙原料、糊、及び和紙の制作工程を中心に記載。清川内紙(せいごうち)の沿革:岡山県川上郡平川村、高梁川の支流、地元の障子紙を中心に販路。丹下氏の半生:平川で生まれるがダム建設で倉敷に移転。備中和紙と命名。見本紙は23種染め紙も多く含む。
81300299	詩集和紙抒情	蘭 繁之	平野	19811101	青森 詩 島根 埼玉	限定本(115/200)和紙抒情と少年時代から構成。三椏の花、漉く、出雲和紙、紙漉村点景、水選場、板干し、秩父紙漉、木目が美しく、紙をすく村、安部家付近、風花が舞う、摺師浄土、手風呂、漉き船、獅子舞、漉部屋、新緑の紙漉村、紙叩き、水、雪晒し、阿武隈の紙、細川手漉和紙、紙漉を念ず、和紙、楮の紙、黒皮剥ぎのこと、白皮をつくること、
81300300	和紙をつくる職人さん、小川和紙	灰崎 武浩	ポプラ社	19980400	埼玉	小川和紙を写真と説明で児童向きに構成。日本の職人さんのシリーズ5。久保証一氏。原料から工程順(かしき、かずひき、かず煮、かずさあし、かずうち、流しすき、ためすき、すかしすき、かんだしぼり、紙ほし、紙そろい。)に写真と解説。
81300301	手漉き和紙	中森 時人	トーレン出版部	19831008	概論 福井	名塩 和紙の解説書。製造工程など福井今立が中心。
81300302	紙と漆:伝統と復活	喜多 俊之	六曜社	19990323	岐阜 島根	福井 漆と和紙の二部構成:p73和紙文化とその暮らし、21世紀の和紙は(浅野昌平)「奥の細道」の原稿は雁皮紙製。和紙との出会い(喜多)イタリアの照明「TAKO」「KYO」は美濃和紙を使用。古田氏との出会い。「紙漉家に生まれないと本当の紙は漉けない」と。写真豊富。他に越前和紙、広瀬和紙。
81300303	別冊太陽、和紙	吉岡 幸雄	平凡社	19821025	統計、概 説、産地、 目録	生産者統計、原料調達先、用途を記載。業者数586、総数は福井、岐阜、高知。漉舟数は鳥取、福井、愛媛の順。名簿で名塩は4名記載。百万塔などの古文書、紙の製品を写真構成。寿岳、河田、久米、町田、辻が一文寄せる。人物として福永普男(甲斐)内藤恒夫(富士)志村朝夫(笠間)を紹介。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300304	伝統工芸の美「人間国宝」	鈴木 琢次	文芸春秋	19760101	三重 福井	p78型紙：児玉博、城之内みえ、中村勇二郎、六谷紀久男、南部芳松 p160越前紙すき村の名匠(水上勉)岩野市兵衛を紹介。「弥陀の舞」のモデル。他に小原鉄心の美濃「広瀬紙漉歌」を引用。紙漉きの女の姿は、髪もくしけらず、ひび割れから鬼に似たり、という。
81300305	文房四宝集	松尾 和幸	松栄出版(株)	19790630	産地 見本	埼玉(小川)山梨(西島、隣に雨畑硯)岐阜、奈良、福井、鳥取(因州青谷、佐治)島根(石州和紙)愛媛(川之江、大洲：沼井氏は広島大学工学部出。、紙漉重宝記に「技術たちまち伊予に伝われり」とある)高知を紹介。
81300306	桑田笹舟の世界	谷口 光政	創林書房	19850624	書道 福井 滋賀	書業70年米寿記念。明治33年福山生れ。一楽書芸院。p89料紙こそ書の世界。料紙は田中親美との出会い。岡本、岩野平三郎。桐生、成子。和紙は後継者育成ができない。勤が肝心。良い紙ができた。
81300307	和紙の歴史	穴倉 佐敏	(財)印刷朝陽会	20061115	名塩 歴史 産地	基本文献。和紙の製法と原材料を中心に丹念に技術変遷を拾う。紙の原料の分析に科学の目。技法は溜漉き、半流漉き(西日本、薄手、黄蜀葵少)、流漉き(東、厚、多)に分類。名塩紙：p84藩札への利用に相模、小田原、尼崎を明記。藩札専用の漉き枠を持つ。p136安部巡歴より、細い雁皮に大量の粘土、不透明、地合良し、水の吸収に間、繊維結合強いと評。
81300308	お札の紙から見た紙の世界	森本 正和	(財)印刷朝陽会	20040430	歴史 名塩	紙以前の記録材料、紙一般、日本の紙と原料の変遷、木材紙、p86非木材紙：間似合紙、1278年日記に間似合紙の紙名、名塩雁皮紙は平成14年7月8日重要文化財に。箔打雁皮紙：金箔は東久保(白)銀箔は蛇豆土(茶)を混ぜる。第三の紙、紙と原料の歴史、紙と文化：p151百万塔陀羅尼。p177風船爆弾：作業は国際劇場、日本劇場、東京宝塚劇場、国技館。p178手漉和紙
81300309	和紙に生きる / 安部栄四郎	浜川博編	五月書房	19781105	島根	安部の紹介「念ずれば花ひらく」。柳宗悦、寿岳文章、棟方志功、濱田庄司、河井寛次郎、バーナード・リーチ、芹沢けい介、浜川博が投稿。安部は富本憲吉さん「出雲民芸紙譜、出雲民芸紙覚書」を出筆。「出雲の紙」などからの抜粋。
81300310	和紙と日本画展：岩野平三郎と近代日本画の巨匠たち	八百山 登	福井県立美術館	19970603	福井 見本	開館20周年記念。見返し紙は岩野作。岩野の画紙作りを辿る。内藤湖南、竹内、横山、下村、小杉、河合、山元、安田ら。雲肌麻紙。書簡資料を掲載。
81300311	和紙の絵本：つくってあそぼう27	とがし ろう	農文協	20080331	製法	作ってあそぼうのシリーズ、原料、製法を絵入で紹介。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300312	備中和紙 後に続くを信ず	丹下 哲夫	吉備人出版	20091016	岡山 見本	生い立ち、和紙造り入門、清川内川の由来とその後、和紙造りの心と技、和紙原料の栽培と収穫、「のり」の原料、和紙の作り方と道具、製法細部(煮熟、晒し、塵より、叩解、紙漉きに備えて、流し漉きの技法、漉き手の心得、脱水の心得、乾燥、手切法、染色、填料混入の紙、補助原料混入の紙)、清川内紙中折について、備中染。心得:基本の忠実であること。一枚漉くのは一枚分の時間を費やす。
81300313	19世紀の和紙展図録		19世紀の和紙展実行委員会	19981000	明治、産地、名塩	ライプチヒのコレクション帰朝展。p41ウィーン万国博覧会出品和紙目録:1873年、100点保管。名塩からは金地紙、内曇鳥の子紙、大判白鳥の子、西洋紙紛即薄鳥の子、葉袋紙、五色間似合、五色紙即七夕紙、青間似合紙。p57ウィーン以降の加工和紙:薄様、典具帖紙、染め紙。p67襖張り用として名塩の土鳥子を紹介。千代紙、唐紙。金革紙。羊かん紙。
81300314	海を渡った江戸の和紙	久米 康生、小宮 英俊	紙の博物館	19940000	近世 産地 図録 名塩	パークス・コレクション展の図録(94年)p57染め紙(282*210mm)摂津産赤黄萌黄青の4種。p60葉袋紙(308*430mm)摂津産、土佐特産で雁皮原料。スオリ、ヤマモミ混和染料で染色、天日干して茶色に変化焦げ紙とも呼ばれる。留紙であったが名塩で模造盛ん。
81300315	紙の博物館収蔵品	紙の博物館	紙の博物館	20000600	図録	創設50周年。1873年王子に「抄紙会社」設立。1950年製紙記念館設立。1965年紙の博物館に。1996年移転。資料数17500件。図書7900冊。図録には330件を紹介する。特別展を開催。百万塔と陀羅尼。大般若経。若一王子縁起絵巻。製紙勤労之図絵巻(1861年頃)。越前紙漉図絵巻(1931年)。聖徳太子御影(1972年)用紙は因州。孔雀明王像(1990)用紙は岩野。大川鉄雄藩札コレクション。
81300316	防長産業の歩み	山口県立博物館	山口県教育委員会	19811001	山口 統計	p83第二章紙を漉く:歴史、防長の和紙生産/請紙制(うけがみ)萩1631年、岩国1640年、徳山1665年。楮石/寛永検地で約20000石、山代和紙、徳地和紙が主。阿武川福栄、川上、旭。田万川、須佐。奥阿武、鈴野川、小川、友信。厚狭川、大嶺、伊佐、於福、山中。木屋川、大河内、台、今出、地吉など。明治以降の和紙)技法と特色から構成。和紙生産統計あり。
81300317	図書目録		紙の博物館	19950910	目録	昭和63年3月末現在の蔵書目録の合本。パルプ・製紙工業、工芸、伝記など蔵書多い。
81300318	図書目録(下)		紙の博物館	19880825	目録	昭和63年3月末現在の蔵書目録の下巻。パルプ・製紙工業、工芸、伝記など蔵書多い。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300319	手漉和紙調査報告書	原口 長之	熊本県商 政課	19810325	熊本	宮地和紙の沿革:八代。新左衛門、矢壁家、細川家入国と御用漉(下川、原)、大高檀紙(木村喜三次)、藁紙の製造(水俣、三蔵)、製紙会社の組織(木村増太)、宮田寛。鹿北和紙:鹿本郡鹿北町。朝鮮より道慶、慶春が始める。玉名や玉東町に広がる。人吉和紙:鶴田町、純楮はない。史料:早田家(山鹿)江上家、西家、木村家(八代)、筑後福王寺文書掲載。
81300320	岩国藩財政史の研究	桂 芳樹	岩国徴古 館	19861001	山口 近世 紙種	p54専売は紙と蠟。p173通貨制度、藩札発行は延宝5年。p197岩国藩の藩官事業およびその収益金の財政繰入制度、紙の専売制度。請負、見取り、規格、保護、褒賞、販売の各制度を含む。寛永17年(1640年)専売制度、豊島善左衛門施行。仕法、見取り、紙種に触れる。貢租として納入。米と流用計算。楮の出来高で紙量を算定。仕入銀(米)を前貸し紙で回収。下見取と上見取。符号有り。上質紙には褒賞。今津から民間廻船で大阪へ。指定問屋、百足屋彦左衛門、淀屋善右衛門。蠟は生を買上、加工。
81300321	山口県文化財要録追録	山口県文 化財愛護 協会		19810331	山口 製法	県指定無形文化財。徳地和紙、山内幸作(M39)、千々松清二郎(M38)。1979年3月31日指定。島地。由来、技法の特色、製紙工程、漉き方(波漉き、横ゆり、捨て水)漉胴、压榨、乾燥、抄紙道具を解説。
81300322	ベストセレクション手漉き和紙	柳橋 真	講談社	20040325	産地 名塩	名工の作品、重要文化財の和紙(岩野、安部、石州)、暮らしに生かす和紙。歴史の中の和紙。和紙の見本帖(原寸、3.5倍拡大、5倍拡大撮影の試み)、濱田氏、谷野氏の記事なし。新味に欠ける。
81300323	特産業の現状と方向	兵庫県商 工労働部 工業課	兵庫県	19610000	名塩 兵庫	統計は昭和34年(1959年)p81手漉和紙:工場数:10(124)従業員数:40(570)生産量:11392kg(854400)生産額:548万円(25万円)漉槽台数:12。6-10年経過。名塩のみ。昭和34年(昭和9年)襖紙(8544kg、325万円)箔打原紙(2843kg、223万円)販売(京都62%、広島20%、静岡7%)雁皮(豊岡、三木、西脇、神崎、上郡から500円/kg)粘土(1.5円/kg)。材料入手と後継者を指摘。
81300324	江戸時代の産業スパイ:季刊歴史と文学20号	作道 洋太 郎	平凡社	19771207	名塩	東山弥右衛門の虚像と実像:渡辺氏の説を重視。弥右衛門はスパイでないと。つまり、越前出身で、技術が高いところから低いところへ伝播したとの見解。この原因は明治期の海外から新技術がもてはやされる中、江戸期の技術に関して新解釈の必要性があったというが。
81300325	カラースライド集、手わざ、越前和紙	斎藤 岩雄	源流社	19770330	福井 見本	スライド集(60)、解説は、歴史、紙種とスライドの解説から構成。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300326	越前和紙の里	岡本小学校	岡本小学校	19790100	福井 見本	昔話、おいたち、和紙の里のあゆみから構成。岡本村は1888年。地名のいわれ。5 - 6歳から女の子は紙漉きのまね。のりかす団子。和紙のあゆみは秀逸。輸送経路、御用紙は陸路。藩紙は大垣、白子経由。その他は鯖江、日の川、三国港経由。江戸が8割。くらし(五人組、天保飢饉)に触れる。太政官紙や抄紙局など秘法流出と地元では批判との挿話。
81300327	人間国宝展(制度制定50周年記念)	NHKプロモーション	NHKプロモーション	20060000	名塩 福井 高知	越前奉書(九代岩野市兵衛、2000年6月6日)、名塩雁皮紙(谷野剛惟、2002年7月8日)、土佐典具帖紙(濱田幸雄、2001年7月12日)
81300328	杉原紙の郷:甲南民俗研究16	甲南大学民俗研究会	甲南大学民俗研究会		見本 兵庫	p33紙の工程を略記。研究所での従事者は男性2名、女性5名。男性は町職員。赤字。楮、黄蜀葵は自製。p99紙漉き唄「けさも峯ぶり千がみにゃ白い ならぶほし板のかみゃなお白い……」
81300329	和紙の町・小川:伝統工芸を訪ねて:季刊暮らしの創造3、秋号	和田 光永	創芸出版社	19770901	埼玉 名塩	p130細川紙:柳(「小川の将来」工芸59)「本漉」を提唱。もともとは「とろろ」を用いた溜漉きのため。参照、名塩紙。久保昌太郎、晴男、窪田。福島喜通(東秩父)。東京に近い地の利。少量多品種のため、急につぶれることはない。柳は独特の質に信念を、と。
81300330	岡山の民芸:岡山文庫15	外村 吉之介	日本文教出版(株)	19671030	岡山	p40雁皮、楮、三桮を産出。津山:上横野、川崎。金箔間紙、やや赤み。石灰晒しが金の色沢を引き立てる。薄紙。新見:高尾。備中三つ折。大高檀紙:高梁、広瀬。楮を原料とした厚手、大判紙。柳井家に文書。明治後衰退。倉敷:水江。平川村清川内から移す。大田原:和気町、酒樽の目貼り紙。紙工品として、編袋、水引、傘、田植笠。
81300331	熊本の名産(熊本の風土とこころ)	平山 謙二郎	熊本日日新聞社	19740620	熊本	p62宮地の手漉和紙:昭和30年頃までは高級チリ紙30軒。宮田寛のみ。越前の流れをくみ、新左衛門柳川藩立花氏が加藤預かりとともに八代へ。矢壁姓を名乗る。
81300332	ヨーロッパ文化と日本文化	ルイス・フロイス	岩波文庫	15860000	民俗 中世	19910617復刻。p139日本人の書法、その書物、紙、インク、及び手紙について。10「われわれの紙にはわずか4、5種類あるだけである。日本の紙は50種類以上ある」13「われわれの間では全ての紙は古い布の屑から作られる。日本の紙はすべて樹の皮で作られる」20「日本では円い木に巻つけ他の二本の木で叩く」24「紙はインクを直ちに吸い取る」
81300333	風船爆弾	鈴木 俊平	光人社新潮文庫	20010715	産地 近代	第二次世界大戦の兵器として全国で製造。紙指定地は埼玉、石川、岐阜、鳥取、愛媛、高知、福岡。「ふ号兵器」開発兵器はいろは順で命名。気球は直径10m。和紙と蒟蒻糊で作り、焼夷弾を吊るす。福島勿来、茨城大津から放つ。和紙と蒟蒻糊で作った直径10mの水素ガス気球に爆弾と焼夷弾を吊るしジェット気流に乗せてアメリカ本渡攻撃を仕掛ける。重本。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300334	唐長の京からからかみ文様譜	千田 堅吉	京都書院	19970601	京都、紙種	唐紙の製造:1)具引き(染め)雲母粉を含め天然泥を使い、糊として布海苔。膠を足す。2)型押し、ふるいをうい板木につけ、紙を乗せ手でなでる。植物、風月、動物、有職、幾何学文様見本が並ぶ。1615年頃千田家の初代創業。1839年「唐長」ほか13軒の唐紙屋の名があがる。1864年蛤御門の変で板木焼失。大正期は5軒。現在、唐長のみ。
81300335	京染紙		京都書院	199810401	京都	長谷川松寿堂:色紙、短冊ほか和紙工芸品専門店。友禅紙:友禅の染め技法を応用し考案。昭和48年から出回る。千代紙より多様性あり。小紋、布目小紋、興尽くしに分類。図版例示。
81300336	紙漉風土記/雲流る城下町	小田 武雄	講談社文庫	19770315	愛媛 高知 近世 小説	第11回オール読み物新人杯受賞。初出は昭和33年。四国を舞台にした一揆を題材。土佐で一揆の首謀者が、閉ざされた貧しい山村に迷い込み、紙漉きを改良。娘とねんごろに。元の村は、首謀者として受け入れず。ふるさを捨て新しい生活へ。
81300337	雍州府志(上)	黒川 道裕	岩波文庫	20020315	京都 近世	1684年の復刻。巻六土産門上補遺「紙、本朝人近世多用楮皮造紙檀紙漉檀皮…」松皮紙(相馬郡)。巻七土産門p503/紙「加賀奉書越前鳥子以是為紙之最矩杣原紙之所出也始謂杉原紙…」。製法、奉書、杉原、美濃紙、関東紙、修善寺紙、小杉、諸口、紙衣、渋紙、紙屋川。
81300338	毛吹草	松江 重頼	岩波文庫	16380000	近世 名塩 詩歌 紙種 産地	1638年(寛永15)作。1645年発刊。俳かいの方式。第4巻に各地の名物をあげる。p165撰津の名物:名塩、鳥の子。名塩紙初出。著名な紙では奈良洪団扇、堺腰張紙、伊豆修善寺紙、近江青花紙、美濃典具紙、仙台紙布、越前伊予の奉書、播磨杉原、備中檀紙があがる。
81300339	熊野中辺路 民具:くまの文庫6	熊野路編纂委員会	熊野中辺路刊行会	19740601	和歌山	p136製紙道具:東牟岐地方本宮町の小津荷、高山で音無紙。楮が多く「紀伊続風土記」に「旧熊野権現の紙漉きなり」と。製紙用具、蒸し釜、蒸し桶、叩き棒、叩き台、ざる、カンブネ、こね棒、漉き簀、紙板、パン木、裁ち型板。
81300340	岡山の和紙	臼井英治	日本文教出版	19820610	岡山、近 世、近代	岡山の和紙の歴史と現状を要領良く纏めている。p72紙漉き村いまむかし:吉井川流域/和気、上横野、勝田、加茂、津山。旭川流域/御津、久世、落合、旭、勝山。高梁川流域/芳井、井原、高梁、大佐、新見(正田、高尾)、備中、倉敷(水江)。は現存。高梁広瀬の柳井家の檀紙。
81300341	岡山の匠:岡山文庫96	浅原 健	日本文教出版(株)	19810530	岡山	p86紙漉き:上田繁男(横野和紙)昭和17年生れ。箔合紙専業、三極紙。組合に加盟せず。赤木浦治(高尾和紙)新見市、大正9年生れ、豆腐屋と兼業、傘紙、紙漉きは女。丹下哲夫(備中和紙)大正3年、清川内の満寿平氏の養子、昭和39年成羽川ダム建設で倉敷に、色鳥の子中心。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300342	弥陀の舞	水上 勉	角川文庫	19860130	名塩 福井 小説	岩野をモデル。越前で育ったくみは、紙漉き名人弥平の下で働く。明治女の一代記。p14くみだけでなく昔にも似た話はあった。摂津の国の名塩紙の祖といわれる東山弥右衛門は、。名塩紙祖伝説紹介。
81300343	千代紙・型染紙	加藤 陸朗	保育社	19740210	加工 東京 京都 富山	東京は菊寿堂いせ辰、京都はさくら井屋、猪飼版画堂、小原氏が版元。千代紙p50型染紙p66強製紙などの加工品、造り方を紹介する。p103千代紙の名称:千代姫、江戸千代田城、目出度い図柄の説。江戸(浮世絵師)京都(画家)の歴史にも触れる。京では七夕紙が限定用途である。
81300344	昭和民芸紙譜1:九州・四国	久米 康生	(株)思文閣出版	19770330	見本 福岡 高知 徳島	福岡県:九州紙業の原点。高知県:和紙の王国を誇る。徳島県:紙祖神を背負って。標本:筑後民芸紙、土佐七色紙、土佐民芸紙、土佐染紙典具帖、阿波民芸紙。
81300345	昭和民芸紙譜3:近畿・東海	久米 康生	思文閣出版	19771130	名塩 兵庫 京都 奈良 滋賀 岐阜 愛知	cf1343各地の解説と見本紙。500部。全5巻。兵庫:杉原、皆田紙、奈佐紙、黒川紙は消滅。名塩紙は「名塩川」「忘れられた日本史」を引用。京都:黒谷。奈良:やはやは紙、「鈴鹿家記」で初出。昆布氏が復活。福西氏。上窪氏。滋賀:雁皮紙。成子氏。「粟田郡志」1854年名塩の吉左衛門、三右衛門が指導、入獄。明治期、平吉は由左衛門に、中止。岐阜:814年羽場蔵人秀治説と1173年大田説。見本多数。
81300346	昭和民芸紙譜4:信越	久米 康生	思文閣出版	19771130	福井 石川 富山 長野 見本	cf1343各地の解説と見本紙。500部。全5巻、4巻(信越)cf2458見本紙名:福井:越前鳥の子紙、石川:加賀奉書、箔打紙、富山:五箇山傘紙、八尾楮紙、長野:内山書院紙。各地民芸紙見本多数。
81300347	昭和民芸紙譜5:関東・東北	久米 康生	思文閣出版	19771130	埼玉 栃木 茨城 宮城 岩手 見本	cf1343各地の解説と見本紙。500部。全5巻、埼玉:細川紙。栃木:程村紙。茨城:西の内紙。宮城:蔵王紙衣紙。岩手:成島紙。各地民芸紙見本、多数。
81300348	手漉紙現品鑑賞と其概説と私の初釜趣向:木鶏文庫13号	柳瀬 木鶏	柳瀬商店 大阪営業所	19800210	高知 見本	昭和54年名簿(高知県紙業課)伊野町15軒、高岡町29軒、その他物部村(3)、大豊町(1)、土佐町(1)、南国市(2)など14軒。見本紙は西の内紙(森沢香代子)典具帖紙(浜田幸雄)など。
81300349	丹波紙布	辻合 喜代 太郎	晃洋書房	19680800	京都 見本	特製20部、和紙製。黒谷の和紙:楮、精製、紙漉の紹介。丹波紙布は白石に比して庶民向け。自給自足。反故紙を利用。木綿紙布。復元は福知山市の河口三千子氏。紙糸の巾は0.6と0.7cmの2種。見本は、10種。
81300350	えちぜん紙すき	細井 憲摩	細井 憲摩	19770000	福井	500部。昭和49年和紙の里会館開館。職員。牧野の越前紙漉図説により工程を版画化(21画)。p71和紙の関する詩歌。木灰はよもぎ灰。川小屋で塵取り。叩き棒は檜。布出し(洗い)。奉書に米糊添加。たてぎ(混ぜ棒、馬鋏も)。張り場、赤馬の毛。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300351	手漉和紙：竹尾洋紙店70周年記念出版	竹尾洋紙店企画室	竹尾洋紙店	19691123	見本 名塩 産地	cf0098の小型版：大判の見本帖209種。118、119箔打紙(39.4*54.6)間似合(36.4*93.9、45.5*93.9)馬場氏の紙。関、小路、原、岩野、安部、寿岳が一文寄せる。
81300352	温故知新：小津三百五十年のあゆみ	小津三百五十年史編纂委員会	小津商店	20040100	東京	戦後偏。(cf3447)序章：鱗久350年、戦後復興を生き抜く、洋紙販売に参入。家庭紙・雑貨の伸張。不織布ベンコットを開発。拡大する小津グループ。パブリックカンパニー。和紙による社会貢献。温故知新、伝統と革新から構成。
81300353	温故知新：小津三百三十年のあゆみ	小津三百三十年史編纂委員会	小津商店	19831100	東京	3分冊から構成(あゆみ、いまむかし、絵巻)、1653年大伝馬町に創業。清左衛門、松阪出身。(cf3448)。元禄に木綿店、天明に大橋屋(向店、紙)。明治期に小津銀行、日本細糸紡績。昭和4年、合資会社に。
81300354	越前手漉紙見本集	福井県和紙工業協同組合	福井県和紙工業協同組合	19931001	福井、見本	見本紙、限定800部のうち293。
81300355	書評越前和紙	神門 精一郎	北陸通信社	19740810	福井 見本	昭和48年に発刊した「越前和紙のはなし」(1303)「幻しの紙」「越前和紙の歴史展解説目録」「手漉和紙大鑑」の書評。特に、模様紙にこだわり。黒透かしは印刷局のみ。表紙は柿渋水玉紙、口絵は「牡丹に岩」。その他に雁皮紙墨流し、蓬の雲、雲掛け、飛雲、小飛雲、小模様漉掛け、
81300356	紙漉く里第一集	穴戸 忠男	穴戸 忠男	19730310	産地 歴史	160部、紙の里の訪問記。大学卒業記念出版。素直な感想を記述。成島、東山、白石、上川崎、烏山、興野(東京)、大町(長野)、八尾、国栖、黒谷、河原、山根、岩坂。
81300357	日本の紙	寿岳 文章	靖文社	19440210		一旦、昭和19年発行したものの紙型を失い再発行の道を取った。再販分には紙見本はない。芹沢の図版6図あり。紙の製作の工程、日本の歴史、産地の紙について紹介する。(重本)
81300358	因幡紙をつくる人々	大因州製紙協業組合	山根 幸恵	19711103	鳥取 歴史	和紙作り。慶長(1596)亀井氏が「村村切らざる木」の掟。その中に楮、雁皮。寛永5年、美濃紙製造技術の伝来、気高郡青谷河原。鈴木弥平が旅僧を救う。因備転封により池田氏鳥取に。1637年杉原の記録。1684年には紙座。明治期には吉井源太招聘。1907年因幡紙同業組合設置。大正期に県助成による機械漉き模範工場設立。その他、年中行事の記録。cf1280
81300359	紙障子	寿岳 文章	靖文社	19421220	随筆 高知 宮崎	和紙本。随筆：和紙。手漉和紙を語る。和紙礼讃。紙のふるさと(支那の紙、紙料をあらゆる材料から得るおおらかさを賞賛)支那の紙。芹沢氏の紙漉き風景図がある。紀行として、かたくりの旅、p184四国の旅(窪川から四万十川を経て吉野)日向の旅など。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300360	日本の紙漉き唄	阪田 美枝	竹尾研究所	19920220	名塩 民俗 見本 産地	仕事唄を収録。CD、見本紙有。名塩は大谷杉雄氏が紹介。明治2年中山撰観記;朝のナ、ホイ 御坊さんの杉で 鳥が鳴いて 眼がさめた / 「どんどん節」の替唄;撰津名塩で見せたいものは白い紙漉くひな男、紅いたすきで紙はく女、高座の岩や溝滝や箸で栄えた御坊の杉
81300361	和紙・見本帖	森田和紙	森田和紙	?	産地 見本 名塩	森田和紙店の見本帖。限定700部(349号)ほてい印。日本絵画書道紙(49種)襖紙(81)新鳥紙(127)金銀紙(27)うすもの紙(47)生漉紙(47)民芸趣味紙(95)美術紙(153)木版印刷紙(50)局紙(11)参考見本。名塩鳥子と泥間似合紙は参考見本紙としてあがる。
81300362	越の紙	越の紙抄 造元	越の紙抄 造元		福井 見本 紙	見本No72。見本は101 - 409、約300種。
81300363	紙を漉く村	後藤 清吉 郎	文化出版 局	19730701	福島、宮 城、茨城、 山形、長 野、静岡、 岐阜	限定本(49/500部)五箇の手漉紙に版画印刷、手彩色。静岡引佐郡。福島山舟生、遠野。茨城常陸大田。宮城白石鷹巣、五賀、柳生。岐阜河合、長野内山、福井岡本、山形上の山、
81300364	越前特産花くらべ			19990000	福井、見本	見本紙、908種。寸法と梱包数。簡単な用途。奉書、鳥子、大麗以降は加工紙。染め紙など。
81300365	越前特産花くらべ美術紙(2)		丸天商店	196000 00?	福井、見 本、	大阪西区阿波掘通1-35。丸天商店の69種の見本帖。花比印の紙を取り扱う。専売特許番号を記したのもあり技術革新の跡が伺える。絹紙もある。値段表も添付、100枚当たり19円から20円台が主流。最高紙は鳥の子極厚紙で70円。東洋紙45円。美濃4幅が主。
81300366	日野氏録誌		山口県企 画部県史 編	19940101	民俗 山口	日野氏は本郷村品秀寺の住職。1696年から1747年までの記録。物価の変動、暮らしぶり、自然災害、病、飢饉そして、山代地方の請紙制度の消長が記され、近世山代の貴重な記録。その他に「廻浦日記」。
81300367	八代市立博物館未来の森ミュージアム 館蔵品目録	八代市立 博物館	八代市立 博物館	20030100	熊本 近世	p53和紙:巻紙、五色水玉紙、打曇紙、五色雁皮紙、色奉書、千代紙絵奉書など江戸期の和紙
81300368	和紙:用と美の世界:八代の歴史と文化 13	八代市立 博物館	八代市立 博物館	20031107	熊本 近世	平成15年度秋季特別展覧会の図録。熊本藩の御用紙漉(八代郡宮地村の紙漉)について(蓑田勝彦):溝口から導入。矢壁与三右衛門、下川家、原家で御用漉きを構成。その後、伊藤、坂口、西、松村、木村が加わる。木村喜三次は高級紙「越前向」開発。家々、産出紙の説明詳細。御用紙漉家文書(江上、西、木村)、藩政資料豊富。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300369	日本画:和紙の魅力を探る	森 芳功	徳島県立近代美術館	20071113	歴史 美術	日本画と和紙の関わりに着眼した展覧会図録。表現効果見本:生紙とどうさ引きした紙の比較。墨の違い、岩野家書簡(竹内栖鳳、横山大観、小杉など)
81300370	墨106号:紙、文房四宝シリーズ3		芸術新聞社	19940200	海外 加工 概論 鳥取	書道紙に詳しい。規格(画仙紙:70*135、聯落:52*135、半切:35*135、紙と生きる人(塩義郎、大因州製紙協同組合長)。画仙紙の評価(棉料四尺単宣、特浄棉料綿連、羅紋宣、玉版宣、二番唐紙、甲州画仙紙)。宣紙の歴史、中国紙の解説(材料:竹の発酵、製紙法は秘密)
81300371	近畿ふるさと大歳時記	角川文化振興財団	角川書店	19920220	名塩 兵庫 奈良	名塩の句をあげる。p310紙漉き:窓なくば納屋と変わらず紙を漉く(森田峠)白といふしづかな色の紙を漉く(大崎なつみ)p441名塩村田に初漉の紙干せり(羽田岳水)p453土牢の如き窓なり紙を漉く(鎌田利彦)名塩泥紙泥の減りしを嘆き漉く(竹腰八柏)
81300372	和紙・人形ほか:日本の伝統工芸産業全集第7巻	犬丸 直、 吉田 光邦	ダイヤモンド社	19920109	産地	各産地の写真と解説から構成。ビデオもある。掲載産地は、越中、越前、内山、美濃、黒谷、因州、石州、阿波、大洲、土佐。和紙製品として、和傘、提灯、扇子、型紙、うちわ、表具。
81300373	手漉和紙精髓	久米 康生	講談社	19750928	名塩、産地、見本、統計	限定本(1443/1500部)見本100種。58:名塩金箔打紙、59:泥間似合p253明治34(高知、岐阜、愛媛、東京、静岡、山口、兵庫)、大正10、昭和16(高知、愛媛岐阜、福井、福岡)の生産額。地域別紙郷土地図。
81300374	日本の紙(全1巻2冊)	荒川浩義	毎日新聞社	19760531	見本、名塩	名塩金箔打紙:田中孝次郎
81300375	細川紙漉き工程図会	東秩父村教育委員会	雄松堂書店	19790920	埼玉	12図から構成。明治末期、秩父の医師、宮崎玄育。原型が表現。紙漉き図では足元を掘り下げた穴に入り漉いているのは座漉きから立ち漉きへの過渡期か。楮かしき、楮むし、楮ひき、楮煮、楮晒(かつさあし)、楮打、黄蜀葵たたき、紙漉(女)、かんだしぼり、紙干し、紙そろい、紙けづり。
81300376	手漉和紙大鑑	手漉和紙大鑑委員会	毎日新聞社	19740531	産地 見本	生漉、漉模様紙、和染紙、加工紙、千代紙標本、全5巻p69近畿地方の紙漉き里として紹介。見本紙は、No107名塩金箔打紙(田中孝次郎)No,108間似合紙(田中)。cf3212
81300377	産業の発達史「企業博物館」日本の博物館13	杉本 尚次、	講談社	19810525	東京	p82紙の博物館の展示物の紹介:紙が生まれるまで(百万塔)和紙のふるさと(手漉き場と道具。浜田幸雄。)和紙の生活用具。和紙の着物。洋紙の発達など。その他、和鋼記念館、岡谷市立蚕糸博物館。サントリーウィスキー博物館。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300378	人間国宝シリーズ38	岡田譲編		19780000	島根、福井、岐阜	安部、岩野、石州、美濃
81300378	安部、岩野、石州、美濃：人間国宝シリーズ38	岡田 譲	講談社	19790825	島根 福井 岐阜	雁皮紙(安部栄四郎)雁皮は春に生剥ぎ、黒川のまま煮る。ねりは多め。越前奉書(岩野市兵衛)那須楮。白土と多めのねり。ねりはトロロアオイとノリウツギの混合。越前流の縦ゆりのみゆっくりと。石州半紙(石州半紙技術者会)石州楮。なぜ皮。縦方向の激しい漉き。漉き手漉和紙は男。本美濃紙(本美濃紙保存会)漉き手は女。縦ゆりと横ゆり。
81300378	伊勢型紙 / 人間国宝シリーズ38	岡田 譲	講談社	19780130	島根 福井 岐阜	重要無形文化財(安部栄四郎、岩野市兵衛)総合指定(石州半紙技術者、本美濃紙保存会)を取り上げる。写真多用。紙漉き解説では越前奉書(箕流し、塵ひろい、調子、化粧はらい)と土佐典具帖紙(くみ込み、横ゆり、くみきり、びしやい、おくり)を比較。
81300379	伊勢型紙 / 人間国宝シリーズ19	岡田 譲	講談社	19790825	三重	伊勢型紙突彫(南部芳松)伊勢型紙錐彫(六谷紀久男)伊勢型紙道具彫(中島秀吉、中村勇二郎)伊勢型紙縞彫(児玉博)伊勢型紙糸入れ(城之口みえ)いずれも重要無形文化財保持者。作品および製作工程。図版多い。
81300380	工芸技術手漉和紙：週刊人間国宝63	柳橋 真	朝日新聞社	20070819	名塩 福井 島根 高知 産地	重要無形文化財309人の紹介。手漉和紙は、越前奉書(8代、9代岩野市兵衛)雁皮紙(安部栄四郎)土佐典具紙(濱田幸雄)名塩雁皮紙(谷野剛惟)本美濃紙保存会、石州半紙技術者会、細川紙技術者協会。
81300381	工芸技術染色：週刊人間国宝41		朝日新聞社	20070318	三重	重要無形文化財309人の紹介。伊勢型紙。突彫(南部芳松)、錐彫(六谷梅軒)、道具彫(中島秀吉、中村勇二郎)、縞彫(児玉博)、糸入れ(城ノ口みえ)、伊勢型紙技術保存会、江戸小紋(小宮康助、康孝)
81300382	手漉和紙		竹尾洋紙店	19691123	見本 名塩 産地	大判の見本帖209種。118、119箔打紙(39.4 * 54.6)間似合(36.4 * 93.9、45.5 * 93.9)馬場氏の紙。関、小路、原、岩野、安部、寿岳が一文寄せる。(cf2761)
81300383	宝塚グラフ：1976年10月		宝塚歌劇団	19761001	名塩	p34「紙漉き悲願」6場。作大関弘政：信長に滅ぼされた荒木村重の家臣が逃げのびて住みついた名塩村と紹介。庄屋の息子藤市と弥右衛門が五箇に。藤市の妹菊と弥右衛門は恋中。菊は弥右衛門の母の死と紙漉き伝授を伝えに五箇に。一方、紙屋の娘おせつと村のため祝言。
81300384	宝塚グラフ：1976年12月		宝塚歌劇団	19761204	名塩、	p62「紙漉き悲願」6場。作大関弘政：信長に滅ぼされた荒木村重の家臣が逃げのびて住みついた名塩村と紹介。庄屋の息子藤市と弥右衛門が五箇に。藤市の妹菊と弥右衛門は恋中。菊は弥右衛門の母の死と紙漉き伝授を伝えに五箇に。一方、紙屋の娘おせつと村のため祝言。一時間未満の上演。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300385	宝塚グラフ臨時増刊:宝塚ステージアルバム		宝塚歌劇団	19770201	名塩、	p100「紙漉き悲願」6場。作大関弘政:信長に滅ぼされた荒木村重の家臣が逃げのびて住みついた名塩村と紹介。庄屋の息子藤市と弥右衛門が五箇に。藤市の妹菊と弥右衛門は恋中。菊は弥右衛門の母の死と紙漉き伝授を伝えに五箇に。一方、紙屋の娘おせつと村のため祝言。
81300386	季刊和紙、1号		全国手漉き和紙連合会	19901201	高知、	1)この人、この技:森田康生
81300387	季刊和紙、2号		全国手漉き和紙連合会	19910615	福井	1)この人、この技:岩野平三郎。特集「あそび」郷土玩具、凧、かるた、千代紙、すごろく、姉様人形、光で発色する紙(酒井弥)
81300388	季刊和紙、3号		全国手漉き和紙連合会	19920000		和紙とインテリア
81300388	季刊和紙、3号		全国手漉き和紙連合会	19920000	滋賀、名塩、愛媛、兵庫	p3この人・この技:成子ちか、哲郎 p36名塩銀打原紙:65*45cm、10枚 13000円 p58和紙と旅:東予市、川之江市 p78加美町からの報告
81300389	季刊和紙、4号		全国手漉き和紙連合会	19920815	岐阜	1)この人、この技:藤田一夫、2)和紙人形3)特集美濃
81300390	季刊和紙、5号		全国手漉き和紙連合会	19930515	鳥取	1)特集:因州和紙、2)この人、この技:前田久男、3)和紙を着る
81300391	季刊和紙、6号		全国手漉き和紙連合会	19931031	福岡、新潟	1)特集:八女。2)この人、この技:松尾茂美、3)包む、4)小国、山野田紙漉き村
81300392	季刊和紙、7号		全国手漉き和紙連合会	19940430	奈良	1)特集:吉野、上窪正一、孝江、2)食文化と和紙
81300393	季刊和紙、8号		全国手漉き和紙連合会	19940831	愛知	1)特集:小原和紙、

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300394	季刊和紙、9号		全国手漉き和紙連合会	19950131	新潟	1)特集:越後。小出、小国、門出、大沢和紙、2)水引
81300395	季刊和紙、10号		全国手漉き和紙連合会	19950815	高知	1)特集:土佐。2)和紙を作る
81300396	季刊和紙、11号		全国手漉き和紙連合会	19960215		1)国際シンポジウム、2)しきる
81300397	季刊和紙、12号		全国手漉き和紙連合会	19961015	茨城、栃木	1)特集:西の内、烏山、2)扇、うちわ
81300398	季刊和紙、13号		わがみ堂	19970530	島根 海外	1)特集:石州。久保田保一、若手では、久保田彰、川平正男、西田誠一、町ノ大田。2)ヨーロッパの和紙
81300399	季刊和紙第14号		わがみ堂	19971210	富山	p7特集:越中、八尾和紙、五箇山和紙。p49だるま
81300400	季刊和紙15号	全国手漉き和紙連合会	わがみ堂	19980625	福井、近代、製法	越前和紙:この人・この技 / 梅田太土。その種類と技法 / 奉書製造工程。岩野平三郎と近代日本画の巨匠たち(高橋正隆)。波乱を好機に変えた男たち(前川新一、石川満夫):明治期加藤覚太郎「今立郡五箇製紙沿革」「岡本製紙所歴史」
81300401	季刊和紙 / 16号		わがみ堂	19981220	山梨、	西島和紙、市川大門和紙、書、三極は奈良時代に製紙材料として使われていたか。など
81300401	西島和紙 / 季刊和紙 / 16号		わがみ堂	19981220	山梨、	p4西島和紙:歴史と風土 / 中富町、信玄の保護策により発達する。望月清兵衛が1571年、修善寺から技術を伝えた。市川はこの頃、既に紙漉はあった。西島和紙工業協同組合(0556-42-2519)
81300401	市川大門和紙 / 季刊和紙 / 16号		わがみ堂	19981220	山梨、	p30市川大門和紙:市川大門町、平安時代、写経用として紙を開始する。甲斐源氏の祖、源義清が京都より連れて来た紙工甚兵衛が伝える。江戸時代は御用紙として、肌吉紙と称される。市川町立製紙研究所。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300402	季刊和紙17号、阿波和紙		全国手すき和紙連合会	19990624	雑誌、徳島	阿波手漉和紙伝統産業会館館長、藤森実氏。藍染めと合体して独自に展開。拜宮和紙の歴史：阿波は1586年に伝えられるが拜宮和紙は不明。徳川末期に栄える。明治期、村田義雄氏が4枚漉きを学び広める。昭和40年が最盛期。現在、中村、井本、西谷が漉く。
81300403	季刊和紙18号、北海道、東北		全国手すき和紙連合会	19991220	北海道、岩手、秋田、宮城、福島、山形、産地	北海道は新和紙を紹介：笹紙、富貴紙。岩手：成島、東山、秋田：十文字。山形：月山(西川町)小川で修行。高松(上山)深山(白鷹)。宮城：柳生(仙台)。白石、まるもり。福島：上川崎(安達)、いわき、山舟生。
81300404	季刊和紙19号、愛媛		全国手すき和紙連合会	20000625	愛媛 東京	1)愛媛の和紙：歴史、紙一揆、川の江、周桑和紙、大洲、泉貨紙2)江戸からかみ3)全国の名刺
81300405	季刊和紙20号、黒谷		全国手すき和紙連合会	20001220	京都	1)黒谷和紙：福田清、楮畑生産組合、歴史、綾部市の取り組み2)修復：用語集3)和紙人形4)全国和紙の里会館一覧
81300406	季刊和紙21号、加賀・名塩		全国手すき和紙連合会	20010720	名塩 石川	p57加賀・名塩の和紙：金を箔にする和紙の役割(下地紙を灰汁につけ柿渋卵など入れ箔を延ばす力えお加える)加賀(小松秀雄、斎藤博、森沢武馬、坂本宗一郎、坂本秋央、加藤健一)p68名塩：谷野剛夕、良弘(簀は矢竹、麻糸で巻き柿渋に。4回汲む溜め漉き)馬場和比古(金箔打原紙、箔打の際に熱が出るが泥のお陰で紙が焼けない。金箔に沙の目が出る。)馬場明美、玄野佳子。和紙小事典。林功画伯を偲ぶ。
81300407	和紙セミナー講義集1	季刊和紙編集部	わがみ堂	19921031	名塩 産地 奈良	p175産地の和紙(柳橋)：柚野紙(内藤恒夫)小川と倉敷で修行。ふわた紙(小林康夫)小版、良寛。石州半紙(久保田彰)強い。西の内(菊地正気)塵入り紙(大野一彦)高松生まれ高知日高。名塩紙：箔打紙、灰汁卵白につけて打つ。p47今ふりかえる和紙づくり(福西弘行)宇だ紙。
81300408	和紙セミナー講義集 2	季刊和紙編集部	わがみ堂	19931023	栃木 産地	p5産地の紙(柳橋)越前奉書(岩野市兵衛)那須楮、太くて短い。典具帖紙(浜田幸雄)薄い紙は横揺れ漉き、美濃が原点。因州半紙(前田久男)筆切れず、原料を種々配合。シヨウガ。p35ひとすじにこの道を求めて(福田弘平)烏山紙。那須楮。
81300409	和紙セミナー講義集 3	季刊和紙編集部	わがみ堂	19941015	新潟 産地 沖縄	p4水に学ぶ(伊藤一雄)上川村小出紙。1590年初出。元は会津藩、産地は点在。p36すぐれた紙漉きたち(柳橋)名尾紙(谷口進)細川紙(田中昭作)雁皮紙(安部信一郎)厚紙。安部栄四郎伝。芭蕉紙(勝公彦、安慶名清)繊維が長い。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300410	和紙セミナー講義集 4	季刊和紙編集部	わがみ堂	19951202	京都 産地	p1産地の紙(柳橋)越中文化財補修紙(宮本友精)平村、美濃と通じる。木槌に近い。土佐表具用紙(井上稔男)土佐楮。吊干し楮紙(田中徳武)圧搾しないで干す。p32和紙を作る(福田清)黒谷紙、平家伝説。伊佐津川。
81300411	和紙セミナー講義集 5:雁皮三椶紙の歴史用途特性	季刊和紙編集部	わがみ堂	19961210	名塩 滋賀 福井	p2柳橋真/名塩箔下間似合紙:鎌倉時代間似合は表具の養生が元の用途?前田家「百工比照」に泥入り間似合、江戸初期に泥の添加の改良か?越前の雁皮紙は楮混ぜることが古くから。p44岩野市兵衛/生漉き奉書:100%楮のもの。雁皮三椶が少しでも入ると鳥の子と区別。
81300412	和紙の手帖	全国手漉き和紙連合会	わがみ堂	19920720	概説 目録	和紙の特徴、製造、歴史、加工上の問答形式の解説集。p115産地の一つとして名塩紙紹介。連合会には谷徳製紙所が加盟。資料として文化財指定。名簿がある。材料からの部止まりは4%。
81300413	和紙の染織、1、染:染織と生活24		染織と生活社	19790325	加工 京都	p9加工和紙の系譜(久米康生)p16紙の衣服(夏見知章)白石紙子(片倉信光)紙の金唐革(徳力彦之助)染紙広記(上村六郎)染方伝授覚校註(後藤)p38和紙を染める(合羽摺りの歴史と技法、金唐和紙、和紙型染、折染、古典模様型染、白石紙子の拓本摺り、丁子引き、友禅和紙)p59黒谷和紙のできるまで。
81300413	和紙の染織:染織と生活24号		染織と生活社	19790325	京都 宮城	特集和紙の染織(1)染:加工和紙の系譜(久米康生)紙の衣服(夏見知章)白石紙子(片倉信光)染紙廣記(上村六郎)合羽摺りの歴史と技法(ポール渡部)金唐和紙(後藤清吉郎)和紙型染、折染(武藤六郎)古典模様型染、白石紙子の拓本摺り(佐藤渉)丁子引き、友禅和紙、図版として、金唐和紙、白石紙子拓本摺り、黒谷和紙の工程。
81300413	加工和紙の系譜(上):和紙の染織:染織と生活24号	久米 康生	染織と生活社	19790325	名塩	p9加工法は漉く工程の中でと漉きあげ後加工の2種。染紙:平安には植物染めは完成。男は厚手の楮紙、女は薄い雁皮紙。金銀箔紙:元は皮、近世から箔打紙。美術料紙。
81300413	紙の衣服:和紙の染織:染織と生活24号	夏見知章	染織と生活社	19790325	加工 静岡	紙子(紙を仕立)と紙布(紙糸を撚糸)駿州安部川の紙子屋:寛永4年(1627)由比氏の浪人八幡に住て初めて作り出す。名産とす(駿河記)、紙子屋「根本」
81300413	白石紙子:和紙の染織:染織と生活24号	片倉信光	染織と生活社	19790325	宮城	p22紙衣の歴史:書写山性空上人が反故紙を利用か。戦陣の防寒着:上杉謙信の柿渋胴着。紙衣から紙子へ。紙子の特徴と用法:紙子の種類:文化年間京都十兵衛の引札に肥後八代、播磨、森下、仙台が挙がる。白石の紙子:明治に中絶。昭和16年復活。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300413	染紙廣記:和紙の染織:染織と生活24号	上村六郎	染織と生活社	19790325	加工	p30忌詞としての染紙。戸籍の黄染紙:黄檗。お祭の宣命と染紙:一般は黄紙、伊勢は縹(ひょう:うすいあい色)色、賀茂は「紅色、石清水は黄檗紙。正倉院の写経用紙。
81300413	染方伝授覚校註:染織と生活24号		染織と生活社	19790325	熊本 大阪	特集和紙の染織(1)染:p35楮染織に関する古典。原典は八代木村家。大阪天満富田町、吉兵衛が伝授(文化10年3月、1813年):赤色(蘇芳)、黄色、萌黄、朱唐、路考茶、当世茶、薄茶、紫、鳶、大和柿、しやれ柿、柿、茶、墨抜き薬味、墨流し。
81300413	染方伝授覚校註:染織と生活24号		染織と生活社	18130306	熊本 大阪	cf3166復刻。特集和紙の染織(1)染:p35楮染織に関する古典。原典は八代木村家。大阪天満富田町、吉兵衛が伝授(文化10年3月、1813年):赤色(蘇芳)、黄色、萌黄、朱唐、路考茶、当世茶、薄茶、紫、鳶、大和柿、しやれ柿、柿、茶、墨抜き薬味、墨流し。
81300414	紙布と紙子:染織と生活30		染織と生活社	19800925	京都 宮城 島根	紙衣と紙布(辻合)紙子図絵(夏見)丹波黒谷紙布(河口)みちのく白石紙布慕情(海部)庄内浜のオロコギ(犬塚)和紙染の手法(橋川)紙布と紙子をめぐる人たち(吉田、桜井、服部、上田、佐藤、山村)草木染の紙を漉く(福西)
81300414	石見の紙布つくり/染織と生活30号	隅田 正三	染色と生活社	19800925	島根 近代	cf石見波佐地方の紙漉き習俗(2349):染色と生活30号。石見の山間部は木綿が育たず紙布を利用。紙布の製作工程。小切り(おう智郡)と天がい切り(美濃、鹿足)分布、那賀郡は混在。
81300414	紙布と紙子資料/染織と生活30号	片倉 信光	染色と生活社	19800925	宮城	片倉家所蔵品(奥州白石)紙の博物館所蔵品。到道博物館所蔵品(庄内おるこぎ)
81300414	紙衣と紙布/染織と生活30号	辻合 喜代太郎	染色と生活社	19800925		
81300414	紙子図絵/染織と生活30号	夏見 知草	染色と生活社	19800925		
81300414	丹波黒谷紙布/染織と生活30号	河口 三千子	染色と生活社	19800925	京都	
81300414	みちのく白石紙布慕情/染織と生活30号	海部 桃代	染色と生活社	19800925		
81300414	庄内浜のオロコギ/染織と生活30号	犬塚 幹士	染色と生活社	19800925		

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300414	和紙染の手法 / 染織と生活30号	橋川 禿	染色と生活社	19800925		
81300414	紙布と紙子をめぐる人たち / 染織と生活30号		染色と生活社	19800925		吉田、桜井、服部、上田、佐藤、山村
81300414	草木染の紙を漉く / 染織と生活30号	福西 弘行	染色と生活社	19800925		
81300415	墨流し染特集: 染織と生活7号		染色と生活社	19741117	福井	墨流し染20の技法、p30墨流し染覚書、p35越前墨流し、p40料紙づくり、p51墨流し染伝授書、p42現代の墨流し染
81300415	墨流し染20の技法: 染織と生活7号		染色と生活社	19741117	福井	広場家53代作。袱紗(ふくさ)染、糸系空染? 紋所防染糸系空染、縦模様染、地染横模様染、水に紅葉染、ろうけつ染、振りの渦染、振りの横模様染、振りの白弾き飛模様染、松皮染、切竹染、異色半染、三色縦模様染、濃淡縦模様染、帯皮織止染、帯皮端白染、
81300415	墨流し染覚書: 染織と生活7号	上村 六郎	染色と生活社	19741117	福井	
81300415	越前墨流し: 染織と生活7号	広場 美治	染色と生活社	19741117	福井	墨流し染20の技法、p30墨流し染覚書、p35越前墨流し、p40料紙づくり、p51墨流し染伝授書、p42現代の墨流し染
81300415	料紙づくり: 染織と生活7号	栢菅 溪雨	染色と生活社	19741117	福井	墨流し染20の技法、p30墨流し染覚書、p35越前墨流し、p40料紙づくり、p51墨流し染伝授書、p42現代の墨流し染
81300415	墨流し染伝授書: 染織と生活7号	八木 徳太郎	染色と生活社	19741117	福井	墨流し染20の技法、p30墨流し染覚書、p35越前墨流し、p40料紙づくり、p51、p42現代の墨流し染
81300415	現代の墨流し染: 染織と生活7号		染色と生活社	19741117	福井	
81300416	月刊染色 :No23	富山 弘基	(株)染色と生活社	19830201	加工	特集1 糊流しとマール染:ヨーロッパにおけるマール・ペーパーの歴史と展開(三浦永年)糊流しの系譜、すみ流しからマルチカラープリントへ(志多野義夫)。特集2 PAPER NOW:紙による爽快な造形美(大田)何故、今「紙」なのか(井田照一、伊部京子)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300417	月刊染色 :No139	富山 弘基	(株)染色と生活社	19921001	高知 加工	土佐紙布の創作(草川メイ)池川町、焼畑が昭和30年頃まで続く。太布と云い、30年ごろまで豆腐、小豆を漉す布として使用、浜田繁信氏の機械漉き楮または雁皮紙を使用。同じ糸の太さなら薄い紙を幅広く切った方が強い糸ができる。
81300418	月刊染色 :No151	富山 弘基	(株)染色と生活社	19931001	岐阜 加工	美濃和紙の抄織糸を活用する私のめざす柿渋染め紙布(古井敏博)美濃和紙による紙糸との出会い。抄織糸とはマニラ麻、機械漉き、幅2mmの紙を機械撚りしたもの。一閑張作家から柿渋染めの助言。
81300419	季刊銀花9号:和紙の美	柳 宗悦、 寿岳 文章	文化出版 局	19720330	京都 随筆 見本	p5特集、「和紙の美」柳の手紙、寿岳の番傘、能楽仕舞扇(十松屋)唐紙(千田)凧、歌かるた、包紙、大福帳、伊勢型紙、絵巻物、紙布。和紙の美(柳)和紙について(寿岳)黒谷和紙と丹波紙布を訪ねて:平家の落人(生瀬もあり)、紙布の織り手は河口三千子。重本。
81300420	季刊銀花18号:千代紙図譜		文化出版 局	19740630	京都 東京 見本	p5特集、千代紙、江戸中期から夢二、淳一まで。宮中所用:京都から公家息女婚姻で江戸に持ち込み。錦絵屋が庶民向けに。文晁、広重、其一、国貞、英泉、重政、暁斎、玉章、いせ辰「鶴」「亀」見本。p172こうぞの命(紙に幻と真実を見る北国の詩人:則武三雄)「幻の紙」300部鳥子製。美は左右対象の字。
81300421	季刊銀花93号/紙は平和だ	坂本 直昭	文化出版 局	19930330	加工 新潟	p93「竹尾ペーパーワールド92」から。坂本は東京千石で紙屋を開店。印刷機、ネパールのロクタ紙と版木。染め紙。銅版画。土景紙など紹介。紙の旅は、新潟県小国町山野田。江戸の頃、小国紙の産地。昭和30年頃まで約80軒が紙漉きに従事。今はなし。
81300422	季刊銀花108号/紙、新鮮	明松 政二	文化出版 局	19961230	鳥取	p29紙、新鮮—当代の手仕事:明松政二(紙の造形)麻殖生素子(紙と布の境界を払う屏風)矢谷美貴子(紙布)上田尚(金唐紙)の作品群。p48因州和紙を守り育てる塩家の勇氣:山根和紙資料館、
81300423	紙漉きの里を訪ねて:和紙の旅1大分県編	杉村 清一	杉村 清一	19811200	大分	紙漉き村訪問記。著者は紙商営む。県内紙郷地図。名簿。年表。内山紙、白山紙、阿蔵紙、飛田川紙、佐伯紙、川登紙、竹中紙、駄の原紙、杵築紙、院内紙、山国紙、中津紙、高瀬紙。昭和53年の漉手は佐伯紙(市原正之)阿蔵紙(大津留右一)のみ。漉屋跡を辿り地元の漉屋経験者の聞き書き。
81300424	紙漉きの里を訪ねて:和紙の旅2熊本県編	杉村 清一	杉村 清一	19820600	熊本	紙漉き村訪問記。著者は紙商営む。県内紙郷地図。名簿。年表。現役および漉屋跡を辿り地元の漉屋経験者の聞き書き。川原紙、岩野紙、山鹿灯笼、三加和紙、浦田紙、亀井紙、東寺原紙、大江渡塵紙、甲佐紙、砥用紙、浜町紙、五木紙、四浦紙、鶴田紙、小川紙、河俣紙、宮地紙、大河内紙。肥後の和紙製造には、越前式、八代(宮地紙)と朝鮮式、亀井紙(清水町)。昭和57年現在の手漉業者は宮地の宮田のみ。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300425	紙漉きの里を訪ねて:和紙の旅3宮崎県編	杉村 清一	杉村 清一	198212	宮崎	紙漉き村訪問記。著者は紙商営む。県内紙郷地図。名簿。年表。明治初期の村別生産高。現役および漉屋跡を辿り地元の漉屋経験者の聞き書き。延岡紙、佐土原紙、穂北紙、高原紙、えびの紙、都城紙、三股紙、飢肥紙、松山紙、志布志紙、大崎紙。昭和57年での手漉業者は三股町、早田正三のみ。
81300426	紙漉きの里を訪ねて:和紙の旅4鹿児島県編	杉村 清一	杉村 清一	198409	鹿児島	紙漉き村訪問記。著者は紙商営む。県内紙郷地図。名簿。年表。明治初期の村別生産高。現役および漉屋跡を辿り地元の漉屋経験者の聞き書き。蒲生、加治木、吉野、伊作、今田、加世田、松元、東市来、宮之城、鶴田、自下、大川内、阿久根、根占、佐多、志布志、松山、大崎、高山
81300427	紙漉きの里を訪ねて:和紙の旅5佐賀県編	杉村 清一	杉村 清一	198409	佐賀	紙漉き村訪問記。著者は紙商営む。県内紙郷地図。名簿。年表。明治初期の村別生産高。現役および漉屋跡を辿り地元の漉屋経験者の聞き書き。名尾:納富由助製紙碑(明治18年建立)、谷口進、楮原(かごばる)、東背振、三谷、小城、若木、塩田、玉島、浜崎、有浦、伊万里が記載。
81300428	紙漉きの里を訪ねて:和紙の旅6長崎県編	杉村 清一	杉村 清一	19850300	長崎	紙漉き村訪問記。著者は紙商営む。県内紙郷地図。名簿。年表。明治初期の村別生産高。現役および漉屋跡を辿り地元の漉屋経験者の聞き書き。湯江:佐賀仁比山から、大村:寛文に中国地方から、八女から移住、小樽、仁田、波佐見。
81300429	杉原紙の歴史:歴史と神戸(24巻4号)	藤田 貞雄	神戸史学会	19850801	兵庫	播磨紙の概観。杉原紙の前進として、奈良時代(播磨鑑)、平安時代(元享釈書)、梶原庄紙から杉原:殿曆に初出。「北条九代記」(杉原紙は鎌倉より)「紙鑑」20余にのぼる。大槻「言海」に杉原紙は揖保郡杉原村で漉き始めた、と誤記。
81300430	幸民・洪庵そして諭吉 歴史と神戸 40巻5号	阪上 正信	神戸史学会	20011001	兵庫 名塩	川本幸民(1810年生)、洪庵(1810年生)諭吉(1834年生)。明治5年4月、諭吉は大阪で八重と会い名塩を経て三田、九鬼家で一泊。幸民は文政12年上京、その折、有馬、武田尾、一倉泉の水を持参。洪庵と幸民は東京で蘭語翻訳。
81300431	蓮如上人と名塩紙 歴史と神戸 44巻5号	亥野 ?	神戸史学会	20051001	名塩	蓮如上人の名塩留錫。名塩における製紙業の濫觴。名塩紙の隆盛と衰退。
81300432	宝塚温泉における花街の盛衰(上) 歴史と神戸 46巻6号	桑野 友恵	神戸史学会	20071201	兵庫 宝塚	中世:小林の湯、塩尾湯、川面の湯の記載。明治25年小佐治豊三郎(分銅屋)、榎屋、弁天楼、小宝屋開業。戦前の宝塚旧温泉、物産展。戦前の新温泉。民話「塩尾寺と宝塚温泉」塩からい水で癒す。
81300433	宝塚温泉における花街の盛衰(下) 歴史と神戸 47巻1号	桑野 友恵	神戸史学会	20080201	兵庫 宝塚	宝塚温泉の衰退。住宅都市宝塚に。宝塚への女性の流入が多い。観光キャラバンの芸こが活躍。宝来橋。松涼庵。など写真。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300433	尼子谷 歴史と神戸 47巻1号	渋谷 武弘	神戸史学会	20080201	兵庫 宝塚	地名由来:尼子氏とは関係なし。川の意味か。
81300434	歌劇:1976年11月		宝塚歌劇団	19761101	名塩	p56「紙漉き恋歌」6場。作大関弘政:上演時間50分。名塩は紙漉き栄え、大正初年まで多額納税者の資産家多い。星組公演。弥右衛門伝説を劇場化。紙屋の娘せつは舞小雪、弥右衛門は瀬戸内美八。越前での弥右衛門とせつの別れでエンド。
81300435	歌劇:1976年12月		宝塚歌劇団	19761201	名塩	p56「紙漉き恋歌」6場。作大関弘政:上演時間50分。星組公演。弥右衛門伝説を劇場化。紙屋の娘せつは舞小雪、弥右衛門は瀬戸内美八。上演場面の写真集。
81300436	熊野の和紙(第一報)熊野歴史研究9	大西 為義	熊野歴史研究会	20020500	和歌山	p3熊野本宮、那智、花井。花井紙子(和漢三才図絵)。平安記載なし。中世-近世:後期に高野紙、熊野紙。本宮:記録は1580年代あるがそれ以降は江戸中期以降。桐原小々森半紙。熊野半紙。(桐原村文書)。那智紙・鳥子:1275年初出。唐紙に似る。1840年代銅山発掘による水質悪化で衰退か。徐福紙など(那智文書)
81300437	続・熊野の和紙(第二報)熊野歴史研究12	大西 為義	熊野歴史研究会	20050500	和歌山	p16花井地区:紙と紙子。(小野報告)1609年十文字紙の紙祖は美濃高須城主高木氏の息女、高木貞子。天明の飢饉で衰退、小々森は幕末に再興。高山は1804年頃土佐から女工招聘。地元に残る紙で考察。
81300438	熊野の和紙・完(第三報)熊野歴史研究13	大西 為義	熊野歴史研究会	20060500	和歌山	p37紙製品の調査報告:紙蒲団。紙製上敷。紙子。
81300439	白鷹町の民俗	奥村 幸雄	白鷹町郷土史研究会	19660601	山形	西置賜郡白鷹町、沿革、社会伝承、経済伝承(武田正)などから構成。p14養蚕、つけぎ、薬草、青そ、漆、削り花、p18紙漉き(深山紙、樋口・今井家、水争い、「深山製紙沿革史」。簀はワリガヤと馬の尾毛。最盛期は対象0年頃。山楮は黒澤部落。現在は12・13軒。障子紙、奉書。最上川の川運。
81300440	五日市の軍道紙:多摩のあゆみ9号	石井 道郎	多摩中央信用金庫	19771115	東京	p56起源は文化・文政か?「土産に大畑紙と云う紙を漉出して生産の助とす」(新編武蔵風土記稿、乙津村)。製茶用ホロ。養蚕用紙張。黒八丈中入れ紙。渋紙。色が黒く障子紙には向かない。栗原家は小川から嫁。大正10年頃の土佐出身の巡査が技術導入。昭和39年、萩原吉種、高野源吾が廃業。
81300441	秋川谷の漆と紙:多摩のあゆみ44号	石井 道郎	多摩中央信用金庫	19860815	東京	p33貢納制度が育てた産物:年貢として漆、棉、紬、荏(え)、大豆など。漆がダントツ。紙:大幡紙から軍道紙(戸倉、乙津、養沢、小中野、深沢、高尾、伊奈)紙舟役(金納)が課される。中世期、八王子恩方地区大幡、近世後期に乙津村に。養蚕、製茶用、油樽の目地に使用。(軍道紙の製造風景写真)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300441	秋川谷の漆と紙:多摩のあゆみ44号	石井 道郎	多摩中央金庫	19860815	東京	p33 貢納制度が育てた産物、中世期、大幡紙(八王子市西寺方町)から近世伝播。軍道集落(乙津村)が中心。昭和40年代終息。養蚕用、製茶用ほか、杉樽の目地に使用例。
81300442	紙すき 昨日 今日:郷土石見5	大庭 勉	石見郷土懇話会	19780909	島根	著者は津和野工芸館。公務員生活(37年)後、職人に。久保田保一から学ぶ。工程毎写真あり。
81300443	ふるさと島地		防府農業改良普及所	19820000	山口 歴史 郷土 見本	p5 徳地和紙の歴史:重源の伝説。1527年「得地紙」初出。大内義興。1607年輝元、家康に紙献上(能美氏が漉く)1664年河口市郎左衛門が建議、開始。堀村伏野の紙蔵。1676年徳地請紙5180丸、黒保770丸。1843年島地856、農家349、紙漉305戸。M38伊勢屋倒産、徳地紙購買販売組合設置(T13解散)M42防長紙同業組合設立(S23解散)大正期の紙役場記録。大正期は約200戸が従事。千々松家の製造工程。p66 暮らしに密着した紙の記載が多い。
81300444	随筆からかみ	中村 直次郎	榛原商店	19990000	随筆	日本障子、壁画のよもやま話。
81300445	飛騨の山中紙について:飛騨史学、第5巻	岡山 準	飛騨史学会	19841103	岐阜 島根	p42山中(さんちゅう)紙(飛騨紙)の歴史。山中とは、吉城郡河合村、宮川村。仁安1年飛騨国庁注進状、建仁、調進の記事。姉小路家(古川、国司)と関係か。近世、金森氏が保護。杉原は好評。緒楮由来記に、飛騨紙は鹿足郡九郎原村、注連川村へ伝播と。飛州志に紙名記載。販路は古川、高山。明治以降も河合村で産出。古川、後藤重泰が公用紙に採用。現在、角川、有家、中沢上、稲越地区で30戸と。
81300446	立岩紙	長門町役場	長門町役場	19800331	長野 見本	上田藩。桑と同時に楮。宝永指 outpost によると72村330戸が従事。申し合わせ書(両角文書)で統制。明治期は蚕卵紙が主。大正、昭和に立岩紙として認知。大正6年笹沢豊が視察、漉き場改善、機械化、大判化。昭和7年、組合設立。白目楮から桑皮、パルプ混入へ。障子紙は朝鮮人参の袋、戸籍紙など。昭和45年、組合解散。昭和55年現在、立花正残すのみ。商標見本あり。
81300447	因州和紙産地の現状と問題点	竹林裕吉、高城寛	大阪経済大学中小企業経営研究所	19760325	鳥取 現代	大阪経済大学中小企業経営研究所調査報告第4冊。53業者。青谷地域(27)うち山根(13)、河原(11)と佐治地域(11)。産地の生産の現状:高、業者規模、品目、労働特性など。産地問屋の現状:仕入と販売。流通の現状を経済的観点で解析。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300448	九州の紙祖日源 夕葉41(12巻1号)	坂口 寛司	王子製紙 八代工場 夕葉文庫	19580730	熊本	p29宮地製紙のおこるまで。宮地製紙のおこり(加藤清正と矢賀部新左衛門。細川氏入国と宮地製紙(下川孫兵衛、原四衛加わる)。細川重賢の奨励(木村喜三次のてがら)。細川、松井両氏の奨励(松井家の御用紙すき竹原幸之助)。明治維新の打撃(松岡長景の義侠心)。宮地のわら紙(三蔵どんの仕おき)。日清戦争の頃(六寸版切と東肥製紙会社)。東肥製紙の火災と九州半紙。八代製紙をおこす(竹原慶次、田口政吉らの尽力)。八代製紙、王子製紙に合併される。
81300449	宮地製紙の話 夕葉5(2巻1号)	永松 豊三	王子製紙 八代工場 夕葉文庫	19470125	熊本	p29肥前の三谷紙、猿と紙、紙屋院、越前五箇村と真柄家、岡太神社、大滝神社、
81300450	日本産紙	榛原 直次郎	榛原商店	19270201	見本	榛原商店の各地の見本紙(50種)と価格表。サイズと重さ。海外用か英語で表示。最も高価なものは、鳥の子(1円30銭/枚)
81300451	手漉き和紙の伝統	山野辺 慶一	長島 勲	19781024	島根 鳥取	和装本。最古の印刷は慶州仏国寺の陀羅尼経。鳥取と島根の歴史を紹介。因州紙:M20年に吉井を招聘。塩義郎を中心に民芸紙開発。共同施設、水道、山根式連続抄紙機を導入。庶民性へ。石州:古市場の技術は朝鮮からか。出雲:野白、祖父谷、馬馳、岩坂。明治に麦かん紙、藁紙を製造。雲南は松江製紙で改良紙が席卷。安部栄四郎。広瀬紙:長島勲。祖田弥兵衛が伝習所、山陰製紙所、須谷和紙の再興。安部に弟子入り12年修業。三椏の花に郷愁。
81300452	蔵王紙	白石和紙 工房	白石和紙 工房	?	宮城 見本	白石和紙の見本帳。約40種。解説あり。染紙の鼠、くるみかたから染。茶はくるみ実の表皮。青、藍。金茶、はまなす。黄、きはだと記載。国宝修理用紙に指定。
81300453	和紙の創成と発達	浜田 徳太郎			岐阜 福井 産地	奥付なし。少日焼、表紙傷あり、仮綴。産地の歴史を辿る。
81300454	出雲和紙(見本帖)	島根民芸			島根 見本	和綴見本帖。出雲民芸紙54枚。三椏、楮、雁皮。色紙、スジ入。萱漉きなどからなる。
81300455	石州和紙	久保田 彰	石州和紙 協同組合	19940000	島根 製法 見本	原料栽培、刈り取り、蒸し、剥ぎ、煮熟、塵取り、叩解、漉き、抄造、数子(紙料すくい)調子、捨て水、紙床移し、圧搾、紙床剥がし、干し板貼、乾燥、選別の各工程を細かに分解して、カラー写真と解説(邦、英)を添える。見本紙3種添付。漉き手は久保田氏。94年12月23日訪問。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300456	和紙の未来:若狭湾沿岸地域総合講座 12	敦賀短期 大学地域 交流セン ター	敦賀短期 大学 同 成社	20100320	福井	伝統工芸をステージとする産学協働の実践教育。基調講演:石川満夫(越前市文化振興事業団理事長)歴史、流しすき、現在漉かれている紙の90%以上は明治以降創造。日常の中に癒し、温かみ。先端の紙:変速機の摩擦紙、携帯電話の基盤チップ、ウィーン万博の記載「若州菅浜の雁皮は皮厚うして上品である」と。
81300457	因州青谷の和紙ガイド	若木 剛	あおや和 紙工房	20060800	鳥取 見本	工房は平成14年8月オープン。地元の和紙の歴史や気概に触れる好書。平成16年事業所数16、売上16億円。起源は美濃国弥助伝説、鹿野藩亀井の文書。日置地区(日置川、河原、山根中心)勝部地区、青谷地区(明治40山陰線トンネル開通で湧水、製紙開始、赤尾谷記念碑)企業家マインド:吉井源太の招聘、房安喜八は鉄板乾燥機、ピーター共同利用。現在の立体漉き(溜め流漉き)に。浅草の提灯紙、首相官邸の壁紙に。
81300458	西条の手漉き和紙の歴史と文化:西条 史談69号	加藤 正典	西条史談 会	20070100	愛媛	専売制移行時期:1791年と確認。錦絵用紙の始期:1770年間?。新撰紙鑑:伊予産紙に奉書、杉原、丈永、仙過。西条藩周辺の座の動向、楮の外部販売。西条奉書の生産工程と分析
81300459	フランク・ホーレーの家族のこと/生活 文化研究所年報12	横山 学	ノートルダ ム清心女 子大学生 活文化研 究所	19990331	島根、宮 城、目録	生活文化研究所年報12:フランク・ホーレー氏の家族のこと(横山学):ロンドン生まれ、家系。ロンドンタイムスの特派員として来日。最初の妻は美濃田琢磨氏の長女俊子。など
81300460	古代の技術と播磨考	小田 猛	培養社	19801120	兵庫 古代	第2章:製紙技術:播磨風土記には紙の記載なしと。古代製紙技術の概説。播磨の紙として杉原。延喜式に紙麻(210斤)。正倉院文書に写経紙(播磨経紙、国紙、中紙、白中紙、中薄紙)の名。754年薄紙100帳障子紙を納めると。永万文書に1165年多可郡荒田社(杉原?)宍粟郡伊和社の紙収納の記事。杉原谷村郷土誌。多可郡誌など引用。
81300461	九州の製紙業	成田 潔英	丸善出版	19491025	福岡 熊本 佐賀 宮崎 鹿児島	基本文献。九州和洋紙の来歴記載。製紙伝搬の由来:筑後(日源)肥後(八女:越前系、木村の資料、明治になり水俣から三蔵、土佐技術、藁紙開始。人吉:八女から。球磨四浦:人吉から。熊本。玉名:朝鮮、道慶を木葉村、慶春を広見むらに)筑前(甘木:和田仁右衛門、柳川から転住)肥前(名尾:納富由助、溝口から)薩摩、日向、大隅(島津氏が奨励)いずれも紙漉き村が多く残存しており詳細に紹介。p121原料生産資料(昭和23、量、価格)p173製造工程、種類、生産高。製造業者。
81300462	島根県の和紙・補遺	内田 兼四 郎	自費	19840530	島根 民話 製法	野津吉蔵のはたらきと目次カヨ女の一生と副題。写真多用。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300463	島根県の和紙	内田 兼四郎	自費	19810909	島根 民話 製法	由来と現況と副題。乃白紙の沿革:三家。藩主松平直政、中条善左衛門を越前から招き藩営御紙屋を設置。1716年野津甚七、御紙屋に。二代目吉蔵、越前に修行(藩主より毒殺が命じられたが助命された逸話残る。野津甚八独立。p86三隅町の沿革。安部栄三郎の記事。製造工程は写真を載せ解説する。
81300464	越後の和紙:新潟県文化財年報8	新潟県	新潟県教育委員会	19680331	新潟 製造 見本 統計	民俗資料特別調査報告書、新潟の和紙についての調査報告、27ヵ所の産地が知られているが残存する小出、高松戸倉、加茂、大谷、大沢、小国紙を紹介。統計及び見本紙付き。いずれも抄造工程、民俗学的記載を重きを置き、特に用具については詳細に記述されている。
81300465	石西物語	末成 弘明	松下興産(株)	19900331	島根	p41紙漉き。民俗:共同で皮はぎ作業。昔話、仕事唄を紹介:p104楮へぎ歌:山を下ればいばらがとめる。いばらとめるなよ日が暮れる…。p116紙糸と紙布。コシギリ(紙布で作った作業着)
81300466	山根和紙資料館	四本 貴資	塩 義郎、大因州製紙協同組合	19821200	鳥取 図録	展示図録、古文書、経典、和装品。加工品(凧、畳紙、色紙、もみ紙、人形、面、大福帳、型紙、紙布、団扇、提灯、笠など)。山根和紙資料館は昭和55年5月開館。
81300467	筑後和紙をはじめた日源上人	右田 乙次郎	筑後市教育委員会	19840300	福岡 熊本 近世	筑後和紙の始まりの基本文献。筑後市溝口。日源は五箇生まれ。1595年に福王寺に領地与えるが、藩主変遷。地元の江戸期の発展は遅い。熊本八代宮地へ伝搬。矢筈部新右衛門(溝口)矢壁新之丞(肥後御用紙)伝搬記録詳述。日源上人銅像は昭和35年再建
81300468	紙をすく村:特別陳列図録7	京都府丹後郷土資料館	京都府丹後郷土資料館	19800715	京都 見本	久美浜周辺は栃谷、河梨、神谷。宮津付近は畑、東谷、日置、上世屋、由良川支流の北原、二俣、天田内、高津江、伊佐津川沿いは黒谷、真倉、伊佐津。工程の記述。用具の寸法。聞き書き:漉き手は女。出産真近まで仕事。
81300469	紙すきの山里	和歌山県立紀伊風土記の丘	和歌山県立紀伊風土記の丘	20020928	和歌山	特別展の解説書。紀州の和紙と紙の民具。明治から昭和50年代の県内の和紙生産と産業を紹介。高野山:高野紙(九度町に1軒)、神野紙、保田紙(清水町活動センターで)。海南市の和傘紙として。日高:藤井紙(障子紙、土佐から導入、保存会)、山路紙(奥野誠復興)は障子紙。御坊、田辺へ。熊野:音無紙(極薄、紙床なし、新宮の遊郭、昭和30年代まで)、花井紙(けいかみ、紙子)、那智紙。
81300470	岩手特産品製造業者名簿		岩手県	19910000	目録 岩手	p22和紙:成島(東和町)和紙工芸館。東山:鈴木英一、鈴木金子、鈴木正、鈴木俊彦。和傘:花巻、北上。紙工芸:東山。岩手県における国指定伝統工芸品は、南部鉄器、秀衡塗、浄法寺塗。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300471	全国手すき和紙振興展誌	小路 位三郎	通産省	19610000	産地	和紙製。日本橋三越で開催。出品は障子紙：高知、福島製紙工場、楮紙、三椏&雁皮紙、工芸和紙、加工紙。通産大臣賞は高知、福島製紙工場。農林大臣賞は襖紙(今立)。
81300472	家庭でできる紙作り	山口 力	山口 力	19900515	製造	19900401初版。雑誌「SPINNUT」No13-16に記載。材料と道具。麻紙と絹紙の作り方、楮紙と羊毛紙。応用編。その他。
81300473	石州半紙見本帳	石州半紙技術者会	(株)アロー・アート・ワークス	19780325	島根 見本	柳橋が工程を解説。品質管理、規格(25cm*35cm)。技術者会年譜：昭和34年発足(会長、清水清勝)。名簿(川平、下岡、西田、倉井、久保田、西田、長見)。見本は各氏の半紙ほか17種。重本(3633)
81300473	石州半紙見本帳	石州半紙技術者会	(株)アロー・アート・ワークス	19780325	島根 見本	製紙工程写真。品質管理規程。年譜：昭和34年保存会発足(清水清勝)。見本：下岡孫治、川平友太郎、西田義夫、倉井桃太郎、久保田保一、西田正美、長見博。民芸紙も。重本(1364)
81300474	越前国、御用紙資料：東横学園女子短期大学紀要25	河野 徳吉	東横学園女子短期大学	19901000	福井	三田村家・大滝神社所蔵資料。三田村家家系。
81300475	少年工芸文庫、製紙の巻	石井 研堂	博文館	19030416	図 製法 近代	和紙研究2。同文庫12編。歴史、製法、和洋紙両方に触れ易く解説。(関176)、文明の母、少年の紙癖、紙の起源、本邦古今の紙業、原料の精製、美濃紙の漉方、奉書紙の漉方、吉野紙の漉方、特殊の紙類、日本紙の欠点、少年紙漉遊び、製紙会社、藁の城、筵の山、藁切り場、煮熟缶、打洗機、漉き場、糊付工場、紅葉の錦、水戸黄門公の俣徳、洋紙社の鼻祖、普通紙の原料、原料の調合、普通紙の抄成、紙幣用紙、漉き入れ紙、標本目録。
81300476	雁皮を漉く村：加能民俗研究33	中川 幾美	加能民俗の会	20020301	石川 名塩	能美郡川北町中島。手取川。孫兵衛が敦賀で習得、天明に復活。雁皮の収穫は3月中旬から4月。西陣織の金銀紙。加藤家。箔打紙は大正末期から昭和7から最盛期。工程が記載。黄蜀葵、簀桁は4重に紗と簀で構成、握り手なし。流漉き。漉き手：早瀬すず子。吉田すみ枝、松本トシ工、早瀬和子、向井キヨ子、昭和50年機械漉き。
81300477	土佐和紙の系譜		いの町紙の博物館	19950302	高知 見本	いの町紙の博物館10周年記念誌：簡単な沿革。土佐紙業を支えた先人たち：吉井源太、土居喜久弥、中田鹿次、高岡丑太郎、河野楠一。伊野町の成立と発展：「土佐州郡志」江戸中期34戸。「土佐七郡郷村帳」(1743年)394戸。1820年平紙の集散地。在郷町として発展。明治初期には3割生産、半分集散。末期には、問屋坂に問屋制生産が成立。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300478	季刊「紙」第一号	増田 れい子	王子製紙(株)市場開発部	19810301	岐阜	岐阜のパピルス(増田れい子)パピルス紙は三重大矢頭献一氏が復活。安土氏が継承。前川千帆と閑中閑本:「記録紙漉帖」の復活本。
81300478	閑中閑本:記録紙漉帖:季刊「紙」第一号	前川千帆	王子製紙(株)市場開発部	19810301	栃木 埼玉 東京 島根	復活本:昭和22年秋。和紙の工程を版画で。紙になる木。楮を刈る。楮を蒸す。粗皮を剥く。晒しとかづなで。楮皮を煮る。漂白。楮皮を叩く。ネリ。紙漉き。大判紙漉。床締め。乾燥。仕上げ。
81300479	みちのく白石和紙:季刊「紙」第2号	増田 れい子	王子製紙(株)	19810701	宮城	遠藤忠雄8代目。16歳の時白石製紙(株)倒産。諸紙布(もろしふ)
81300479	和紙礼讃、豆本の世界:季刊「紙」第2号	寿岳 文章 今村 秀太郎	王子製紙(株)	19810701	北海道 宮城 島根 富山 見本	糸ぞまめほん第30号の復刻。見本15種。和紙礼讃(寿岳文章)、みちのく紙「白石和紙」(菅野新一)(cf3111)。豆本は70種。
81300480	八尾和紙:季刊「紙」第4号	増田 れい子	王子製紙(株)	19820615	富山 東京	吉田桂介(67歳)八尾和紙は富山薬袋紙。柳宗悦との出会い。戦後、河出書房が世界文学全集の見返し紙に採用。付録は鉄道唱歌。北陸地方3番に「見よや王子の製紙場 はや窓ちかく来りたり すきだす紙の年にます 国家の富もいくばくぞ」と。72番まであり。
81300481	張り子の郷土玩具:季刊「紙」第5号	牧野 玩太郎	王子製紙(株)	19821215	福島 香川	縁起もの:達磨(高崎)。三春張り子。久の浜天神様、宇土角力、ほうこさん(高松)、伏見人形(成田屋人形)、常石(広島)猫抱き娘、会津馬乗り大名、古賀など。
81300482	栃木烏山和紙:季刊「紙」第6号	増田 れい子	王子製紙(株)	19830715	栃木	福田弘平(47)程村紙は溜漉き(4回汲み)繊細な重作業。福田家は元問屋。宇都宮大学、教師を目指す。父長太郎は烏山高校、自治大学の卒業証書の和紙造り。
81300483	双六を考えて:季刊「紙」第7号	アン ヘリング	王子製紙(株)	19831215	産地	紙名尽寿語六、四季のあそび幼稚寿語録、東海道中双六、一の谷合戦飛廻双六、いか登天上双六、幼年戦争双六、
81300484	芭蕉紙:季刊「紙」第8号	増田 れい子	王子製紙(株)	19840615	沖縄	紙漉御殿(かみすきうどん)那覇市首里儀保、勝公彦(昭和21年生)。昭和52年12月沖縄へ。平良敏子さんとの出会い。芭蕉は糸芭蕉の外側の皮から芭蕉布。内側の皮(バサケ)は細過ぎ廃棄。バサケから芭蕉紙を。ぼそぼそとしたソバカスだらけの茶渋色の紙。水には強い。
81300485	阿波藍紙:季刊「紙」第9号	増田 れい子	王子製紙(株)	19841215	徳島	p4富士製紙:川田川、藤森実(69歳)、藍紙を万博用に開発。従業員35名、日産3000-5000枚。手漉きと機械漉きは半々。昭和初期恐慌で田畑売却。2度召集。昭和27豊紙が急増。40年台までに需要低下。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300485	長安二千年の紙郷:季刊「紙」第9号	久米 康生	王子製紙(株)	19841215	徳島	p16古代紙の原点を往く旅:長安県北張村(西安から西南60km)漉き槽400.作業員600人。技法:構(楮)、黒皮削りはひき臼、打解は踏みうす、繊維を切断。塵取り作業はない。ネリは入れない。溜漉き。漉き槽は地面(約50cm)堀下げ、漉き手は約70-80cm掘り下げた穴に立つ。簀は竹ひごを菜種油で処理、馬の尾毛で編む。
81300486	薄美濃紙:季刊「紙」第10号	増田 れい子	王子製紙(株)	19850701	岐阜	後藤茂(61)久恵(57)現在42軒86名。三代目。63cm*93cm重さ2匁4分。くみこみと化粧水を強くすることが肝心。ゆっくりではいい紙にならない。さいごの払い水。
81300487	和紙のある暮らし/関西あらかると5		関西情報発信機能強化推進協議会	19990000	福井、大阪、京都、兵庫、三重、統計、産地	英文を並記。和紙を紹介。世界の紙と日本の紙(町田誠之)、暮らしの中の和紙、和紙の美ほか
81300488	和紙ってなに?		(株)紙ing	19900000?	概説、見本	見本紙、24種。
81300489	紙の祭典2001:全国紙業振興大会	全国紙業振興大会実行委員会	全国紙業振興大会実行委員会	20011102	静岡	富士市開催の大会資料:CD-ROM付き(紙の国ふじ百年史)
81300490	和紙でできたものや和紙をつかったもの	亀山市歴史博物館	亀山市歴史博物館	20010720	歴史	第21回企画展。和紙に書いた書類や手紙。和紙にすった印刷物。裏方としての和紙。和紙の意外な使い方。縦帳、折紙。横帳。横半帳
81300491	紙の歴史と製紙産業のあゆみ	紙の博物館	紙の博物館	19980800	歴史	第三展示室:世界の紙の歴史/書写材料、日本の手漉き紙、和紙ができるまで、手漉きから近代的産業へ、和紙から洋紙へ、手漉き和紙の産地。第二展示室:日本の製紙産業のあゆみ/明治からの洋紙の発達。(2冊あり)
81300492	伝統工芸三加和の手漉和紙	三加和町教育委員会	三加和町教育委員会	19930300	熊本 歴史 統計	古文書を引用し近世の熊本の製紙状況に詳しい。越前系宮地紙:加藤清正が、1600年溝口紙の新左衛門を宮地へ、弟子、矢壁三右衛門が継承の説と木村佐兵衛が開始の説がある。木村喜三次が発展させた。浦田紙:1598年、加藤が高麗から道慶、慶春ほか9名招聘。亀井村(熊本)で開始、その後、玉名郡木葉村浦田、日平(玉東町)川原谷(鹿北町)で興す。三加和町:和仁、十町川。山十町の北原両助が川原谷に学び、藩御用紙を漉く。北原家は大阪に販路。江戸末期は800軒以上、産量は藩内の過半数。明治以降一揆に衰退。現在は楮を供給。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300493	ブータンの手工芸品 あるく・みる・きく142	西岡 里子	近畿日本ツーリスト	19781200	海外	p24ブータン紙:漉き手は男。デシヨ(デは沈丁花、シヨは紙)。小屋の真ん中に1m四方の水槽。材料は沈丁花、水に浸け、石の上で木槌で叩いた後、かまどで煮る。50センチ角のスノコの上にしゃもじで流し込む。スノコのまま立て掛けるか、白壁にはり乾燥。
81300494	筑後和紙生産の推移:八女市マスタープラン基礎調査資料第二号	久保山 千里	八女市役所	19650700	福岡	八女市マスタープラン基礎調査資料第二号:
81300495	みかど紙、加美代紙	富田	富田	?	見本 東京	富田(京橋)、表具紙の見本(幅2尺3寸、丈4尺7寸)、みかど紙28種、加美代揉紙(幅2尺3寸、丈4尺5寸)、元祖神代揉み紙。24種。掛け軸の例示。
81300496	八代宮地の手漉紙史	江上 敏勝	八代市教育委員会	19680331	熊本 紙祖	肥後和紙製造の流れ、宮地和紙の起源と発展。民俗資料調査からなる。創業:加藤清正、細川肥後入国、細川重賢の奨励、木村喜三次の壇紙の導入、細川、松井の奨励、明治維新と宮地紙、藁紙時代、日清戦争期、九州半紙と横溝又市、八代製紙。現在に残る紙漉道具。
81300497	麗しき紙屋川	河野 徳一	私家版	20090330	京都	100部中の80番。紙屋川の存在と洛中の紙文化、その遺産の伝承が目的と。遥かなる水源、紙屋院と院紙、麗しき紙屋川、宿紙の村、伏流水で紙漉き(西洞院の紙座、唐橋と紙屋川)から構成。
81300498	岐阜県における美濃紙の研究	座馬 井邨	一楽院友特別研究会	19650425	岐阜	研究会テキスト:上代(濫觴、美濃国紙屋)、中世(大矢田の紙布、年貢)、近世(御用紙、手間賃)、明治(特産紙、原料対策)、大正から昭和(生産額、美術紙、統制、養女奴隷制度)、現況
81300499	富士川水系の手漉和紙(第20回企画展)	富士市立博物館	富士市立博物館	19890319	概論 山梨 静岡	基本的文献。駿河半紙:大宮(潤井川、富士川)天明(1781)原村渡辺兵左衛門定賢が三椏を発見、地頭岡野氏が江戸伊勢屋に販路。より古い記録あり。沖津(興津川、庵原川)明和年間に市川からの伝搬説。府中(安倍川、タテ科川)茶紙と関連。三椏の生産:駿河半紙は以前から生産、三椏の大規模計画的生産が渡辺の手でと解釈。今泉の製紙業は、明治2年内田が吉原の新産業として着手。甲斐紙漉(西島、市川大門)の起源にも詳細に触れる。
81300500	熊本県(肥後)手漉紙郷考 夜豆志呂70	江上 敏勝	八代史談会	19830806	熊本	p14三加和紙、川原紙、岩野紙、浦田紙、亀井紙、東寺原紙、甲佐紙、浜町紙、砥用紙、五木紙、四浦紙、鶴田紙、人吉紙、大河内紙、河俣紙、小川紙、轟紙、宮地紙。参考65号。
81300501	八代市宮地手漉紙のきのうきょう/夜豆志呂4	江上 敏勝		19671120	熊本	宮地和紙のNHK紹介記事、八代市立図書館でコピー(9908)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300502	新指定の文化財:月刊文化財165号		第一法規出版	19770601	茨城 栃木 高知 奈良	p26西の内紙:菊池五介(明治42)。菊池一男(大正8)。小野瀬角次(大正8)。程村紙:福田長太郎(明治34)。清張紙:片岡藤義(明治35)。p41表具用手漉和紙(美栖紙):上窪正一(大正6)
81300503	新指定の文化財:月刊文化財177号		第一法規出版	19780601	埼玉 奈良	p30細川紙:細川紙技術者協会(小川20戸、東秩父3戸)。p42表具用手漉和紙(宇陀紙):福西弘行(昭和5)。p44漆漉紙(吉野紙):昆布一夫(大正12)
81300504	土佐の紙漉き道具作り/月刊文化財197号	柳橋真、宮崎謙一	第一法規出版	1980501	高知、製法	「月刊文化財」2月号、p12漉き桁(井上昇、明治29年生)中沢楠蔵、浜田秀二郎に習う。檜製、典具帖紙用。軽い「能」の良い桁。漆塗り。刷毛(尾崎薫、明治44生)父から伝授。馬尻尾の付け根の毛、天尾は毛先があり腰が強い。尻尾の振り毛、たてがみの順。刷毛の接着剤は秘伝。毛先のない毛を除く仕事は超難度。漉き紗つくり(山崎鶴亀、明治30)絹沙、縦横糸とも撚り。切れた場合はつめ継。柿渋仕上げ。
81300505	泉貨紙:月刊文化財200号	文化庁文化財保護部	第一法規出版	19800501	愛媛	p41菊池定重(大正15年生)野村町。地元楮を利用。細かい竹箆と荒い萱箆で交互に漉き一枚に合わせる。前者は微細な繊維、後者は長い繊維で厚い。昭和43年1軒に。
81300506	岩手の伝統産業展図録	岩手県立博物館	岩手県立博物館	19820000	岩手	p6和紙:東山紙:「紙生里(かみあがり)」という地名。明治25年139戸。昭和28年107戸。セメント工場進出。山谷部落に4戸。成島紙:盛岡藩御用紙。明治20年127戸。昭和40年10戸。青木家1戸。一則さん継承。工程。桐下駄。こけし。漆器。鉄器。染色。織物。硯。竹細工。箆笥。焼ものなど。
81300507	安部栄四郎の出雲和紙:月刊絵手紙171号		日本絵手紙協会	20100301	島根	紙は「神」に通じる。柳宗悦「これが日本の和紙だ」私邸は棟方志功美術館。安部栄四郎記念館の案内。
81300508	にほんのにほん「和紙」	タマ事務所	千趣会	19990201	概説 産地	基本知識:紙種、文様、産地、材料、工程、歴史を豊富な写真で紹介。暮らしの中の和紙、産地の紹介:京都、福井、和紙の楽しみ方。写真多い。
81300509	久留米藩溝口紙庄屋 紙方御用控	筑後市教育委員会		19701220	福岡	安政5年から明治4年の久留米藩と庄屋との往復文書109通。16戸の御用漉きを統括。紙漉きの命だけでなく、楮、諸道具、田畑・屋敷九反八歩の下賜。溝口村子孫、横溝義隆、正治、利明氏。
81300510	民具の時代差とその空間的配置:岐阜市歴史博物館研究紀要2号	日比野 光敏	岐阜市歴史博物館	19880331	岐阜	基本文献p1美濃中・西部の紙漉き用具の形式年代を確定し空間的配置を確認しながら分布の特質を解明する。馬鋏(明治5年)、小手の大型化(明治20年頃、吉井)針金引き、取手、水切り。立ち漉き(明治30年頃)。ジャッキ压榨。「耳折り」と「藪」。牧谷を中心に改良が進む。揖斐谷は旧法が温存。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300511	百工比照	石川県立美術館	石川県立美術館	19930929	名塩産地 石川近世	前田育徳会。会館10周年記念特別展。加賀藩五代藩主、綱紀、江戸前期から元禄期の各地の工芸品を集大成。13箱に収納。紙類は、和紙、張付唐紙、表紙、外題紙から構成。27産地。317枚。名塩紙は第23面-27面:四色鳥子紙、湊紙、柿葉袋紙、粉入り間似合紙。第33-34面:五色半切。p11図版。
81300512	山方町立歴史民俗資料館	山方町教育委員会	山方町教育委員会	19940211	茨城	図録。写真試料43点。西の内紙関係は、楮の黒皮と白皮。表皮台と小包丁。紙漉道具(舟、箕、桁、まんが)
81300513	山口県手すき和紙の振興にむけて		山口県商工会連合会	19870000	山口統計 歴史	山口県昭和61年度小規模事業対策特別推進事業(わさび、茶、和紙)の一つ。防長和紙の歴史的推移。鹿野:生産高500-600万円で30-40万円の赤字。高齢者主体で販売不振。徳地山内:売上1000-1500万円。原料確保の見通しがある。生産戸数統計。和紙生産状況(明治22-昭和13)楮、三椏の流通状況(山内氏)
81300514	越前和紙技術:文化財調査報告(第17集)福井	斉藤 槻堂、福井県文化財専門委員会	福井県教育委員会	19670330	福井	p20打雲・飛雲・水玉、選定番号第14号、昭和32年7月30日、岩野平三郎。漉掛技術(別に漉かれた地紙の上に型紙を置いて模様を漉きかける方法)に2つの流れ:加藤河内-西野弥平治-岩野平三郎-2代目。広場治左衛門-小畑善太郎-二代。
81300515	紙の知識	紙の博物館	紙の博物館	19980300	概要	洋紙が中心の記載。紙の語源は、簡(カン、カヌ、カニ、カミ)音読みは中国語のzhi(ジ)から。紙の歴史、紙の種類。性質(目、表裏、秤量、密度など)紙の見分け方、寸法。
81300516	家庭でできる紙作り:第5版	山口 力	山口 力	19950301	製造	材料と道具、麻紙の作り方、楮紙の作り方、羊毛紙の作り方などからなる。マニュアル化され写真も豊富。
81300517	インディア・ペーパー	浅田 泰輔	(財)紙の博物館	20031200	歴史見本 大正	大正13年の復刻。聖書・辞書用紙開発の記録。著者は王子製紙都島工場で真壁豊と開発に従事。三省堂辞書用特A印刷紙。原料は木綿破布および麻破布。
81300518	小城の手漉き和紙	小城郷土史研究会	原田秀夫	19840000	佐賀 近世	和紙製。佐賀県小城の今昔。昭和50年名尾3戸。塩田1戸。唐津8戸。小城郡1732年(享保17)岩松村永泉村、辻孫兵衛が筑後溝口から導入。近世の詳細は不明。「紙方役所」「岩蔵紙」「白紙新町」の名。明治20年「小城郡村誌」晴気村、岩蔵村、松尾村で紙生産。明治20年頃紙商小柳平三郎が復興。大正時の部落別紙漉き戸数、人名の記載。総戸数184戸。小城岩松で西田伊作が最後(昭和46年5月)。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300519	越前和紙特集:福井の文化12	八杉 健一	(財)福井県文化振興事業団	19880425	福井	越前和紙のフォークロア(長屋)岡太神社の紙祖伝説、泰澄大師と大滝寺。紙商の神様弁財天。紙の祭今昔。その伝統(渡辺)時の権力との対応に才覚を発揮して乗り切ってきた歴史。技の高さ。1700年に「お留め紙」で伝播禁止。紙漉く心、求めるころ(加藤)吉井勇の紙漉きの歌を紹介。和紙の現代芸術(朝倉)
81300520	群馬の和紙	群馬県教育委員会文化財保護課	群馬県教育委員会	19830322	群馬 歴史	群馬の和紙の沿革。昭和3年の状況。技術も詳細に記述されている。現在は衰退。調査対象は桐生市星野富吉、増太郎。甘楽町秋畑地区、下仁田町、上野町。沿革:正倉院文書(774)上野紙。延喜式(927)紙上納の国の一つ。江戸:群馬県臨時農時調書(1870)天正/製紙が貢租対象、文正の頃活発化。桐生紙。明治:上野国郡村誌(明治8年)産額、戸数などの統計。聞き書き:元々は女が溜漉き。
81300521	旅:昭和24年12月号	町田 誠之	日本交通公社	19491201	名塩 滋賀 宮城 岡山	p22近江の紙漉村(町田)栗太郡上田上村(成子氏)草津から一里半徒歩で。宝暦年間に越前から、後年、播磨(誤り)名塩からも。蒸煮は4貫づつ。ソーダ灰、8時間。川晒し。簀は竹で編んだ上に紗。2尺*1尺5寸。ノリウツギ。縦方向のみ揺する。張り板は柘。p54紅柄格子の奥(長尾宏也)旭川、高梁川、の源流に三極。大高檀紙は厚漉きで強靱。戦前は仏へ。バンコック帽(津山)茶室紙(江川)
81300522	日本の和紙と石見半紙について(研究紀要4)	尾崎 太郎	島根県立浜田高等学校	19700306	島根 近世 見本	研究紀要4。副題は、「歴史的発展過程(近世まで)を中心に」近世までを要領よく整理、歴史背景も併せて記載され、読みやすい。石州半紙の歴史にも触れる。勝地の写真、見本紙一葉あり。
81300523	和紙の美、天平から江戸		サントリー美術館	19830830	目録、古代、中世、近世	漉き、染め、装飾を中心に天平から近世の和紙を展覧。写経(藍、紫、紺、萌黄、赤茶など色紙)料紙、石山切、紙衣、紙布、その他加工品。
81300524	細川紙手漉和紙コレクション/埼玉県指定文化財報告書10	埼玉県教育委員会	埼玉県教育委員会	19740330	埼玉	埼玉県指定文化財調査報告書10、生産地の地図、埼玉県の和紙の歴史、紙漉き工程、細川紙手漉和紙コレクション目録と図、写真で紹介。楮かしき、楮むき、楮ひき、楮煮、晒し、楮打ち、とろたたき、紙漉き、かんだしぼり、紙ぞろい、紙けずり、漉きたが、簀、加工品など258点、名称、採集地など正確。紙漉き家屋の平面図。
81300525	石見波佐地方の紙漉き習俗	隅田 正三	金城和紙の里産業組合	19870500	島根、近世、近代	隅田正三の論文集。1)季刊文化財(1840)波佐の紙漉きと紙布づくり。2)山陰民俗(2350)石見山間部の紙漉き用具について。3)染色と生活(2351)石見の紙布づくり。4)地下農民の生活史。5)浜田・那賀地区の民俗調査から。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300526	白石和紙の伝統	奥州白石郷土工芸研究所	奥州白石郷土工芸研究所	19721000	宮城	白石和紙の伝統:白石和紙への道、仙台藩の紙(来往した紙漉、導入の製紙法、藩の植樹奨励、お留め紙、御前紙漉・紙肝入・市、藩の製紙地・品種、高野家(御前紙漉)の紙目録(1857年)、紙衣。奥州白石郷土工芸研究所のこと(昭和15年10月14日設立):紙布研究のはじまり、技術記録、工程の解説。蔵王紙の種類。
81300527	江戸時代の紙幣	赤穂市立歴史博物館	赤穂市立歴史博物館	19970426	近世 名塩	「平尾文庫」コレクション:全部で127種。名塩:92弓場五郎兵衛銀札(1859年、銭相場や貨銭の高騰を抑えるために発行、二分札)84-86尼崎藩銀札(1777、1851、1853)、三田藩銀札(1854)、山口紙漉人足駄賃札(?)小浜米屋鶴三郎銀札ほか。97年赤穂市立歴史博物館で開催。
81300528	拝宮手漉き和紙問答録:徳山地域文化研究4号	森本 嘉訓	徳島地域文化研究会	20060320	徳島	p59那賀郡那賀町。聞き取り。話者:花本角一(明治37生れ)、マツエ(大正3)。原料:楮、ネリはノリツギ、カジ蒸し、クロソとシロソ、カミタタキ、チリヨリ、ツリザオ、コタテ棒、トモをとる。オシをとる(ジャッキ)、干板と作業:松板、鉄板、棕櫚のはけ、板の方が表、紙切:アテイク、
81300529	元方問屋と地漉紙流通をめぐる一考察:足立区立郷土博物館紀要28号	山野 健一	足立区立郷土博物館	20070331	東京 近世	地漉紙問屋「木屋」(下村家)史料。1)成立千住組地漉紙問屋仲間、享保年間(1716-)成立。冥加永を納める。2)元方問屋と地漉紙の流通:江戸、仲買問屋を通し市中に。紙屑の流通:仕入れ、元方問屋が豊島郡、足立郡、埼玉郡、葛飾郡に漉き立て。仕入れは江戸町屑屋、京・大阪の紙屑屋から廻船で。天保(1841)株仲間解散。紙屑渡世の買占め、高騰。
81300530	和紙の絵本 つくってあそぼう27	富樫 朗	農山漁村文化協会	20080331	歴史 産地 工程 名塩	和紙の歴史、製造工程、和紙の種類など絵入りで紹介
81300531	信州の「紙」を考える 地域文化No50	(財)八十二文化財団	(財)八十二文化財団	19991001	長野	障子と暮らす&山中(さんちゅう)紙と善光寺町の紙商人(降幡広信):戸隠村栃原、信州新町で漉かれ、善光寺で集荷、松代藩の御用紙。紙と関わる人たち:料紙(一色白線)元結(床寿)表装(小林清英)手漉和紙(腰原泰雄:大町、宮本と松崎地区に200軒、現在は民芸紙が中心)、和紙はなくなる(柳橋真)
81300532	わっ!しってる?和紙のこと	富士市立博物館	富士市立博物館	20000000	概論 静岡	手漉き和紙の概説。体験学習用テキスト。歴史、和紙のできるまで。富士市の製紙年表。宝永年間(1704-10)安倍郡足久保開始。明和年間(1764-71)甲斐市川の人、駿河和田島で三桎紙開始。天明年間(1781-88)富士郡原村、渡辺兵左衛門、三桎紙開始。1872年内田平四郎、三桎栽培奨励。
81300533	全国手すき和紙青年の集い美濃準備会	美濃準備会実行委員会	美濃準備会実行委員会	20010300	産地 名塩	p65谷徳製紙所(谷野剛夕、良弘は兄弟)概況と特徴を紹介。「つり」がない。漉手が男。桁は地元の指し物屋で2枚桁。のりうつぎ。下張りのため板目がだめ。鹿毛のはけの後、布をかぶせこする。漉いた後、簀を斜めにして、もう一枚漉いた後、紙床へ。徳地、今澄準子さん出席。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300534	家庭でできる紙作り:2003:第7版	山口 力	山口 力	20030215	製造	材料と道具、麻紙の作り方、楮紙の作り方、羊毛紙の作り方などからなる。マニュアル化され写真も豊富。
81300535	レッツ、メイク、ペーパー	山口 力	自費出版	19991201	概論	Let's make paper 2000. 英文で、材料から、Hemp papaer, 楮紙、ウール紙。透かしや染め紙などのつくり方をマニュアル風に解説と多くの写真で紹介する。
81300536	技に生きる(匠の世界)	小山市立博物館	小山市立博物館	20001000	栃木	第41回企画展の図録。職人尽図。和紙は烏山和紙、福田弘平を紹介。父長太郎と製造・販売。普及のために「福長押絵」を創設。栃木の益子焼の紹介多い。
81300537	松田喜代次の技(もみ紙の世界から)	滋賀県立琵琶湖文化館	滋賀県立琵琶湖文化館	19960300	滋賀 図録	松田喜代次のもみ紙の図録。基本は、無地、中揉み、大揉み、小揉み、ハイバラ揉み、大倉揉み、菊揉みとこれらの組み合わせ。1913年唐紙屋喜兵衛の子として生まれる。1945年草津に転居。1995年永眠。日本伝統工芸展に7回入選。
81300538	うだつの上がる町、美濃市美濃町	古田 憲司	美濃市、美濃市教育委員会	20000300	岐阜	歴史背景:大矢田に紙市発展(枝村商人、六斉市)、近世、初期には大矢田、小森家、その後、富永、上有知(こうずち)に。原料を他国から購入のため長良川を利用し発展。明治一大正が全盛。高知から技術導入(美濃版4枚取り)明治6、ウィーン万博へ出展。大正12、鉄道開通。戦争で大きく衰退。津保(飛騨へ)、岐阜、関、郡上、武芸街道に連なる。小阪邸は酒屋で国重文。今井家、西尾家など紙原料問屋。
81300539	和の紙:季刊ふでばこ10号	(株)白鳳堂	(株)白鳳堂	20070310	名塩 岐阜 石川 高知 福井 奈良	清張紙を漉く:尾崎茂、宮子、文故。簀を編む人:山本忠義、尾崎さんは茅のみ。紙を売る:坂本直昭。楮5500gから紙料は250g。美濃市。工業製品としての和紙(丸重製紙企業組合、辻守重)繊維を生かすのが和紙。隙間産業。謄写版紙から提灯紙、花火の火薬包装紙、陶器の絵柄転写紙など。岩野平三郎製紙所(雲肌麻紙)6*8尺の大判紙。箔打紙:熱野よし和、二俣紙(小松)を利用。吉野の里(福西弘行)
81300540	和紙/淡交別冊11	納屋 嘉治	淡交社	19940811	産地	カラー写真と解説で構成。和紙の命(高田宏)桂離宮の京からがみ(千田堅吉)入門・和紙探訪(小林良生)楮、雁皮、三椏、麻、竹、加工紙。和紙を考える:座談会。和紙の歩み(柳橋真)沿革と現代の岩野、安部、鹿児島寿蔵:紙そ人形、増村益城:漆器。和紙の造形:儀礼の堅紙の折り方。茶湯の紙。インテリアなど。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300541	和紙と暮らす:別冊太陽	増田 勝彦	平凡社	20041105	産地 福井 高知 岐阜	越前:生漉き奉書、雲肌麻紙、打雲、飛雲、墨流し、檀紙。土佐:楮、三椏栽培、清張紙、土佐典具帖紙、薄葉雁皮紙。美濃:本美濃紙、落水紙。p78紙漉き:1983年(479軒)2001年(392)2003年(317)。平均年齢:男(59.1歳)女(61.2歳)後継者有りは36.8%。売上:300万円未満29.3%、500万円未満7.5%、1000万円未満21.8%。重本。
81300542	和紙の造形	金子 量重	中央公論社	19841101	海外 加工	p10暮らしの中の和紙の造形美:歴史の中で紙の文化を紹介。p20写経、絵巻、浮世絵、和綴本と紙。遊ぶ:かるた、張り子、凧。踊る:面。着る:紙衣、紙布、紙布糸の作り方:上下をつなぎ細く切る。燃る。上下交互にちぎり橋を燃る。扇子、団扇。傘。行灯。堤灯。御幣。札。水引。p116アジアの紙。
81300543	ふるさとの伝統工芸:太陽127		平凡社	19731112	宮城 岐阜 高知 石川	p23白石紙(白石郷土工芸研究所)p40金沢水引(寺窪吉武)p41岐阜和傘(山内嘉市)、美濃和紙(古田行三)p43岐阜提灯(尾関次七商店、島崎貞一)p57伊野典具帖紙(浜田幸雄)p58須崎半紙(山崎)p64中津和傘(松崎新蔵)p66福島提灯。p69紙と竹と人(森万紀子)浜田氏の典具帖紙を紹介。薄い紙の繊維は舞っているように。
81300544	さいたまの職人:民俗工芸実演公開の記録	埼玉県立民俗文化センター	埼玉県立民俗文化センター	19911220	埼玉	民俗工芸映像記録(平成3)実演公開:小川(田中昭作、関根隆吉、内野要吉)東秩父(福島喜通)p31細川紙p367型紙彫り(藤野繁次郎)p487小川和紙(内野要吉)カズかき、カズむき、カズひき、カズ煮、カズさらし、カズうち、トロたたき、紙漉き、カンダしぼり、紙干し、紙そらい、紙けずり、
81300545	梅溪昇、年譜・著作等目録	梅溪 昇	梅溪 昇	19840410	名塩 兵庫	西宮市史関係、緒方洪庵関係の編集、著作、講演目録。年譜:大正10年尼崎生まれ。
81300546	歴史の道9	島根県教育委員会	島根県教育委員会	19990300	島根	p53石見地方における和紙の生産と流通:「経済録拾遺」(太ざい春台)「吉賀記」。紙の専売制:多ご主水の功績、1665年専売制。津和野藩は西方と奥方に分け紙を割り振り。奥の方が米との交換比率低い(6斗3)1745年蠟専売。見取りと津出:見取地区は吉賀、西方、中奥、大奥。津出は高津、松原浦、廿日市、長浜、三隅、江崎。津和野一横瀬一木部一奥野一桂ヶ平一黒谷一美濃地一飯浦一江崎。津茂一三隅。浜田広島街道、浜田三次街道など
81300547	和紙の有難さ	三代澤 本寿	原稿	19350000	長野 原稿	松崎紙、宮本紙。今は少なくなった和紙と日本文化を情緒的に伝える。見るだけで満足とか。「紙恩」「紙」と「神」と讃美。有難みを切実に述べる。著者は和紙染色家。原稿は昭和10年代か。
81300548	広瀬和紙	長島 勲	長島 勲		島根 見本	長島氏自製と思える見本紙(21種)。染紙。雲母紙など。手書きの表紙。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300549	四友部類:紙部		和紙研究会	17890000	近世 紙種	cf3112、1011。紙名別文献:1941年復刻版。各種文書の紙の記録。上、熟、宿、強、厚、美、凡、各種色、染、香、内陰(くもり)、墨流、麻、穀、斐、竹幕、心太。松、松皮、阿苦、雲母、練、紙屋、かや、陸奥、越ノ、しゅぜんじ、黒川、美濃、唐ノ、薄様、鳥ノ子、厚様、まゆみ、檀、讃岐檀、引合、杉原、続、双、造、放、重、禮、裏、懸、立、折、損、端、懐、撚、帖、笏、障子、紙衣、頸、森下、扇など160種。
81300549	四友部類:紙部	禿氏(とくし) 祐詳	和紙研究会	19410910	近世、紙種	cf0661紙名別文献:1789年復刻版。各種文書の紙の記録。上、熟、宿、強、厚、美、凡、各種色、染、香、内陰(くもり)、墨流、麻、穀、斐、竹幕、心太。松、松皮、阿苦、雲母、練、紙屋、かや、陸奥、越ノ、しゅぜんじ、黒川、美濃、唐ノ、薄様、鳥ノ子、厚様、まゆみ、檀、讃岐檀、引合、杉原、続、双、造、放、重、禮、裏、懸、立、折、損、端、懐、撚、帖、笏、障子、紙衣、頸、森下、扇など160種。
81300550	越後新渡の紙:百万塔23号	会田 隆昭	紙の博物館	19661031	新潟 福島	p49新潟県東蒲原郡、旧会津藩で明治19年までは福島県。阿賀野川流域で、上川村小出(こいで)地区に10戸。東蒲、最後の紙漉村。寿岳文章の訪問時と同様、鉄道橋しか導入路はない。
81300551	続・紙と私:百万塔23号	前川 新一	紙の博物館	19661031	福井	五箇は小江戸と称す。気前がよいが仕事は地味。平三郎は紙漉のみならず、大滝神社昇格、古文書の整理、越前製紙組合の結成、岡本村史の刊行に尽力。福井県大野郡の紙漉文献。西谷村では純然たる昔風の張紙を漉く。電源開発、40年の水害で壊滅。大野市、西谷物産株式会社で水引細工。
81300552	近世越前五箇の紙商人(その取引先と取引):百万塔17号	前川 新一	紙の博物館	19630930	福井 近世	取引先と取引について文献もあり。近世初期まで生産と流通を同一人が担当していたが、後期になり、岩本の内田、野辺などの商業資本家が紙仲買として藩内外で活躍。京、大阪、江戸の間屋と密接に関係する。cf3694
81300553	福井県の製紙工業と二、三の考察:百万塔21号	前川 新一	紙の博物館	19650930	福井 昭和	製紙工場の福井県の実態調査。統計資料(昭和35)を利用した解析。工場数、従業員、出荷額など。
81300554	紙漉技術と漉屋経営:百万塔18号	前川 新一	紙の博物館	19640330	福井 名塩	1. 紙漉技術の習得:山口「紙漉9年」五箇「七つ八つから紙漉習ろうて」。2. 紙漉労働:労働主体は女子に。美濃では養女縁組。3. 紙漉における封鎖性:土佐、名塩、紀州保田(佐太夫)、飯田藩(稲垣幸八)、因幡河原村(弥助)の例
81300555	越中産紙考:百万塔21号	高田 長紀	紙の博物館	19650930	富山	藩政時代の五箇山製紙:庄川流域。五箇山は平家谷のひとつ。紙の起源は、新田義貞の落人説(越前、武州小川)。元禄の頃は副業的。楮高く利なし。五箇山貸し商人が独占的に握る。野田収集所の設置し、貸し制度の停止と井波商人の不当搾取に対する保護策か。しかし、転落農家多い。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300556	山形県上山高松産地の変貌:百万塔14	次山 信男	紙の博物館	19620331	山形	上市市西郷地区高松:用水川。創始は不明、寛永年間(1620)に大和吉野の松本長兵衛安清が「柔紙」を伝授。漆漉し用であるため、障子紙地域に比べ、当時は打撃少ない。流通は大和の商業資本に握られる。楮自給率低いが、組合(姻戚多い)により共同購入、共同作業場で運営。
81300557	福島県会津新郷紙産地の変貌:百万塔11	次山 信男	紙の博物館	19601031	福島	耶麻郡西会津町:阿賀野川支流、笹川、井谷皮。平坦地少ない。1685年の文書で確認でき、出原は「御用紙」その他は平紙。戦時中など共同組合など組織化せず。一気に衰退。
81300558	放送劇わざびと:百万塔6号	坂本 忠士	(財)製紙博物館	19580400	愛媛	p50川之江を舞台に手漉き紙の衰退の中で、頑張る若者の姿を描く。一度あきらめかけた父は、改めて純粹の手漉きにかけようとする。機械漉きと手漉き。父と子。別刷
81300559	雲・石製紙沿革考	太田 直行		19330400	島根	コピー:和紙研究?石見(紙祖)から伊予、土佐、周防へ伝播(口碑)。出雲の文献はない。中絶?近世、津和野藩は隆盛。ただ、亀井氏は因州の抄紙法を踏襲せず。濱田藩は漁業中心だが津和野藩に模す。物産の中心に。松江藩、野白(のしら)紙は越前から。祖父谷紙、木次、岩坂に。自給用に。明治期は野白での藁紙は初。鹿足郡で三楹栽培奨励。産地は長谷、市山、木田、今市、今福、三隅、高城、匹見、二川、仙道、津和野、六日市、日原、青原など。市原半紙は粗悪。
81300560	紙漉きにみる民俗技術の研究(上):民具マンスリー22巻2号	佐治 靖	神奈川大学日本常民文化研究所	19890510	民俗近世 福島	福島県伊達郡梁川町白根地区(山舟生)、三浦義三。会津藩:西会津、大沼郡河口村、会津高田。二本松藩:上川崎。棚倉藩:上遠野。福島藩:小倉寺、黒岩、山舟生など。白根は山舟生と居藪山で接す。明治10年71名従事。三浦家:昭和41年廃業。生業は水稻、中折紙、種紙、養蚕。工程説明あり。白米の糊を添加。
81300561	紙漉きにみる民俗技術の研究(下):民具マンスリー22巻3号	佐治 靖	神奈川大学日本常民文化研究所	19890610	民俗近世 福島	福島県伊達郡梁川町白根地区(山舟生)、三浦義三。用具を中心に解説。技術の変遷:用具の変化、規格の変化、添加剤の変化。小判から長判に変化が漉き舟、ザブリ、箕、スタンガの変化。打盤機、その後ピーターの導入。木灰からソーダ灰に。手あれの手当は小麦粉、トリモチ。石油発動の裁断機。ジャッキ。利潤追求型生産技術の変遷と総括。
81300562	和紙雑考	中村 直次郎	榛原商店	19600000	歴史 紙種産地 名塩	「見たまま、聞いたままの和紙についての記録」と。紙の関わる辞書的役割。名塩が固有で示されたのは、52間似合紙。107名塩雲。
81300563	紙の博物館概要(25年の歩み)	紙の博物館	紙の博物館	19760120	産地名塩 歴史	昭和25年6月8日開館。25年記念誌。所蔵品、資料、図書目録。名塩紙は、中生鳥子、各間似合紙、箔打紙、飛雲、雲紙、薬袋紙、文庫紙、名塩漉掛紙、墨流、金銀下地紙、藩札紙、名塩擬アート紙を収集。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300564	土佐紙業の恩人吉井源太	渡辺 茂雄	いの町紙の博物館	19860301	高知	土佐紙の歴史、由来：諸説ある。人磨呂、紀貫之、一条教房。延喜式に献上品として記載。坂の峠の悲劇：中興は成山。安芸三郎左衛門。新之丞と七色紙。太刀洗いの伝説。藩の保護政策：家友は御用紙方役に24軒に制限。野中兼山：本山掟「用にたたらざる木は一本も植え申すまじく」。専売制度への挑戦：津野山事件。明治維新、吉井、日本製紙論、発明紙：ヤネ入り紙、郵便半切紙、白土、図写紙など。
81300565	紙のふるさと	小谷 良太郎	小谷 良太郎	19881200	愛媛	愛媛新聞に連載。宇摩地方に中心。宝暦(1751-63)に領南の奥地でこっそり開始か？別子銅山の開発は元禄(1691年)着手。記録は1760年頃、村松村高橋、川之江村篠原、川滝村川井。1804年金生村角川。文政三島小川が駿河半紙を導入。慶応一明治、川之江の薦田が生産技術を越前、美濃から招聘。原料は石川、販路を住が開拓。篠原朔太郎が機械漉きへ。
81300566	足立の産業誌：西新井地区：足立風土記2	足立区教育委員会	足立区教育委員会	20021001	東京	p16紙漉きと花卉とツマモノの歴史：砂糖袋紙、浅草紙、呉服包紙、桜紙、鼠紙、鼻緒紙、張子紙、表紙、黒紙。p67元禄に浅草が千住、梅田、西新井に。梅田、栗原、谷在家、西新井、興野、本木、伊興、加賀皿沼、宮城、堀の内、沼田、高野、花又。明治期が最盛期。
81300567	徳地の手漉き和紙 / 山口県文化財第9号	石原 啓司	山口県文化財愛護協会	19790331	山口	p44県指定無形文化財の調査記録：774年「図書寮解」に長門記載。平安には「延喜式、得地紙。萩藩1631年、岩国1640年、徳山1665年に請紙制。山代、徳地が中心。明治7年全国一位(29.4%)。徳地和紙の特色：製造、用具を忠実に記述。指定は昭和54年3月30日千々松清二郎、山内幸作。
81300568	日本ノ手漉紙：Hand-made paper of Japan	寿岳 文章	(財)国際観光協会	19420415	名塩 産地 見本 英文	Tourist Library39：和紙の製造、歴史、産地を英文で紹介。産地の昭和時代の写真が豊富。p74名塩を泥入り鳥の子の産地として紹介。personal convictionとしてOxfordのIndiaPaperの原点と。
81300569	紙と共に六十年 第35輯	前田 義武	佐治村文化協会	19780410	鳥取	佐治村紙漉き人、前田義武の自伝：明治31年生。付録が充実。因幡紙同業組合定款(明治4年)、八頭郡紙業組合規約(明治32年)
81300570	越河の塵紙漉き：白石紙史2、特別史(上)	菅野 新一	白石市	19720920	宮城	p723刈田郡小原村(鼻紙)越河(こすごう)村、大平村(塵紙)旧藩時代の記録なし。明治18年越河15万帖(300万枚)約100戸。昭和32年半沢順吉のみ。塵紙の特徴：ヒカス(楮の皮の剥ぎ取り)を腐らして漉く。ヒカス、運び、打ち、荒通し、寝せ。草出し、草打ちなど特徴的。紙漉きは女性で座り漉き。漉き桁には取手なし。箕は(2尺8分、8寸1分)15本ヌマガヤで目が荒い。
81300571	ネパールの紙 / これくしょん62、63	後藤 清吉 郎	ギャラリー吾八	19760315	随筆、海外	ネパールの紙 / コダリ(カトマンズより100km)漉桁は綿布、原料はロカタ。空缶ですくい流しこむ。手で攪拌して水を切る。立てかける。版画付き。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300572	紙更紗、紙を漉く家 / これくしょん49	後藤 清一郎	ギャラリー吾八	19720901	随筆、静岡	紙更紗:凸刻した版木を使用して手染め。布更紗は室町期に輸入。紅型。紙を漉く家:紙漉村旅日記で和紙の世界で、本州製紙福原氏の知遇を得、静岡へ。各地の光景を「紙を漉く家」として出版。
81300573	金唐和紙 / これくしょん40.41	後藤 清吉郎	ギャラリー吾八	19691125	随筆 見本	金唐革はイタリア製、唐を経て輸入。表紙や椅子張りで朱か臘脂。明治始め、オールド・ウィッチが江戸橋竹屋の煙草入れを見て、疑革紙を創案。桜材の円筒に彫刻した木型に和紙を重ね打ち叩き色彩をほどこし壁紙に。後藤が再興。
81300574	ろまんちっく、手摺千代紙、千代紙の話 / これくしょん65	川上 澄生、宮尾しげを	ギャラリー吾八	19761025	随筆 見本 加工	千代紙の話(宮尾しげを):大名が木版師、摺り師を招き自家製の模様紙を製作。町の地本問屋や錦絵屋が真似。当初は「おもちゃ紙」と。左と右で図柄がつながるのが約束事。問屋では、偽造防止に版元の印。大正、文ちょう物を榛原が模写し販売、人気に。
81300575	紙と人の流れ	土谷覚太郎	大昭和製紙(株)	19590410	静岡	大昭和製紙の社内報に掲載。吉原地区の紙産業の移り変わり。鈎(こう)玄社:栢森(はくもり)定助が機械工場興す。(明治12)。内田平四郎:明治2年富士山麓に三椏栽培、製紙業。三椏と駿河半紙:庵原郡松野村が発祥地。三椏を始めて利用。修善寺紙:三須文書、文左衛門以外禁制。明治15年頃消滅。熱海の雁皮紙:今井半太夫が木之宮付近の雁皮を利用。昭和5太田国次郎が最後。白糸村渡辺家:原村下ガ谷戸で栽培。原田製紙(株):和紙工場の濫觴。
81300576	続佐治村の紙業 第23輯	因州佐治和紙協同組合	佐治村文化協会	19741101	鳥取	因州画仙紙20年抄史:昭和27, 8年に端緒。熊沢竹三郎と上田抄紙が三椏で試作。因州名産筆切れず紙保存会のこと。佐治村の製紙について(前田義隆)明治初年500戸、昭和1年150戸、昭和20年70戸。専業工場、大正2年上田、大正10年前田、昭和5年岡村、昭和7年尾坂、昭和8年松田など。統計有り。
81300577	続々佐治村の紙業 第30輯	因州佐治和紙協同組合	佐治村文化協会	19761200	鳥取	佐治村の雅仙紙、書と和紙(春名好重)、鳥取県産紙の現状について(竹田悦堂)、因州和紙における産地問屋と流通経路の現状と問題点(竹林祐吉)産地問屋は鳥取市内に7店。明治からは2店で規模大。
81300578	出雲民芸紙	安部 栄四郎	出雲民芸紙協同組合	19551228	島根	出雲民芸紙の歴史を概説。主要文献書目、民芸紙使用の書目。安部栄四郎の年譜。リーチ氏の思い出、民芸紙の輸出、建築と民芸紙、代表品を作った頃など。昭和16年の従業員(栄四郎、梅雄、兵市、チャウ、豊枝、勇、アサノ、角本美之助、藤原緑、いずれも40歳前後)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300579	復刻 吉井源太講和筆記 第44輯	因州佐治 和紙協同 組合	佐治村文 化協会	19790710	鳥取	cf3623. 鳥取県勸業月報号外(明治2年3月)製紙巡回教師吉井源太講和筆記の復刻。原料(楮、三桮、雁皮)の栽培、煮方(石灰、苛性曹達、晒場、晒方、反故、藁)、糊(梧桐、ウツギ、黄蜀葵)。製紙機械(馬鋏、桁、簀、干板、打盤、棒など)。製紙原料の混合、順序、審査、販路から構成。
81300579	製紙巡回教師吉井源太講和筆記:鳥取県勸業月報号外	鳥取県農 商課	鳥取県農 商課	18680300	鳥取 明治	cf3622. 復刻 吉井源太講和筆記 第44輯。原料(楮、三桮、雁皮)の栽培、煮方(石灰、苛性曹達、晒場、晒方、反故、藁)、糊(梧桐、ウツギ、黄蜀葵)。製紙機械(馬鋏、桁、簀、干板、打盤、棒など)。製紙原料の混合、順序、審査、販路から構成。
81300580	地場産業実態調査報告書(昭和59年)	兵庫県中 小企業振 興公社	兵庫県中 小企業振 興公社	19840326	兵庫 名塩	p221名塩紙:企業数(4)従業員数(24,21,23,22,20)生産数量(5800,5500,5300,5100,4850kg)金額(2940,3725,3130,3180,3050万円)(昭和53,54,55,56,57年の順)。箔打紙(2000,1850kg、2300,2150万円)間似合紙(3100,3000kg、880,900万円)。流通は金沢が70%。
81300581	難波雀	吉備国 水 雲子		16790000	近世 大阪 産地	関近世12:cf2435大阪の紙問屋と紙種。岩国紙、山代紙、徳地紙、吉賀紙、浜田紙、須磨紙、三好紙、津通紙、中曾根紙、小松紙、小川紙、鹿野紙、広島半紙、溝口紙、仙花紙、伊予杉原紙、備中杉原、厚紙、美濃紙、広島ちり紙、高野紙、半切紙、間似合鳥子。
81300581	難波雀:大阪市史史料第53集	大阪市史 編纂所	大阪市史 調査会	19990331	近世 大阪 産地 名塩	関近世12:cf2318:p48大阪の紙問屋と紙種。岩国紙、山代紙、徳地紙、吉賀紙、浜田紙、須磨紙、三好紙、津通紙、中曾根紙、小松紙、小川紙、鹿野紙、広島半紙、溝口紙、仙花紙、伊予杉原紙、備中杉原、厚紙、美濃紙、広島ちり紙、高野紙、半切紙、間似合鳥子。その他に浪花袖鑑を収録。
81300582	名塩紙:日本美術工芸375号	和田 邦平	日本美術 工芸社	19691201	名塩	名塩紙の工程を地元という言葉で記載:細かくする作業に「唐臼」と「足踏杵」。安座して漉く。頭を振って調子。簀のまま立てかけ。積み板の上に移す。150枚で押し石。土を漉きこむため、鉄板を使わず。1000枚が1梱。
81300583	日本人と紙:日本自身13号	吉田 光 邦、水尾 比呂志、寿 岳 文章	日本自身 社	19790915	概論 歴史	人とともに(吉田光邦)紙と人類(小坂忠昌)紙の話(山本和)和紙の旅(寿岳文章)和紙の黎明(町田誠之)日本の紙・パルプ産業の歩み(奈良一雄)和紙がささえた生活文化(久米康生)紙の文化と生活(宮本常一)
81300584	防長造紙史	御園生 翁 甫	防長紙同 業組合	1969073	山口 歴史 近代	防長紙の基本的文献。大内氏の開板と造紙。毛利藩:山代半紙(創業、見取り制度、神仏祈請)徳地造紙(防長紙の種類、紙運送と販売)長府藩、徳山藩(須萬、五箇)清末藩、岩国藩の造紙。明治以降の県の奨励策、防長紙同業組合。引用や統計あり。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300585	越前産紙の沿革	紙問屋 加藤商店	紙問屋 加藤商店	?	福井	飯田から香川先生へ贈呈の記し。越前奉書(出世奉書)の由来。紙の種類。他国への伝播。明治期以降の記載多い。由利公正の太政官札。M4真柄、加藤の光沢紙、一枚張鳥の子。T8ベルサイユ条約の程村紙。宮内庁ご用命。早稲田大学の壁紙。如何なる紙も作る。
81300586	岩波写真文庫10:紙	岩波書店 編集部	岩波書店	19500930	概説	写真集:手すき和紙、紙の旅、文化をになうもの、木材からできる紙、機械すき、紙飢饉。この時代は和紙もまだ一定の役割を果たしている。
81300587	土佐和紙:伝統と文化5号	松木 正一	(財)ポークラ伝統文化振興財団	19850915	高知 熊本	ふるさとのわざ、工程を簡単に紹介。「こぶる」は方言で、混ぜ合わすこと。「こぶり棒」。山鹿灯籠まつり(ふるさとのまつり)で紹介。「よへほ節」
81300588	手漉和紙:伝統と文化7号	柳橋 真	(財)ポークラ伝統文化振興財団	19860731	高知	流漉きを中心に紹介。粘液として、トロロアオイ、ノリウツギ、ピナンカツラ、アオギリ、ギンバイソウ、ウリハダカエデ)。ピナンカツラは男性用の整髪料。流漉きの典型は、典具帖紙(浜田)、ポークラ伝統文化振興財団が助成。文化財保存用に在庫準備。
81300589	白石和紙の故郷:伝統と文化19号		(財)ポークラ伝統文化振興財団	19950520	宮城	写真で紹介。遠藤忠夫(82歳)第8回伝統文化ポークラ特賞受賞。妻、まし子さんは、紙布織りを。白石市は、弥治郎こけし、温麺(うーめん)の里。
81300590	使い手のための紙漉き:伝統と文化20号	和田 健一(月刊「土佐」編集長)	(財)ポークラ伝統文化振興財団	19960701	高知	尾崎茂(76歳、吾川村岩戸)、養子、幸次郎。文故さん夫婦。仁淀川、楮(アカソ、アオソ、タオリ、カナメ、クロカジ)。水は鉄、マンガンを含まないのが要件。萱簀。竹田悦堂(書道家)との出会い。叩解機の工夫。大崎清張紙(楮)。清張箋(楮)。清光箋(三椏)。みずほ染紙。
81300591	名塩和紙に携わって:兵庫教育569号	谷野 武信	兵庫県教育委員会	19980701	名塩	兵庫教育:50(4)1998:
81300592	生活文化をささえた和紙展出品目録	思文閣美術館	思文閣美術館	19770501	歴史 産地	図録和紙の文化史年表(cf1349)に付録。写経文書、和紙標本、和紙加工品、和紙関係文献など。
81300593	紙になるまで 紙漉重宝記	長妻 源四郎	紙商 相馬屋源四郎商店	19300416	近代 島根	原本は「紙漉重宝記」相馬屋は牛込区肴町
81300594	奥州白石紙すき唄	白石和紙工房	白石和紙工房	19690200	宮城	遠藤忠夫(唄と節)矢目守夫(採譜)片倉信光(解説)。1-26番まで。1番:こうぞ植えらば虎斑のこうぞ 殿も奨める紙の原料(もと)紙の原料。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300595	紙の話	永田 軍二	白泥会同人	19460915	随筆	前川先生の復刻版、著者は兵庫、高砂の三菱製紙技師。和紙と洋紙。書物用印刷紙の見方。明るい方に透かし、繊維がむらのないもの、触れて腰の強さをみる。紙音。インキ止。
81300596	第二回昔の和紙展覧目録		和紙研究会	19400410	目録 福井	西本願寺大谷家所蔵奉書、千代紙、100種。福井産が多い。内雲(6種)布目紙(1)墨流(7)千代紙(9)絵奉書(6)絵紙(2)襖紙(1)短冊(5)さらさ紙(1)楽水紙(1)紙衣(1)五色奉書、鳥の子、水玉、紋障子、薬袋紙、千年紙など。
81300597	畑紙と老紙漉師	森田 康敬	思文閣美術館	19770501	京都	図録和紙の文化史年表(cf1349)に付録。「生活をささえた和紙展」に宮津市畑、井隼俊一氏(75歳)が実演。井隼系18代、ソキド家4世。四国の遍路さんから伝播。成相寺の寺領内。
81300598	中川儀右衛門と玉川和唐紙展解説目録	製紙博物館	製紙博物館	19580924	神奈川 東京	昭和33年9月24日-30日。展覧会。儀右衛門の事蹟:山城生まれ、1804年頃神田白壁町で紙商、唐紙の製造開始。廃紙(桐油紙)の漉き返し。石油の精製。宝来紙(縦18m、横9m、厚さ6mm)。1806年玉川中野島田村文平に製法伝授。
81300599	日本画紙見本帳		岩野製紙所	19600000?	見本、福井	今立郡岡本村岩野平三郎の見本帖。今立町成立以前のもの。白麻紙、自然色麻紙、赤麻紙、生麻紙、麻紙布目肌、麻紙雲肌、大徳紙、大こう紙、正雁皮漉き鳥の子(天平紙)雅邦紙、画奉書、大瀧紙、大観紙、栖鳳紙、画せん紙、紺紙、白鳳紙、など21種。麻紙にはシミがあり。
81300600	美濃紙の今昔	森 義一		19480210	岐阜	沿革史の要約版:岐阜県の製紙概要:上代、中世:大矢田の紙市、太田幅の紙祖。徳川:幕府、尾州、大垣、苗木。明治:万国博に出品、輸出紙、同業組合。大正:機械漉き、問屋の崩壊、製紙試験場。今昔製紙図録、紙及び原料の公定価格
81300601	土佐和紙	宮崎 謙一	高知県製紙工業会	19800401	高知	子供向け解説書、原料産地(全国の50%を供給、楮275t、三桧360t。山崎鶴亀(82歳、紗織)、北村芳光(78歳、金具)、尾崎薫(69歳、刷毛)全国で約50名、高知に15名。産地:大柘(3)葎生(ニロウ)紙、土佐岩原(1)、久礼田(2)奉書、吾川(3、尾崎茂、片岡藤義、清張紙)、葉山村(3、須崎半紙)、高岡(28)、伊野(15、浜田幸雄、典具帖紙)
81300602	和紙のはなし	岩野 市兵衛	福井市立郷土歴史博物館	19940300	福井 現代見本	九代目岩野市兵衛氏の講演記録。越前奉書の工程。茨城県の楮。白土混入。軟水。糸目一寸幅。「よそに見にいくな」は換言すれば、伝統を守れ。生漉き奉書は楮100%ものを指す。「絶対にごまかすな、手を抜くな」太鼓は雁皮紙が一番良い音がする。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300603	特集 日本の紙:エプタ13号	エプタ編集室	エプタ編集室	20030901	東京 高知 福井 石川	蘇る髪(坂本直昭)「紙舗 直」十川泉花紙と出会で。土佐天空の紙(尾崎茂)吾川村竹田悦堂との出会で。田ざらし、萱簀、清光箋。(三谷重臣)大豊町岩原、傘紙(山本忠義)簀笈作り。越前和紙の里(岩野市兵衛、平三郎、長田栄子)能登の四季を漉き込む・野集紙(遠見京美)仁行川植物を漉き込む。紙の布を織る(桜井貞子)白石紙布を再興。
81300604	美濃紙抄製図説	岐阜県勧業課		18510000	岐阜 製法 図 近世	p59p93武儀郡牧溪郷御手洗村紙干し、生楮一束、楮刈り、蒸し、剥ぎ、浸し、外皮削り、内皮ざらし、漂白、煮、打ち、抄き、干し、裁ち、包装、用具の図と解説。江戸期の様子が詳細にわかる。美濃紙の伝統(cf024)手漉和紙考(cf1023)岐阜県史(cf3197)
81300604	美濃紙抄製図説:岐阜県史史料編近世6付録		岐阜県		岐阜	岐阜県立図書館蔵。明治13年発行:抄製の解説に楮は武儀郡、加茂郡。雁皮は武儀郡谷口村、三椏は厚見郡岐阜達目洞産とある。材料、道具類、工程を丁寧の図で表現している。工程は、13からなる。座り漉き。多色のものもあり。男は丁髷姿。民俗的のも秀品である。cf0046
81300604	産物絵図:岐阜県史史料編近世6付録		岐阜県		岐阜	徳川林政史研究所蔵。ぬべし:「夏4月頃畠に種を蒔き。秋7月頃花咲く。槿に似る。実は鞘有り山椒に似る。9月頃枯れる。根は漉き紙の糊にする。能毒不知」とある。
81300605	和の紙	小林 康生	わがみ堂	19971001	新潟、随筆	著者は門出紙の漉手。文明と文化:「想い」と「考え」/知識は考え、文明に。想いは勘から文化にそしてパワーがある。発展の意味/親子共有文化は縮小。「僕の育てた紙に根はついているか。越の土や風が紙の中につまっているか」
81300606	埼玉県特産手すき和紙 細川紙	?	?	?	埼玉	小川町。歴史:天保12年直売許可(横川家文書)明治5年自由販売。明治20年頃紙幣、懐中薬「宝円」。明治26改良組合、規格統一。明治38同業組合。明治42外部講師招聘。8枚取りに。昭和9永松清一。昭和11県立製紙研究所。現在23軒と。昭和42年細川紙技術保存会、昭和44町指定無形文化財(久保田昌太郎他15名)村指定(鷹野吉造6名)、合体して細川紙保存会に。保持者の氏名一覧。
81300607	越前和紙の里年表:和紙の里:第30号別巻付録	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	20090920	福井	既刊30号の総まとめ。和紙の里の歴史、自然環境、大滝寺、大滝神社(祭)、越前和紙など21編。越前和紙の歴史をまとめて(斉藤岩雄)。江戸時代の御用紙の運送、越前和紙の国盗り波瀾。越前和紙について。お札と越前和紙。和紙(ミクロの世界)。奈良と越前の時空を結ぶ和紙。
81300608	機関誌「和紙の里」:和紙の里:第30号別巻付録	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	20090920	福井	既刊30号の総まとめ。30巻の総目次。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300609	大津絵(大)	高橋 松山	高橋 松山	???	滋賀 見本	木版10枚中9枚。鬼の寒念仏、(藤娘)、雷公、瓢箪鯰、座頭、槍持、鷹匠、弁慶、矢の根、長頭翁。
81300610	大津絵(小)	高橋 松山	高橋 松山	???	滋賀 見本	木版10枚。鬼の寒念仏、(藤娘)、雷公、瓢箪鯰、座頭、槍持、鷹匠、弁慶、矢の根、長頭翁。
81300611	山口県史だより、山代和紙	河本		19951000	山口 パンフ	第六号で防長の紙ー山代和紙を特集。錦町道立野のこしきの写真。防長の和紙生産の沿革:波野の中内右馬丞が安芸吉田で紙漉き技術を学び開始、根笠で楮発見栽培。請紙制度。楮神像:多田の紙蔵から義済堂を経て岩国徴古館で所蔵。
81300612	秋畑和紙の伝統:武尊(ほたか)通信114号	田中 隆志	群馬歴史民俗研究会	20080601	群馬	秋畑和紙の終末記事:昭和47年、那須地区を最後に中止。昭和59年飯塚源寿(当時60)復活。小川から楮(四国産)、黄蜀葵は栽培。平成11年群馬県伝統工芸士認定。平成12年死去。元は蚕室用障子紙、唐傘用和紙需要。行商が碓井郡、甘楽郡の養蚕地域に販売。
81300613	古今東京名所(復刻錦絵、飛鳥山公園地)「紙」8号付録		王子製紙(株)	19840615	東京 絵図	復刻錦絵:飛鳥山公園地、王子製紙会社
81300614	紙の博物館概要	紙の博物館	紙の博物館	19980000	図	紙の博物館の図録。収蔵資料37935点。手漉紙(日本4958、世界1524)第一展示室、現代の製紙産業。第二、明治以降の製紙産業。第三、紙の歴史。和紙の製造工程。欧州の手漉、第四、紙の美術工芸品。別に記念碑及び図書館。百万塔、越前紙漉之巻、製紙勤労之図、藩札。
81300615	仁義五常振分双六「紙」7号付録		王子製紙(株)	19831215	工芸	版元:山本平吉(江戸芳町親父橋角)、発行安政5年9月。役者の似顔絵。
81300616	日本の和紙について「紙の芸術及び技術」会議	久保田 保一	石州半紙技術者会	19780323	島根 海外	ワールドプリントコンペティション(サンフランシスコ近代美術館)の資料。和紙製。和紙製造工程について記述。
81300617	伊那谷の紙産業	飯田市美術博物館	飯田市美術博物館	19910105	長野	企画展「紙の文化」冊子。水引産業(52業者、462人、73億円)の発達を解析:紙を活用した付加価値商品の開発。流通を考慮し、商品軽量化。河岸段丘の傾斜利用。藩主の奨励。余剰労働力をあげる。下伊那は江戸後期から明治20年代が最盛期。紙の6割が元結に。1692年、商人左兵衛が開始。1714年美濃出身稲垣幸八が晒紙改良。明治13年機械撚り綿糸水引が開発。原料供給、製紙、加工地域が分離分担。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300618	GAIDAI BIBLIOTHECA図書館報65	京都外国語大学	京都外国語大学付属図書館	19830518	滋賀、雁皮	p11研修会報告、桐生雁皮紙：近江雁皮紙の歴史、製法、特に紙漉きの項では簀桁は縦揺すりのみで越前漉きの流れとする。簀には絹の紗も敷く。紙の歴史、紙以前の書物、和紙、伝統産業の推移。ポルトガル人と和紙との出会い。
81300619	紙のあゆみ	富士市立博物館		19810000	図録	第二回企画展「紙」
81300619	紙のあゆみ(第二回企画展)	富士市立博物館	富士市立博物館	19810721	概論 静岡	和紙の概説。生活の中の紙：紙衣、紙布、こより細工、一閑張り、堤灯、行灯、藩札、瓦版。工芸：紙塑人形、双六、カルタ、張り子、福笑。郷土の紙工芸：金唐和紙、型染
81300620	手漉きの世界	富士市立博物館		19820000	図録、静岡	第4回企画展
81300620	手漉きの世界(第4回企画展)	富士市立博物館	富士市立博物館	19820724	概論 静岡	手漉き和紙の技法を詳細に解説。駿河楮紙、柚野三桎紙、松野書道半紙の製造工程を比較。原料、皮の製造、楮蒸し、煮熟、あく抜き、漂白、塵とり、叩解、ネリ、紙漉き、圧搾、乾燥、仕上げ、道具づくりの各工程を写真、図で解説。
81300621	紙の衣料(第6回企画展)	富士市立博物館	富士市立博物館	19830717	概論 静岡	紙衣、紙布の技法を中心に詳細に解説。988年兵庫書写山性空上人が着用。現存最古は上杉謙信の紙衣(米沢)。紙子は庶民化した後用語。紙布：紙の糸で織った織物。毛吹草に陸奥の物産として紹介。1659年白石、片倉家代々の記に武士に紙子の着用を命じた記事。産地：白石、安倍川賤機、美濃、越前、京、黒谷、大和、紀州華井、摂津久宝寺、石見、安芸、土佐、伊予、八代。
81300622	きんからわし(第8回企画展)	富士市立博物館	富士市立博物館	19840720	概論 静岡	江戸期に欧州から金唐革輸入、平賀源内、擬革紙発明。竹屋清蔵、壁紙発明、万国博に出典。山路壁紙製造所創業。後藤清吉郎、金唐和紙を復元。後藤清吉郎：明治21年大分出身。富士宮市下条に工房。
81300623	紙のおもちゃ(第11回企画展)	富士市立博物館	富士市立博物館	19850723	概論 静岡	凧、張り子、張り子だるま、面玩具、紙製玩具(姉様、人形、すごろく、千代紙)など写真入りで解説。
81300624	折り紙(第14回企画展)	富士市立博物館	富士市立博物館	19860715	概論 静岡	折り紙の歴史：儀礼(御幣、形代、流し雛、雄蝶、金子包み)江戸：1797年「千代鶴折形」1797年「折形手本忠臣蔵」折り紙で制作。
81300625	阿波和紙：伝統とくらし23号	(財)伝統的工芸品産業振興協会	(財)伝統的工芸品産業振興協会	19851001	徳島 高知	阿波と土佐かみすきのさと。阿波和紙：藤森実(大正5)つくば博で壁紙に、多品種少量生産が道と。コンピューターシミュレーションを導入。いの町紙の博物館。伝産法に基づき建設。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300626	伊勢型紙：伝統とくらし33号	(財)伝統的工芸品産業振興協会	(財)伝統的工芸品産業振興協会	19880401	三重	鈴鹿白子二つの手仕事(伊勢型紙、鈴鹿墨)伊勢参宮名所図絵。和紙3枚を紙つけ、室枯しを2回、彫刻(縞彫り、錐彫り、道具彫り)。糸入れや紗張り。3センチ巾に21本の線。3センチ四方に900孔。プロの仕事がプロが使う。
81300627	因州和紙、ネパール紙：伝統とくらし34号	(財)伝統的工芸品産業振興協会	(財)伝統的工芸品産業振興協会	19880701	鳥取 海外	青谷と気高。前田久男、佐治川流域、平野少なく林業も発達せず。岩山からの湧水。画仙紙がにじみ、かすれから人気。大作の練習紙として。原料は混合で書家のニーズに答える。ネパール紙：中村ちとせ(版画家)西宮在住。
81300628	土佐和紙：伝統とくらし45号	(財)伝統的工芸品産業振興協会	(財)伝統的工芸品産業振興協会	19910401	高知	南国の陽射しの和紙(和田健一)：吾川郡岩戸、尾崎茂。よい紙には前工程が大切。竹田悦堂氏の紙を引き受け。寺村の某氏は楮紙一筋で引き受けず。
81300629	越前和紙：伝統とくらし73号	(財)伝統的工芸品産業振興協会	(財)伝統的工芸品産業振興協会	19980401	福井	越前和紙(墨流し)：福田忠雄「秘伝は筆をとる前にあり」一日50 - 150枚。松脂は秘伝、苛性曹達で煮て水で薄める。むくる実も使用。
81300630	土佐和紙、池田：伝統とくらし77号	(財)伝統的工芸品産業振興協会	(財)伝統的工芸品産業振興協会	19990401	高知	池田喜代太郎(78歳)土佐市高岡、大阪、鉄工所に就職、17歳で帰郷。サンドペーパー用の台紙を直接取引で。ポリゾール(ビニル)を混ぜ2枚合わせから1枚に。売り込む紙を生産、60種以上の染紙。「どんなに急ぐ時でも急いでやれん」
81300631	七彩7号、和紙職人千々松哲也		七彩編集室	19990720	山口	和紙職人千々松哲也を紹介。夫人は富山出身。
81300632	足立区立郷土博物館 常設展示図録	足立区立郷土博物館	足立区教育委員会	20060331	東京	p44足立の紙漉き：古紙、溜漉き風。一旦立てかけから紙を重ねる。干す前にコロで表面をならす。張子に利用。p36横山家：漉き返し紙の紙問屋。p38穴糞に入って溜漉き風。コロ。
81300633	手漉名塩紙 / 兵庫県の歴史6	和田 邦平	兵庫県史編集専門委員会	19831001	名塩、製法	郷土の産業5。起源、紙種類、製造工程など文献を引用し、記述詳細。工程上の名称：土こね、荒、白、雁皮みしり、水より、塵より、唐白、足踏杵、漉草、しゃな打ち、スラシ板、積み板、押石、干板、塵サシ、端切、「極東紙漉国巡礼」ハンター著。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300634	兵庫県の歴史23		兵庫県史 編集専門 委員会	19870331	兵庫	p77伊丹の酒(和島恭仁雄)下男が腹いせに灰を酒桶に投げ込んだところ濁り酒が清酒になったという説話。p40中世の都市と村(石田善人)中世播磨の紙として杉原、皆田紙の他、大蔵谷の紙があがるが、大蔵谷は明石ではないだろう。
81300635	杉原紙 / 兵庫県の歴史26	今中 喜重 郎	兵庫県史 編集専門 委員会	19910331	兵庫	p42郷土の産業21、杉原紙:楮紙、大正末中断。1116年「藤原忠実の日記」に相原庄紙初出。加美町は藤原家の荘園で近衛家に献上。武家の紙として発展。「庭訓往来」(室町)は播磨の杉原と讃岐の檀紙のみ挙がる。三原谷、押部谷、皆田は1400年以降初出。杉原紙は加美が発祥地。碑文掲載。重本。
81300636	兵庫県の歴史28		兵庫県史 編集専門 委員会	19920331	兵庫	p46篠山藩史料の紹介、青山歴史村所蔵(畑治男)p60北摂の寒天(高垣定光)京都伏見で1640年代に発明、1780年代に高槻の宮田半兵が改良、摂津一帯に伝搬。北摂の主要産地は西宮大社、船坂、川西東谷、猪名川阿古谷、杉生。重本
81300637	兵庫県の歴史30		兵庫県史 編集専門 委員会	19940331	兵庫	p47灘・西宮の酒(柚木学)宮水、摂播の米、吉野の杉樽、丹波杜氏、六甲の寒気、摂海の湿気。米つき水車の利用と寒作りへの集中。
81300638	兵庫県の歴史34		兵庫県史 編集専門 委員会	19980331	兵庫	終刊。1 - 34号までの総目録。産業として、柳行李、千草鉄、醤油、立杭焼、名塩紙、塩、木綿、マッチ、丹波布、浜坂針、素麺、高野豆腐、出石焼、金物、丹波茶、淡路焼、淡路瓦、伊丹酒、皮革なめし、算盤、杉原紙、播州織、北摂寒天、灘、西宮の酒、多田銀銅山、
81300639	和紙の里:第5号	渡辺光一	越前和紙 を愛する 今立の会	19760520	福井 見本	もはや点の存在となった手漉和紙(寿岳文章)。「弥陀の舞」前進座記念公演特集(中村翫右衛門、水上勉、津上忠)市衛平を。弥平は中村、くみを十朱が演じる。和紙の里「墨流し」訪問。越前和紙こもんじょ考(斎藤岩雄)
81300640	和紙の里:第6号	渡辺光一	越前和紙 を愛する 今立の会	19770830	福井 見本 島根	人間国宝 岩野市兵衛追悼特集(関野準一郎、安達豊久、斎藤岩雄):明治34年9月14日生。栄一(渋沢にあやかる)。昭和51年10月7日死。出雲訪問(渡辺光一、中条栄一):安部栄四郎、野白紙。
81300641	和紙の里:第7号	渡辺光一	越前和紙 を愛する 今立の会	19790420	福井 見本	天に舞う奉書(則武三雄)。和紙復元の技術(座談会)。望郷(井筒紀久枝)。斎藤岩雄先生を悼む(渡辺光一)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300642	和紙の里:第8号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19800620	福井 見本	越前抄紙の譜(高橋正隆)。江戸時代の御用紙の運送(渡辺光一):鯖江白鬼女の渡しまで馬、人足、日野川、三国港、各地へ。紙漉き明治語り(座談会):旧正月二日に漉き始め、明治初年は太政官紙、明治30年代奉書中心。越前紙漉図説。
81300643	和紙の里:第9号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19800331	福井 見本	和紙の里「大滝」(林雪光)。皇太子夫妻の視察。「大滝寺」(座談会)。大滝神社の建築(吉岡康英)明治8年社仏分離。719年泰澄大師開山。柳瀬栄五郎氏、伝統的工芸品産業功労者。
81300644	和紙の里:第10号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19840210	福井 見本	記念号。見本紙多数。和紙10年(渡辺光一)。越前和紙の活路(座談会)。内藤湖南さんの事:「紙の話」(則武三雄)。古文書に見る越前和紙の国盗り波瀾(渡辺)。年表。「福井県和紙工業協同組合五十年史」の編集を終えて(前川新一):明治31年福井県岡本村製紙組合と再編された越前製紙組合は地元商人中心で商工は対立。昭和7年平三郎により生産者主導の越前製紙工業組合を設立。
81300645	和紙の里:第11号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19860125	福井 見本	紙の話(内藤湖南)。越前の大紙の話:天明大紙、岡大紙、越前大鵬紙。オータキペーパーランド(座談会)。
81300646	和紙の里:第12号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19870710	福井 見本 海外(中国)	白山信仰と大滝寺(渡辺光一)。和紙開発の可能性(酒井弥)。紙のご先祖「は橋紙」を尋ねて(増永重一)。
81300647	和紙の里:第13号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19881225	福井 見本 海外	外国人から見た越前和紙(座談会)。「ECHIZEN WASHI」で出逢った人々(小林誠)cf3561。ガンピ人工栽培の実際(今井三千穂)
81300648	和紙の里:第14号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19900410	福井 見本	見本は福井藩札の復元。IMADATE展(1989年5月)。お札と越前和紙(長屋善晶)1661年銀札が始まり。三割雁皮、七割楮。福井は漉上に米糊、他藩は大豆糊。太政官札は三岡八郎が発案。1868年漉き立て。1869年採用も偽札横行1871年御用止め。1874年紙幣寮開設。越前和紙「御漉初」のこと(渡辺光一)。大滝神社奥院のブナ林(下道治一)。越前和紙と私の作品(サラ・ブレイヤ)。紙と神の里を往く(田中健治)
81300649	和紙の里:第15号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19910530	福井 見本 岐阜 海外	越前和紙展(米国・ラトガース大学)。グリフィスと越前和紙(小林誠)。「越前和紙」映画会ドキュメント。白山信仰と美濃和紙(渡辺光一)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300650	和紙の里:第16号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19920420	福井 見本 名塩	山の神・川の神・紙の神(渡辺光一)。神と紙と人のこころ(上坂紀夫):川上御前(水分神ミマクリノミ)、大滝神社(大徳山、326m)5月3日神事。今立古代(渡辺光一)。和紙・ミヅの世界(藤本正晃):電頭、雁皮(繊維が偏平、水が通過しにくい、重なりにくい、厚い紙できにくい。叩解で粘り)。楮(繊維太く長い。横斜めに絡み空間あり)。東山弥右衛門紙祖伝承(渡辺光一、cf3557)
81300650	東山弥右衛門紙祖伝承:和紙の里:第16号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19920420	福井 見本 名塩	cf3551:名塩「元禄16年頃、大坂城代の土岐伊予守頼殷が支配」。今立「元禄五壬申5月9日土岐伊予守様御知行、野岡村に而御引渡し有」(御領分御高配)。奉行所があった野岡村は五箇(福井藩)から1kmの地。五箇の施策(藩札発行、御勘定所から紙会所へ切替、判元買上制)と名塩(運上金、紙座から紙会所へ)同調。岩本区有文書(他領伝禁止)に弥右衛門の名。越前藩札は雁皮2割7部、楮7割3分、米糊。名塩に泥はこの弥右衛門か?
81300651	和紙の里:第17号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19930530	福井 見本 名塩	写真でつづる神と紙・その郷のまつり(小川久美子)。越前和紙技術伝播産地一覧(武安正行):弘前(熊谷吉兵衛)、白石(越前から紙工)、那須(那須十郎)、加賀、美濃(村人、丈長購入)、和泉(福井藩家老本多氏が土生出身)、名塩(弥右衛門)、出雲(中条善左衛門)大洲(宗昌禅定門)、阿波(弥五右衛門、次右衛門)、八女(日源)、名尾(能富由助)、重橋(名尾から)、肥前(坂田作平)、肥後(新左衛門)。紙の里の「妻入り卯立」(福井宇洋)
81300652	和紙の里:第18号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19940620	福井 見本 富山 石川 海外	93越前和紙フランクフルト展特集。民衆のまつり(対談)。リチャード・デ・バス社訪問記(仏、ヨーロッパ製紙工場の草分け)。越中八尾和紙と加賀二俣和紙
81300653	和紙の里:第19号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会		福井 見本 京都	和紙原料「コウゾ」安定供給へ第一歩(石川満夫)。江戸期の越前五箇(三田村家)の歳時記(歳中規定書)。中世越前・若狭の流通(佐藤圭)。和紙視察研修「黒谷と二俣(大江町:田中製紙工業所、田中正晃、河守紙)」(渡辺光一)
81300654	和紙の里:第20号 会員名簿	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19960820	福井 見本 海外	伝統工芸士(写真)による見本は秀逸。岩野平三郎(麻)福田忠夫(墨流し)二三四長次(竹)山口喜之助(羅紋)玉村雲竜(楮雲竜)沖茂八(MO)山川国友(雁皮)長田栄子(工芸)姉川民枝(鳥ノ子)山口悦司(生漉奉書)梅田太士(雁皮)梅田文子(三椏鳥)山口長夫(雁皮)他全26種。「紙の文明」と越前和紙伝承者(渡辺光一)蔡倫の紙をめぐって(森田康敬)ヨーロッパの「紙の博物館」を訪ねて(藤木典生)。重本。
81300655	和紙の里:第21号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19970701	福井 見本	真柄武十郎の功績(前川新一)。「奥の細道」と紙(森田康敬)。卯立の工芸館について(川崎博)西野平右衛門の移築。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300656	和紙の里:第22号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19980801	福井 見本 富山	加藤覚太郎の生涯と功績(前川新一)。「和紙と日本画」展。小林抱牛展。五箇山和紙の里・道の駅たいらと白川郷・技術伝承館(川端清)
81300657	和紙の里:第23号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	19990925	福井 見本	明日に生きる和紙(柳橋真、座談会)。西野弥平次の生涯と功績(前川新一)。「紙の博物館」や「特殊製紙」の旅(渡辺光一)特殊は三島、高野製紙は五箇出身。
81300658	和紙の里:第24号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	20001000	福井 見本	越前和紙に人間国宝誕生(渡辺光一)平成12年5月19日岩野市兵衛に。高野治郎・豊・二三の生涯と功績(前川新一)静岡に進出。高野製紙。特殊製紙。「福井モダヤン」と越前和紙(川崎博、寺崎裕則)
81300659	和紙の里:第25号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	20011120	福井 見本	和紙源流(渡辺光一)。アメリカ「紙の博物館」(アップルトン)との交流(藤木典生)。明治の越前和紙:真柄武十郎と西野弥平次、加藤覚太郎、高野治郎。明治8年紙幣寮から用命。透かし紙。(石川満夫)。唐招提寺障壁画(渡辺光一)。
81300660	和紙の里:第26号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	20021015	福井 見本	鼎談「薬師寺と越前和紙」。奈良と越前の時空を結ぶ越前和紙(加藤良夫)。大名普請「瑞龍寺」復元物語(渡辺光一)。平山郁夫展を終えて(土田守治)。
81300661	和紙の里:第27号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	20040420	福井 見本 奈良	「今立の風土」断章:権現山(渡辺光一)。吉野紙漉きの里に学び水分(みまくり)の神々に詣でる:吉野和紙、福西弘行「水流心不流」、人の真似しない。上窪正一(87)。植貞男、杉皮和紙。(川上博)。蘇ったアレキサンドリア文書館見聞記(藤木典生)。
81300662	和紙の里:第28号	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	20050925	福井 見本	昭和の「お札漉き立て」略史(石川満夫)。「抄紙部」雑感(山口清三郎)。京都建仁寺の双竜図と智積院参拝(渡辺光一)。福井豪雨特集:2005年7月18日。和紙業者一覧(63業者)。工芸士一覧:人間国宝、岩野市平衛。県無形文化財、岩野平三郎、福田忠夫。伝統工芸士46名。
81300663	和紙の里:第29号	渡辺光一	越前和紙を愛する会		福井 見本 徳島	「鳥の子」紙談義。紙祖神 川上伝承の一考察(加藤良夫)。古代布を訪ねて:太布(奥谷博之)。
81300664	和紙の里:第30号	渡辺光一	越前和紙を愛する会		福井 見本	

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300665	越後の紙衣と紙布:日本の民藝NO132	上村 六郎	日本民藝館	19660901	新潟	小国、小出、加茂紙(南蒲原郡、七谷)、中里村。紙子がないが、紙布は普及と。山北町、南蒲原郡大谷地、蒲団皮用、染め。表裏、縦糸、横糸共、紙の諸(もろ)紙布。明治で断絶。村松藩では紙を上納。たち板、干し板(杉)を下賜。灰は各自のい山から。大谷地は新潟大学教育学部長岡分校紀要第一集を参考。
81300665	越後の紙衣と紙布:日本の民芸132	上村 六郎	日本工芸館	19660901	新潟	越後は紙衣を作った様子はない。麻、木綿が普及?。紙布は普及:山北町、下田村大谷地(渋紙しかし紙衣はない)、縦糸は麻。蒲団、米袋。
81300666	八女民芸見学記:日本の民芸134	高田 一夫	日本工芸館	19661101	新潟	八女の訪問記(福島屋台操人形、広川町の独楽、岩戸山古墳)、高田製紙所(高田太市)棟方志功の板画用を漉く。
81300667	越前和紙(1):日本の民藝NO135	法城 秀祐	日本民藝館	19661201	福井 京都 小説	河和田村を題材とした小説。写真は黒谷。さとは山里で紙漉に携わる。独身のままである。結婚できない処遇の訳を小説に仕立てた。木の葉入りの紙を高く買い入れたのが源太。さとは源太から結婚の申し出を受ける。母は反対。異母兄弟である母の過去を語る。
81300668	越前和紙(3):日本の民藝NO137	法城 秀祐	日本民藝館	19670201	福井 京都 小説	河和田村を題材とした小説。写真は黒谷。さとは山里で紙漉に携わる。独身のままである。結婚できない処遇の訳を小説に仕立てた。木の葉入りの紙を高く買い入れたのが源太。さとは源太から結婚の申し出を受ける。母は反対。異母兄弟である母の過去を語る。
81300669	越前和紙(5):日本の民藝NO139	法城 秀祐	日本民藝館	19670401	福井 京都 小説	河和田村を題材とした小説。写真は黒谷。さとは山里で紙漉に携わる。独身のままである。結婚できない処遇の訳を小説に仕立てた。木の葉入りの紙を高く買い入れたのが源太。さとは源太から結婚の申し出を受ける。母は反対。異母兄弟である母の過去を語る。
81300670	越前和紙(完):日本の民藝NO143	法城 秀祐	日本民藝館	19670801	福井 京都 小説	河和田村を題材とした小説。写真は黒谷。さとは山里で紙漉に携わる。独身のままである。結婚できない処遇の訳を小説に仕立てた。木の葉入りの紙を高く買い入れたのが源太。さとは源太から結婚の申し出を受ける。母は反対。異母兄弟である母の過去を語る。
81300670	民芸運動の道(135):日本の民藝NO143	三宅 忠一	日本民藝館	19670801	京都 兵庫 名塩	山口へ竹籠の調査の折、紙漉きの事実、古老から孝徳天皇からと。村の歴史の誇りとして引き合いに出す例が多い。黒谷:聖徳太子を祭る。平家の残党など説あり。質がよく、加工品の開発盛ん。丸亀の一閑張りに黒谷の絞り紙を貼る製品を提案。
81300671	東濃の手づくり	東濃教育事務所 学校教育課	ききょう出版	19780301	岐阜	p16昔ながらの手漉き紙(楯安治)岐阜県下で坂下町は美濃に並ぶ拠点。寛政年間に原弥助により創製。障子紙が中心。昭和38年8戸。昭和53年2戸。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300672	特集手すき和紙の里:月刊京都3月号 No10	寿岳 文章	美之美	19800208	京都 滋賀	紙郷の自然と暮し:黒谷、平家の落人。大江町二俣、田中秀太郎と子息、漆こし紙。宮津市畑、井俣佐喜次、昭和55年終結。紙布を織る(河口三千子)福知山無量寺。和紙と京文化(寿岳文章)紙屋院の盛衰。雁皮紙と成子家:文政(1818 - 1830)佐治兵衛の娘が栗東町の住職から。成子哲郎は佐治兵衛の分家、佐二右衛門から4代目。京都山本正春堂と取引。ちか、二べ加減に苦勞。雁皮は砂土の近辺の山から。越前の流れで縦ゆすりのみ。
81300673	近江雁皮紙:湖国の手技:湖国と文化 111号	松井 由美子	(財)滋賀県文化振興事業団	20050401	滋賀	p17成子製作所。県の無形文化財。哲郎さんは4代目。経験30年。谷宗幸さん(石川県出身、四国で修行。現在5年目)。昭和45年大阪万博のタイムカプセルに収納。卒業証書は上田上小(25年前から)青山小(5年前から)。ラオスに指導に。
81300674	紙漉村絵語り:百万塔5号	後藤 清吉郎	製紙博物館	19570925	茨城 山形 宮城	p33中染(茨城県太田市水府村)久慈川支流山田川、楮の障子紙。粗野で男性的。さらし粉は使わず。柳生(仙台市)水量は少。障子紙はパルプ混入。松板干し。高松(上山市)国栖の薄様の流れ。麻布の製法。
81300675	百万塔11号		(財)製紙博物館	196010	福島 福井 愛媛	p1日本人と日本紙 p22岩野平二郎翁の晩年 p25紙の路と絹の路 p27瑞泉寺遊記 p31西湖のほとり p33隣邦の声 p40手漉和紙の生命 p41南国の春を訪ねて p45福島県会津新郷紙産地の変貌(c12551)
81300675	日本人と日本紙:百万塔11号	高橋 亨	(財)製紙博物館	196010	歴史 随筆	p1「生活に紙が溶け込む日本の家庭」に則り、歴史を振り返る
81300675	岩野平二郎翁の晩年:百万塔11号	佐藤 秀太郎	(財)製紙博物館	196010	福井	p22昭和35年8月19日逝去。晩年、平三郎を譲り、平二郎に。
81300675	紙の路と絹の路:百万塔11号	矢島 敏男	(財)製紙博物館	196010	海外	p25絹の路の初出は、スベン・ヘディンの「中央アジア探検記」か。敦厚、るうらん、にやを経て、751年サマルカンドへ。絹は商品輸出、紙は「技術輸出」。
81300675	瑞泉寺遊記:百万塔11号	佐上 迷汀、酒泉直子	(財)製紙博物館	196010	神奈川	p27桜友会:王子の中島社長を中心とする会、茅場町「名古家」が集会場所。会の主催で鎌倉へ。
81300675	西湖のほとり:百万塔11号	加藤 晴治	(財)製紙博物館	196010	静岡 山梨 随筆	p31富士五湖の一つ西湖の紀行文。当時は未開の地。富士のふもとは。製紙の生産地。富士市、吉原市、西島、市川大門。
81300675	隣邦の声:百万塔11号	中村 直次郎	(財)製紙博物館	196010	海外	p33中国の紙種が記載。揮毫用紙の産地は、せっこう、江西、湖南、集散地は上海、広州。帳面紙の産地は福建、書かん紙は広州。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300675	手漉和紙の生命:百万塔11号	岩野 市兵衛	(財)製紙博物館	196010	福井 随筆	p40長所のある古い材料を使って、時代にマッチした新しい感覚のものを作り上げるのが、使命という。
81300675	南国の春を訪ねて:百万塔11号	藤井 一正	(財)製紙博物館	196010	愛媛	p41宇和島から宮崎、台湾、大洲の旅の中で当地の人物や名跡を語る。五十崎町は、明示40年頃までは隆盛を誇っていたが、養蚕に置き換わる。昭和33年喜多郡と大洲とで手すきわし同業組合結成。障子紙は県内母子福祉会が斡旋。
81300675	福島県会津新郷紙産地の変貌:百万塔11号	次山 信夫	(財)製紙博物館	196010	福島 統計	cf2551p45基本文献。1959年の統計あり。愛媛、高知、岐阜が上位。鳥取、山梨、埼玉、長野が次ぐ。耶麻郡西会津、阿賀野川支流、笹川、井谷川流域。起源は中世末期か。江戸期は、出原村を中心に、御用紙と中版に分化。流通は当地に限定。明治以降、紙漉きは季節的過剰労働力の受け皿であったが明治40年以降急激に衰退。養蚕、炭、桐の生産に置き換わる。技術革新に遅れ。
81300676	百万塔12号		(財)製紙博物館	196103	東京 統計	p1江戸時代三都の紙すき及び紙屋について。p25明治・大正・昭和時代の和紙原料産量について
81300676	江戸時代三都の紙すき及び紙屋について:百万塔12号	関 義城	(財)製紙博物館	196103	統計 近世 流通	p1江戸、京都、大阪の紙漉問屋。引用文献は、「ゑ入京すずめ」「三都町尽」「難波からす?」間似合鳥の子、帯屋五兵衛、「京羽二重織留」「諸国万買物調方記」家村や太郎兵衛「国花万葉記」ひらのや仁兵衛「日本鹿子」「京羽二重大全」「買物手引草」「大阪紙店積方三組」「江戸買物独案内」「商人買物独案内」「大阪商工銘家集」「商人買物独案内」「花洛商職ちまたの風聞」「増補浪花買物独案内」「江戸十組問屋」「諸国紙仰控之帳」
81300676	5 明治・大正・昭和時代の和紙原料産量について:百万塔12号	山川 隆平	(財)製紙博物館	196103	統計 近代	「藩制一覧」「明治9年農産表」
81300677	百万塔13号		(財)製紙博物館	196110		p38野州興野村浮役の一考察p42所蔵資料紹介(紙漉重宝記)
81300677	野州興野村浮役の一考察:百万塔13号	藤田 順子	(財)製紙博物館	196110	栃木	興野(きょうの)村は烏山藩(3万石)の領地。浮役として紙舟役が記載。上、中、下の3段階で紙漉き株の役割か。田畑反別帳には紙木が挙がる。他村と比べ小規模。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300677	所蔵資料紹介(紙漉重宝記):百万塔13号	森 啓子	(財)製紙博物館	196110	近世 島根	紙の博物館所蔵の「紙漉重宝記」1)原本:寛政10年(1798)浪華書林発行。石州半紙20葉の木版。2)製紙印刷研鑽会版:大正14年。本文の他に堀越による「跋」「国東治兵衛伝」「柿本人麻呂の伝」「柿本人麻呂の事蹟考」と関連写真。3)紙業出版社版(2種):昭和17年、研鑽会版を忠実に復刻。4)ライプツイッヒ・ドイツ書籍博物館版:大正14年、写真版、解説なし。5)バーゼル・サンド版:昭和25年、ドイツ語訳、昭和27年スペイン語、昭和25年フランス語版。
81300677	百万塔13号		(財)製紙博物館	19611031	栃木	p21素人紙話。p25紙の歴史の研究。p38野州興野村浮役の一考察。p42所蔵資料紹介(紙漉重宝記)
81300677	素人紙話:百万塔13号	山川 隆平	(財)製紙博物館	19611031	統計 近代 三重	慶応から明治の「下品紙」(論和紙、ちり紙、漉き返し紙)の輸出高(各港輸出物品表)。対馬宗家、朝鮮から大油紙、笠紙輸入。紋紙輸出の記録。「大日本輸出入14箇年表」では和紙と共に、明治8年から洋紙輸出の記録。輸入では唐紙、洋紙。壺屋の煙草入れ(伊勢)型紙(伊勢)若松の紙鼻緒。安部川の紙子。
81300677	紙の歴史の研究:百万塔13号	ウチャーストキナ、前島 秀秋	(財)製紙博物館	19611031	海外	海外、チェコ、ポーランド、中共、西独、オランダの製紙の歴史概要紹介。
81300677	野州興野村浮役の一考察:百万塔13号	藤田 順子	(財)製紙博物館	19611031	栃木	那須郡興野村(烏山藩)の浮役(下地がないのに課せられる役、紙舟、鉄砲、網など)紙に課税の記録。埼玉比企郡平村が株と関係するが、当地はその形跡ないことから小規模、中、下の産紙。
81300677	所蔵資料紹介(紙漉重宝記):百万塔13号	森 啓子	(財)製紙博物館	19611031	島根	原本:寛政10(1798)浪速書林発行、国東治兵衛著、22.8cm*16cm。製紙印刷研鑽会版(大正14、1円)。紙業出版社版(昭和17、1円と2円)。ライプツイッヒ・独書籍博物館版。バーゼル、サンド株版(独、スペイン、仏語)
81300678	近世越前五箇の紙商人(その形成と発展):百万塔16号	前川 新一	紙の博物館	19630331	福井 近世	p15天正3(1575)大滝神郷紙座衆中に販売範囲の規定。延宝3(1675)福井藩、買上制度。1678年和泉ら4氏に特権。生産と流通の一貫から紙商人(版元)の形成。工・商の分離。紙仲買人の貸出制と数が14名に増大。大阪、京都に受け皿。cf2536
81300678	百万塔16号		紙の博物館	19630331		紙祖蔡倫伝、近世越前五箇の紙商人(その形成と発展)、土州池川を中心とした紙漉農民の嘆願と逃散始末(その三)
81300678	紙祖蔡倫伝:百万塔16号	吉田 光邦	紙の博物館	19630331	中国 海外	蔡倫:地方の出。宦官から身を起こし高官になったが、政局の混乱の中、服毒して自殺する。後漢書の蔡倫の項に300字の小文。それを受け、「世界の間人像」(角川)で発表。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300678	土州池川を中心とした紙漉農民の嘆願と逃散始末(その三):百万塔16号	河野 徳吉	紙の博物館	19630331	愛媛	2680の続き。p41明和3(1765)国産第改役所の設置、天明5(1785)京屋常助を問屋に指定。平紙の独占買い上げのため、農民は経済的圧迫。原料の高騰とあいまり、池川、用居、名野川の郷民が逃散。藩の失政。
81300678	明治43年頃の伊勢白子の型紙業者:百万塔16号	山川 隆平	紙の博物館	19630331	三重	p14全体214.彫刻164.販売35.製造15.従業者308人。年間75万枚。5銭5厘・枚。白子の隣村、平坂は37戸。
81300679	百万塔17号		紙の博物館	19630331		c12536近世越前五箇の紙商人(その取引先と取引)。江戸初期の紙価。
81300680	富山県手漉き和紙の概況 / 百万塔24	山口 昭次	紙の博物館	19670331	富山、近世	p5八尾町(井田川)1596年より富山藩の売薬奨励と連動し産地問屋形成。生産は野積、仁歩地区。五箇山(庄川):平村 / 五箇八寸(障子紙)、上平村、利賀村。1573年に加賀藩前田利家に献上の記録。蛭(ヒル)谷:未晒の純楮障子紙。
81300680	越中五ヶ紙漉遺文 / 百万塔24	高田 長紀	紙の博物館	19670331	富山、近代	p19「五ヶ山の中折」は八寸版。明治30年以降愛媛の高橋某氏から4枚漉。一般用の紙を漉く。土佐の製法用具が伝授。その後8枚漉きパルプ混合へと移行。パルプ混合は米のりが紙を固くするため増量。「しんがい紙」屑紙で自分の収入となる藩政時代からあった。その他合掌造りなど民俗に触れる。
81300680	加賀の紙 / 百万塔24	岡村 吉右衛門	紙の博物館	19670331	石川	p36二俣紙(豊吉川):阪本宗一郎氏 / 加賀奉書の伝承者。藩の御用紙を漉く。灰汁はズイキが最上。小松秀夫氏 / 箔打用雁皮紙。雁皮は自生せず取り寄せ。戦後開始。古い楮紙の漉き方の記載あり。
81300681	津軽藩の製紙業 / 百万塔25	肴倉 弥八	紙の博物館	19670931	青森 近世	p4津軽信政1677年楮栽培1686年紙漉座、越前熊谷吉兵衛富田村で開始。雁皮、色半切等。
81300681	続越中五ヶ紙漉遺聞 / 百万塔25	高田 長紀	紙の博物館	19670931	富山 近世	p11「七山の笠紙」「里山の合羽紙」と称され300年前からと伝承。前田藩になってからは藩命で耳付合羽紙(1尺*1尺5寸)を漉く。実用的で技法を要さず。楮生産は少なく藩から割り当て生産。集荷は井波町。漉き手は女。
81300681	会津上野老沢を訪ねて / 百万塔25	河合 義郷	紙の博物館	19670931	福島	p21上野老沢(カミコガリ)障子紙や包紙。
81300681	阿多古紙について / 百万塔25	山本 猪蔵	紙の博物館	19670931	静岡 近世	p26天竜市上野(かノ)阿多古紙、江戸初期からの記録。明治期は14-15戸の漉き屋。障子紙、凧紙。
81300681	製紙改良実験全書 / 百万塔25、26、27	国乗 滝五郎	紙の博物館	18910000	製法 山梨 近代	明治24年の復刻。著者は土佐の製紙家。16章からなり、栽培、製法(煮、結麗多、糊)用具、販路、原料混合など。結麗多は白土の別名、キレタ島が由来。原料混合は各紙毎記載。19670931

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300682	斐紙考 / 百万塔 2 6	町田 誠之	紙の博物館	19670931	紙種 製法	p1雁皮繊維が粘剤利用や流漉の創製に重要な意義。雁皮のヘミセルロースはノリウツギ、トロロアオイと類似の分子構造で物理的・化学的性質も類似。当初は粘性の物質を植物繊維を混入する中で検索したと予想。
81300682	富山藩紙会所顛末記(1) / 百万塔 2 6	高田 長紀	紙の博物館	19670931	富山 近世	p11八尾は1636年以来の宿、紙蚕など物資の交易市場として発達。1849年藩は紙商人逮捕と紙会所を開設し統制。同時に野積谷救済のため借金棒引き。野積谷は1639年以降富山藩が分封されて後、売薬の発展と共に発達。技術は美濃から飛騨を経て伝来。
81300683	富山藩紙会所顛末記(2) / 百万塔 2 7	高田 長紀	紙の博物館	19670931	富山 近世	p11紙会所は1855年御勝手方の直営から郡奉行の管轄下へ。商人は紙の自由販売を嘆願。「八尾下方嘆願書之写」
81300684	顕微鏡で見た正倉院の紙 / 百万塔 2 9	大沢 忍	紙の博物館	19670931	古代 産地	p1昭和35年の調査記録。透過光線による写真撮影と顕微鏡観察から紙を分類。流漉の成立は中央では弘仁年間。「ねり」の添加のあと「捨て水」の工夫が追加と推察。地方への伝搬にはずれがあり、越前の奉書は天曆5年、因幡では延暦5年時点で溜漉。
81300684	局紙の名称について / 百万塔 2 9	関 義城	紙の博物館	19670931	紙種 福井名塩	p21「局紙」の経緯を詳述。大蔵省紙幣寮抄紙局で創製した厚口印刷用紙。維新始め由利公正の建議で太政官札発行。楮雁皮を原料に流漉、銅版に適さず、新紙幣をドイツに注文。明治8年抄紙局設置。岡本名塩に職工募集岡本から7名応募。明治9年工場落成。雁皮のみで当初抄造。原料入手困難のため三桮に変更、明治11-12年完成。唐傘100円。注:20円/パーツ。月收入300パーツ。米2パーツ/kg。
81300684	タイの紙すき / 百万塔 2 9	大江 礼三郎	紙の博物館	19670931	海外	タイ。p45繊維原料はサー(70円/kg)3円-10円/枚
81300685	相滝紙とその問題点 / 百万塔 3 1	園部 昌良	紙の博物館	19700930	石川、近世	p7能美郡鳥越村(相滝、神子清水)。始祖は吉野屋 相滝の水悪く清水で隆盛。障子、傘、堤灯、茶袋、箔打、銭紙抄造。2:加賀藩札二俣紙/蓮如指導の口碑あり。文禄1年前田利家に料紙納入。
81300685	稲越紙 / 百万塔 3 1	園部 昌良	紙の博物館	19700930	岐阜	p17飛騨紙:吉城郡河合村(角川、稲越イゴエ、桂上)。吉本氏の話では紙漉きは男仕事、女はちりとりと乾燥。楮、カルキ漂白(昔は米粉混入)、練りはトロロアオイ。叩解はピーター利用。漉き屋の見取図あり。
81300686	正倉院の紙 / 百万塔 3 3	町田 誠之	紙の博物館	19720229	古代、紙種	p1紙名:原料由来/麻、黄麻、白麻、緑麻、常麻、短麻、白短麻、穀、加地、加遅、梶、檀、真弓、長檀、斐、肥、荒肥、竹幕、楡、朽布、布、白布、本古、葉藁、波和良、松など。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300686	一壺亭茶話 / 百万塔33	糟坊 喜西	紙の博物館	18720000	近代、大阪	p23: 明治5年「一壺亭茶話」の楮及び紙の部分。大阪で楮の大々的栽培の計画書。大阪府も関与しているが不成功か? 19720229
81300687	わが国最初の紙すき師について / 百万塔34	関 義城	紙の博物館	19720831	古代	p8最初の漉き人: 「記私」(枯杭集)。曇徴以前に渡来した高麗人? 「津乃咋見命」(神代古今本朝万物)。「曇徴」(日本書記)推古天皇18年。松田京仙(諸職初発)。徐福(笈埃隨筆)
81300687	和紙の里 / 百万塔34	前川 新一	紙の博物館	19720831	石川、福井、富山、滋賀	p19加賀二侯 / 起源719年越大徳泰澄説1449年蓮如説前田利家移入説。越前から? 若狭和多田 / 大江氏の紙漉場図。八尾 / 吉田桂一。福井穴馬。滋賀 / 成子。瑞雪説。1736-1743出庭村僧越前説。1829敦賀鶏卵説。
81300688	修善寺紙の系譜 / 百万塔35	相原 隆三	紙の博物館	19730202	静岡 近世	p1修善寺紙の系譜: 染め紙(朱善寺紙)土佐、西島、越前、立野の雁皮紙の流れで説明する。立野紙が一番近い。三椏紙の発達: 天明3年富士郡の渡辺兵左衛門の栽培開始。江戸は駿河がリード、明治になり改良漉きに。
81300689	和紙の黎明 / 百万塔36	町田 誠之	紙の博物館	19730831	古代	p1 / 610年日本書記: 曇徴。枯杭記: 記私。飛鳥国産紙浸透。8世紀全国的に拡大。702年: 戸籍、美濃筑前豊前: 最古の紙。美濃紙は楮で溜めすき。704年以降は国印。707年「王勃詩序」色麻紙29張。
81300689	文学に現われた紙 / 百万塔36	民法 正靖	紙の博物館	19730831	名塩 紙種 古代 中世 近世	p14古代から近世文学の紙の記事の集成。岩波古典文学大系より抜粋。名塩紙: 91巻「新色五巻書」p458「有馬海道に差し掛かりぬ。此所は陽見舞の者多く。特に名塩、山口の紙中衆、此処を通るに隙なく、」各紙の索引解説あり。
81300689	溜漉と流漉私見 / 百万塔36	山田 誠一	紙の博物館	19730831	製法	p42永久性を条件とする鳥子は溜漉き。檀紙(楮)の溜漉も緻密性堅牢性で流漉を圧倒。越前の「くみ漉め」流し漉きに溜め漉きを加えた変形技法。雲かけ飛び雲見ず玉の漉かけをする際、地紙の鳥子を漉く際の技法。溜め漉様にゆりをかけ手早く水落とし漉上げる方法。
81300690	加賀の御料紙 / 百万塔38	高田 長紀	紙の博物館	19740831	石川、近世	p1御料紙、御留紙 / 藩主の使用紙、市販を禁止。御用紙、上り紙 / 藩の一般事務用紙。二侯紙: 719年僧泰澄。1449年蓮如など伝搬説残る。「御献上紙等御料紙由緒覚書」1585-1860年の加賀藩の施策の記録。1592年御料紙漉場指定。杉原(中世末期の物は美濃系統その後越前流に改良か)奉書が主。
81300691	土佐村送り切手の背景 / 百万塔39	飯山 雄四郎	紙の博物館	19750228	高知 近代	p26当切手は明治5年6月から2年高知県内で通用、8月からの政府郵便切手と併用。通称土佐藩の鯉札、鯨札。高知の紙漉の歴史にも触れる。
81300692	越前五箇に伝わる紙の祭り / 百万塔40	加藤 良夫	紙の博物館	19750831	福井 民俗 近代	p5大正12年川上御前が大蔵省紙幣寮抄紙局に分霊。大滝神社と岡太神社の由来: 中世以前は大滝寺(天台宗)岡太は延喜式今立14座の一宮。大滝神社の奥の院(オカト / 川上御前を祭る)と栗田郡の岡太(オカト)と本家争い。川上様の祭り: 旧暦4月5日。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300693	小川和紙 / 百万塔4 1	会田 隆昭	紙の博物館	19760228	埼玉 近世	p1現状(1976)の統計解析。歴史「横川家文庫」「松本家文庫」1/楮を原料、紙漉役の課税対象2/幕府直轄3/天保期、専売制の江戸商人と抗争4/暮らし向きは高い5/需要の多様性は細川紙を除き雑多な紙の生産へ。周辺部の変遷解析。
81300693	泉貨今昔談 / 百万塔4 1	寿岳 文章	紙の博物館	19760228	愛媛 近代 統計	p14泉貨、仙過、仙貨、仙花、センカ:昭和13年「質厚く強い楮紙。宇和島産、昭和24年「粗悪な原料を使った紙」沿革:天正10年泉貨和尚、漉上げた一枚の紙に一枚重ね粘着した厚紙、明治以後の諸統計記載。同類の紙に百田紙、海田紙、宇陀紙、森下紙。
81300693	富山県の紙楮仕法について / 百万塔4 1	高田 長紀	紙の博物館	19760228	富山 近世 流通	p27仕法の制定:八尾紙、加賀藩の仕法、御益金、八尾商人。仕法の概要:紙楮方仕法書、楮、洩紙洩楮、御益金と口銭。紙会所発足:業務不振、供出と払下げ、紙屋仲間。
81300694	越後の小国紙 / 百万塔4 2	新村 出	紙の博物館	19760831	新潟 中世	p1小国谷、刈羽郡及び北魚沼郡、古今著聞集巻20(魚虫禽獸)8話乙寺(きのと)の猿と紙。27話常陸の同話。同話は法華験記(1042)で初出。越後の造紙は774年に及ぶ。江戸期に小国紙は出てこない。
81300694	青竹編「新撰紙鑑」に就いて / 百万塔4 2	大沢 忍	紙の博物館	19760831	近世	p14青竹の遺稿「紙譜」から「紙鑑」を編集し「木村青竹編新撰紙鑑」を出版。3種版違い。原本はない。
81300694	新撰紙鑑の作者 / 百万塔4 2	禿氏(とくし) 祐詳	紙の博物館	19760831	近世	p20
81300694	程村と西の内 / 百万塔4 2	河野 徳吉	紙の博物館	19760831	栃木 近世 近代	p30程村は烏山町東南3キロの下境の字名。厚手で溜め漉で生産していたが、明治末改良漉普及のため中断。現在は福田氏が漉く。配合:楮4貫につき米糊1升5合。寸法:1尺1寸5分×1尺5寸5分。
81300695	奉書とともに / 百万塔4 3	前川 新一	紙の博物館	19770228	福井	p17人間国宝岩野市兵衛氏を偲んで / 昭和49年没。越前奉書の概略を記述。
81300695	小国紙体験記 / 百万塔4 3	高橋 実	紙の博物館	19770228	新潟 製法	p23新潟県民俗学会機関誌「高志路」231-234連載。小国紙は昭和49年3月国の文化財に指定。江口昭五さん宅の訪問記。工程記載。
81300695	関東の和紙 / 百万塔4 3	松原 浩	紙の博物館	19770228	茨城、栃木、埼玉	p32「通信文化」昭和51年4月-8月記載。西の内紙、那須(程村)紙、小川紙、浅草紙の略歴。
81300695	雁皮栽培録 / 百万塔4 3	煤原 寛重	紙の博物館	18820000	農業 近代	p54明治15年発行分の再録。植地、種子採取期、貯蔵、蒔期、植え付け、耕作、収穫、相場などから構成。19770228

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300696	まぼろしの紙、檀紙 / 百万塔44	上島 有	紙の博物館	19771225	福井 名塩 中世 紙種	p1中世の檀紙を伝えるのは今滝の岩野和夫氏。中世の和紙を分類。1) 奉書系：粉っぽい、白土の量多い。最高の紙、天皇使用。2) 檀紙。公文書使用。3) 奉書：中間系、白土含む。4) 美濃紙系：薄くて柔らかい。白土含まない。5) 普通。柳井家「備中檀紙」、いずれも土含むので名塩紙との関係で興味
81300696	紙衣考 / 百万塔44	禿氏 裕詳	紙の博物館	19370000	産地 名塩	p12「和紙研究」5号より転載。大阪の紙衣「大阪一閑というものを製す」本朝世事談き。名塩の半切が大阪で販売、原産は名塩か山口？ 19771225
81300696	東北の和紙 / 百万塔44	松原 浩	紙の博物館	19771225	産地、岩手、宮城	p38「通信文化」昭和51年1月-2月より転載。成島紙。檀(マミ)紙：1014年「小石記」初出。陸奥の檀紙は「溜め漉き」の楮紙。蔵王紙。仙台紙子。深山紙。
81300697	西鶴「紙」語彙の索引と解説 / 百万塔45	夏見 知章	紙の博物館	19780331	紙種 名塩 近世	p1全集より紙の用語を五十音順に配列し解説。p3「うすよう」名塩の薄様は「かるたの面、書物の表紙に多く用、堅一尺二寸、横一尺六寸六分、百枚切り」
81300697	近江の鳥の子 / 百万塔45	夏見 知章	紙の博物館	19780331	滋賀 紙種	p38「紙漉女性聞書抄」より転載。成子ちか、哲郎氏。近江和紙734年「近江の紙工敢石部勝麻呂に米一斗六弁を給す」成子は江戸中期出庭村法香寺の僧が越前の製紙習い、成子佐治兵衛の女が奉公し伝授。流し漉きで女性も漉く、紙間は「はだめ糸」をはさむ。
81300697	白倉紙聞き書 / 百万塔45	田村 孝雄	紙の博物館	19780331	新潟	p46刈羽郡高柳町。朝倉チユ氏。
81300698	ねり使用の伝来に就いての新説 / 百万塔46	西 健男	紙の博物館	19780930	製法	p21ねりは日本の発明でなく渡来したとの説。中国河北郡の漉き場で「トロロアオイ」を使用。中国語で「黄蓮」と称す。佐賀で同じ呼称。
81300698	黒谷を訪ねて / 百万塔46		紙の博物館	19780930	京都 産地	p28中村元氏。黒谷の略歴。代官十倉治右衛門が紙会所を設置。専売へ。京都、大阪に販売。京都越後屋が使用。大正時はグンゼに納品。戦後は値札紙と唐傘紙。サンドペーパーの台紙など。
81300698	吉野紙、上月紙、高野紙 / 百万塔46		紙の博物館	19780930	奈良 兵庫 和歌山 産地	p32「紙漉女性聞書抄」より転載。吉野：福西虎一氏。漉き手は奥さん。宇陀紙には楮に土混入。上月：橋本はつ氏(83)。明治期は100戸。海田紙(厚手で襖、屏風用)が主。高野：中坊君子氏(70)。1252年「三教指教」高野紙使用。「弘法大師行状絵詞」で紙漉き図。傘紙。昭和15年93軒。
81300699	紙方本途直段帳、紙本途帳 / 百万塔47	関 義城	紙の博物館	19790430	紙種 流通 名塩 統計 近世	p14：1778年の京都の値段表。名塩半切紙記載。1825年の江戸の値段表。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300700	タイ王国の手すき製紙業 / 紙パ技協誌、33	小林良生	紙パ技協誌、33、	19790900	海外、製法	原料(コイ、ポー・サー)とその分布。紙すき村の分布。製造工程を詳細に記す。p28 / 百万塔48
81300701	和紙の里、越前五箇訪問記 / 百万塔49	小林 良生	紙の博物館	19800330	福井	p69
81300701	阿波紀行－阿波和紙と木頭太布の探訪 / 百万塔49	小林 良生	紙の博物館	19800330	徳島	p78
81300702	和紙講演会、麻紙、楮紙、三椏紙、雁皮紙 / 百万塔50	尾崎、古田、宇田、安部	紙の博物館	19800930	紙種	p20楮紙：本美濃紙を紹介。越前はタテヨリだけに対しヨコヨリをかける。三椏紙：川之江紙の紹介。雁皮紙：安部の略歴。
81300702	タパと紙衣の旅－白石紀行 / 百万塔50	小林 良生	紙の博物館	19800930	宮城	p54白石：遠藤忠夫氏。藩政時代は300軒。1615年伊達政宗が免税措置でカジノキ殖産奨励。楮より長繊維の溜め習字用より衣料用に最適。
81300703	一筋の白髪 / 百万塔51	由良 一仁	紙の博物館	19810331	島根、昔話	p70津和野の昔話。仁右衛門の話。「仁右衛門の呪い火」「愛の池」
81300704	高松紙聞書 / 百万塔52	河合 義郷	紙の博物館	19810930	山形	p60高松：土屋一郎氏。25代続く。戦前130軒。昭和30年30軒。楮紙。麻布紙は吉野から伝授。文化年間唐障子紙を漉いていた高松に吉野紙を導入。
81300705	津軽の紙漉 / 百万塔53	花田 要一	紙の博物館	19820331	青森 近世	p1朝廷への貢献の紙の記録は1674年を筆頭に4回。信政の頃越前から喜兵衛、三河から今泉伝兵衛招く。
81300705	「紙漉き歌」を求めて / 百万塔53	阪田 美枝	紙の博物館	19820331	宮城 民俗	p40仙台市柳生、丸森。
81300705	越中八尾紙探訪記 / 百万塔53	小林 良生	紙の博物館	19820331	富山	p46八尾町、富山県山村特産指導書、おわら和紙人形、越中紙社、桂樹舎、和紙文庫、八尾民芸紙業社
81300705	現代の手漉き障子紙 / 百万塔53	小林 良生	紙の博物館	19820331	高知	p64土佐市高岡町、吾川郡伊野町。
81300706	津軽の紙漉、その3 / 百万塔54	花田 要一	紙の博物館	19820930	青森 近世	p12国楮のこと。原料楮の確保が課題。1773年以降産物方を設け楮栽培を奨励。
81300706	タイ国紙漉き村旅日記抄 / 百万塔54	小林 良生	紙の博物館	19820930	海外	p29タイ。マイ族の手漉き紙とラフー族のケツ作り見聞記。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300707	津軽の紙漉、その4 / 百万塔55	花田 要一	紙の博物館	19830430	青森、近世	p29史料の紹介。弘前に紙漉町、紙漉喜兵衛屋敷跡、楮町、紙漉清水など残る。
81300708	大洲和紙の発達過程 / 百万塔56	村上 節太郎	紙の博物館	19830831	愛媛、近世	p9大洲の起源：岡崎治郎左衛門；1650年頃土佐の平氏の流れ藩主月窓に招かれ御用紙を漉く。宗昌禅定門；越前出身の遍路又は山伏。
81300708	「紙漉き歌」を求めて(2) / 百万塔56	阪田 美枝	紙の博物館	19830831	宮城 民俗	p52白石、遠藤忠夫、奥州白石郷土工芸研究所
81300708	因州佐治村を訪ねて / 百万塔56	小林 良生	紙の博物館	19830831	鳥取	p66佐治村。因州筆切れず紙保存会。佐和産業。佐治紙祖碑：加瀬木の西尾半右衛門が1726年播磨皆田村から皆田紙を導入。なお、青谷地区は美濃出身の弥助を紙祖とする紙碑あり。
81300709	津軽の紙漉(5) / 百万塔57	花田 要一	紙の博物館	19830831	青森 近世	p5星弘道、吉五郎、いずれも幕末期に楮を植産。
81300709	大洲和紙の発達過程 / 百万塔57	村上 節太郎	紙の博物館	19840110	愛媛、近世、近代	p9大洲藩の統制は1751年から始まる。1762年の従事者：半紙漉2367人、小間漉738人、楮仲買134人。紙種の記録あり。明治以降の盛衰にも触れる。
81300709	石州半紙紀行 / 百万塔57	小林 良生	紙の博物館	19840110	島根	p71益田、柿本人麿神社、国東治兵衛、三隅町古市場、津和野
81300710	江戸十組紙問屋の系譜 / 百万塔58	野口 嗣雄	紙の博物館	19840410	東京 近世 流通	p1：1694年菱垣廻船の修復、新造は組合が負担、積み荷の分散混載。米、塗物、畳表、酒、紙、綿、薬、小間物、釘、通町の十組。名簿(66商店)あり。
81300710	津軽の紙漉(6) / 百万塔58	花田 要一	紙の博物館	19840430	青森 紙種 近世	p26紙御蔵、紙御蔵大帳(1852)、紙御庫品直段付：紙種、値段、使用量記載
81300710	「紙漉き歌」を求めて(3)(4) / 百万塔58	阪田 美枝	紙の博物館	19840430	福島 民俗	p33、p38安達郡上川崎、いわき市遠野、「いわきのべがみ」「ユリドメ」という溜め漉き。
81300710	吉賀上領奥部の紙漉き / 百万塔58 / 郷土石見	澄川 一夫	紙の博物館	19840430	島根 近世	p43「郷土石見」12号より転載。津和野藩：1428年頃領主吉見弘信が柳村(日原)、大井谷(柿木)に楮を植えつぎ障子紙漉き始める。1601年坂崎出羽守豊後より楮移植。杉原紙の伝習：1652年藩命で飛騨へ。1664年坪井与三右衛門楮苗買い付け。篠原五郎右衛門の悲話：山代への秘法の伝聞による罪。
81300710	八女紙・名尾紙紀行 / 百万塔58	小林 良生	紙の博物館	19840430	福岡、佐賀	p50八女：日源が開祖。矢筈部新左衛門、新右衛門、新之丞。名尾紙：元禄13年納富由助が溝口より伝習。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300711	「紙漉き歌」を求めて(4) / 百万塔59	阪田 美枝	紙の博物館	19840831	山梨、民俗	p49西島、甲斐市川
81300711	中富町西島と市川大門町の和紙探訪 / 百万塔59	小林 良生	紙の博物館	19840831	山梨	p61西島:笠井、望月、佐野姓多い。セイコー方式紙料の導入法。サイ倫社。市川大門。
81300712	美濃紙訪問記 / 百万塔60	小林 良生	紙の博物館	19841231	岐阜	p55
81300713	出雲民芸紙紀行 / 百万塔61	小林 良生	紙の博物館	19850430	島根	p3
81300714	阿波和紙の淵源を探る / 百万塔62	小林 良生	紙の博物館	19850831	徳島	p65阿波忌部と荒妙と南張紙
81300714	江戸十組紙問屋 / 百万塔62	服部 誠一郎	紙の博物館	19850831	東京、近世、流通	p24 / 「湊屋源三郎」の店舗絵図について
81300715	名塩紙探訪記 / 百万塔63	小林 良生	紙の博物館	19851231	名塩	p24谷野剛唯氏訪問。名塩打雲紙:名塩のものは越前と違い入道雲の形を描いたもの。
81300715	「紙漉き歌」を求めて(5) / 百万塔63	阪田 美枝	紙の博物館	19851231	京都、民俗	p38宮津市畑、黒谷、大江町
81300715	津軽の紙漉(8) / 百万塔63	花田 要一	紙の博物館	19851231	青森	p51紙漉喜兵衛と紙漉町、楮町
81300716	福井県大野郡紙漉史覚書 / 百万塔64	前川 新一	紙の博物館	19860430	福井	p18大野郡内の紙漉:南山中西谷、奥池田、南山中穴間谷、南山中東谷、楮の張紙、傘紙、塵紙が主。
81300717	南予の紙郷を行く / 百万塔65	小林 良生	紙の博物館	19860831	愛媛	p26大洲半紙と泉貨紙。内子、五十崎、天神産紙工場、大洲和紙会館、長野製紙所、岡崎紙、香林寺、安楽寺
81300718	細川紙探訪記 / 百万塔66	小林 良生	紙の博物館	19861231	埼玉	p63小川、テクノグリーン構想、小川紙譜碑、東秩父和紙センター、横川禎三
81300718	「紙漉き歌」を求めて(6) / 百万塔66	阪田 美枝	紙の博物館	19861231	滋賀 民俗	p78桐生、

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300719	明治大正昭和期における福井県の製紙業 / 百万塔67	前川 新一	紙の博物館	19861231	福井 近代	p15「福井県和紙工業協同組合五十年史」補遺。大安寺製紙組合、有限責任岡本村製紙信用購買販売生産組合、若狭手漉和紙工業組合、
81300719	三重県の和紙業(1) / 百万塔67	会田 隆昭	紙の博物館	19861231	三重	p30 / 伊勢神宮地域:大豊和紙工業。白子型紙。
81300719	「紙漉き歌」を求めて(7) / 百万塔67	阪田 美枝	紙の博物館	19870430	名塩 民俗	p63大谷杉雄「朝のはよから御坊さんの杉で、からすが鳴いて眼がさめた。よんべよんべの土こね船に、あの娘の文をあわてて拾うて、ふところに入れた」
81300720	幻の山岳馬車鉄道(1) / 百万塔68	服部 誠一郎	紙の博物館	19870831	名塩、近代	p1真島讓一郎:明治6年22才で製紙業界に44年引退。逢来社、三田製紙所、水谷紙料、富士製紙会社、真島製紙所、前田製紙などに経営。大阪細川藩真島の養子。名塩出身か?
81300720	大阪紙商仲間におけるクジ前制度の研究 / 百万塔68	河野 徳吉	紙の博物館	19870831	大阪 流通 近世	p391766年紙商仲間の創立「大阪商業習慣録」。1715年舟町組紙商仲間の名簿「小嶋屋七兵衛覚え」
81300720	駿河柚野紙を訪ねて / 百万塔68	小林 良生	紙の博物館	19870831	静岡	p55富士郡芝川町柚野(ゆの)、内藤恒雄
81300721	大阪紙商仲間におけるクジ前制度の研究(2) / 百万塔69	河野 徳吉	紙の博物館	19880101	大阪 流通 近世	p27船町組紙商仲間の人間関係
81300721	修繕寺紙の再興 / 百万塔69	小林 良生	紙の博物館	19880101	静岡	p55修繕寺紙
81300721	讃岐国香川県の和紙の歴史 / 百万塔69	中場 幸郎	紙の博物館	19880101	香川 中世 近世	p71讃岐檀紙の興亡。讃岐和紙。南部伊平、高橋三右衛門、池田佐太郎、国東照太、市川製紙所、瀬詰忠次郎、西村忠右衛門。
81300722	越前古漉掛技術について / 百万塔70	山田 誠一	紙の博物館	19880430	福井 製法	p26打雲(くもかけ)、飛雲、水玉
81300722	大阪紙商仲間におけるクジ前制度の研究(3) / 百万塔70	河野 徳吉	紙の博物館	19880430	大阪、流通、 近世	p30幕末期の制度崩壊。
81300722	津軽の紙漉 / 百万塔70	花田 要一	紙の博物館	19880430	青森 近世	p47新井吉兵衛。今泉伝兵衛。今泉家文書。
81300722	常陸西の内紙探訪記 / 百万塔70	小林 良生	紙の博物館	19880430	茨城	p74山方町。那須楮。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300722	「紙漉き歌」を求めて(8) / 百万塔70	阪田 美枝	紙の博物館	19880430	和歌山 民俗	p91有田郡清水町
81300723	下野・烏山程村紙を訪ねて / 百万塔72	小林 良生	紙の博物館	19890101	栃木	p46福田弘平。鷲子山上神社。
81300724	紙漉きをささえる簀編み桁作り / 百万塔73	内田 昌宏	紙の博物館	19890430	静岡 製法	p44清水市藤波博平。
81300725	民芸の町の手漉き紙 / 百万塔74	小林 良生	紙の博物館	19890831	岡山	p29料紙に活路を求めた備中和紙。倉敷市水江、丹下哲夫。清川内(セイゴウチ)紙。
81300725	「紙漉き歌」を求めて(9) / 百万塔74	阪田 美枝	紙の博物館	19890430	和歌山 民俗	p44高野、下古沢。中坊キミ子。不動谷川
81300725	「製紙勤労之図」と和紙づくりの変遷 / 百万塔74	柳橋 真	紙の博物館	19900101	近世 製法	p1絵巻にみる工程と技法。和紙の品種構成は江戸時代以前にほぼ決定。江戸期は量産化、規格化が進んだ。注0710
81300726	丹波・黒谷和紙探訪 / 百万塔75	小林 良生	紙の博物館	19900101	京都	p25綾部市黒谷
81300727	「紙漉き歌」を求めて(10) / 百万塔76	阪田 美枝	紙の博物館	19900520	奈良	p31窪垣内(クボカイト)昆布一夫。
81300727	阿波拝宮紙探訪 / 百万塔76	小林 良生	紙の博物館	19900520	徳島	p12拝宮紙:上那珂川町、那珂川上流の障子紙。中村功。井本満。西谷重行。
81300728	「紙漉き歌」を求めて(11) / 百万塔77	阪田 美枝	紙の博物館	19901030	三重、民俗	p18飯南町深野。飯南町史より紙漉きの里、由来、盛衰、深野紙の製法に触れる。
81300729	山形県白鷺町の深山紙探訪 / 百万塔78	小林 良生	紙の博物館	19910201	山形	p25長沢和紙(舟形町)。深山紙(白鷺町);由来。製法記載。
81300730	讃岐檀紙の歴史探訪 / 百万塔79	小林 良生	紙の博物館	19920501	香川 近世紙種	p21讃岐の檀紙、高松市檀紙町
81300730	江戸の間屋仲間 / 百万塔79	林 玲子	紙の博物館	19920501	東京 近世流通	p30下り商品と地廻り商品。江戸の間屋仲間名簿。仕入れ問屋と荷受け問屋、冥加金

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300731	「江戸の紙商展」の展示古文書目録 / 百万塔80	横森 久美	紙の博物館	19920920	東京 近世 流通	p74湊屋源三郎(服部)、紙屋弥兵衛(岡本)、中村庄八(中庄)、柏屋三右衛門(柏原)、小津屋清左衛門、越三商店(日本紙パルプ商事)
81300732	伊予・新宮の手漉き探訪 / 百万塔81	小林 良生	紙の博物館	19930210	愛媛	p13川之江、伊予三島、新宮村:大正8年、五味、日浦、市仲、栗の下、古野、大影など120戸。現在、日浦に高橋只雄のみ。
81300733	北陸三県の紙郷探訪(1) / 百万塔82	小林 良生	紙の博物館	19930610	石川 富山 福井	p15二俣:「紙肝煎」園田家は加賀藩の御料紙を漉く。相滝紙。八尾紙と五箇山紙。
81300734	北陸三県の紙郷探訪(2) / 百万塔83	小林 良生	紙の博物館	19930925	石川 富山 福井	p49五箇山の歴史。平村:塩硝(硝酸カリ)。越前和紙:岩野平三郎製紙所、三田村家。
81300735	カジノキ・コウゾからの織布と不織布 / 百万塔84	小林 良生	紙の博物館	19940130	徳島 製法	p12織布と不織布。カジノキ・コウゾ。カジノキの分布と伝搬。タパ。紙布。太布。紙布。
81300736	その後の八女手漉き和紙 / 百万塔85	小林 良生	紙の博物館	19940531	福岡	p25八女伝統工芸館。山口和紙工房。松尾和紙工房
81300737	信州の手漉き紙探訪 / 百万塔86	小林 良生	紙の博物館	19941102	長野	p26小海和紙:加藤嘉一。「信州の手漉き和紙」1683年小海組に5軒。昭和期、小海和紙製造組合。立岩和紙:丸子町、種紙が中心。北信内山紙工業協同組合。内山紙の盛衰。
81300738	讃岐・高松の紙漉きの祖地訪問記 / 百万塔87	小林 良生	紙の博物館	19940301	香川 近世	p26南部伊平:1772-1781年に伊予三島から亀造なるものを雇い入れ、この地の出水を利用して紙漉きを始めた。「讃岐香川郡史」
81300739	流通から見たタイ産楮(1) / 百万塔88	酒井 忠雄	紙の博物館	19940810	海外 流通 農業	p61タイ
81300740	岩手県・東山紙紀行 / 百万塔89	小林 良生	紙の博物館	19941125	岩手	p26東山町:鈴木俊彦。
81300740	流通から見たタイ産楮(2) / 百万塔89	酒井 忠雄	紙の博物館	19941125	海外 流通	p37タイ
81300741	豊の国の手漉き紙探訪 / 百万塔90	小林 良生	紙の博物館	19950228	大分	p29杉村清一「紙漉きの里を訪ねて」:中津、山国(耶馬溪)、院内、高瀬(日田市郊外)、杵築、駄の原、竹中(大分)、大野、飛田川、佐伯(市原正之)、川登、内山(三重町)、阿蔵(竹田市)、入田

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300741	流通から見たタイ産楮(3) / 百万塔90	酒井 忠雄	紙の博物館	19950210	海外、流通、農業	p37タイ
81300742	讃岐の造田紙探訪 / 百万塔91	小林 良生	紙の博物館	19950610	香川	p25「琴南町史」造田紙:1820年から1835年まで
81300743	和紙制作用具の作製の現況 / 百万塔92	小林 良生	紙の博物館	19951020	岐阜 製法	p41美濃和紙の里会館。古田要三:全国手漉和紙用具作製保存会会長。
81300744	播磨・杉原紙探訪 / 百万塔93	小林 良生	紙の博物館	19960229	兵庫	p30杉原紙の歴史:1116年「殿歴」で初出。加美町。杉原紙研究所所長:井上正美。
81300745	土佐清張紙探訪記 / 百万塔94	小林 良生	紙の博物館	19960628	高知	p25清張紙:片岡藤義。土佐典具帖紙:浜田幸雄。
81300745	「初殖如法経?紙苧」考 / 百万塔94	津田 守一	紙の博物館	19960628	古代 福岡	p34筑紫野市武蔵寺出土、銅版製経筒:1094年、1103年の銘。「はじめてによほうきょうりょうにちよをうる」。上代、中世の紙漉についての考察。
81300746	百万塔95		紙の博物館	19961021		
81300747	加賀二俣紙探訪記 / 百万塔96	小林 良生	紙の博物館	19970228	石川	p31金沢市二俣:由来:養老期(1300年前)泰澄大師が医王山を開山期又は、蓮如説。
81300747	続流通から見たタイ産楮 / 百万塔96	酒井 忠雄	紙の博物館	19970228	海外 流通 農業	p79タイ
81300748	続流通から見たタイ産楮 / 百万塔97	酒井 忠雄	紙の博物館	19970228	海外 流通 農業	p79タイ
81300748	美濃和紙の里会館訪問記 / 百万塔第97号	小林 良生	紙の博物館	19970704	岐阜	p45
81300749	台湾紙紀行 / 百万塔第98	小林 良生	紙の博物館	19971031	海外	p25竹紙、台湾
81300750	中国紙史紀行 / 百万塔99号	小林良生	紙の博物館	19980228	海外	p8中国サイ倫以前の探索調査

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300751	ライブチヒにある和紙 / 百万塔101号	久米 康生	紙の博物館	19981031		
81300752	百万塔第102号		紙の博物館	19970704		p85 / 全国手漉き和紙、福井県大会に参加して
81300753	百万塔第103号		紙の博物館	19990630		p74: 和紙への偶感(町田誠之)p80: 和紙と私(笠井文保)久保田保一、岩野市兵衛氏。p15: 第12回国際手漉き紙作家・紙芸術家協会会議参加記(小林良生)
81300754	百万塔104号		紙の博物館	19991031	福井、海外	横山大観と画紙、流通から見たラオス産楮。
81300755	百万塔105号		紙の博物館	20000229		現代日本紙漉場地図(岡村吉右衛門)1959年作
81300756	百万塔106号		紙の博物館	20000630	海外 タイ	p34貝多羅葉の原料植物とその作り方(小林良生)パルミヤヤシ、ターン。
81300757	百万塔107号		紙の博物館	20001031	愛知	p46尾張藩御用紙漉(第一回)
81300757	尾張藩御用紙漉(第一回) / 百万塔107号	河野 徳吉	紙の博物館	20001031	愛知	p46第一章御用紙漉職方辰巳市右衛門: 先祖は江州、武士出身で、家康の御うね弊棒は市右衛門の先祖が献上したものと。寛文11年十人俵と苗字帯刀、明治4年まで尾張藩の料紙を上納。留書による検証: 家督相続、儀礼と行事、儉約政策と反故紙、御黒印紙、
81300758	百万塔108号		紙の博物館	20010228	愛知	p46尾張藩御用紙漉(第二回)
81300758	尾張藩御用紙漉(第二回) / 百万塔108号	河野 徳吉	紙の博物館	20010228	愛知	p34尾張藩御用紙漉(第二回)御用紙漉職方辰巳市右衛門: 御用紙漉所の建物、道具、用水。辰巳家のぼだい所と宗派、浄土宗正覚寺。伝次から忠蔵に家督相続。参勤交代と催事。八代目の活躍。八代目の乱心。
81300759	百万塔109号		紙の博物館	20010630	愛知	p29尾張藩御用紙漉(第三回)
81300759	尾張藩御用紙漉(第三回) / 百万塔109号	河野 徳吉	紙の博物館	20010228	愛知	p29尾張藩御用紙漉(第三回)九代目新左衛門の記録、御紙漉所の修復と再興

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300760	百万塔110号		紙の博物館	20011031	愛知	p29尾張藩御用紙漉(第四回)御用紙漉職の再興
81300760	尾張藩御用紙漉(第四回)/百万塔110号	河野 徳吉	紙の博物館	20010228	愛知	p32尾張藩御用紙漉(第四回)九代目新左衛門の記録、御紙漉所の修復と再興。
81300761	百万塔111号		紙の博物館	20020228	島根 山口	p83和紙の里に走れ(1)石見、周防地方の和紙の里(小畑)
81300761	和紙の里に走れ(1)・百万塔111号	小畑 登紀夫	紙の博物館	20020228	島根 山口	p83石見、周防地方の和紙の里(小畑)
81300762	百万塔113号	紙の博物館	(財)紙の博物館	20021031	愛知 東京	p38尾張藩御用紙漉(第七回)第四章御用紙漉職方辰巳家の技術開発。 p67浅草紙の300年(江戸-東京北郊に於ける漉返紙業の歴史地理)
81300762	尾張藩御用紙漉(第七回):百万塔113号	河野 徳吉	(財)紙の博物館	20021031	愛知	p38第四章御用紙漉職方辰巳家の技術開発。11、紙漉場周辺の草刈。12、御用紙請負書式。13、御用紙奉書献上。14、唐紙形和漉紙注文。15、御用紙値引。16、御用紙漉所運営心得。17、御用紙御前金(紙漉場整備費)紙草代。18、前借金請取手形。19、紙漉職人の雇用。20、辰巳家由緒。21、紙草植付。22、紙木植付之儀。23、由緒書明細。家督相続血判の儀。文書を参考に論述。
81300762	浅草紙の300年:百万塔113号	合田 隆昭	(財)紙の博物館	20021031	愛知 東京	p38江戸-東京北郊に於ける漉返紙業の歴史地理:近世初期から昭和30年代までの現台東区、荒川区、足立区、墨田区、北区の浅草紙(漉返塵紙)を論述。漉返紙は環魂紙と都市周辺の粗紙に分類、後者に浅草紙、湊紙、西洞院紙。寺田寅吉紹介(1921年)浅草に於ける漉き屋の位置(田原町紙漉町)紙漉と紙屑業が共生。本所、足立区梅田、本木、奥野、伊興へと産地移動。紙問屋は千住に集中。
81300763	百万塔114号		(財)紙の博物館	20030228		p33尾張藩御用紙漉(第8回)p52「延喜式」にみられる「苦参紙」に関する研究p79紫式部「源氏物語」雑考p87和紙の里へ走れ(3)高速道路で佐賀へ
81300763	尾張藩御用紙漉(第8回):百万塔114号	河野 徳吉	(財)紙の博物館	20030228	愛知 近世	1.御用紙漉技術秘伝(御用聞覚、伝書写、紙漉書仕様)。辰巳家は伝承技術。2.辰巳氏「系譜」初代市右衛門=12代半三郎。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300763	「延喜式」にみられる「苦参紙」に関する研究:百万塔114号	平田 真澄	(財)紙の博物館	20030228	古代 中世	苦参紙(くじんし)マメ科クララ属クララ。漢方で苦味健胃、利尿など。アルカロイド(マトリン)延喜式に紙原料として初出。中世までで製造中止。現法では、より強いアルカリ煮沸が必要で、良い紙にならない。古代は微生物発酵を利用か。試作で検証。麻紙が防虫効果があったため、同類性能をクララに求めたが、成分は水溶性のため流出、効果乏しい。原料処理が困難、煮塾しない(麻も同様)。硬い。
81300763	紫式部「源氏物語」雑考:百万塔114号	町田 誠之	(財)紙の博物館	20030228	中世	紫式部の生い立ち。源氏物語の中の紙に言及した箇所は、109箇所。国産和紙85例、唐紙11例、高麗紙3例。大半は紙屋紙、ほかに陸奥紙8例。染め紙は、紫、紅、青、鈍色紙。
81300763	和紙の里へ走れ(3)高速道路で佐賀へ:百万塔114号	小畑 登紀夫	(財)紙の博物館	20030228	佐賀 紀行	名尾和紙(谷口)と重橋和紙(田中)の訪問記
81300764	百万塔115号		(財)紙の博物館	20030630		p60尾張藩御用紙漉(第9回)
81300764	尾張藩御用紙漉(第9回):百万塔115号	河野 徳吉	(財)紙の博物館	20030630	愛知 近世	p60尾張藩御用紙漉(第9回)年表
81300765	百万塔116号		(財)紙の博物館	20031030		p19大壺紙からトイレトロール迄。p48飛騨紙の文化史
81300765	大壺紙からトイレトロール迄:百万塔116号	関野 勉	(財)紙の博物館	20031030		大壺紙「長秋記(1111)」で初見)はトイレトロールペーパーの意。日本での使用記録「餓鬼草紙」。江戸期には浅草紙が普及。明治になり化粧紙、京花紙(明治37-38、八女で誕生)。築地ホテル、戦艦「三笠」に水洗トイレ。ロール式ペーパーは1871年米で特許。(セス・ウェア)
81300765	飛騨紙の文化史(1):百万塔116号	河野 徳吉	(財)紙の博物館	20031030	歴史 岐阜	飛騨山中(さんちゅう)紙:国司姉小路。益田郡内に国紙工(1166-)鎌倉中期発祥?料紙の献上。各種文献、日記から歴史を追う。
81300766	百万塔117号		(財)紙の博物館	20040228	小畑	p32飛騨紙の文化史(2)p47尾張藩の白漉入藩札p73和紙の里へ走れ(4)
81300766	飛騨紙の文化史(2):百万塔117号	河野 徳吉	(財)紙の博物館	20040228	近世 岐阜	p32鎌倉時代には紙漉盛ん。天正1には金森長近平定、宮川付近で料紙を漉き出し。(河合村誌)「飛州志」で検証。流通は地域内と。
81300766	尾張藩の白漉入藩札:百万塔117号	河野 徳吉	(財)紙の博物館	20040228	愛知	p47白漉は透かし紙の一種。1666年、尾張藩紙漉職辰巳氏に「尾州」の透かし、その他、「宝」「名」があり。(尾州古札集)寸法など記載。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300766	紙の里へ走れ(4):百万塔117号	小畑 登紀夫	(財)紙の博物館	20040228	小畑 福岡	福岡県の和紙の里訪問記。八女(中原、松尾重幸、松尾智明)秋月和紙(井上恭臣)
81300767	百万塔118号		(財)紙の博物館	20040630		p32飛騨紙の文化史(3)p68フランク・ホーレーの和紙文献の蒐蔵と研究
81300767	飛騨紙の文化史(3):百万塔118号	河野 徳吉	(財)紙の博物館	20040630	岐阜	p43飛騨産楮のは自給自足。他国売り禁止(1841年)雪中で晒す。良質のため、抜け荷あり。八尾へ。
81300767	フランク・ホーレーの和紙文献の蒐蔵と研究:百万塔118号	小林 良生	(財)紙の博物館	20040630	概説	紙漉重宝記の翻訳。伊¥白石紙グループ(片倉、遠藤、佐藤、菅野)と交流。横山(ノートルダム清心女子大)がまとめ。蔵書は天理大学に保管。
81300768	百万塔119号		(財)紙の博物館	20041031	小畑 愛媛 岐阜 京都	飛騨紙の文化史(河野徳吉)。流通から見た「中国産三椏」(酒井忠雄)。紙屋紙の故里(町田誠之)。和紙の里へ走れ(小畑 登紀夫)
81300768	飛騨紙の文化史(4):百万塔119号		(財)紙の博物館	20041031	岐阜 明治	明治期の飛騨紙。「斐太後風土記」端不切紙。河合村の製紙:武儀郡下牧村藤生、古田直次が指導。益田郡竹原村。高山市内。山中紙の岩河合村。
81300768	和紙の里へ走れ(5):百万塔119号		(財)紙の博物館	20041031	小畑 愛媛	高度一万メートルから訪ねた紙郷。天神産紙工場(愛媛県五十崎町)
81300768	流通から見た「中国産三椏」:百万塔119号	酒井 忠雄	(財)紙の博物館	20041031	海外 中国	安徽省
81300768	紙屋紙の故里:百万塔119号	町田 誠之	(財)紙の博物館	20041031	京都	紙屋川
81300769	百万塔120号		(財)紙の博物館	20050228	長野 名塩	p14信濃紙文化史(1)古代の信濃紙(河野徳吉)p45小乗仏教の国の箔打紙(1)ミャンマーで見たギョウ紙法の美しい箔打紙(小林良生)p85パークス和紙コレクションの擬革紙(稲葉政光)
81300769	信濃紙文化史(1)古代の信濃紙:百万塔120号	河野 徳吉	(財)紙の博物館	20050228	長野	信濃の古代史から記述。国府は、上田から深志へ。「正倉院文書続修別集」(750年)に「一紙信濃国」と。「正倉院文書続々修」(774年)図書寮解に諸国寄進の記録。信濃は1380帳と最大の寄進。安曇廣万呂が写経事業に参画。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300769	小乗仏教の国の箔打紙(1):百万塔120号	小林良生	(財)紙の博物館	20050228	長野 名塩	p45ミャンマーで見たギョウ紙法の美しい箔打紙。マンダレーのマニカム・パゴダ。金箔を貼る風習。箔打は3kgのハンマーで。箔打紙の原料は竹(中空でない)。石灰と水で瓶で3年間発酵(抗アルカリ菌)でパルプ化。シリカを逃さないパルプ化で金の延展用の適合。300g程度のボールが一回分。ギョウ紙法(簀に紙料を注ぎ、手で混ぜ、棒で均一化)
81300769	パークス和紙コレクションの擬革紙:百万塔120号	稲葉政光	(財)紙の博物館	20050228		p85資料裏面に糊付けされたラベル。小倉屋と竹屋。
81300770	百万塔121号		(財)紙の博物館	20050630	長野 名塩	p1信濃紙文化史(2)(河野徳吉)p69和紙の里へ走れ(6)(小畑登紀夫)
81300770	信濃紙文化史(2):百万塔121号	河野 徳吉	(財)紙の博物館	20050630	長野 名塩	p1第2章中世の信濃紙:穀紙と杉原紙、中世神社と紙、近江商人と公家、三宮穂高神社の御幣紙、信玄に伊那紙を贈る、景勝と杉原紙、戦国末期の紙漉。第三章松本領の紙漉文化(その1):松本城下に紙漉。
81300770	和紙の里へ走れ(6):百万塔121号	小畑 登紀夫	(財)紙の博物館	20050630	長野 名塩	高度一万メートルから訪ねた紙郷(その2);備中和紙を紹介。
81300771	百万塔122号		(財)紙の博物館	20051031		
81300772	百万塔123号		(財)紙の博物館	20060331		
81300773	百万塔124号		(財)紙の博物館	20060631		
81300774	百万塔125号		(財)紙の博物館	200601031		信濃紙文化史(6)(河野徳吉)、合成紙の開発とその後の歩み(矢野聡)ライス・ペーパーと誤解された通草紙(小林良生)ほか
81300774	信濃紙文化史(6):百万塔125号	河野徳吉	(財)紙の博物館	200601031	長野	第三章松本領の紙漉文化、13松本藩百年祝賀に大町紙献上。14御用楮増減の取り調べ。15幕末期の松川村紙庄屋。16紙漉期間の協定
81300775	百万塔126号		(財)紙の博物館	20070228		信濃紙文化史(7)、太政官札の札用紙をつくる。和紙の里へ走れ(8)大江戸環状の和紙の里。
81300775	信濃紙文化史(7):百万塔126号	河野 徳吉	(財)紙の博物館	20070228	長野	p9第三章松本領の紙漉文化:17安曇郡の隠れた紙漉郷。松川村庄屋一柳家。松崎村。18松本藩御用紙の変遷。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300775	太政官札の札用紙をつくる:百万塔126号	島崎 一郎	(財)紙の博物館	20070228	福井	p48世界に誇る日本の紙幣用紙の原点、金穀出納所取締役三岡八郎が越前藩「切手」政策を全国に展開。慶応4年通貨事業着手(総督岩倉具視、副総督:中御門経之、浅野茂勲、西田辻公業、判事:三岡公正、小原忠寛。五箇に決定。溜め漉きで。
81300775	和紙の里へ走れ(8):百万塔126号	小畑 登紀夫	(財)紙の博物館	20070228	埼玉、茨城、栃木	大江戸環状の和紙の里。
81300776	百万塔127号					
81300777	百万塔 128号	紙の博物館	紙の博物館	20071031	長野	紙屋の正月(河野徳吉)、信濃紙文化紙(第4章信濃北部の紙漉文化)(河野徳吉)
81300778	百万塔129号	紙の博物館	紙の博物館	20071031	長野	紙は上田か浅草か(河野徳吉)、信濃紙文化紙(第4章信濃北部の紙漉文化2)(河野徳吉)中国の笊打紙とその背景にあるタケ紙について(小林良生)
81300779	百万塔130号	紙の博物館	紙の博物館	20080630	長野	元結職人と榎本其角(河野徳吉)、信濃紙文化紙11(第4章信濃北部の紙漉文化3)(河野徳吉)
81300780	百万塔131号	紙の博物館	紙の博物館	2008		
81300781	百万塔132号	紙の博物館	紙の博物館	2008		
81300782	百万塔133号	紙の博物館	紙の博物館	2008		
81300783	百万塔134号	紙の博物館	紙の博物館	2008		
81300784	百万塔135号	紙の博物館	紙の博物館	20100310		創立60周年記念特集;麻と紙と活字と版画の時代だった(樺島)、製紙記念館創立史抄(河野)、紙の博物館と私(町田)、和紙界群雄(柳橋)、洋紙と和紙と(大江)、現代社会に必要な「紙の文化学」(尾鍋)、信濃紙文化史(16、河野)
81300785	中国古代造紙技術史/百万塔臨時増刊	蕃 吉星、岩田 由一	紙の博物館	19790830	海外 古代	中国。製紙の起源、新?出土古紙研究、故宮博物館蔵の古紙研究。麻紙の製法の模擬試験、古代の加工紙。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300786	創立40周年記念特別号 / 百万塔臨時増刊		紙の博物館	19900720	随筆	
81300787	百万塔創立五十周年記念特別号		紙の博物館	20000608		紙の博物館五十年の歩み。他復刻記事:紙の伝搬の歴史のなかにおける手漉き和紙の位置と特徴。漉き返しの技術と実用。正倉院の紙。泉貨今昔談。千代紙の名称の由来について。現代、和紙のかかえる問題点
81300788	美濃和紙見本帖	美濃市役所産業課	美濃市役所産業課	19550400	岐阜 見本	昭和30年4月より市産業課新設。長網式、短網式の抄紙機を設置。生産額は20億円と。産地:美濃、長瀬、片知、蕨生、神洞、上野、乙狩、御手洗、小倉、大矢田。板取川沿いに集中。見本紙、25種。障子紙、蕨生産が主。焼けが目立つ。
81300789	紙の見本		紙の博物館	19780300	紙種 見本 産地	洋紙27種。板紙14種の標本紙張り付けと用途、簡単な説明つける。インディアペーパー:辞書、聖書等の本文。元来麻ポロを原料にしていたが、パルプで代用、薄くして不透明にした紙。
81300790	新選紙鑑	木村 青竹	紙の博物館	17770000	近世 名塩	p41撰津名塩物品々、漉き返し半切り類。p73、名塩松葉(1尺3分×1尺4寸7分)p74藤(ヤク)袋紙;名塩より出るもの下品なり(1尺7分×1尺4寸7分)p77半切紙(5寸1分×1尺4-5寸)p79間似合、数品撰州名塩より漉出す。但し、生漉ものは掛目にて売買す。尤も色紙望みに髓いて制す。(cf0013)
81300791	紙市兵衛手漉ばなし:豆本別冊2号	えちぜん豆本の会	青木 隆	19721100	福井	限定本(185/400)豆本。岩野市平衛の語りを挿画しながら表現。水:大滝の水は石灰分がない。楮:虫食いがないように徹底的に澱粉質を除去。楮は石川県浅川から城端が良い。風の強い場所はキズがつく。蒟蒻の日よけに楮を栽培(常陸太子や群馬)。灰汁:ソーダ灰使用。紙餅:叩いてボタボタに。紙漉き:白土(秋田板谷峰)を添加。黄蜀葵:池田村。干し板:公孫樹。
81300792	和紙礼讃:糸ぞ・まめほん30	寿岳 文章	北海道豆本の会	19601000	北海道 宮城 島根 富山 見本	270部。見本15種。和紙礼讃(寿岳文章)、みちのく紙「白石和紙」(菅野新一)cf3207
81300793	兵庫の和紙、灯叢書7	仙賀 松雄	豆本灯の会	19771115	名塩、兵庫、見本	限定500部の豆本。名塩の紀行文、紙漉きのカットがある。金箔打紙、その使用済。銀箔打紙、間似合、間似合(古紙入り)の見本紙付き。間似合紙:表具の間に入れるの意味。田中孝次郎を訪問。コロンビア大学東洋資料館修蔵の眉仙先生の筆の絵巻は名塩紙で表具。その他兵庫の紙として、奈佐(豊岡、坪内熊太郎)、上月、生谷、味泥、杉原各紙の見本。
81300794	紙漉く人	則武三雄	北荘文庫	19760520	福井 産地 見本	限定500部。用紙は岩野平三郎製作所。水切り、晩年の平三郎(1974年8月22日永眠)、序として跋として、或る生涯、紙紐、成子の紙他、井筒紀久枝(岩野で紙漉き、句作)、藍、訊きがき(簀の方が表)。見本紙26種。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300795	越前紙漉き唄	水上 勉	吾八書房	19870501	福井 名塩 見本 小説	弥右衛門伝説の戯曲化の脚本。83年に文化庁芸術祭参加。第一幕:ブ ロローク、宵祭、口説き、紙漉き作業、市兵衛漉き小舎、大滝神社鳥居 前、市兵衛漉き小舎、大滝神社、市兵衛漉き小舎、第二幕:万才、松明、 円堂寺本堂、木の芽峠茶屋、茶屋の内、道行、名塩村弥右衛門住居門 前、名塩川桜堤。名塩紙使用。豆本
81300796	和紙を追う:らんぷ叢書6	藤田 貞雄	明石豆ら んぷの会	19761210	兵庫 名塩	杉原紙の自費出版までの経緯を記す。杉原の漉き手、宇高弥之助を頼 りに復活。p21名塩紙馬場孝良のエピソード。筆巻きの竹簀での小さな 紙を持参。
81300797	越前和紙(7):日本の民藝NO142	法城 秀祐	日本民藝 館	19670701	福井 京都 小説	河和田村を題材とした小説。写真は黒谷。さとは山里で紙漉に携わる。 独身のままである。結婚できない処遇の訳を小説に仕立てた。木の葉入 りの紙を高く買い入れたのが源太。さとは源太から結婚の申し出を受け る。母は反対。異母兄弟である母の過去を語らせる。
81300798	阪神ゆかりの50人	神戸新聞 社	神戸新聞 社	20040227	名塩	p4蓮如(1415-99):名塩紙は蓮如が伝えたという。p22三田谷啓 (1881-1962)障害者の社会復帰に。芦屋に三田谷治療教育院を設立。
81300798	阪神ゆかりの50人	神戸新聞 社	神戸新聞 社	20040227	兵庫 名塩	p4蓮如:谷野武信は人間国宝に。紙漉きは1475年教行寺蓮如からと。 黒川幸七は黒川木徳証券。黒川文化研究所設立。p22三田谷啓:名塩 生まれ。1927年、芦屋に三田谷治療教育院。
81300840	紙すきおすまはん 現代民話	藤下安子 榊原匡章	福井県今 立町立図 書館	19911103		
81300843	造紙の源流	久米 康生	雄松堂出 版	19850320	海外 中国 見本	和綴じ:中国の造紙事情を詳細に紹介。古代紙。原料(麻、楮皮、桑、 藤、瑞香、木芙蓉、青檀、竹、稻、麦)。加工技術(みがき、粉末、膠、蠟、 染色など)、宣紙。竹紙(殺青)。印刷術。紙郷の広がり(16省)見本紙2 2種。原料、加工技術、生活の中の紙、宣紙(紙寿千年)竹紙、印刷、紙 郷について触れる。中国独特の技術用語。紙料液に粉末を加える「加填 法」といい、名塩紙と宇陀紙を紹介。宣紙:書画用の紙の総称。「新撰紙 鑑」で「和制なし」とある。原料として青檀皮、白い程良い。漂白は山腹で 自然に、約4-5ヵ月。c1441.1447
81300844	幻の博物館の「紙」	国文学研 究資料館	国文学研 究資料館	20070528	産地 歴史 名塩	渋沢敬一の蒐集品。紙の世界(遊ぶ、住まう、着るなど)。実業史の中の 紙・製紙産業(手漉き紙の資料、紙生産と流通、製紙関係)名塩の鑑札 (南堂九、木村新)。書く紙・描く紙。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300845	伊勢型紙	伊勢型紙 技術保存会	鈴鹿市教育委員会	20030301	三重 見本	基本文献。1000部限定。古代型紙(京都、静岡、松本、鈴鹿)の図録。解説:伊勢型紙と寺尾家。明治・大正時代の型紙商人。殿様紺屋「新聞家の型紙。わたしの修業時代(小倉)。技法。年表から構成。1619年紀州藩(頼宣)特権。株仲間:寺家90人、白子37人、江島12人。
81300846	日本地誌略3			18740800	近世、地理、産地	紙/丹後、但馬、因幡、ほうき、出雲、石見、播磨美作、備中、備後、安芸、周防、紀伊、伊予、ぶんご、肥前、日向、記載なし/阿波、長門土佐、筑前、筑後、肥前、大隅、薩摩。楮/石見
81300847	地理小学/上	若林 虎三郎	普及会	18831100	近代、地理、産地	工業/絹きれ、綿布、陶器、漆器、銅器、紙 畿内/記載なし、東海道/記載なし
81300848	地理小学/下	若林 虎三郎	普及会	18831100	近代、地理、産地	東山道、中山道/蚕卵紙、紙は諸山地より出ず、美濃、信濃は種類多く良質なり。奥羽/北海道/記載なし。北陸道/越前の奉書、越中の鳥の子、加賀の杉原。山陰道、山陽道/山地の民は紙を製し。南海道/紀伊、土佐。西海道/楮、紙類諸国
81300849	続 日本旅行	水上 勉	平凡社	19760412	福井 三重	越前大滝再訪:岩野市兵衛との対話。手抜きしない奉書紙のこだわり。「改良紙は見栄えだけ、中身は死んでいる。心で叩き、心で漉かにか、どもならん」この時、市兵衛は病床、また、「弥陀の舞」は新橋演舞場で上演と。p148伊勢白子:渋柿の臭いが充満、美濃紙を渋に付け干す。その上に渋をつけた紙を貼り合わせる。紙の繊維は交互に。南部芳松さんの作業場は質素、屋根裏部屋で作業。その他に善光寺。
81300850	ひょうごの地名を歩く	有井 基	神戸新聞総合出版センター	19890410	兵庫 名塩	兵庫の地名の由来を辿る。p66塩瀬:名塩(1)地内に塩類泉があり、これが塩出(シオンデン)と呼ばれていたのが転化。(2)地区南部に塩尾寺山が、その山内に位置することから内塩と呼ばれた。「角川日本地名大辞典」いずれも確証なく、無理がある。重本
81300851	ひょうごの地名:兵庫	吉田 茂樹	神戸新聞出版センター	19830320	兵庫 名塩	p24名塩:文政古図に名塩、仲哀紀に魚塩(ナシオ)の地、梨生(ナシオ)の当て字かも。p70加美:風土記、正倉院文書に郷名。
81300852	兵庫の街道	神戸新聞社	のじぎく文庫	19740701	兵庫、名塩	兵庫は街道が発達。西国街道を中心に発達。湯乃山街道、くらがり街道、生野街道が主。大阪から丹波を結ぶ道は、舟運より陸運が発達。くらがり街道は、生瀬から船坂、金仙寺から、名塩経由に変わる。青野道が整備、生類憐れみの令で近道復活。宿間抗争は面白い。p186川辺p202北撰p218三田。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300853	兵庫吟行案内	(社)俳人協会	鷹羽狩行	19930505	名塩 俳句	をちこちに夜紙漉とて灯るのみ(阿波野青畝)家の位置峽に定まり紙を漉く(大橋桜坡子)水責めの道具揃ひて紙を漉く(後藤夜半)紙漉くや水あるところ氷張り(大橋敦子)伸び足のよき紙として漉き上げる(小田尚照)ほか。兵庫県内の吟行。解説も含む。
81300854	播磨の地理 町と産業と交通路	田中 真吾	神戸新聞総合出版センター	19930420	兵庫	p85地場産業とは:伝統品は明治以前、特産品。p88和紙。加古川水系:西脇機業、三木金物、小野算盤、鋏、鎌、東条釣り針。市川水系:皮革、揖保川:醤油、素麺。千種川:たたら。
81300855	名塩千軒 / 兵庫史を歩く第三集	伊勢田 史郎	NHK神戸	19870125	名塩	p23概要紹介記事。箸で太える杉。弥右衛門伝説。緒方洪庵の妻:億川百記も紙漉き。中天遊塾経て後医者。和紙の里の蘭学塾:1861伊藤慎蔵塾開く。1868兵庫洋学所の責任者へ。輩出人材(上中啓三、三田谷啓)の記事も多い。
81300856	郷土史大系:奈良・大阪・兵庫・岡山編	宮本 又次	宝文館出版	19701125	兵庫 奈良 岡山	p139兵庫県史(作道洋太郎)p181近世兵庫地方における経済成長:尼崎藩の専売制度について名塩紙の専売制度の経緯を中心に解説。論説は「藩社会の研究」に基づく。奈良(永島福太郎)大阪(宮本又次)岡山(谷口澄夫、柴田一)。重本
81300857	風の旅路:日々の自分史	東 薫	創元社	19830410	名塩	p134安政10年一年足らずで長女、妻鹿子(木戸六三郎)、長男小一郎の死。文久2年、時子(木戸新右衛門)、小三郎と名塩へ。億川、弓場五郎兵衛援助。
81300858	兵庫の素顔	朝日新聞神戸支局	海文堂書店	19770910	名塩 兵庫	p110名塩紙:名塩第一製紙所の田中孝次郎(71)、木戸敏雄(56)、小学校を出て奉公に。一日280枚。八木工房八木の八木米太郎(28)手がけて5年目。4軒。重本。
81300859	西宮市史(第三巻)	武藤 誠、 有坂 隆道	西宮市役所	19670325	名塩 歴史 近代	p70:名塩紙業の動向:「紙屋諸願書控」より引用。4年、藩札処分。17年、規約書など結束し生産と販売の拡充を。p231:名塩紙業の変遷:20年は盛況。30-40年を境に洋紙に圧倒される。p190塩瀬村と阪鶴鉄道:31年宝塚生瀬間開通。生瀬は村内通過を交渉。p301大正期:大差なし。戦争は金箔制限。p560西宮合併の経緯:当初は神戸と、県が反対。p18名塩の所属、5年、第50区すぐに第19区(役所船坂)に統合。明治16年名塩組役場を設置、5年5月4日塩溪小開校71名。一番早い。p244.33年名塩銀行。山口は20年台に紙から竹へ。
81300860	西宮市史第6巻、資料編3	武藤 誠、 有坂 隆道	西宮市	19641220	名塩 歴史 近世 近代	資料編第3巻。名塩:p150金札地紙漉代 嘆願p201摂州名所記p207有馬温泉記p240億川百記請書p243適適齋塾姓名録p243洪庵日記p245伊藤慎蔵招請p246名塩伊藤塾名簿p26350区制p26419区制。p470名塩村紙屋諸請願控(明治9-)p533名塩見聞録など。重本。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300861	名塩紙漉村 / ひょうご第二部	杜山 悠編	日東館	19700915	名塩	p2名塩街道の写真。白道(和田英子)蝉しぐれしきり、人の途絶えた道を、丹波布背負い、駄馬に、名塩紙の荷をのせ、こちらへやってくるのは誰。ヘンダラ、シキミ、くりの皮、緯糸を染め経糸を沈ませ、夜更け明け方に、杼(どんぐり)の音戸外に洩れ。
81300862	特産ぱとろおる	武井 勇次	のじぎく文庫	19650525	名塩、兵庫	摂津の道(p4名塩紙、寒天、有馬かご、酒、スイベル、メリヤス針、ゴム)。名塩紙は「西宮市史」から引用。「わたしの記憶の中にある名塩の部落はなつかしい。タバコ屋が一軒あって家の庭先には柿が真っ赤に熟していた」丹波の道(丹波布)但馬(p68奈佐紙:豊岡の奥。目坂、坪内熊太郎)
81300863	西宮の歴史 / 西宮市文化財資料31号		西宮市教育委員会	19890301	兵庫、名塩	西宮市史の普及版として企画。古代から現代までの歴史を紐解く。p76摂津国絵図(1605年)有馬郡29000石は有馬玄蕃の知行地に。1828年生瀬、名塩は尼崎藩に。上山口、船坂は代官支配のまま。商業的農業は菜種、酒米、綿。西摂の近世の農民像を記述p97山村の手工業で名塩紙の起源、株仲間による統制を紹介。p210紙漉き今昔(馬場孝治郎)祖父が創始、弓場から教わる。昭和5年は不景気、当時の仲買人は弓場上与治郎、馬場勇治郎、八木与一郎。畑平は大阪順慶町で問屋を営業。
81300864	西宮の歴史と文化 / 名塩紙の意義	柳橋 真		19850710	兵庫 名塩	名塩紙の意義。「西宮市立郷土資料館紀要」。我が国の雁皮紙の流れ、名塩紙の沿革と特色、紙の起こりは江戸より前と推察。「百工比照」(加賀前田綱紀、1645-1724)から考察。摂津の紙は26紙。内雁皮紙は13紙。染め紙や打曇。泥入り。越前は装飾にたけるが泥入りはない。泥入りは摂津、和泉の産か。
81300864	今津の文人と名塩の蘭学塾 / 西宮の歴史と文化	東 薫	西宮市立郷土博物館	19850710	兵庫 名塩	p173洪庵の長崎留学を支援。伊藤慎蔵に触れる。名塩に9年間塾を開く。弓場が支援。27歳で適塾塾長、ロシアとの通訳。性格豪放。酒で失敗、破門、宇和島へ。大村のとりなしで復帰。精一から慎蔵へ。大野藩教授。木戸から嫁。妻子の死亡の不幸続く。名塩へ。弓場との共著。
81300864	近世西宮地方の街道と宿駅 / 西宮の歴史と文化	八木 哲浩	西宮市立郷土博物館	19850710	兵庫 名塩	p34生瀬の盛衰に触れる。街道筋(青野道、二瀬川道、猿甲部道の攻防)に詳しい。時系列的な説明は適切。金仙寺道は衰退。名塩を経る道へ。
81300865	西宮歴史散歩 / 文化財資料第28号		西宮市教育委員会	19870301	名塩	西宮の歴史と風土(渡辺久夫)風土と産業で名塩紙を紹介。p48名塩御坊教行寺;1634年現在の地にp49紙漉きの里;昭和58年名塩紙技術保存会p50紙祖弥勒右衛門1855年に報恩碑、秋分の日祭p52蘭学塾;1862年開塾。弓場五郎兵衛が世話し伊藤慎蔵を招く。妻鹿子、後妻時子は名塩出。1867年「名塩塾英名簿」紙漉きの写真あり。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300866	西宮の自然	西宮市自然保護協会	西宮甲子園ロータリークラブ	19770605	名塩	p47名塩鉱泉:名塩川にそうリュウモン岩の左岸壁から湧出している。現在湧出量はきわめて少ないが、かつての鉱泉宿が住宅として名残りを止めている。武田尾温泉と同じ泉質であるが、ここだけは硫化水素臭があるのが特質である、と。p205日本の鳥の子紙を代表する名塩和紙。
81300867	甲山の自然 / 西宮の自然ガイド1	西宮市立総合教育センター	西宮市立総合教育センター	19880331	名塩、兵庫	甲山の誕生:1200万年前を予。トロイデ型は間違いで大火山であった可能性あり。309m。甲山にと生育する植物:仁川からのピクニックセンター、甲陽園、苦楽園からの各コースの植物を紹介。甲山今昔:明治4、寺領が国有地に移管。明治20年頃から松植林。昭和21年南東火事。やまももの群落は明治以前の姿か。
81300868	甲山の自然2 / 西宮の自然ガイド2	西宮市立総合教育センター	西宮市立総合教育センター	19890331	名塩、兵庫	甲山からの星空。甲山の動物:鳥、大型動物、昆虫(珍しいものはヒメタイコウチ、ヒメヒカゲ、ハッチョウトンボ。仁川、夙川に見られる生き物。甲山からの展望。
81300869	海辺の自然 / 西宮の自然ガイド3	西宮市立総合教育センター	西宮市立総合教育センター	19900331	名塩、兵庫	西宮海岸の生き物を紹介。西宮の海岸の今と昔:宮水運搬の湊。40-50年前は地曳網。今津灯台。香櫛園は海水浴場。武庫川河口は白砂青松、あさり狩りできた。西宮の海岸線:平安後期は今津、津門は入り江。江戸期は尼崎藩が新田開発。樋口新田。上ヶ原新田。鳴尾、上田新田。平左衛門新田。大正8武庫川改修工事で枝川、申川廃止。昭和期昭和46年から甲子園浜。
81300870	北部の自然 / 西宮の自然ガイド4	西宮市立総合教育センター	西宮市立総合教育センター	19910331	名塩、兵庫	神戸層群:約2600年前、神戸北西部、三田盆地、西宮北部は古神戸湖といわれる淡水湖に砂、火山灰が堆積。木の元付近に砂岩層が露出。名塩の畔:レンゲ、ミナグサ、ミノスマ、タネツケバナ、カンサイタンポポ、コオニクビラコ、ムラサキゴケ、ショウジョウバカマ、オカオグルマ、カンゾウ、ヤマラッキョウ、ウマノアシカタ、ヒガンバナ、キランソウ、ミナグサ、ミノスマ。名塩山地の湿地:ウマハチソウ、リンドウ、サキキョウ、カキラン。北部今昔を写真で紹介。
81300871	身近な自然 / 西宮の自然ガイド5	西宮市立総合教育センター	西宮市立総合教育センター	19930331	名塩、兵庫	学校、街路、公園、社寺の動植物を紹介。
81300872	西宮あれこれ	武藤 誠	西宮市役所	19791001	兵庫 名塩	p97名塩紙:略史。昭和26年名塩製紙振興会。昭和53年西宮市民文化賞(武藤)p147国中に造られる和紙と酒の伝播について考察。酒が表に対し和紙は裏(渡辺)p234東山弥右衛門の行方:越前紙漉き説(渡辺。p274名塩の乙女・億川八重の生涯:1838年洪庵結婚(梅溪)など自然と歴史を易しく解説する。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300873	ひょうご文学歳時記	宮崎 修二 朗	神戸新聞 出版セン ター	19781001	兵庫	四季にあわせて文学の中の兵庫を紹介:和紙関係では、山口茂吉、歌集「杉原」。地元では水上勉「桜守」を紹介。
81300874	兵庫四季のうた	宮崎 修二 朗	神戸新聞 総合出版 センター	19921009	名塩 兵庫	p145「有馬湯でもつ、湯は湯女でもつ、名来山口、紙でもつ」「名来山口、紙ではもつが婆の湯巻は紐でもつ」「名来山口仏はないが いかな店にも紙(神)ばかり」もとは山口が本場で土の関係で名塩に移ったか。と推察。また、竹細工が盛んになり転業したとも。
81300875	町名の話	山下 忠男	西宮市商 工会議所	20000731	名塩 兵庫	西宮の地名の由来を紹介する。p319名塩(名塩御坊の里、蘭学育てた和紙の里)1445年赤松播磨守満政が木ノ下で自害。1456で、奈良興福寺の有力塔頭であった大乘院に有馬郡内塩から3貫文の内裏造営用資金が納められたことが記録。内塩湯(ウチシオコ)と呼ばれたのが内塩(ナシオ)となり、さらに名塩に転じたとの説など。弓場農場、三田谷の記載。p326生瀬。
81300876	新阪神史話	東 薫	阪神サン ケイ新聞 社	19800501	名塩	p89名塩の蘭学塾:p158名塩紙の里:p133宿場町生瀬の紛争など
81300877	兵庫県の歴史	八木哲浩、 石田善人	山川出版 社	19710601	兵庫、歴 史、名塩	p250特殊農業地域西撰地方:尼崎藩は名塩紙ほか綿菜種、油を産物として掌握できないままで終わる。1)農民が商業的農業を早期に展開。2)幕府領が集中。藩力弱い。3)大阪の経済支配が原因。1850年名塩紙を蔵物に指定専売制を企てるが、漉屋仲間の反対で頓挫。
81300878	日本の民俗 兵庫	和田 邦平	第一法規	19750215	名塩	p87手漉き名塩紙。概略紹介。写真は上月、及び杉原。p36棟上げの時、赤飯を作る。p101肩引き、和紙など背負っていくこと。p111振り売り、問屋が特別荷造りして天秤棒をかつぎ売りにでること。名塩は和紙を大阪、京都に出した。p115魚島、1日、15日に西宮から生魚の行商が市がたつ。p140漉き屋仲間で5人組を結成。
81300879	西宮ふるさと民話 / 西宮市文化財資料 32号		西宮市教 育委員会	19900331	兵庫、名塩	p86独この水:東久保の弘法大師伝説p90生瀬橋:善恵上人p184紙すき弥右衛門:最後は遍路に出たことに。p206名塩蘭学塾:伊藤慎蔵、塾生は100名、9年間。p43茄子のたたり:船坂の民話であるが話の構図が弥右衛門と近い。
81300880	兵庫の伝説	有井 基	有井 基	19811208	名塩	p63紙すき弥右衛門:弥右衛門は紙漉の秘伝を得るために紙漉家の養子に。分かれて名塩で紙漉を伝授。妻子が訪れるが拒絶したため、自害。
81300881	ひょうご文化100選	神戸新聞 社	神戸新聞 出版セン ター	19801115	兵庫 名塩	

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300882	兵庫県の歴史散歩 上		山川出版社	19900228	兵庫、名塩	p62教行寺:1511年神一郎なる武士からの禁制文残る。p63名塩の文化:名塩紙を紹介。特色を土を混入することから虫害、乾燥に強い。黒川古文化研究所:古文書、藩札など47通残る。伝承について諸説を記載。蘭学:1862年伊藤精一が開塾。1968年「名塩蘭学塾遺跡、旧億川邸跡」の碑を紹介。注109
81300883	名塩	竜原 みどり	文芸社	20061215	名塩	1995年1月17日阪神淡路大震災後、名塩に426戸の仮設住宅が建設、「仮設の命は仮設で守る」。自ら企画し地域を築く。名塩周辺の光景も随所に。
81300884	兵庫の峠	仙賀 松雄 今北武夫 石原 一義		19780615	名塩 兵庫	p23船坂峠:名塩和紙。p148赤坂峠:独こ水。p51播州峠:杉原紙。p79杉坂峠:皆田紙(海田)昭和元年まで。西大畠村(昭和43年まで)、上月町民俗資料館で保存。
81300885	兵庫の川筋	仙賀 松雄 今北武夫 石原 一義	兵庫県民サービスセンター	19791000	名塩 兵庫	p19名塩和紙。名塩川:上流端は左岸、名塩字上滑553番地先、右岸、同549番地先。p64加古川の支流、杉原川、杉原紙の記事。ここの峠は風情がある。
81300886	西宮文学風土記(下)	南野 武衛	のじぎく文庫	19821020	名塩 兵庫	p147歌風土記のあとをたずねて(富田碎花):教行寺「法城とよぶにふさへる結構を紙漉く村の高きに仰ぐ」
81300887	西宮文学風土記(上)	南野 武衛	のじぎく文庫	19821020	名塩 兵庫	p142名塩も里:兵庫の源流、和紙の伝来では、「名塩川」を引用しながら紹介。また、柳橋真氏は、『日本美術工芸』五十六年一月号の論文「名塩紙」の中で、「名塩紙は、間似合紙などの規格を越前に学んだことはあろうが、製法自体もっと古くから行なわれていたと見られる」と、緒方八重では、『緒方洪庵 福沢諭吉と名塩の地—西宮 緒方八重夫人を通じて』「藤田」の回顧録(緒方長崎留学の経緯)を引用。
81300888	暮らしの歳時記(冬)	のじぎく文庫	神戸新聞出版センター	19870331	兵庫 名塩	p116:1月30日:美しき光り堪えて手漉き和紙(西尾苑)この頃が手漉き和紙の本番。名塩紙を男子職人が溜め漉きする特殊な和紙と紹介。
81300889	歩こう知ろう西宮	西宮観光協会	西宮観光協会	19781010	兵庫 名塩	p32教行寺のスギ。p84名塩蘭額塾跡:1862年開塾。教行寺:1475年創建。p123兵庫川溪谷:重次郎が淵/御坊の本堂再建の材木がひっかかった淵で重次郎が動かす説話。高座岩/雨乞い岩で名塩は黒色の血を塗る。漆が淵/崖に漆の大木があった。p129名塩紙p132東山弥右衛門伝説

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300890	新西宮歴史散歩:西宮市文化財資料47号	西宮市立郷土資料館	西宮市教育委員会	20030331	名塩	JR西宮名塩駅からp106名塩紙。名塩和紙学習館:1989年開館。重要無形文化財:谷野武信、2002年7月指定。日光東照宮、二条城、桂離宮、兼六園の修復用に使用。東山弥右衛門。名塩蘭学塾:1862年から1869年開塾、伊藤慎蔵、妻は鹿子、後妻は時子。69年大坂開成学校数学教授へ。岸川一郎(億川の孫):兌換紙幣確立。億川百記墓碑:1864年8月30日死。p109教行寺:太鼓楼。古文書。上中啓三(1876-1960):紙漉き業、治平の4男。石津商店に奉公。1981年顕彰碑。木元寺。
81300890	新西宮歴史散歩:西宮市文化財資料47	西宮市立郷土資料館	西宮市教育委員会	20030331	名塩	p106JR西宮名塩駅から:名塩紙、名塩和紙学習館。重要無形文化財「名塩雁皮紙」:谷野武信氏平成14年7月認定。間似合紙は日光東照宮、桂離宮、兼六園の修復に。東山弥右衛門墓。名塩蘭学塾跡:八重、伊藤慎三に言及。億川百記墓碑:洪庵の長崎遊学に出資。教行寺文書。上中啓三翁顕彰碑:昭和56年9月23日除幕。治平の4男。道修町石津商店に奉公後苦学。略歴記す。地図有り。重本。
81300891	新西宮の文化財:西宮市文化財資料48	西宮市立郷土資料館	西宮市教育委員会	20040331	名塩	p66有形文化財:名塩雁皮紙:谷野武信、国2002年7月8日認定。名塩紙技術:県1983年3月29日認定。p43名塩産藩札文書と名塩の私札:黒川古文化研究所、市1977年3月9日認定。馬場儀と諸藩の文書。淀、林田、平戸、鹿兒島、臼杵藩など明治初期のもの。私札は雁皮札、土札、柴草札などリストあり。重本。
81300892	兵庫県の歴史散歩(上)	兵庫県歴史学会	山川出版社	19750715	兵庫 名塩	p74:和紙の里名塩:男の漉き手と坐漉きが特徴、弥右衛門の碑は1855年建設、江戸期は60-70戸漉き屋、教行寺:名塩御坊。1475年蓮如布教。当時名塩24軒の記録。蓮芸が開く(1500頃)蓮如の頃は24軒と伝えられる。注:兵庫県の歴史散歩(上)新版(1787)
81300893	兵庫県百姓騒ゆう記	赤松 啓介	庶民評論社	19561015	兵庫 名塩	県下の百姓一揆を綴る。p87:1786年(天明6)1月尼崎藩で専売で国訴と記載されるが名塩が関係するか不明。p122:1673年有馬温泉鉞論:湯元の保護のため周囲6里内のかな山に対して訴え。名塩柿ノ木場かな山が記載。
81300894	兵庫県史第4巻近世2	兵庫県史編集専門委員会	兵庫県	19700331	名塩 近世 兵庫	p152近世初期の特産品。p483:名塩紙漉業の成立。p485杉原紙の普及。p707名塩紙漉業の株仲間結成。規制強化。p710山口の和紙
81300895	兵庫探検:総集編	神戸新聞社学芸部	神戸新聞出版センター	19811025	名塩 兵庫	p201名塩紙と有馬筆:六甲山で独特の変遷、山が文化を阻止したと、名塩千軒の跡、紙漉き技術の伝播は渡辺氏を引用、藩の専売制拒否。p236特産品さまざま:「毛吹草」名塩鳥の子移入した技術で独特の紙に。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300896	兵庫県文化財調査報告書合本	兵庫県教育委員会	兵庫県教育委員会	19800605	兵庫 名塩	昭和54年度指定から昭和60年度指定まで。主な技術：昭和54年度、神戸(沢の鶴、大石蔵)昭和55年度伊丹(酒樽、桶づくり用具)昭和56年度、竜野(ヒガシマル醤油蔵)昭和57年西宮(名塩紙技術)加美(杉原紙技術)神戸(有馬筆技術)昭和60年度姫路(淡路人形かしら)
81300897	阪神間の民話散歩：むかしと今と	読売新聞阪神支局	阪神読売会	19870200	名塩 兵庫	p13紙祖・東山弥右衛門：谷野武信(50)三千代(48)武生資料館に弥右衛門の資料。p107名塩蘭学塾：八重は15歳で洪庵と婚約。長崎留学を名塩有志が出資。伊藤は酒癖悪く破門。精一から慎蔵に改名。1862年名塩で開塾。億川家は昭和42年解体。百記から5代目。新氏は歯科医。孫の岸本一郎は日本初の紙幣印刷。
81300898	図録兵庫の古紙幣	若林 泰	若林氏を偲ぶ会	19911128	兵庫 名塩	藩札、私札の図録。p91摂津名塩労賃札の南殿札。新札発行により旧札は回収され漉き直し又は労賃札として再利用。労賃札と原料仕入れ札。労賃は表示されず。弓場七衛門、馬場新兵門の札あり。若林氏は宝塚。忠勇の御曹司
81300899	黒川古文化研究所、創立十周年記念誌	黒川古文化研究所	黒川古文化研究所	19601208	兵庫、名塩、藩札	昭和25年設立。黒川幸七氏収集の古美術資料国宝5点、重要美術品70点を数える。第九回展覧：昭和30年藩札・私札：福井藩札、麻田藩札、堺発行札、尼崎古札、今津銀手形、山田羽書、名塩私札、林田藩の藩札の名塩への注文書など計585枚を展示。図録写真あり。
81300900	西宮市名山口町上山口・下山口の民俗：日本民俗学実習調査報告書3	神戸女子大学文学部史学科	神戸女子大学文学部史学科	20010315	名塩 兵庫	田中久夫教授指導の下、学生が調査。p3近世の紙漉きを紹介。「有馬湯山記」「新撰紙鑑」「上山口村方在来帳」(女八漉返し半切り紙或ハ鳥子紙仕候、男八耕作ノ透間、紙漉手伝又ハ柴刈仕、湯山町え売渡世仕候)と。「毛吹草」「摂陽群談」
81300901	西宮の文化財		西宮市教育委員会	19820310	兵庫 名塩	p62黒川古文化研究所所蔵の名塩産藩札文書(7通)と名塩の私札(40枚)市指定文化財。山城淀、平戸、林田、鹿児島、臼杵藩など見本紙が添えられている。私札は雁皮、土、東久保土、前坂、塵、柴、紙札で馬場儀、野所、弓七のもの。
81300902	JR福知山線沿線グロットグラム	都染 直也	甲南大学方言研究会	19970325	名塩	名塩の特異語：コッテイ(牝牛)、チチリン(松かさ)、ナンバ(トーモロコシ)、イテル(凍る)、ナンボ(いくら)、シイダ(痣ができる)、マイマイコン(つむじ)、ジュラクム(胡坐をくむ)、ヘンカッタ(できなかった)、センカイ(しなさい)、にぬき(ゆで卵)。
81300903	西宮の年中行事(西宮市文化財調査報告書3)	西宮市教育委員会	西宮市教育委員会	19781101	名塩 兵庫	小松、高木、上大市、下大市、段上、神呪、広田、越水、越木岩、生瀬の年中行事を収録。名塩の風習と変らぬように見える。教行寺、紙にまつわる行事が加わる。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300904	紙漉女性聞書抄	西宮古典を 読む会		19771103	名塩 紀行 兵庫 奈良 滋賀	p7名塩紙:馬場氏訪問記と老女との聞書の形式。干板には3枚ずつ。刷毛は兎の毛。干すのは女の仕事。戦争中は「はしすき」が多く質が低下。p19吉野紙:福西。p30上月紙:橋本。p37高野紙:中坊。p41近江鳥の子:成子。他に吉野、上月、見本紙:名塩紙は明治期の間似合と箔打紙。
81300905	西宮歌謡風土記(補遺)	長村 卓		19781103	名塩 兵庫	その1:俗歌謡、音頭、小唄:名塩音頭、名塩紙漉節、紙漉唄、補足p19名塩の民謡
81300906	西宮の職人たち	西宮市立 郷土資料 館		19920801	名塩 製法 民俗	第6回特別展の図録。p5名塩の紙すき:紙漉き用具が写真で紹介される。かご、ふるいかご、雁皮包丁、絞り台、箕、攪拌棒、おりあげ、おりおとし、干し板、はけ、すくい、てぶろ、そろばん、むねあて、おいしい、はかり、かま、かみきり、はしきり包丁、印判。その他として寒天、竹細工など。
81300907	宮っ子・コミュニティ西宮(越木岩)No1 3	南野 武衛	越木岩自 治会	19801100	名塩 兵庫	このまちこの人(8)名塩川と水上勉:歴史を秘める武庫川の支流。名塩和紙の里。始祖東山弥右衛門。悲恋の物語。名塩御坊。消えゆく伝統の清流。天下の奇勝、蓬莱峡。胸痛む二つの事件。紹介の作品:「名塩川」水上勉。「桜守」水上勉、武田尾。「隠し砦の三悪人」黒澤明蓬莱峡。「内海の輪」松本清張、蓬莱峡。
81300908	宮っ子・コミュニティ西宮(越木岩)No5	片柳 庸史	越木岩自 治会	19800301	名塩 兵庫	p8シリーズ風土記・西宮きのう今日。生瀬:名塩を歩く:開発進む塩瀬町。宿場があった生瀬。火伏地蔵の伝説(地蔵が火事から子供を守る。地蔵に火傷のあと。本殿は昭和50年落慶。8月23日祭り)名塩紙のふる里(八木さんの写真)。紙祖東山弥右衛門。山里に開花した蘭学(八重の胸像は昭和43年建立。松島茂勝作。西宮の奥座敷武田尾(摂氏25-26度の鉱泉)
81300909	なじおの年中行事	上山 正夫	名塩探史 会	19820401	名塩 民俗	紙屋の休み:1月14日(尼講)1月15日。1月16日(藪入り)節分。2月(学芸会)ひな節句。5月8日(花祭)8月7日(七日盆)年始;漉き子が親方宅挨拶に。魚嶋;毎月1、15日は接待、その他に4-5月に接待。節季;貸借精算(8月13日)秋の彼岸;弥右衛門の供養。紙屋の一日;4時(御坊の鐘)から8時(区切りの良い枚数、400枚)
81300910	郷土の民話・阪神編	郷土の民 話阪神地 区編集委 員会	兵庫県学 校厚生会	19730300	名塩 兵庫	p19武庫川にまつわる伝説二つ:うるしが淵、高座岩(こうざいわ)雨乞い伝説。p32紙祖東山弥右衛門:基本形は同じ。弥右衛門は名塩から越前へ。
81300911	阪急沿線歴史散歩	熊野 紀一	阪急電鉄 株式会社	19751220	名塩 兵庫	宝塚沿線の名勝として、教行寺(紙の起源や菱屋平七の紀行文などに触れる)浄橋寺(西山上人縁起、鐘楼)生瀬橋(山賊を改心させ橋銭で生計を立てさせた西山上人伝説)小浜(明応年中(1492-1501)に庄を開く、町割、大堀川、国府橋)豪撰寺(城塞化)中山寺。いずれも故事を引用し紹介。重本。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300912	地域史研究(尼崎市史研究紀要)第3巻第3号	八木 哲浩、作道 洋太郎	尼崎市史編集室	19740201	名塩	摂津一国高御改張の年代考証(八木)名塩村:文禄3年検地高(225.4石)慶長10年国絵図村高(221.425石)高御改張村高(221.415石)船坂、生瀬は同レベル。泉屋利兵衛の系譜と創業(作道)本咲家、安永6年(1777)尼崎藩が藩札発行制度変更時に役職を得る。
81300913	ふるさと兵庫お国じまん	神戸新聞マーケティングセンター	兵庫県企画部広報課	19770300	兵庫 名塩 見本	阪神(19種)播磨(30)但馬(7)丹波(8)淡路(6)その他(6)毎に伝統工芸、近代工業の特産物の紹介。p14名塩紙、写真あり。その他の産地として杉原、上月が記事され、杉原紙は見本付き。紙漉きの図。重本。
81300914	摂津国三田藩札(図説摂津国有馬郡紙幣史)	高田 義久	高田 義久	19820301	兵庫、名塩	三田藩札と有馬郡の私人札から構成される。p172紙漉の里名塩。地図と漉き屋の配置。年表、尼崎藩飛地名塩札:1859年、1864年、1867年等行司は上山、弓場。労賃札:野所五郎左衛門、弓場、宮脇、上中、木屋新、馬場儀、覚前、岩野など。
81300915	西宮の民家	西宮市社会教育部	西宮市教育委員会	19810331	名塩 民俗	民家の特徴:調査対象34(平入22、妻入5)。名塩型/梁行に2-3列に配置。1列:シモ、仏、カサシキ。2列:オI、ナド。3列:板敷、ヒ7。妻側奥の座敷と土間に部屋を突き出す例は少ない。接客の間と作業場を納戸で分断。技術漏洩の防止か?芝辻、覚前(旧上山)など11家紹介。
81300916	宝塚	宝塚市	淡交社	19641201	名塩 兵庫	宝塚市政10周年。歌劇50周年記念。宝塚の思い出(今東光)宝塚の歴史と文化(武藤誠)宝塚とその周辺(渡辺久雄)p94先行性河川、名塩の紙漉き。紙祖、東山弥右衛門。名塩紙。
81300917	わたしたちのふるさと、わたしたちの学校		西宮市立名塩小学校	19740310	名塩 見本 歴史	明治6年塩溪小学校として開校。生徒数30人。明治20年名塩小に。馬場考良氏の箔打紙見本。p100紙を漉く名塩で起源、製法、歴史を紹介。木戸源治郎氏の聞き書き、13才から「紙屋奉公」17才漉けいこ。20才で一人前。
81300918	西宮新市域風土記	西宮市立図書館		19530914	名塩	がり板刷りp157塩瀬町の概要、製紙業、山林業、カルタ土採取場、兵庫県手漉製紙組合名塩区協同作業場(昭和24、国庫負担15万円)、小学校、名塩第一製紙所(小学校の筋向)、源照寺、教蓮寺、教行寺、八幡神社(明治11社殿改築)の順に解説。名塩の文書目録記載。
81300919	西宮市実態調査報告	西宮市	西宮市	19630330	名塩 統計	p79間取図p123作付率p186製紙業、明治12年(1879)-昭和10年(1935)までの統計。戸数。紙の種類。数量。価格。大正年間が最盛期。大正11年187戸、539名が従事。価格では大正10年約34万円。
81300920	西宮の川を学ぶ	NPO法人こども環境活動支援協会	NPO法人こども環境活動支援協会	20040531	名塩	p84名塩側。国見山(406,5m)から出合(70m)まで約6km。支流は左岸:細野谷河、シリツキ川、猪切谷川、大谷川、右岸:丸尾川、ヤケリ川、尼子谷河。武庫川合流付近は流紋岩の岩盤を侵食して流れ出る。名塩島魚:摂陽郡談で紹介、ハヤの変種か。名塩紙を紹介;男が漉く。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300921	西宮市立郷土資料館図録	西宮市立郷土資料館		19850710	名塩 歴史	西宮市の歴史を古代中世は文化遺産、近代は産業と文化を紹介。p29名塩は、本館の展示パネルを示す。紙漉き用具と紙漉き場の配置図、工程図、藩札文書と漉舟株札が写真で紹介。明治1年。馬場儀三郎文書。山城淀藩に送付した藩札原紙の見本寸法値段表。肥前平戸藩の注文書。
81300922	宝塚市誌第二巻		宝塚市	19760331	兵庫、名塩、近世	p252 / 近世初期の道筋：小浜東と生瀬に一里塚。p329 / 生瀬西宮の荷物争奪：1651年論争。p333 / 近世初期の山域論争：p384 / 1610年は生瀬、舟坂、金仙寺から木元。名塩の道。1650年には金仙寺道は重要性失う。1632年木元舟渡の図。1641年洪水。1650年二瀬川道の図。p500 / 1773年名塩弓場長兵衛が江戸送り酒を小浜経由で生瀬から告訴。1800年青野道再開。道の記録詳細に紹介されている。
81300923	環状彷徨・ふるさと兵庫の文学地誌	宮崎 修二郎	コーベブックス	19770215	兵庫 名塩	港の文学地図(神戸)武庫野のこだま(阪神)山並みと潮騒のうた(丹波但馬)古風土記の山河(播磨)島の細道(淡路島)作品の表現をベースにして各地の地誌をうまく表現。武庫溪谷：『山陰土産』の島崎藤村。「大阪から汽車で、一時間半ばかり乗ってゆくうちに、はや私達はかなりの山間に分け入る思ひをした。」。水上勉「桜守」。p238杉原紙のふるさと
81300924	緒方洪庵と適塾	梅溪 昇	大阪大学出版会	19961031	名塩 大阪	p32家庭生活と八重：洪庵の両親、八重の生家、洪庵と八重の暮らし、七男六女の子供たち、適塾生の母として、夫洪庵の死、晩年。名塩、1822年生れ。億川百記と志宇の長女。号は花香。p76適塾は名塩屋熊太郎(八重実家の旧使用人、過書町で薬種業)が買主。p121敵塾生：馬場尚徳、岸本一郎(八重の甥)p132有馬撰蔵(香川出身、八重の妹の婿)、大阪除痘館分苗：名塩は1849年、億川翁介に最も早い。重本。
81300925	草隠れ：名塩川	水上 勉	構想社	19821125	名塩 小説	ci0125：紙祖伝説を小説化。昭和44年オール読み物に発表「社の背は大杉の深い木立で、暗い下道は、白糸を落したように細く曲がっている。弥右衛門は23歳で村を出、美濃に入ったソマ人と設定。安閑天皇の母は味真野の娘「花筐」とダブらせる。妻の衣の土が美しく、土混入のヒントと。他に「緋の雪」「猿籠の牡丹」など小千谷縮、山繭織など。
81300926	尼崎市史第二巻	岡本 静心	尼崎市役所	19680315	兵庫 名塩 流通	p757. 1850年名塩紙専売化の動きと挫折：紙は尼崎しじみ町名塩屋四郎兵門へ出すのが慣例。p314尼崎藩の藩札p337、p361藩札一覧表
81300927	尼崎市史第五巻：史料編2	八木 哲浩	尼崎市役所	19740315	兵庫、名塩、流通	p532：名塩紙専売計画お断り始末控え、嘉永3-4年の教行寺文書。大阪紙売子：米屋八左衛門、青木勲兵衛、京売子：木戸太三郎、松葉屋売子：かさや清兵衛、雁皮問屋：米屋与三右衛門。庄屋：伊兵衛。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300928	大野藩の洋学:奥越文化、蘭学篇、第5輯	岩治 勇一	大野市文化財保護委員会	19641200	福井 名塩	土井利忠百年忌。明倫館(弘化1)設置。伊藤招聘(安政2)蘭書一覧。p32大野藩蘭学者名簿、p35伊藤慎蔵:改正磁石靈氣療説について、筆算提要、名塩で弓場と。p40年譜。1864年名塩へ。p48洪庵の二子と大野藩:平三と四郎。
81300929	大野洋学館教授伊藤慎蔵の書簡/奥越史料7号	岩治 勇一	大野市文化財保護委員会	19780430	福井 名塩 近世	藤野家文書付内山家文書:書簡18通。慎蔵の藤野校昂?八郎(適塾以来の心友、坂井郡本城)への書簡(安政3-5年)。大阪に辞した後の大野藩士への書簡(文久3年)杉本研究員より。200606購入。
81300930	無形文化財民俗文化財要覧1 52年度版	文化庁	芸シュウ堂	19760901	福井、島根、岐阜、高知、新潟	無形文化財文化保存技術、各個指定p80:手漉き和紙、越前奉書(43.3.28)、p81手漉き和紙、雁皮紙(43.3.28)。総合指定p93石州半紙(44.4.15)p94本美濃紙(44.4.15)。記録作成等の措置を講ずべき無形文化財p154白石紙布(30.3.19)、p163土佐典具帖紙(48.3.27)小国紙(48.3.27)選定保存技術p178手漉和紙用具制作(51.5.4)p185全国手漉和紙用具制作技術保存会
81300931	無形文化財民俗文化財要覧2 52年度版	文化庁	芸シュウ堂	19760901	埼玉 石川	民俗文化財:重要有形民俗文化財118件。無形文化財30件。記録作成等措置を講ずべき無形の民俗文化財:民俗芸能関係206件。風俗慣習関係81件。都道府県指定選択文化財一覧。p19奥秩父585点。p30金沢金箔332点。p31加賀447点。p37飛騨高山989点。p56波佐758点。51年現在名塩紙は指定なし。
81300932	民芸を求めて	田中 豊太郎、安部 栄四郎	徳間書店	19630120	島根 名塩 産地	記事として、安部栄四郎が「出雲の和紙」を寄せる。「出雲民芸紙を発展させるためには、誠実な仕事と、土地の環境を生かすことである」と訴える。一覧表の紹介では、白石(紙布、紙子)、福島(山舟生、川崎、熱塩、信田沢、深山田)山形(舟形)秋田(睦合)鳥山、小川、美濃、長野(内山、松崎、宮本)愛知(足助)福井(奉書、鳥子)宇陀、名塩、淡路、石州、因幡、徳地
81300933	伝統的工芸品産業	通産省	通商産業調査会	19811128	産地、統計、製法	p73和紙:昭和44年から53年の統計。事業所は817から455。従事者は3172人から1988人に。指定伝産品(内山、越前、因州、阿波、大洲、土佐)製造工程、原料確保高、輸入が増加。流通、越前和紙、因州和紙阿波和紙、大洲和紙、土佐和紙
81300934	九州の工芸地図	後藤 完一	葦書房	19790320	福岡、佐賀、熊本、鹿児島、宮崎、大分、長崎	p215手漉き和紙:福岡:筑後(八女)、朝倉、福富。佐賀:重橋、名尾、三谷、鍋野、畑川内、真手野、谷口、唐津、小城。熊本:宮地、人吉、四浦、山鹿。大分:竹田、弥生、内山。宮崎:都城、穂北、美美津。鹿児島:蒲生が簡単に紹介される。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300935	民芸論:芸術理論叢書	吉井 忠	彰考書院	19470925	福島	p227和紙の村:福島、川崎村の紀行。檀紙の発祥地?、紙束をリアカーで運ぶ光景。530戸のうち、7割が従事。下種田部落を訪問。37戸中34戸従事。簀は茅。米粉、ベニガラ混和。2枚漉き。聖徳太子信仰。この地だけが特異的に発展。地方芸術の意味、民衆工芸など民芸論。農村に着目、農村の旧生産様式の残存と見る。
81300936	郷土岩国のあゆみ	大岡 昇	岩国市立図書館	19740000	山口 郷土	p417岩国藩の諸産業:岩国半紙:起源、栽培地、漉き立て費用、種類、紙の専売:創始、見取り、紙蔵、大坂への運送、蔵屋敷、請紙制度(把法、貸付、仕入れ銀)
81300937	地場産業の地域		大明堂	19800329	新潟	p136原料基盤の変化による変容・上条、小国和紙、1)和紙産地の全国的状況、2)新潟の和紙業、3)上条産地の原料基盤、4)小国紙産地の原料基盤
81300938	日本の工芸4、紙	田中 親美、水尾比呂志、寿岳 文章	淡交新社	19660410	見本 福井 京都 産地	見本紙:岩坂、黒谷、五箇。料紙の美(田中親美)紙紀行(水尾比呂志)黒谷、五箇、岩坂、小川、国栖。紙の伝統と技法(寿岳文章)紙の歴史をたどる。解説つき図版は紙から加工品、図絵。
81300939	紙の今昔	小林 嬌一	新潮社	19860420	名塩 概説 歴史	和紙、洋紙の発展を綴る。酸性紙や保存に触れる。p66充填紙の中で名塩紙紹介。「泥入り鳥子」のうち泥土多い物を「間似合」少ないものを「鳥子」藩札の偽造防止に多用。杉原紙は、米の粉、吉野は胡粉(貝殻の粉、炭酸カルシウム)を漉き込む。
81300940	紙の博物誌	渡辺勝二郎	出版 ニュース社	19930000	名塩、概説	紙の発明前後。和紙・洋紙・印刷。紙の性質。遊びと生活文化に分け、小項目で解説。p146:無機質と紙:填料添加の理由と革新的技術として名塩を紹介。藩札から金箔工芸紙、インディアペーパーを例にあげる。p306金箔を支える紙。
81300941	紙はよみがえる	岡田 英三 郎	雄山閣	20050225	技術	副題(日本文化と紙のリサイクル)。紙には魂が宿る(還魂紙、宿紙、反故紙)、脱墨技術。漉き返し。紙屋院の場所は。扇生地紙(発酵を利用した脱墨)。余白の利用、包む。補強する再利用。
81300942	和紙つれづれ	浜田 徳太 郎	靖文社	19480210	随筆 産地	和紙で製本。雁皮と鳥の子、西の内、薩摩、浅草、仙貨、溜め漉きと流し漉きなどの随筆。名塩は触れず。
81300943	日本の紙芸	広瀬 辰五 郎	ルック社	19690131	加工紙	小間紙(小間紙、目録包み、折り紙、水引、のし、たそう、型紙)生活の中の紙(団扇、扇子、雁皮張りの扇子、堤灯、行灯、唐傘、張り子、屏風、襖、紙子)絵と紙芸(錦絵、絵すごろく、凧絵、玩具絵)千代紙

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300944	和紙と土佐っぼと中国の話	富士 秋平、山本和 三郎	木耳社	20030225	随筆	本能寺に散った修善寺紙。忠臣蔵の名紙。鼠小僧の小判。えびす紙。荷風が魅せられた熱海雁皮紙。蘇東簸坡も愛した竹紙。石州半紙ウラ・オモテ。道化師の紋章。元禄のキャッチフレーズ。北斎とちらし。杜甫のランプ。草と発禁本。日本の風景。薩?峠今昔。煙草の数学。鯉のぼり。杉と和紙。トイレトペーパー。
81300945	和紙入門	久米 康生	ももよ草(海部 桃代)	19760915	概説 歴史 産地 名塩	和紙の歴史。生活文化のなかの和紙。和紙のつくり方。手漉きの紙郷からなる。名塩は5軒残ると。
81300946	紙の文化誌	小宮 英俊	丸善	19930720	概説 歴史	東洋、西洋の紙の歴史。特に西洋紙の歴史と製法を概観する。素材や紙の種類についても記載。p27中国古代の製紙法:麻、麻のボロ、魚網を細かく切り杵でつき繊維を水に分散、網のはった漉き器を利用したものと推定。p36日本における製紙法の発達:流し漉きを発明。粘料は中国からと推理。美濃紙抄製図説記載。
81300947	天工開物	宋 応星	平凡社	16370000	中国 製法 近世 海外	690120。三巻からなる。十八の中国の産物を解説。穀類、衣服、染色、調製、製塩、製糖、製陶、鑄造、舟車、たん造、ばい焼、製油、13、製紙、製錬、兵器、朱墨、醸造、珠玉、産業技術書、製紙、原料、造竹紙、造皮紙を説明、工程図、69年平凡社版
81300948	柿渋:ものと人間の文化史	今井 敬潤	法政大学 出版局	20031010	宮城 加工	柿渋の生産と利用技術、生活場面での利用、生産地の聞き取り、備後と富山の民俗、技術からなる。保存、塵防除と防水機能を生かす。p69渋紙:包紙、敷物、製茶袋など。紙子(紙衣)謙信の陣羽織。東大寺の修二会。紙衾(布団)。p69白石の紙子:十文字漉き。白石の柿は「塩の花」? 「ハズヤ柿」家老名。p83染色用型紙:伊勢型紙揖斐地方から。紅型:「東柿」。和傘:渋引き2回、油引きはエノ油。渋団扇。ポテ、合羽など。柿渋屋訪問記。200608重本。
81300949	紙幣寮夜話	近藤 金広	原書房	19770201	明治	紙幣寮:明治4年設立、明治9年東京大手町に建設。明治4年新紙幣(ケルマン紙幣)発行。登場人物:宮尾喬(紙幣寮小属)、得能良介(紙幣頭)シャンド(銀行家)、キヨソネ(紙幣原版彫刻法)。太政官札:福井出身の三岡八郎(由利公正)が問題処理。
81300950	八女、仕事着の道	松田 久彦	松田 久彦	19950720	福岡	八女の匠の紹介。久留米絣文様館は見本つき。和紙関係では、p84松尾茂美(企業共同体で生きる)多品種少量生産の分業体制で生き残りをかける。表装紙の裏打ち紙(肌うら、中うら、総うら)一舟で一千万円が目標。p88高山栄一(透かし漉き)p93松尾智明(灯籠紙)紙質が硬い紙でトロアオイを通常の2倍、つばきの葉をはけ代わりに。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300951	どんな草でも紙になる	大西 秀夫	大日本図書	19960630	概論 製造 子供	野草、野菜、糞からの紙づくりに挑戦。植物繊維の取り出し方に工夫。純粋な繊維を利用する。植生から繊維を見る。方法を考える。が原則。粉石鹼で煮る。水洗、ミキサー、溜漉き、乾燥。
81300952	灰の文化誌	小泉 武夫	リプロポート	19841210	概論	負のイメージしかない「灰」に焦点を当て、人との関わりを紹介する。第五章、和紙・織物と木灰。その他、酒、醤油、味噌染料、焼ものなど活用場面多い。灰の役目は、タニシ、リグニンなどのポリフェノールなどの除去。化学者である筆者の目は面白い。
81300953	萬物製法秘訣全書	広瀬 茂一	駸々堂本店	18870300	技術	器具日用品と植物の部からなる。p1藁にて紙を製する法：苛性ソーダで煮る。硫酸で色抜き、水洗後、乾燥。適宜楮、黄蜀葵、米粉を混ぜ紙に。p4桑樹の皮：p6松の皮p7火に燃えぬ紙の製法：明礬に浸す。
81300954	適塾アーカイブ	適塾記念会	大阪大学出版会	20021118	名塩 大阪	写真集。適塾の資料52点について紹介。緒方八重の肖像：五姓田義松画(1901年)
81300955	徳地風土記抄	山本 茂一	徳地郷土史研究会	19860225	山口	p216徳地紙の由来と島地商人その他：能美氏、徳地堀村才谷に移住。毛利輝元から御内用紙漉元に。1676年銀札。1768年家禄没収。1816年雇い人清蔵、友蔵が継承。1835年庄屋松田勘兵衛と山田茂吉が頭取に。1620年代から農家は紙屋に。「漉き崩し」上等の紙は割り当て減少、下等は増加の法。明治15年有井久七八ッ切導入。「一に八坂紙場、二に伏野勘場、三に島地売り場」北川は「伊勢屋」を商号。
81300956	二人の炭焼、二人の紙漉き	米丘 寅吉	桂書房	20070220	富山	ビルダン村の夫婦。難病の妻と昭和44年「蛭谷和紙」の再興を果たす。「ぱなとりえ」第7号収録
81300957	吉野物語	北泉 優子	講談社	19881201	奈良 名塩	大阪の紙問屋と吉野の紙漉き人。母子は吉野の山郷の紙漉き人に救われる。結婚したものの大阪の紙問屋の旦那と恋仲になり娘を捨てる。一方、娘は紙漉きに精を出す。又や、同問屋の若旦那に見初められる。義母との確執の中で店を切り盛りするが、果たして、次男とも関係を結ぶ。結局、一人。和紙の美へと旅立つ。雁皮紙を漉きたいが故に名塩に足を運ぶ。
81300958	緒方洪庵と大阪の除痘館	古西 義麿	東方出版	20021225	大阪 名塩	p195補章2 緒方洪庵夫人・八重の生涯と大阪の除痘館(c1842日本の洋学) 1822年億川百記の娘、名塩生。1838年洪庵と結婚。1863年洪庵急死。生活振りを書状で検証。明治19年(65歳)大阪で没。名塩の碑には、終焉の地として、「鶴橋」と記されている。明治期の鶴橋、緒方洪庵の大阪の住まい、八重の手紙から、「今橋」と検証する。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300959	適塾をめぐる人々	伴 忠康	創元社	19780220	大阪 名塩	p71ハラタマと舎密局:岸本一郎(八重の甥)1866年留学。明治1帰国尼崎藩洋学指南役、舎密局一等助手に。p76益次郎の右足は龍海寺の洪庵の墓石の隣に。1838年7月25日八重を娶る(p87)。p88適塾出身者の業績:緒方拙斎(4女八千代の夫)p91有馬損三:億川の養子に。p96渡辺卯三郎:洪庵の2子を預かる。伊藤慎蔵:1849年入塾、51年塾頭、53年破門、54年帰塾。55年大野藩洋学館長、62年名塩で開塾。明治3大阪開成所教授に。p114惟準(これよし、次男)渡辺、伊藤に。マンスフィールドに蘭医学、ハラタマに理化学。(重本)
81300960	夜明け / 別冊文芸春秋133	有明 夏夫	文芸春秋	19750905	名塩、福井、慎蔵	慎蔵関係。p138:越前大野藩の蘭学の勢いを小説化。天才少年宮五郎は、自由「リベリチー」する。自由とは何かを問う。慎蔵にも触れる。
81300961	大阪の女たち:大阪文庫3	西岡 まさ子	(株)松籟社	19820715	名塩 大阪	p171緒方八重(適塾々生は皆我が子)洪庵との出会いから塾での活躍ぶり、晩年まで簡潔に描く。その他、古代から現代まで活躍した大阪の女を紹介。江戸では、夕鶴、西鶴の妻、園女、お初、小春とおさん、玉井お堪、三好雪、土屋斐子、大塩平八郎の妻など。
81300962	日本洋学史の研究3	有坂 隆道	創元社	19740601	名塩	論考12編。編者は関西大学教授。p251緒方洪庵夫人の書状(名塩億川邸の解体に伴って見出された)亥野彊、古西義麿(詳細は3171)
81300962	緒方洪庵夫人の書状:日本洋学史の研究3	亥野 彊、古西 義麿	創元社	19740601	名塩	p251名塩億川邸の解体に伴って見出された緒方洪庵夫人の書状(cf 3170、3172)億川邸は昭和41年6月解体。調査概要:間取と写真。二階建。医薬品、「雑腹蘭円」(桃園園百翁製)の宣伝用版木。図書資料400点。医学書58点。書状7点。
81300962	緒方洪庵夫人の書状(別刷):日本洋学史の研究3	亥野 彊、古西 義麿	創元社	19740601	名塩	p251名塩億川邸の解体に伴って見出された緒方洪庵夫人の書状(cf 3170、3172)億川邸は昭和41年6月解体。調査概要:間取と写真。二階建。医薬品、「雑腹蘭円」(桃園園百翁製)の宣伝用版木。図書資料400点。医学書58点。書状7点。
81300963	緒方洪庵夫人・八重の生涯と大阪の除とう館 / 論集 日本の洋学3	有坂 隆道、浅井 充晶、古西 義麿	清文堂	19951220	名塩	p301古西義麿:1822年億川百記の娘、名塩生。1838年洪庵と結婚。1863年洪庵急死。生活振りを書状で検証。明治19年(65歳)大阪で没。名塩の碑には、終焉の地として、「鶴橋」と記されている。明治期の鶴橋、緒方洪庵の大阪の住まい、八重の手紙から、「今橋」と検証する。
81300964	適塾と除痘館 / 論集 日本の洋学4	浅井 充晶	清文堂	19970220	名塩	p255牛痘法普及における適塾の役割をめくって:緒方洪庵、除痘館メンバーと分苗所:億川翁介(百記の三男)は適塾入門しており、名塩に分苗(嘉永2、慶応3年)有馬損蔵。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300965	伊藤慎蔵伝をめぐって / 論集 日本の洋学5	有坂 隆道、浅井充晶、古西義麿	清文堂	2000520	名塩	p221古西義麿、伊藤慎蔵の伝記:萩、1825年又は1826年生。町医伊藤宗寿の長男。1849年適塾入門。1852年塾頭。塾破門や大野時代の洪庵の息子の預かりの経緯。1867年大野を辞去、名塩へ。先妻鹿子ら死去。時子と結婚。名塩時代の生活や家族の様子。伊藤塾の活動を記す。弓場五郎兵衛が援助。この間、長州藩から招請を断わる。
81300966	近松全集第8巻 / 持統天皇歌軍法	近松	岩波書店	19880330	名塩 文学 近世	1714年(正徳4年)以前上演。台詞に各紙を折り込む。名塩については「妹ををばふて鳥子とは名塩らしいたくみじやな」とある。東山の故事が原型か?
81300967	鉄道廃線跡を歩く	宮脇 俊三	日本交通公社	19950000	名塩	p126福知山線旧線(生瀬-武田尾)。地図、写真あり。
81300968	広瀬旭荘全集日記篇四	広瀬旭荘全集編集委員会	思文閣出版	19830920	名塩、近世	影印版、漢文。「日間さ事備忘」p177嘉永3年6月28日:弓場五郎兵衛藩札の件で訪問。嘉永3年(1850年)8月20日-10月14日の記録は名塩紀行、国分紀行と副題されている。名塩訪問は、9月16日。地勢高低、溪、4-500戸。紙で富み多く瓦屋がある。弓場五郎兵衛出迎え。
81300969	武左衛門一揆講釈	白方 勝	白方 勝	19970819	愛媛 近世	吉田藩紙騒動:専売制を断行、紙方役所の設置、法華津屋が実権、1793年吉田藩山奥から起こった騒動は、藩内に波及した。宇和島藩家老安藤儀太夫が責任を取る形で終結。農民側の首謀者として伝承として伝わる武左衛門を新資料から再考証。
81300970	下学集	東麓破納	新生社	14440000	重要、中世	1968年復刻版:p110豊紙(女性之粧具也)反故(旧文也)p118表紙、礼紙、唐紙、引合、杉原(日本俗杉或作楳未だ詳)檀紙、厚紙、薄様、打曇(打或は作内)、色紙、鳥子(紙色如鳥卵、故云鳥子也)懐紙(懐或作会)宿紙(薄墨之幣?也。又之云紙屋紙、公家之所用也)修禅紙(坂東豆州紙名也、色薄紅也)白楮、白麻、魚網(以上三者紙異名也)短籍(籍字作尺)楮(紙材用之)
81300971	美しきもの:寿岳文章、しづ著作集4	寿岳 文章	春秋社	19700720	産地	手漉和紙を語る。かたくりの旅。和紙礼讃。四国の旅。愛蔵の紙。日向の旅。紙を漉く村。紙のふるさと。和紙。奥三河の旅。わが国の紙漉地方。茶と紙。和紙の工芸性。和紙と建築。紙漉村へ送る手紙。紙の愛護。など。紙漉村旅日記の補完というべき随筆集。
81300972	和紙の旅 / ふるさと百話	後藤 清吉郎	静岡新聞社	19981128	静岡、名塩	1973年の復刻 1225。静岡の紙の案内としては秀逸。修善寺紙:色よし紙と呼ばれる淡紅色(リンボク)染め紙、下学集に記載。駿河半紙:清水市両河内、明和期(1760)大門から習得。三椏を利用。熱海雁皮紙:五雲箋、五色雁皮紙、今井半太夫が復活、江戸で好評。その他:清沢(茶箱目張り用、溜め漉きに近い)、朝比奈紙、天方紙、阿多古紙、名塩紙は五色雁皮で触れる。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300973	伊予農民騒動史話 / 愛媛文化双書10	景浦 勉	愛媛文化双書刊行会	19720210	愛媛 近世	p36内ノ子騒動;大洲藩。p75吉田藩紙騒動:武左衛門騒動、専売制を断行、紙方役所の設置、法華津屋が実権、打壊しが農民間で波及。宇和島藩の仲介。
81300974	八女の職人ことば第一集:きもんぬすと	松田 久彦	石人社	19861123	福岡	八女の紙漉ことば:昭和61年17名(松尾和美、智明、靖夫、清一、茂美、義輝、勉、元美、高山栄一、金子金夫、山口虎雄、吉田、川口、武藤、猪口)熊本に共同で楮委託栽培。きもんぬすと:オナモミのこと、丸めて簀の紙漉取り用に。カゴ花せいた(咲いた)トロアオイが多いと出る。簀のけころだ(こける):簀の右を高く、左低く持ってねじるように簀を置くと空気が入らないで紙床に。
81300975	ふるさとの手仕事	篠崎 隆	暁印書館	19781225	茨城	p22かな料紙:久慈郡里美村、小室徳(79)西の内、鳥取、福井の鳥の子を原紙。量産は美濃版。p53和紙人形:水戸市木村京子(38)西の内。p127和紙:那珂郡山方、菊池一男(58)。父康之、長男正気(33)諸沢地区で現在3軒。西の内紙資料館。
81300976	東海の伝統工芸	近藤 総子、伊藤喜栄	中日新聞社	19851212	愛知 岐阜	p143小原和紙(柴田整子)三河森下紙は美濃森下紙(初出は15世紀半ば)と関係か。現在は工芸紙を中心に。和紙工芸館。p184美濃紙(柴田整子)「揺籃子(いずみこ)が絶えると紙漉き絶える」養女制度が昭和初期まで続く(水上勉、「美濃のお民」。その他に、飯田水引、伊勢型紙、掛川葛布など。
81300977	ふるさとの手仕事 ふくしま	朝日新聞福島支局	歴史春秋社	19901025	福島	p319上川崎和紙:安達町、石橋勝美(68)16歳から、楮は相馬地方、東和町。手加減一つで変る。原料と良質の水が生命。p316遠野和紙:いわき市、棚倉藩。瀬谷俊次(74)。冬期のみ。白皮処理は一番下の皮のみ使用。風船爆弾も。
81300978	津和野	塩見 佐恵子	米子今井書店	20011110	小説 島根	津和野をモチーフに和紙人形を作り続けた河津匂子さんが題材。出雲和紙との出会いがひとつの契機として表現。
81300979	女の贅沢	津村 節子	読売新聞社	19940714	福井 随筆	P185紙の祭り:樹齢数百年の杉並木。大滝神社と岡太神社(川上御前)は戦後から5月3日に統合。昭和48年、第38回式年大祭(33年に一度。P189水没した村:和泉村「花がたみ」の取材で。九頭竜ダムは昭和43年6月完成。
81300980	みちのく山河行	真壁 仁	法政大学出版局	19820730	宮城 山形	1)みちのく山河考2)物と手わざ3)みちのくの岐路から構成。p187白石紙:訪問記。蠟書と蠟染を白石紙(遠藤)で。紙子:十文字漉きの紙を揉み柿渋、蒟蒻糊、型染し反物に。紙布:一反に紙100枚。後染と先染。2-3年枯らして織る。山形の大岩川、関川(科皮布)でも紙布。反故紙を使用、横糸に。縦糸は麻、木綿など。反故紙の使用は、密書を届ける手段とも。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300981	京の職人衆が語る桂離宮	笠井 一子	草思社	20010724	京都 福井 名塩	6創建当初の図柄を復元した唐紙(千田堅吉)7越前奉書の藍染めした襖の紺紙(松村好得)襖の下貼りの工程とその役割:名塩紙は「胴貼りに使用。襖の框(かまち)から1cm控えて全体に貼る。
81300982	本が生まれるまで	小尾 俊人	築地書館	19940810	名塩	p193インデア・ペパー、和紙風土記(寿岳)、日葡辞書に薄様、キリシタン版「こんてむつす・むん地」は名塩産か。
81300983	地形で辿る廃線跡	吉田 恭一	心交社	19980520	名塩	p134福知山旧線:昭和61年8月1日路線変更(道場―生瀬)有馬口(生瀬)道場間は難工事。明治32年完成:太多川、当田トンネル、溪谷、北山第一トンネル、旧線跡(明治32)と大正末期のトンネル、北山第二トンネル、横溝尾トンネル、第二婿側橋梁、ここから左岸、長尾第一トンネル、笹部の谷(桜守)
81300984	手漉き和紙について「黎明館調査研究報告1」	新永隆士		19870000	鹿児島	「黎明館調査研究報告1」鶴田町の事例
81300985	地域産業構造の分析	西沢 弘順	文理閣	19840810	高知、統計、近代	高知県の産業についての総括書。p57産業資本確立期における和紙業の展開、和紙マニファクチャーの展開と形態。明治前期の土佐和紙業を統計を駆使し解説。p81高知県における製紙業の発達、p207機械すき和紙業の最近の動向
81300986	日本山海名物図絵	平瀬 徹斎、長谷川光信	社会思想社	17540000	産地 近世 図絵 福井 宮城	19700630復刻版。諸国の名物を絵図で紹介。紙関係は第3巻:越前奉書。第4巻:河内小山団扇、仙台紙子。「奉書余国よりも出れども越前に及ぶものなし。凡日本より紙おおく出の中に越前奉書、美濃のなおい、西の内、程村、岩国半紙は上品なり」と
81300987	越前味真野・紙漉きの里:秘めたる旅路18人紀行	水上 勉	日本交通公社	19680320	福井 紀行	p8足羽(あしわ)川上流の上池田村を訪問。家、田を捨てて都会へ、村が亡んでいく。なだれに遭遇し九死に一生を得る。かつては、五箇に紙漉きの出稼ぎに出たという。5月3-4日の大滝の紙の祭りを取材。18人が寄稿。大台ヶ原、安家洞、俵峯、由良岬、奥丹後、只見川、西表島、湯西川、幸島、生野、柳久保池、上高地、奥塩原、納沙布岬、遠山谷。
81300988	表具のしおり	山本 元	芸そう堂(うんそう)	19370701	加工 名塩	襖、屏風、衝立などの解説と仕方。襖:衝立障子、通障子鳥居障子、唐紙障子、襖障子、袋戸など。骨格と下張り、上張り」の仕方。上張りは中世では絹張りが本式。襖張り用の紙として、唐紙や間似合紙をあげる。名塩でも通じるとある。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300989	摂津ふりり旅	国眼 隆一	(株)自然総研	20100521	兵庫 名塩	p178名塩の紳士録(おだやかな山里の空気が異能の人たちを育ててきた)ナイシオからナジオへ。名塩和紙学習館、名塩紙の特徴は日焼けしない、虫に食われない、乾燥に強い。製法は雁皮、岩粉を添加、チリを徹底除去。箔打紙、谷野武信(人間国宝)男の専業。その他に異才:上中啓三(アドレナリン)真島幸二(王子製紙創業)、三田谷啓(児童相談所)名塩蘭学塾(伊藤慎蔵)
81300990	日原民具志	大庭 良美	日原町教育委員会	19920801	島根 民俗	日原町立歴史民俗資料館展示品写真。聞き書き、写真が豊富。p209楮うむし:日原町では30軒農家が栽培。楮から三椏に。局納三椏倉庫が駅そばにある。はねぎ(蒸し)p218紙漉き:M4村々年鑑の記録。軒平均41565枚。漉き方の聞き書き。箕は馬の尾で編む。M29、三椏漉きを土佐から導入。戦後は宿谷、下森芳右衛門のみ、S48.2.17死去。
81300991	山口県の百年	小川 国治 ほか	山川出版社	19831220	山口 近代	p69殖産興業と文明開花。「山口県治一覽」明治9、12:周防で半紙小半紙、奉書紙、美濃紙があがる。玖珂、熊毛、都濃、佐波、阿武。長門は厚狭、豊浦。明治11年のは製紙の物産会を開催。
81300992	小野		小野中学校	19890801	山口 歴史	宇部市小野の郷土史。p24産業、紙漉きとくらし:紙の沿革、藩の請紙制など概観。小野の紙漉きについての聞き書き。瀬戸地区、宇山定次、石田正人ら。厚東川和紙同業組合:昔瀬戸では14戸。二子原、上小野、大山。楠町今小野17戸で形成。楮は美祢郡太田赤郷から。今小野「楮屋」で紙市。
81300993	ふるさとの歴史・美祢	美祢市立図書館		19690401	山口、近世、近代、郷土	p23 / 1716年頃、大嶺村東分、茂兵衛が乞食から教わる。大嶺から於福伊佐山中厚保に広がる。「郡中大略」請紙漉377軒。於福紙として下関へ山陰で売る。第一次大戦で好景気。
81300994	芹沢圭介全集6	芹沢けい介	中央公論社	19810625		p5紙を造る人達
81300994	紙を造る人達 / 芹沢圭介全集6	芹沢けい介	中央公論社	19500000	宮城 埼玉 東京	p5紙を造る人達。昭和25年(1950)春。墨染挿絵6図。宮城(柳生)、埼玉(小川)、東京(軍道)。紙漉場(楮煮釜、ちりとり、楮打ち、紙漉、板はり、天日干し)の図。
81300995	芹沢圭介全集7	芹沢けい介	中央公論社	19800925	埼玉、沖縄、鹿児島	p5 / 武州小川紙漉き村。昭和13年、卷子本、型染。小川での見聞を詞書として紙漉き風物、工程を絵巻に。(楮、かず煮釜、かずなで。かずふみ、かずさらし。かず打ち、とる叩き。かみや)p89 / 儀保川、伊作、苗代川。昭和17年。那覇市首里と鹿児島伊作の紀行絵。
81300995	武州小川紙漉き村。芹沢圭介全集7	芹沢けい介	中央公論社	19380000	埼玉	p5 / 武州小川紙漉き村。昭和13年、卷子本、型染。小川での見聞を詞書として紙漉き風物、工程を絵巻に。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81300995	儀保川、伊作、苗代川。芹沢圭介全集 7	芹沢けい介		19420000	沖縄、鹿児島	p89 / 沖縄、首里の紙漉きと鹿児島島の紙漉き及び鹿児島島の民衆地を訪問時の肉色画。地方色が豊か。紙漉きの光景画。
81300996	美しい村	牛尾 三千夫	石見郷土研究懇話会	19770615	島根	石見の郷土の随筆集。民俗探訪記。「紙漉き村」と題して桜江町の紙漉の様子を伝える。女たちの紙負いの様子。12、3貫を担ぐ。山の内の「たたら」家の様子。山中部落の山城屋、勝地の江村。市山の高佐屋など問屋。
81300997	栃木の民藝	近藤 京嗣	ふるんていあ出版	19871120	栃木	p206明治21紙業改良組合設立。M26岐阜、高知に派遣。M27製紙法伝習所、国乗滝吾招聘。福田製紙所は昭和15年5月開業。女性の立ち漉き。程村紙はバーナードリーチ賞賛。古い木造。その他、焼物の紹介が多い。
81300998	韓国の手仕事	田代 俊一郎	晩せい社	20030610	海外	韓国の手わざを紹介。「職人たちの人生を織り交ぜながら書いてみたい」と。p98韓紙(ハンシ):産地は、江原道原州、全羅北道全州。京畿道加平郡、張容薫(3代目、69歳)。「タンナム」(楮)。窓紙、壁紙に使用するので、厚くて丈夫。500円・枚程度。
81300999	「工芸」解説・総目次・索引	水尾 比呂志	不二出版	20100120	工芸 目録	第6号丹波布、第10号古代因幡紙の世界、第28号島根の和紙、第50号琉球の型紙、第59号武州紙顔末、和紙の美と小川の紙、紙漉と紙座、武蔵紙の甞生、小川の将来ほか、第69号現在の朝鮮民芸品、紙漉場、第87号色染紙、和紙外伝考、漉場紀行など、
81301000	岩国藩に於ける紙漉人確保についての一考察:山口県地方史研究26	藤重 俊男	山口県地方史学会	19711107	山口 近世	p1岩国、最盛期は元禄、正徳期。紙漉人減少、未進者対策、仕入れ銀と物価の釣合。楮畑から茶畑転換の規制、紙漉き女の足止。請紙制度の矛盾。
81301000	岩国藩に於ける紙漉人確保についての一考察:山口県地方史研究26	藤重 俊男	山口県地方史学会	19711107	山口 近世	p1岩国、最盛期は元禄、正徳期。紙漉人減少、未進者対策、仕入れ銀と物価の釣合。楮畑から茶畑転換の規制、紙漉き女の足止。請紙制度の矛盾。この他にp37享保3年山代百姓一揆に関する史料
81301001	文化九年を中心にみた岩国藩の紙仕法:山口県地方史研究41	宮田 伊津美	山口県地方史学会	19790000	山口 近世	p11楮の生産:宝暦5年から三株楮の制で増産対策。天明5年値上げ。紙漉き人の確保。新漉人の保護として火災時の固屋木料、飯料の加算、年賦金の実施。仕入銀、道具銀の貸付。新漉人と再開漉人取り立て。収奪の強制。
81301002	岩国藩の紙専売制とその藩財政への貢献度:山口県地方史研究52	樋口 繁	山口県地方史学会	19841118	山口 近世	p10岩国:発達経緯「岩国旧記、14、紙の事」1631-1640年の状況が知れる。紙専売制度:立法は御用所、行政はお蔵元、その外局に紙蔵。岡見:楮出来高調査。紙の見取り精度「証記抜粋類シウ」大坂蔵屋敷設置(1667年)運送量、紙原価「玖珂郡志」、買上価格、紙の専売により利銀を得、藩財政危機を克服した。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301003	わが町の歴史アルバム	わが町の歴史アルバム編集会	楠町	19851101	山口	楠町の歴史。写真説明で紹介。p36国司氏居館跡：万倉伊佐地。p44吉部の手漉き和紙の製造工程図がある。「藩政期から昭和30年頃まで盛んであったが、昭和47年で1、2軒となる」と記載されている。「舟木産物名寄帳」万倉の水晶。舟木の石炭。その他、櫛、赤間硯。
81301004	戦争と細川紙：民芸60号、6巻、4号	大島 康夫	日本民芸協会	19440401	埼玉	p10決戦下において用途が拡大され強靱性が戦力増強上兵器の研究に役立つと。食料増産用温床紙。機械化を進める。機密として戸数、漉き舟数など記入していない。
81301005	改訂求邇(くに)雑記	今田 純一、桂 芳樹	岩国徴古館	19831015	山口	岩国錦見地区の地誌。今田(1848 - 1905)の明治25年自筆本を改訂出版。p124紙蔵址：錦帯橋北堤東。慶長、玖珂村里正清左衛門、錦見町米屋助左衛門が石州より楮導入。伊予人中内、安芸を経て山代波野村へ。寛永(1640)見取り開始。紙種、寸法の表。
81301006	木材パルプ発祥地之由来	製紙博物館	製紙博物館	19541015	洋紙	碑の建立を記念して発行。王子製紙が明治22年12月、静岡県秋葉山麓の気田工場で、初めて亜硫酸パルプを製造。従来はボロ、稲藁で、大川平三郎が導入。
81301007	紙衣・紙布 / 染色の美23号	吉岡 幸夫	京都書院	19830601	加工 奈良 宮城	染色の美23号：p81紙衣・紙布、東大寺紙衣造り。白石の遠藤忠夫氏。紙布造り、桜井貞子氏、緯は紙糸、経は絹糸で製作。
81301007	伝統工芸の美：文芸春秋デラックス		文芸春秋	19760101	三重 福井	人間国宝を特集：型紙(児玉博、城之口みえ、中村勇太郎、六谷紀久男、南部芳松)：岩野市兵衛、越前紙すき村の名匠(水上勉)
81301007	越前紙すき村の名匠：文芸春秋デラックス	水上 勉	文芸春秋	19760101	福井	人間国宝を特集：岩野市兵衛、
81301008	新・機能性紙総覧	機能性紙研究会	(株)加工技術研究会	19970330		特許情報から見た機能紙開発研究の動向、機能から見た機能紙：機械特性、熱特性、電気・電子・磁気特性、光学特性、音響特性、粘着・剥離特性、分離・分別、水特性、油特性、気体特性、化学特性、生化学特性、感性機能、複合化機能、年表。和紙の機能：色紙、料紙、薬袋紙(香り留め)、擬革紙、縮緬紙、印刷できる和紙、透かし
81301009	修善寺の案内	修善寺ふるさとガイドの会	修善寺ふるさとガイドの会	20051001	静岡	家康の墨印状。修善寺文左衛門宛に「於豆州 鳥子草 がんぴ みつまた 何方候共 修善寺文左衛門より外には不可伐・・・」p113「修善寺紙とはこんな紙」p115「平家物語における修善寺紙」。色好紙「横筋のある色紙」。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301010	近代製紙産業と王子	(財)紙の博物館	(財)紙の博物館	20080300	近代 東京	抄紙会社の誕生と発展。大蔵省印刷局抄紙部の発展。その他の製紙会社・製紙関連資材メーカーの誕生。紙の博物館のあゆみ。創業は1874年有恒社(日本橋)、1975年抄紙会社発足、製紙会社、王子製紙へ。渋沢栄一、大川平三郎(栄一の甥)、藤原銀次郎。大蔵省印刷局抄紙部:得能良介。関東酸曹。
81301011	工芸の郷、富山へ / なごみ126号		淡交社	19900101	富山	なごみ126号p26八尾(やつお)川と橋と坂の町。江戸から大正かけては蚕種と生糸と和紙の取引市場。野積川、室牧川にへばりつく寒村で楮を栽培澁く。売薬袋で繁栄。吉田桂介の桂樹舎、展示室は、紙の製法と和紙類。韓国の紙工品と世界の紙。紙製道具。日本の古紙の世界からなる。
81301012	近畿農村の秩序と変貌	宮本 又次	有斐閣	19570510	名塩 大阪 近世	p13大阪大学経済学部、商業的農業の展開の続編。近世農村社会における貨幣経済(作道)近世都市商人と周辺農民(北村)幕末明治初期北摂農村の経済と社会(森)賃労働者層形成期の経済と社会(安岡)大阪近郊農村の変貌(宮本)p13地域差:大阪三郷、京橋大和川、菜種地帯、山間部。名塩紙:三郷の屑紙を澁き返し。泉州ちり紙:貝塚の清児、名越、三松、森、水間、木積。(上方130号)
81301013	出雲和紙のできるまで:月刊絵手紙172号		日本絵手紙協会	20100401	島根	工程を図入りで紹介。安部信一郎、土江さん、山野さん。
81301014	和紙 WAGAMI わがみ	茨城県天心記念五浦美術館	茨城県天心記念五浦美術館	19980700	茨城	展示会の図録。住いと和紙:志功。イサムノグチ。ねぶた、紙張、あかり、紙布。現代の和紙:森島紘史
81301015	尼崎藩の銀札:国史学論集	八木 哲浩	魚澄先生古希記念会	19590702	兵庫	p703延宝5年、米屋久右衛門発行。明和6年までに約30の札元を確認。明和6年2月13日は公収を受け、財政に大きく影響。泉屋利兵衛、樋口屋十郎右衛門など20余の札元。
81301015	広島藩の商業統制:国史学論集	後藤 陽一	魚澄先生古希記念会	19590702	広島	p207大坂蔵物:鉄、紙:延宝2年紙蔵藩内紙買占め、宝永3年紙座専売制確立。当初民間への払下げは紙屋町伊予屋九右衛門が独占。その後、株紙屋。
81301016	通俗紙業発達史	西島 東洲	紙業新聞社	19261210	近代 歴史 産地	洋紙50年史が中心。付録として我国和洋紙パルプの需給状態と題し、統計が記載。年次別戸数、総生産額。生産地として、高知、愛媛、岐阜、静岡、福岡、香川、福井、兵庫、山口、広島があがるが、名塩の名は見えない。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301017	風土記、出雲、石見	田畑 修一郎	石見詩人社、小山書店	19430815	随筆、島根	19921101復刻版。「私には出雲、石見という字を並べただけで、その有る一つの他のどこの地名とも違った微妙なものを感じられた」で始まる。p101石見半紙：「紙一つを見てもそこに歴史によって支配され風土の影響をたたみこみ石見人の気質をはっきり反映している」紙見取り役だった新藤十太夫の子孫が紙工場を経営。石見半紙の意識は地元では少ない。
81301018	風船爆弾：純国産兵器「ふ号」の記録	吉野 興一	朝日新聞社	20001101	産地 近代	第二次世界大戦の兵器として全国で製造。紙指定地は埼玉、石川、岐阜、鳥取、愛媛、高知、福岡。「ふ号兵器」開発兵器はいろは順で命名。気球は直径10m。和紙と蒟蒻糊で作り、焼夷弾を吊るす。福島勿来、茨城大津から放つ。
81301019	民家と民具「ふるさとの博物館」日本の博物館3	杉本 尚次	講談社	19810830	愛媛	紙漉き道具の紹介：川崎市立日本民家園、日本民家集落博物館、高山市立飛騨民俗村、国立民族学博物館(p1愛媛県宇摩地方)。四国民家博物館(p129河野家、愛媛)
81301020	飛州志	長谷川 忠崇		17450000	近世 岐阜	ci2617：1745年が元本。以下復刊。明治42年(住広造発行)昭和44年(岐阜県郷土資料刊行会)、平成13年(岐阜新聞社)：p45巻第三：物産部：p50楮並び造紙名品：飛騨産紙を記載「本土に於て楮を作ること一般ならず多く山方の村里にあり造紙は他州に出さずにあらず国用足れるのみ」。無雁紙(むかり)不端切紙(はしきらず)大切紙、小切紙、丈長紙、杉原紙：吉城郡小島郷小鷹利。丈高紙：同上、高原郡。益田紙、竹原紙：益田郡中。高山紙：大野郡。
81301020	飛州志	長谷川忠崇	岐阜新聞社	20020904	近世、岐阜	1745年が元本。以下復刊。明治42年(住広造発行)昭和44年(岐阜県郷土資料刊行会)、平成13年(岐阜新聞社)：p45巻第三：物産部：p50楮並び造紙名品：飛騨産紙を記載「本土に於て楮を作ること一般ならず多く山方の村里にあり造紙は他州に出さずにあらず国用足れるのみ」。無雁紙(むかり)不端切紙(はしきらず)大切紙、小切紙、丈長紙、杉原紙：吉城郡小島郷小鷹利。丈高紙：同上、高原郡。益田紙、竹原紙：益田郡中。高山紙：大野郡。
81301021	紙すき技術の様態：季刊人類学10巻2号	栗田 和明	講談社	19790531	京都	黒谷
81301022	防長歴史探訪3	清水 唯男	山口銀行	19940331	山口	山口市、防府市、小郡町、秋穂町、阿東町、徳地町を紹介。p210国書にも用いられた紙(徳地紙)能美氏の御用紙、請紙の半紙が挙がる。徳地請紙は1665年。山代は1632年。1680軒(安政1年)。現在島地の千々松、山内。
81301023	日本の無形文化財(1)	文化庁 寿岳 文章	第一法規出版	19760905	概論	1巻(工芸技術)2巻(芸能)p233手漉和紙(寿岳文章)：楮紙として、美濃、越前、岩野市兵衛の奉書、石州半紙、白石、小国、土佐典具帖紙。雁皮紙として鳥の子、安部栄四郎の民芸。「文化遺産の継承者である自覚。連絡を密にして技術の切磋琢磨。拠点作り。地域の温存。時代の要請。量より質」を挙げた。その他として、陶芸、染織、漆工、金工、刀剣、木竹細工、人形、七宝が挙がる。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301024	手すきの保田紙:田奈部豆本12	堀江 茂一	吉田弥左衛門	19821103	和歌山	吉田弥左衛門、田奈部豆本12。90/200.用紙は津本晴乃、西浦おつた。有田郡清水町。作業唄。顕彰碑:笠松正永(左太夫)、昭和2年建立。実家は図。保田紙は60枚が一帖。
81301025	錦繡の秋山を歩く。武庫川溪谷 / サライ241		小学館	19990916	名塩	サライ、11巻、241号:p118武庫川溪谷。福知山線の開線は、明治32年。新線切り替えは昭和61年。廃線跡がハイキングコースに。武田尾温泉は、寛永18年(1641)に豊臣方の落ち武者、武田尾直蔵が猿に導かれて発見。大峰山(552m)。亦楽山荘(笹部新太郎)。水上勉「桜守」。浄橋寺を紹介。
81301026	遍路:田奈部豆本23集	森 白象 吉田 弥左衛門	多屋孫書店	19850707	和歌山 俳句	豆本。濱田の挿画高野紙:「経本となるうれしさに紙を漉く」「夏山に沈みて高野紙を漉く」「まんじゅしゃげさかりの頃も紙を漉く」「信心を支へに高野紙を漉く」「やや黒く漉き上げりたる高野紙」「本山に納めるだけの紙を漉く」中瀬喜陽が解説。200部限定。
81301027	伊勢型紙の歴史	中田 四郎	伊勢型紙の歴史刊行会	19701210	三重	
81301028	中国製紙技術史	蕃 吉星	平凡社	19801120	海外、製法、歴史	
81301029	和紙の道しるべ	町田 誠之	淡交社	20000402	歴史、化学	1)和紙の発展。2)西欧での機械生産の発展。3)和紙の特性を科学的に解説。炭水化物の化学。4)手漉き和紙の製造と特質。5)ねりの作用と役割。6)雁皮繊維の役割。7)和紙と自然。和紙の発展の歴史、文化を化学的な手法で解説した。
81301030	和紙	加藤 晴治	産業図書	19581001	名塩 産地 製法	基本文献。技術は明治以降の革新も踏まえ記載されデータも豊富。各論も秀逸。p286紙祖:1400年代、蓮如により普通の手漉き伝来し、1600年代弥右衛門により泥入りが発明とする。折衷説。男の座り漉きは例がない。越前の鳥子紙は慶長(1596-1614)。間似合は多分の粘土、普通品は古紙混入多い。箔打は少量の粘土。
81301031	和紙(技術篇)	加藤 晴治	東京電機大学出版局	19660331	産地 統計 名塩	p7昭和34年、38年の統計を解析。府県別(名塩31875kg、8780千円、9軒 2500kg、6500千円、5軒、箔打紙のみ)。理化学的性状解析が主。p109名塩紙は湿度による変化が大きい。p172箔打紙の解析:名塩紙は雁皮紙に比べ表面平滑度が高い。緊度、破裂度、抗張力、断裂度が向上。金箔用はさらに藁灰汁に柿渋、卵白を加えたものを塗って使用。地方産紙状況詳しいが、名塩紙はない。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301032	和紙(歴史編)	加藤 晴治	丸善	19650115	名塩産地 製法古代 中世近世 紙種	基本文献。麻紙、楮紙、p73雁皮紙。古代は斐紙。鳥子の名は(1444)修善寺紙で初出、雁皮を利用したかは不明。越前(1596-1614)加藤加門丞が雁皮繊維で抄造。p86名塩(1661-1715):起源を1475年蓮如説を取る。雁皮(1781-1788)、伊豆熱海、柴山栗山、今井半太夫が雁皮の名称で江戸に拡販。粘土混入は大和窪垣内(襖紙)に例あり。時代毎、絵巻、文書、書画、歌集の用紙を探る。
81301033	越前手漉和紙銘鑑	神門精一郎	北陸通信社	19750705	福井 見本	五箇郷の案内書:和紙の里会館、一の鳥居、福井県和紙工業協同組合、大滝神社、岡太神社、不老(おいず)神社、越前の里郷土資料館、豪撰寺、花きょう公園(継体天皇、薄墨桜)、祭り。標本紙57枚とその解説。
81301034	日本製紙論	吉井 源太		18980328	製法高知 近代	工程、原料図、製紙工程改良の先駆けの書(関159) 2002、1023 製紙法(原料の鑑査、煮熟、晒、手漉き法、透かし入れ、圧搾法、乾燥、選別、切断)。製紙用機具、供用品(ノリ、米糊、白土、染料など)各紙、紙料の図の説明からなる。
81301035	阿波の手漉和紙	宇山清人		19800000	徳島	
81301036	和紙手漉法	中島 今吉		19460000	製法	原料、処理、製法の本格記載
81301037	美濃紙:その歴史と展開	沢村 守	同和製紙(株) 木耳社	19831103	岐阜	基本文献。古代美濃紙と渡来系氏族(原島)古代における紙の流通と生産(浅香)中世における紙の生産と流通(網野)近世の美濃紙と飛騨紙(久米)近代における美濃紙の展開(市原)近代における美濃紙の流通(澤村)昔の紙郷今の紙郷(笠井)紙郷の生活(内木)美濃紙の製法と道具(内木)年表、名簿ほか
81301037	古代美濃紙と渡来系氏族:美濃紙	原島 礼二	同和製紙(株) 木耳社	19831103	岐阜	cf1422:
81301037	古代における紙の流通と生産:美濃紙	浅香 年木	同和製紙(株) 木耳社	19831103	岐阜	cf1422:
81301037	中世における紙の生産と流通:美濃紙	網野 善彦	同和製紙(株) 木耳社	19831103	岐阜	cf1422:
81301037	近世の美濃紙と飛騨紙:美濃紙	久米 康生	同和製紙(株) 木耳社	19831103	岐阜	cf1422:
81301037	近代における美濃紙の展開:美濃紙	市原 三三	同和製紙(株) 木耳社	19831103	岐阜	cf1422:

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301037	近代における美濃紙の流通:美濃紙	澤村 守	同和製紙 (株) 木耳社	19831103	岐阜	cf1422:
81301037	昔の紙郷今の紙郷:美濃紙	笠井 文保	同和製紙 (株) 木耳社	19831103	岐阜	cf1422:
81301037	紙郷の生活:美濃紙	内木 茂	同和製紙 (株) 木耳社	19831103	岐阜	cf1422:
81301037	美濃紙の製法と道具:美濃紙	内木 茂	同和製紙 (株) 木耳社	19831103	岐阜	cf1422:
81301038	和紙づくりの歴史と技法	久米 康生	岩田書院	20080300	歴史	基本文献:これまでの和紙の技法(流漉き、ねり)について中国、韓国の技法を比較、再検証。和紙の技法は日本独自で開発されたものでないと。絮(じょ)(麻糸を水に漬けてほぐす前の状態)と解釈。漉紙法(ぎょうし:布簀、上から注ぐ)中国、ブータン、インド、タイで存在。そのまま干す。紙葉:タブ、ナシカズラ、ハルニレなど利用。韓国:下桁に簀を乗せただけ、縦型で縦漉き、紙料は流れ出る。
81301039	手漉和紙考	成田 潔英	丸善	19440211	近代	「日本製紙論」(吉井源太) 0784「美濃紙抄製図説」(岐阜県勤業課) 0046「紙の床」(牧瀬三郎) 0908「紙の腰」(牧瀬三郎)「パークスの日本紙調査報告」 0715「貿易備考:明治中葉期に於ける和紙の産地と品種」(大蔵省記録局) 0749「奥州白石産紙布織」(片岡信光)
81301040	伊予の手漉和紙	村上 節太郎	東雲書店	19860712	愛媛 近代 近世 統計 見本	愛媛の和紙の基本文献。各地の文献、資料、明治期以降は統計資料を基に詳細に産地解説。宇和(野村)地方:泉貨紙の由来と藩施策。大洲:岡崎治郎左衛門が漉手。越前の宗昌禅定門。藩の施策。松山。周桑(国安)。西条。宇摩:歴史は浅い慶応期から川之江(薦田)三島(石川、住)が製造、仕入れ、販売に活躍。特装本、見本紙付き。
81301041	防長造紙史研究	御園生 翁甫	防長紙同業組合	19411230	山口 歴史 近代	マツノ書店から復刻版(19741201)。防長紙の基本的文献。萩藩(山代、徳地)長府藩、徳山藩(須萬、五箇)清末藩、岩国藩の沿革、専売制、仕法を詳述。明治以降についても岩国、徳地、豊浦、美祢、阿武について記載。
81301042	日本紙業発達史	西島 東洲	紙業出版社	19421125	名塩 近代 産地 近世	p113名塩紙:鳥子の用途は箋として、大阪、本願寺、雑紙として京都へ。尼崎藩への嘆願書、本願寺との文書に触れる。p153徳川中世以後の地方産紙:名塩で間似合、葉袋、紺、五色紙。p155東西の紙問屋:大阪35軒江戸33軒記載。p183諸国紙名録(469で分類)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301043	手漉き和紙の里やまがた	菊池 和博	東北出版企画	20080518	山形	長沢:大場秀子。月山:故飯野博雄、三浦一之、澤里葉子。深沢:横沢正、長岡雄一、今利一郎(水切り板の利用)、高橋恵。高松:土屋一郎(スキの簀の自作、漉き舟は石製、漆漉し用麻布紙は今は漉かず。息子が継承。庄内地区は紙漉き里は皆無に近い。上方から酒田への流通のためか。山形県勧業年報により統計を記載。
81301044	和紙文化辞典	久米 康生	わがみ堂	19951001	目録	用語辞典、紙郷年代比較、和紙寸法、和紙年表、文献からなる。
81301045	和紙多彩な用と美	久米 康生	玉川大学出版部	19980325	名塩 産地 明治 海外	p19「異邦珍事誌」(ケンペル)製紙法紹介。p82「大日本諸国名産紙集」(シーボルト)楮、三椏、川ウツキなど命名。p99「日本紙調査報告」(パークス)p120ウィーン万国博覧会出展p160パピエコレクションp161デンマークp183ライブチヒなど紙目録が掲載。名塩紙もある。明治期の新展開として泰平紙、楽水紙、金革紙、都好紙などがあがる。海外交流を解説。
81301046	日本紙業綜覧	成田 潔英	王子製紙(株)販売部調査課	19370920	産地 名塩 近代	製紙事業の百科事典。統計が完備(和紙の生産額、M38-S11)洋紙が主。和紙関係は第1編第1章紙の意義沿革種類、第5章和紙製造業(越前、石見、美濃、伊予、土佐、溝口が例示される。手漉和紙の生産統計、紙種など。名塩紙は間似合が記載(p133)第6章朝鮮紙と台湾紙、第5編文献。
81301047	和紙の見わけ方	久米 康生	東京美術	20031130	名塩 産地	各地の和紙についての特徴を要領よく記載。黒谷、近江雁皮、神札、高野、吉野、宇陀、美栖、名塩(鳥子、間似合紙)杉原、因州画仙紙、出雲、石州、備中鳥子、箔合、阿波藍染、土佐典具帖、愛媛改良半紙、伊予奉書、檀紙、泉貨、八女、名尾、宮地、美々津、蒲生、芭蕉、本美濃、山中、小原、駿河、西島、内山、加賀雁皮、越前奉書、若狭、五箇山、越中、小出、小国、門出、細川、西の内、烏山、桐生、上川崎、深山、白石、十字
81301048	製紙業の100年	(財)日本経済史研究所	王子製紙、十条製紙、本州製紙	19730601	歴史、	「抄紙会社」が王子村に発足して100年の記念出版。p2紙と文化(宮本常一 1901)、p77製紙業100年のあゆみ(宮本又次、由井常彦)明治時代、大正時代、戦前時代。戦後再建期、高度成長期と沿革、p243製紙業をになった人々(とが井義雄)明治7年から、浅野家有恒社、蓬来社、抄紙会社、三田製紙所、梅津製紙所、紙幣寮抄紙局、シャルンペーパーメーカーンゲカンパニーが開業。
81301049	紙、7人の提言	日本、紙アカデミー編	株思文閣出版	19920701	随筆	「紙・アカデミー講座」の講話集。紙と文明(吉田光邦)紙が教えてくれること(岡村誠三)文化財修復と和紙の特性(増田勝彦)和紙の抱える問題点(柳端真)原料、紙漉き道具づくり、製紙家の三つの切り口で論述。製紙術の起源について(蕃吉星)蔡倫以前の機嫌を物的証拠とともに検証。芸術と紙(乾由明)日本紙を考え直す(町田誠之)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301050	和紙文化誌	久米 康生	毎日コミュニケーション社	19901005	産地 名塩 歴史	和紙文化の歴史及び各産地毎にその沿革、紙郷の様子など総合的によく解説されている。文献目録も重宝。p247、兵庫県、杉原紙と名塩の鳥の子。取引市場初出は1638年。「忘れられた日本紙」「和漢三才図絵」「新撰紙鑑」を引用。
81301051	図版で見る 摂津・名塩の和紙	亥野 彊	亥野 彊	20020730	名塩	名塩紙の由来、和紙について概説。鑑札、紙漉き風景、文書、道具など。とりわけ、藩札、私札についての図版多い。文書類では、麻田藩、三田藩、尼崎藩、足守藩、辰馬店、明治政府への嘆願書など弓場五郎兵衛関係文書を収録。
81301052	図録和紙の文化史年表	思文閣編	思文閣出版	19770501	目録	和紙の文化史年表(仏教文化にはぐまれて、王朝文化をささえて、武家社会の中で、町人とともに、洋紙と競って、から構成)図、写真で構成。
81301053	西宮市名塩の民俗:日本民俗学実習調査報告書2	神戸女子大学文学部史学科	神戸女子大学文学部史学科	20000315	名塩 兵庫	田中久夫教授指導の下、学生が調査。史的概観(文献、口碑。藤原仲光の伝承。蓮如。製紙業の由来)社会の民俗。生業の民俗(農業、紙漉き、交通)時間の民俗(出産、成育、婚姻、葬送、墓制、年中行事)寺社の民俗(教行寺、源照寺、教連寺、名塩八幡神社)ことばの民俗、暮らしの民俗
81301054	名塩の方言つづり	名塩探史会		19980400	名塩、民俗	p88漉き屋用語:工程/芥だし、板洗い、おし、釜焚き、紙そろえ、紙掃き、雁皮ひき、雁皮みしり、くさふみ、ちょんちょん(みずよりで見落とした不純物)塵選り、土こね、端切り、端選り、みずより。用具/かいかい、きぬ、こすり布、渋かい、算盤など
81301055	箔打紙の研究	柳橋 真	金沢美術工芸大学美術工芸研究所	19960331	名塩 見本 石川	箔打紙の役割、名塩の聞き書き:馬場氏との対話、明治以降に詳しい。標本紙の説明。標本紙の分析。明治41;40-50軒。内箔打紙は2軒。雁皮は暖地植物。北限、小松。東限。小田原。標本紙の説明。標本紙の分析。名塩の組成について言及(雁皮/土=1/1)
81301056	名塩紙(中山)	中山 秀静	和紙研究会	19470101	名塩 紙種 見本	基本文献。起源、種目、取引、抄造、機構、結びからなる。紙の伝搬;越前から慶長一元和年間(1895-1623)とす。泥漉き入れ期;寛文一元禄(1661-1703)を推定。鳥子/土混和率小で上質、間似合/混和率大で大幅(3尺2寸が普通)葉袋、湊、松葉紙の経緯に触れる。取引紙屋名(大阪、京都)
81301057	美濃紙の伝統	久米 康生	美濃市役所	19951028	岐阜 見本 歴史	古代から現代まで美濃紙の沿革を文献と記録を交え紹介。紙の品種、流通にも触れる。垂井に国府細工所、揖斐川、根尾川流域。武芸谷(中世)牧谷(近世)太田、羽場が2人紙祖。上有知の舟運で繁栄。統計、美濃製紙戸数M14:4192戸。年表、見本紙(本美濃紙、薄美濃など10種)添付。「岐阜県下造紙之説」「美濃紙抄製図説」掲載。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301058	近江雁皮紙	久米 康生	紫紅社	19830218	滋賀 見本 名塩	近江の紙史:石部の地。青花紙、小山鳥の子。雁皮紙の系譜。桐生の紙郷:草津川、江戸末期から明治末期から金糸、銀糸を加工。法香寺の僧が越前から佐治兵衛の女伝習。名塩からの土入れ技法を導入。成子家の紙漉き:佐治兵衛の分家、佐二右衛門、午次郎、佐一郎、哲郎と。流し漉き。見本は22種。
81301059	近江鳥の子	高橋 正隆	文華堂	19710717	滋賀 歴史 製造 見本	p1-64まで。桐生、成子佐一郎。雁皮紙の抄造:ネリ、紙漉き、カミクサ、流し漉きと溜め漉きなど。桐生には区有林がなかった。p10 / 嘉永7年、大正年間に名塩から職人訪問の記録。泥入り、内曇の秘術伝授。明治7年の紙残る。佐一郎は信楽の土を利用。流し漉き。漉き法p52
81301060	無形文化財記録工芸技術編3 / 手漉和紙	文化庁	第一法規出版	19710331	福井 岐阜 島根 名塩 見本 産地	沿革、材料、工程、流通、試験結果、用語寸法等詳細。基本文献。越前奉書:那須楮、米糊から白土へ、簾のヒゴは3cm編上げ、大奉書は25本、小は29本。マークは渋紙。前後20回、5回繰返し。溜め。岩野市衛兵(8代目)家系図。本美濃紙:那須楮、簾は3cm編上げ、33本。よぎ跡8本。前後7回左右7回前後7回または「とも揺り」。4石州半紙:楮黒皮、ヒゴ3cm、30-33本。「数子」3回汲む。調子は掛け揺り、突き揺り、とも揺り、横揺りを総合。名塩は箔打紙を数行で紹介。
81301061	紙すき五十年	安部 栄四郎	東峰出版	19631215	島根 見本	0202の限定本。見本は多い。製本良好。
81301062	和紙 風土・歴史・技法	柳橋 真	講談社	19810101	産地 名塩 製法 歴史	基本文献。技法比較が秀逸。p133 / 名塩紙の起源に中世説をとる。1)漉き法が江戸以前から同じで古風。石川川北も古い製法2)摂津は古くから雁皮紙漉き中心地。但し、中世は越前鳥子や内曇盛んだが摂津の紙名は見えない。3)越前の雁皮紙は粉入りない。4)泥入り手法は摂津・和泉の雁皮紙手法? cf 2951日本武術工芸に連載
81301063	絵絹から画紙へ 岩野平三郎伝	高橋 正隆	文華堂書店	19760819	福井 名塩 見本 産地	限定版(254/350) 思い出のままを書き置く:p34名塩の紙(土は酸性がない。土6分でも漉ける。悲話の紹介。宝塚から徒歩で訪問、男が漉く。五箇で雲紙を漉けるのは1-2軒。五箇側は隠蔽?)まぼろしの紙。麻紙復活。幻の紙再現。
81301064	越前紙漉資料集		福井県和紙工業協同組合	19930201	福井	越前紙漉図説(1872年、0029)と平成の越前紙漉からなる。後者は紙の種類(紙の性格、用途)、工程毎に製造技術技法の内容と移り変り記す。また、写真も豊富に配する。特に技法の比較は面白い。
81301065	和紙と暮らし、1号	前川 新一	和紙文化研究会	19900910	福井、島根、見本	1)安部栄四郎さんの思い出。2)私の和紙工芸。3)出雲和紙の里紀行。4)絵になる和紙の里

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301066	和紙と暮らし、2号	前川 新一	和紙文化研究会	19901110	福井、長野、名塩、産地、見本	1)紙漉きのうた:腰が痛いがこれだけ漉かにか...。2)信濃和紙の里 飯山、立岩
81301067	和紙と暮らし、3号	前川 新一	和紙文化研究会	19910313	福井、奈良、見本	1)凧、2)手仕事、3)吉野和紙の里紀行
81301068	和紙と暮らし、4号	前川 新一	和紙文化研究会	19910314	福井、石川、農業	1)雁皮の人工栽培、2)幻の紙 八尾鳥の子、3)終戦前後の越前和紙業
81301069	和紙と暮らし、5号	前川 新一	和紙文化研究会	19910815	福井、滋賀、石川	1)瑞雪と近江の紙漉き:紙漉き伝搬2)サラゴについて、3)越中八尾、
81301070	和紙と暮らし、6号	前川 新一	和紙文化研究会	19911123	福井、青森、石川	1)サラゴについて。2)熊谷吉兵衛と津軽の紙漉き、3)和紙漉き三代。4)加賀二侯の紙漉き
81301071	和紙と暮らし、7号	前川 新一	和紙文化研究会	19920228	福井、名塩	1)東山弥右衛門と名塩の紙漉き。2)サラゴについて。3)切り絵、ちぎり絵
81301072	和紙と暮らし、8号	前川 新一	和紙文化研究会	19920525	福井、石川	1)サラゴについて、2)越前と加賀の紙漉き。3)越前五箇と紙幣寮の紙漉き
81301073	和紙と暮らし、9号	前川 新一	和紙文化研究会	19930930	福井、海外、農業	1)フィリピン共和国における日本コウゾの試験栽培、2)和紙と暮らし
81301074	和紙と暮らし、10号	前川 新一	和紙文化研究会	19921130	福井、	1)和紙と日本文化
81301075	和紙と暮らし、11号	前川 新一	和紙文化研究会	19930228	福井、奈良、石川、新潟、製法、紙種	1)内曇。2)和紙の原料を語る。3)紙漉き唄と歌。4)天理教紙漉場、5)加越和紙の里紀行
81301076	和紙と暮らし、12号	前川 新一	和紙文化研究会	19930628	福井、福岡、紙種	1)飛雲紙、2)日源と九州地方の紙漉き、3)華やぐ越前和紙
81301077	和紙と暮らし、13号	前川 新一	和紙文化研究会	19930000	福井、農業	1)傘と和紙。2)雁皮の栽培に関する研究抄録

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301078	和紙と暮らし、14号	前川 新一	和紙文化研究会	19940123	福井、農業	1)反故の利用。2)雁皮の栽培に関する研究抄録3)紙を漉く
81301079	和紙と暮らし、15号	前川 新一	和紙文化研究会	19940528	福井、民俗	暮らしの中に和紙を生かす
81301080	和紙と暮らし、16号	前川 新一	和紙文化研究会	19941210	福井、愛媛	1)雁皮の栽培に関する研究抄録。2)善之進と伊予の紙漉き
81301081	和紙と暮らし、17号	前川 新一	和紙文化研究会	19950331	福井、中世、岐阜	1)平安時代の紙の贈答。2)美濃牧谷紀行
81301082	和紙と暮らし、18号	前川 新一	和紙文化研究会	19951230	福井、岩手、栃木	1)八朔の贈物の紙。2)河合嘉左衛門と成島の紙漉き、3)雁皮の栽培に関する研究抄録、4)那須十郎と下野の紙漉き、5)紙漉き村の復活を願う
81301083	和紙と暮らし、19号	前川 新一	和紙文化研究会	19961023	福井、東京、神奈川	1)筆を進化させた紙、2)鷗外の見た音羽の紙漉き場、3)紙を漉く、4)海底(おぞこ)紙の里
81301084	和紙と暮らし:20号	前川 新一	和紙文化同行会	19970314	福井、近代	1)紙の節約(春名好重)2)加藤覚太郎の生涯と功績、越前五箇製紙業近代化の先駆者。
81301085	和紙と暮らし:21号	前川 新一	和紙文化同行会	19980426	福井、近代	1)紙の節約(春名好重)2)加藤覚太郎の生涯と功績、越前五箇製紙業近代化の先駆者。
81301086	和紙と暮らし:22号	前川 新一	和紙文化同行会	19980804	福井、鳥取、近代	1)漉返の写経(春名好重)2)加藤覚太郎の生涯と功績3)因幡国の紙漉き4)五箇八寸について
81301087	加藤覚太郎の生涯と功績 / 和紙と暮らし23号	前川 新一	和紙文化同行会	19981218	福井、明治	p1明治25年岡本製紙会社設立、その後第4回関西府県連合共進会、内国勸業博覧会に出典。前者では審査員も務める。「製紙振興論」を著作。明治40年頃から製紙業不振。
81301087	大安寺村の紙漉き / 和紙と暮らし23号	前川 新一	和紙文化同行会	19981218	福井、近世	p28福井藩、大安寺村(檜原、四十谷、田の谷)創始は1575年まで遡ることができる。日野川。幕末、歌人曙覧の地。
81301088	和紙と暮らし24号	前川新一	和紙文化同好会	19990233		

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301089	和紙と暮らし25号	前川新一	和紙文化同好会	19990713	福井、近代	「混ぜるということ」町田誠之。「西野弥平次の生涯と功績」信洋社設立(1885年)光沢紙生産するが3年後解散。博覧会での報奨例。越前製紙案内(明治42年)同(大正7年)資料添付。
81301090	和紙と暮らし:26号	前川 新一	和紙文化同行会	19991017	宮城	1)先人の英知(福島久幸)2)みつまたの花咲く家に(安部豊枝)3)上西藤左衛門と奥州白石の紙漉き(前川)
81301091	和紙と暮らし:27号	前川 新一	和紙文化同行会	20000314	福井、島根、高知	1)伝統の紙漉きを図絵で伝える(前川):国東治兵衛。吉井源太など技術伝達の手段としての図絵を紹介2)みつまたの花咲く家に(安部豊枝)3)江戸時代越前国敦賀の紙漉図(前川)
81301092	和紙と暮らし:28号	前川 新一	和紙文化同行会	20000626	福井、京都	1)三条西実隆と紙(春名好重)2)高野治郎・豊・二三の生涯と功績
81301093	和紙と暮らし:29号	前川 新一	和紙文化同行会	20001004	近世 各地	1)和紙文化史一年一事、近現代(1)1853年守貞漫稿、54年丸岡藩札、55年活人形、56年富山藩紙会所、57年駿河安倍紙生産茶に次ぐ。58年江戸大火紙施し。59年桑紙普及。60年オールコック熱海雁皮紙。61年加越能名物産物番付。62年宮地木村家上下受領。63年小浜藩楮仲間。64年五箇漉立休業。65年蚕卵紙輸出開始。66年川之江薦田篤平奨励。67年成島御用紙開始。68年五箇太政官札下命。
81301094	和紙文化研究第二号	和紙文化研究編集委員会	和紙文化研究会	19941203	岐阜 高知	極薄でしかもねばり強い和紙(久米康生)「梶原紙ごう記」への追考(杉原義雄)和紙製法(後藤兼一)土佐路往来「和紙・紙布・太布」(杉原勇三)
81301095	和紙文化研究第三号	和紙文化研究編集委員会	和紙文化研究会	19951203	海外 宮城 産地	中国製紙技術の先進性(久米康生)三椏の研究(穴倉佐敏)プータン王国の手漉き紙(ペロー)全国の手漉和紙製造所の現況(大滝国義)和紙の研究方法与復元紙について(吉野敏武)みちのく紙を語る(遠藤忠雄)みちのくの和紙をたずねて
81301096	和紙文化研究第四号	和紙文化研究編集委員会	和紙文化研究会	19961207	海外 静岡 広島 産地	和紙の多様さとゆたかな個性(久米康生)和紙の表面を削る(高城弘一)雁皮の研究(穴倉佐敏)フィリピンで触れた植物の文化(ペロー)伏流水の源を訪ねる(角保恵喜)だるまは語る(田村正)肉眼観察による素材研究・麻紙(吉野敏武)樹火記念紙博物館を訪ねて
81301097	和紙文化研究第五号	和紙文化研究編集委員会	和紙文化研究会	19971206	山口 富山	捻り揉む和紙とその製品(久米康生)紙衣小考(木村有見)和紙コレクションのアイデンティフィケーション(ペロー)雲紙の研究(高城弘一)伏流水の源を訪ねる2(角保恵喜)楮の研究(穴倉佐敏)越中和紙を見る。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301098	和紙文化研究第六号	和紙文化 研究編集 委員会	和紙文化 研究会	19981205	岐阜 新潟 栃木	明治期の和紙工芸(久米康生)明治後期加工和紙の技術を知る(ペ ロー)紙布小考(木村有見)麻の研究(穴倉佐敏)経巻紙背面における磨 きの考察(吉野敏武)岐阜県紙業試験場「業務報告」を読む(大滝国義) 「だるま」は語る(田村正)之の越後と紙
81301099	和紙文化研究第八号	和紙文化 研究編集 委員会	和紙文化 研究会	20001125	岩手 海外	中世武家社会の紙(久米康生)談紙・引合・杉原考(上島有)中世のおけ る書籍の装丁と料紙(吉野敏武)ワラ紙と茎幹繊維の研究(穴倉佐敏)成 島和紙と高松手漉和紙(木村有見)紙の名は(田村正)化粧紙の異称(関 野勉)韓国の紙を訪ねる
81301100	和紙文化研究第九号	和紙文化 研究編集 委員会	和紙文化 研究会	20011110	宮城 奈良 山梨	近世町人社会の紙(久米康生)傘紙に活用された高野紙の伝統技術(草 野敦子)楮の研究2(穴倉佐敏)渋紙座布団(木村有見)大壺紙の歴史 (関野勉)中世の料紙と紙の表裏(上島有)泉貨紙、その歴史ロマン(角 保恵喜)市川大門・西島の多彩な紙漉き(北村春香)
81301101	和紙文化研究第十号	和紙文化 研究編集 委員会	和紙文化 研究会	20021102	静岡 島根 名塩	近代和紙業界の歩み:p9江戸の和紙では名塩間似合紙は大判と(久米 康生)手漉きから機械すきへ(大江礼三郎)和紙と洋紙の接点(森本正 和)「雁皮紙」の暖簾と紙商(大柳久栄)木綿と木綿紙の研究(穴倉佐敏) 閨紙の名称色々(関野勉)和紙(新井悦美)黄蜀葵について(田村正)「揉 みから紙展」京都展に参加して(米田美穂)石州半紙水澄みの里を訪ね る(小井川元慈)
81301102	和紙文化研究第十一号	和紙文化 研究編集 委員会	和紙文化 研究会	20021122	島根 栃木 茨城	手漉和紙づくりの新しい流れ(久米康生)木材パルプの研究(穴倉佐敏) 紙登場小説の紹介(関野勉)石見紙布の現在(北村春香)古典籍に見る 「書写と装丁と料紙」(吉野敏武)那須楮の里の和紙を訪ねて(奈良橋優)
81301103	和紙文化研究第十二号	和紙文化 研究編集 委員会	和紙文化 研究会	200412	海外 石川	東洋手すき紙の多彩な伝統(久米康生)韓紙の歴史(朴)軍用紙の規格 (関野勉)紙のシワを観る(木村有見)金沢・能登輪島(吉田まりの)
81301103	東洋手すき紙の多彩な伝統:和紙文化 研究第十二号	久米 康生	和紙文化 研究会	200412	海外	広く東洋に視野を広げ、流漉き、ネリの源流を考察する。そのいずれも が、起源を中国にありと。工程:延喜式では、煮、折、截、舂、成紙。截は 第一工程と。中国に湿紙間に布をはさむことはない。原料:ぼろ類の発酵 精錬法「生料法」はインドで残る。樹皮で改良。箕具と抄紙法の変化:漉 (ぎょう、そそぐ)紙法から大判、薄紙などへ対応。紙葉(ねり)の活用。書 写用に砧打ち(熟紙)
81301103	韓紙の歴史:和紙文化研究第十二号	朴	和紙文化 研究会	200412	海外(韓国)	
81301103	軍用紙の規格:和紙文化研究第十二号	関野 勉	和紙文化 研究会	200412	海外 石川	

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301103	紙のシワを観る:和紙文化研究第十二号	木村有見	和紙文化研究会	200412		
81301103	金沢・能登輪島:和紙文化研究第十二号	吉田 まりの	和紙文化研究会	200412	石川	
81301104	和紙文化研究第13号	和紙文化研究編集委員会	和紙文化研究会	20051126		
81301105	和紙文化研究第14号	和紙文化研究編集委員会	和紙文化研究会	20061210		
81301106	和紙文化研究第15号	和紙文化研究編集委員会	和紙文化研究会	20071209		
81301107	和紙文化研究第16号	和紙文化研究編集委員会	和紙文化研究会	20081130		
81301108	和紙文化研究第17号	和紙文化研究編集委員会	和紙文化研究会	20091122		
81301109	和紙文化研究第18号	和紙文化研究編集委員会	和紙文化研究会	20101123		
81301110	和紙文化研究第19号	和紙文化研究編集委員会	和紙文化研究会	20111211		
81301111	和紙文化研究第20号	和紙文化研究編集委員会	和紙文化研究会	20121125		
81301112	百万塔140号	紙の博物館	紙の博物館	20111031		

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301113	百万塔141号	紙の博物館	紙の博物館	20120229		
81301114	百万塔142号	紙の博物館	紙の博物館	20120630		
81301115	百万塔143号	紙の博物館	紙の博物館	20120901		
81301116	名塩紀行、和紙研究 / 第1号	寿岳 文章		19390110	名塩 近代 紀行	昭和12年2月26日の訪問記。120戸のうち、大部分が間合。質が悪いのは、反故(手紙、葉書、通帳)を用いるため。馬場孝良、野条啓行氏は上質の雁皮紙を漉く。馬場は大阪半切「水茎」、野条は「雲紙」を復興。「紙譜」「諸国名紙鏡」「諸国紙名録」の種目掲載。重本
81301116	名塩産紙について、和紙研究1号	中山 秀静		19390110	名塩 近代	基本文献。1現況 2紙祖 3往古の名塩紙 4往古の需要 5結びからなるが、「名塩紙」(123)と同内容。覚前、馬場は越前の地名と推察。また、教行寺の姻戚関係が越中古国府や能登波佐谷にあり交流を基に越前、江戸初期伝搬説を展開。昭和12の統計:500戸、2500人
81301116	吉野紙雑考 / 和紙研究1号	禿氏 裕祥		19390110	和歌山、奈良、近代	和紙研究1号、
81301116	和紙研究1号	和紙研究会	和紙研究会	19390110	名塩、奈良、兵庫	和紙覚書(新村出)名塩産紙について(中山)橘香果の紙譜(大沢)染紙紀談(上村)吉野紙雑考(禿氏)たむきの語源に就いて(大沢)名塩紀行(寿岳)
81301117	和紙研究2号	和紙研究会	和紙研究会	19390428	福井 和歌山	和紙覚書(新村出)越前五箇の御留紙等製造記録(牧野)五箇製紙立地考(小葉田)麻紙に就いて(大沢)染紙紀談(上村)腰張用松葉紙(禿氏)紀伊産紙考(寿岳)
81301118	和紙研究3号	和紙研究会	和紙研究会	19390810	福井、和歌山	和紙覚書(新村出)図書形態と用紙の品種(田中)越前五箇の御留紙等製造記録(牧野)古染紙の化学的試験につきて(上村)雁皮斐(大沢)紀伊産紙考(寿岳)
81301119	和紙研究4号	和紙研究会	和紙研究会	19391226	和歌山 福井	和紙覚書(新村出)漉き返しの技術と実用(禿氏)染紙紀談(上村)紀伊産紙考(寿岳)「源氏物語」に見えている紙(寿岳)茶?紙に関する研究(大沢)麻紙の復活と五箇漉場を訪ねた書家達
81301120	和紙研究5号	和紙研究会	和紙研究会	19400410	京都	和紙覚書(新村出)紙衣考(大沢)「枕草子」に見えている紙(寿岳)茶?紙に関する研究(大沢)平安なかごころの文の様式と料紙(吉川)染紙紀談(上村)下京の地紙漉(寿岳)

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301121	和紙研究6号	和紙研究会	和紙研究会	19400710	三重	和紙覚書(新村出)蔵紙取引と京都への移入(寺尾)染紙紀談(上村)紙の薬(大沢)「宇津保物語」に見えている紙(寿岳)白子の紺形(大沢)
81301122	和紙研究7号	和紙研究会	和紙研究会	19401103	島根 兵庫	杉原紙源流(新村)島根県高津川上流地域に於ける和紙生産の歴史地理的考察(吉野)墨流し模様(禿氏)「紅梅の紙」につきて(上村)平安なかごの文の様式と料紙(吉川)杉原谷紀行(寿岳)
81301123	和紙研究8号	和紙研究会	和紙研究会	19410331	島根、鳥取、宮崎	紙類の用途と製造法の変遷(禿氏)宣紙と?に就いて(大沢)「栄華物語」「御堂関白記」に見えている紙(寿岳)島根県高津川上流地域に於ける和紙生産の歴史地理的考察(吉野)支那製紙に関する記録(谷)日向の紙(寿岳)因州青谷の三椏紙(上村)
81301124	和紙研究9号	和紙研究会	和紙研究会	19410915	奈良	和紙の創制(寿岳)正倉院御物特別展覧を拝観して(大沢)染紙紀談(上村)七夕の行事と五色の紙(禿氏)ドイツに於ける紙史研究所(大沢)
81301125	和紙研究10号	和紙研究会	和紙研究会	19420329	京都、岐阜	中世に於ける和紙の贈答(魚澄)蔵紙の取引と京都への移入(寺尾)祭と染紙(上村)美濃に於ける徳川幕府の御用紙(森)檀紙に就いて(大沢)書物の病害とローマの王立研究所(大沢)薬袋紙に就いて(禿氏)
81301126	和紙研究11号	和紙研究会	和紙研究会	19430610	名塩 京都	名塩の染紙(上村)青竹編新撰紙鑑に就いて(大沢)新撰紙鑑の作者(禿氏)絵奉書と千代紙(禿氏)両丹紙澁村紀行抄(寿岳)小野晃嗣氏の早逝を悼む(寿岳)
81301126	名塩の染紙 / 和紙研究11号	上村 六郎	和紙研究会	19430610	名塩、兵庫	昭和16年訪問。染め紙を技術的に考察。1)色間似合:天保は7種(花、浅黄(青)、柿(赤)、鼠、茶、黄、萌黄)。白(天子)黄(卵子)青(五寸)赤(ジャガメ)黒(木炭?)港紙は和泉から。薬袋紙(ヤマモモと弁柄で染めた後、澱粉で塗る)
81301127	和紙研究12号	和紙研究会	和紙研究会	19450125		東??僧侶の紙漉き(角田)椋原紙?記(堀部)セレベスのフヤ(寿岳)徳川時代大垣領の製紙業(森)万国博覧会に出品した和紙(田中)山の紙漉村を訪ねて(上村)羽織仕立の紙衣(飯田)
81301127	徳川時代大垣領の製紙業:和紙研究12号	森 義一	和紙研究会	19450125	岐阜	p37
81301127	万国博覧会に出品した和紙:和紙研究12号	田中 緑紅	和紙研究会	19450125	岐阜	p53
81301127	万国博覧会に出品した和紙:和紙研究12号	田中 緑紅	和紙研究会	19450125		p53

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301127	山の紙漉村を訪ねて:和紙研究12号	上村 六郎	和紙研究会	19450125		p64
81301127	羽織仕立の紙衣:和紙研究12号	飯田 栄助	和紙研究会	19450125		p79
81301128	和紙研究13号	和紙研究会	和紙研究会	19480920	鳥取 富山	和紙の歌など(新村)西鶴と紙(寿岳)雪の紙漉村にて(上村)熊正文氏の「宋時代に於ける紙の特殊用途」(藪田)因州紙から真の日本の紙へ(宇野)第五回図書寮展覧会「紙と装?」出陳本について(大窪)
81301129	和紙研究14号	和紙研究会	和紙研究会	19510120	新潟	越後の小国紙(新村)支那古代の製紙原料(上村)本邦製紙史料としての地誌(寿岳)長麻紙について(禿氏)百万塔陀羅尼に関する研究(大沢)ネリに関する化学的考察(町田)
81301130	和紙研究15号	和紙研究会	和紙研究会	19511220		和紙自讃他讃(新村)百万塔陀羅尼に関する研究(大沢)宝暦明和年代における国産紙生産販売の経過について(岸田)ネリの化学(町田)
81301131	和紙研究16号	和紙研究会	和紙研究会	19791225	概説	和紙研究会の歴史前編(上村六郎)、国産紙と輸入紙(禿氏祐祥)、弘法大師筆「灌頂曆名」の用紙のついて(大沢忍)、リウツギの名前を巡って(町田誠之)、ナイル上流のパピルス(大沢忍)、和紙研究の回顧と展望(寿岳文章)、ドイツ紙史研究所の現況(大沢忍)
81301131	和紙研究総目次:和紙研究16号	和紙研究会	和紙研究会	19791225	目録	第1号から第15号までの目次。
81301132	和紙の里:第31号	渡辺光一	越前和紙を愛する会	20100615	福井 見本	式年祭を特集。越前五箇の紙漉き職方魂(河野徳吉)
81301133	和紙の里:第32号	渡辺光一	越前和紙を愛する会	20110825		
81301134	和紙の里:第33号	渡辺光一	越前和紙を愛する会	20120724		
81301135	美濃の和紙	岐阜市歴史博物館	岐阜市歴史博物館	19870124	岐阜 見本	企画展の図録:製紙図(村瀬秋水、田能村竹田)、歴史:美濃国紙屋は不破郡紙屋明神と?。大矢田紙市は月6回、枝村商人が京に。家康は武儀郡御手洗の彦左衛門に漉き屋を。尾張藩は課税するが積極策はなし。大垣藩は統制し専売制を。岩村藩は重要産物。明治34年同業組合設立。連紙法など機械化進む。典具帖は海外へ。製法、用具など図版多い。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301136	石州半紙見本帳第一号	石州半紙技術者会	石州半紙技術者会	19720000	島根 見本	和装本。製紙工程写真。品質管理規程。年譜：昭和34年保存会発足（清水清勝）。弥九郎桐の伝説：紙に毛を混入し紙の入れ替えを糾弾。火あぶりの刑に。見本：川平好五郎、下岡孫治、川平友太郎、曾我巖、西田義夫、倉井桃太郎、久保田保一、西田正美、長見博、村川巖。
81301137	東西紙漉図絵	製紙博物館	製紙博物館刊行会	19560601	図 産地 海外	日本：紙漉き図の最も古いものは1374-79年「弘法大師行状絵巻」にある。通じて名塩の漉き法と比較する。座り漉き：江戸期までは座って漉く。漉き手：女が多いが男も例外的ではない。簀：大きさは小さいものが多い。
81301138	金唐革紙と擬革紙	久米 康生	紙の博物館	20030300	東京 三重	オランダ渡りの金唐紙、壺屋紙と紙煙草入れ、羊羹紙と竹屋絞り、壁装用の金革紙、万国博での評価、東京の擬革紙づくり、擬革紙の製法、印刷局での改良と山路壁紙製造所、輸出壁紙の衰退、擬革紙のデザインから構成。伊勢の壺屋紙：1984年三島屋（堀木忠太郎）が濫觴。壺屋が伊勢参宮用に煙草要れとして。
81301139	帝国国産和紙標本	山本 義男	土佐紙業新聞社	19250301	産地、見本、近代、兵庫、名塩	大正14年山本義雄編。2府24県288種の見本と紹介。八木商店の広告、見本は白間似合紙、五寸間似合。愛媛、福岡、佐賀、宮崎、鳥取、島根、山口、広島、岡山、兵庫、大坂、和歌山、岐阜、静岡、東京、埼玉、栃木、福井、長野、山梨、樺太、高知。ci0038、2026 購入済
81301140	王朝のそめいろ	楽紙館	楽紙館	19900000?	標本	五十色の染め紙の標本と染めの材料の解説からなる見本帖。
81301141	美濃紙入門(MINOGAMI manual)	大滝 国義	美濃紙を愛する会	20000522	岐阜	美濃紙の歴史技術を易しく解説。701年戸籍台帳。1969年本美濃紙重要文化財に。紙祖：牧谷村、814年羽場蔵人秀治、1190 - 太田縫殿助信綱、1596 - 小森彦三郎紙問屋、明治期、武井助右衛門。紙史跡：信綱の墓、武井の碑、沢村千松（伝習所設立）の碑、塵取り場、今井邸（問屋灯）、港町灯台、富成秋五郎（矢篠干し：湿紙用に紙間に糸）神谷神社、紙屋塚。
81301142	美濃和紙年表	村井 正造	美濃紙を愛する会	19900801	岐阜	日本と岐阜の和紙の歴史を対比しながらの年表。出典も記載され重宝する。一般事項は地域に限られる。名塩の記載はない。和本。
81301143	手すき和紙オールガイド	美濃紙を愛する会	美濃市	19951001	産地、名塩	製造所の現況並びにその紙の製法、種類を表にした。分類カラムは、氏名、住所、形態、従業員数、漉舟数、主原料、漂白法、煮熟剤、叩解法、漉き法、乾燥法、大きさ、種類などから構成。冊子収録は400社（1995年6月1日現在）。和紙インフォメーション（1992年10月）は450社。
81301144	戦争と埼玉の地場産業、小川和紙	埼玉県平和資料館	埼玉県平和資料館	19981027	埼玉	小川和紙の伝統と用途、戦時下、戦後と辿る。資料や図、写真を多用した図録。時代を背景にした加工品の解説が多い。特に風船爆弾を取り上げる。生産量、戸数など統計あり。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301145	飛騨河合山中和紙	奥田 利夫	飛騨河合 手漉和紙 組合	20070301	岐阜	原料の栽培、製造の工程、歴史、地域の活動など丹念に写真に記録。写真集の体裁。
81301146	和紙の研究：歴史・製法・用具・文化財修復	高知県立 紙産業技 術センター	高知県立 紙産業技 術センター	20041224	高知 見本	基本文献：土佐典具帖紙等の特性調査研究(cf3127)。土佐手漉和紙総合調査：紙：典具帖紙、謄写版原紙、図引紙、インキ止め紙、宇陀紙、清張紙、狩山障子紙、泉貨紙、雲芸紙、用具：竹ひご、萱ひご、編糸、絹紗、金具、刷毛、箕桁。小路(こうじ)位三郎の功績。
81301147	文化財建造物修理用資材需要等実態調査報告書(3)和紙	文化庁文化財保護部建造物課	文化庁	19851200	名塩 産地 見本	文化財建造物用修理材料の昭和58年度の調査書。p22間似合紙：沿革、生産工程が記載。名塩紙管理委員会発行の検査書(縦10cm横8cm)価格：間似合紙1000～1300円。箔打紙500円。馬場、第一、谷野、八木が従事。間似合紙は桃山時代の障壁画の補修に適す。その他に越前紙、近江鳥の子紙、八女紙、細川紙、美濃紙、内山紙、石州、西の内紙、程村紙、土佐紙、伊予紙。
81301148	土佐和紙：平成14年度伝統的工芸品産地調査・診断事業報告書	(財)伝統的工芸品産業振興協会	(財)伝統的工芸品産業振興協会	20030300	高知	伝統的工芸品指定地は9産地(組合登録は39)、産地問屋が集散地問屋に発展せず。1887年以降全国一位。5800戸。タイプライター用紙が輸出の主力に、昭和15年全面禁止。53年がピーク。53年障子紙、58年典具帖が機械化。その後伝統工芸化。03年20戸。44t。全国7位に。手漉と機械漉は分離。若手後継者、独立資金、技術力、個性化。異業種とのコラボ、ネットワークを提案。
81301149	阿波和紙：平成17年度伝統的工芸品産地調査・診断事業報告書	(財)伝統的工芸品産業振興協会	(財)伝統的工芸品産業振興協会	200703		
81301150	内山紙：平成19年度伝統的工芸品産地調査・診断事業報告書	(財)伝統的工芸品産業振興協会	(財)伝統的工芸品産業振興協会	200803		
81301151	信濃の和紙(長野市立博物館特別展)	長野市立博物館	長野市立博物館	20000805	長野	長野市立博物館第44回特別展目録。内山、山中、上田、立岩、長瀬、小海、清水、宮本、松崎、美麻、安坂、麻積、田立、笠原、下伊那紙の歴史と特徴。製造工程、用途、月岡家住宅の下張り文書。特に山中紙については松代藩御用紙について解説。
81301152	本美濃紙	本美濃紙保存会	本美濃紙保存会	19880325	岐阜 見本	本美濃紙見本帖。昭和44年4月総合指定。製紙工程(柳橋真)。指定要件：楮のみ、伝統的な製法と用具(草木灰またはソーダ灰、薬品漂泊しない。填料なし。叩解は手打ち。トコロアオイ使用、竹簾、板干し。色沢と地合。鈴木竹一(T6)、古田行三(T11)、沢村武(T11)、沢村正(S5)、見本14種。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301153	東山の手すき和紙	東山町教育委員会	東山町教育委員会	19770701	岩手 見本	聴取者：長坂・山谷部落、鈴木幸三。田河津・野土部落、三浦正平。菅江真澄「はしわのわか葉」(天明8)に「東山田河津とて、紙すき産(いたす)みなその業ある家ども也」と。三浦氏は昭和47年まで。ウシモチ柱とかまがみさま。各工程を写真で解説。追記として成島。
81301154	藩社会の研究	宮本 又次	ミネルヴァ書房	1960325	近世 名塩	尼崎藩における経済政策の展開(作道洋太郎)他、商品流通と経済政策に関する論文が掲載。福岡藩、富山藩、紀州、中津藩、臼杵藩、対馬藩など。
81301155	島根民芸録	大田 直行	冬夏書房	19170000	島根 近代	19870708復刻。p48雲石紙考：出雲と石見の風土、藩政の違いが、造る紙の性質を変えたと言説。p70：出雲の紙、明治は藁紙。別所(安部)の紙を紹介。オリジナルは大竹市立図書館にあり。
81301155	島根民芸録、出雲新風土記	大田 直行	冬夏書房	19870708	島根、近代	1917年の復刻。島根民芸録：p48雲石紙考：出雲と石見の風土、藩政の違いが、造る紙の性質を変えたと言説。p70：出雲の紙、明治は藁紙。別所(安部)の紙を紹介。その他に広瀬緋、島根民芸年鑑(昭和6年-9年)会員に安部梅雄、安部栄四郎。出雲新風土記：行事、味覚。
81301156	和紙の里：第30号別巻	渡辺光一	越前和紙を愛する今立の会	20090920	福井	既刊30号の総まとめ。和紙の里の歴史、自然環境、大滝寺、大滝神社(祭)、越前和紙など21編。越前和紙の歴史をまとめて(斉藤岩雄)。江戸時代の御用紙の運送、越前和紙の国盗り波瀾。越前和紙について。お札と越前和紙。和紙(ミクロの世界)。奈良と越前の時空を結ぶ和紙。
81301157	西宮の自然と歴史展目録	西宮市	西宮市	19641121	名塩	基本文献。西宮市立中央公民館(11月21日-23日)開催。自然の部。歴史の部：114有馬村秀寄進状写。167名塩村大概帳。190名塩の特殊私札(女日用札、東久保土壱荷)。193名塩紙注文覚書。240山口村扇紙型。242名塩漉紙見本帳。243紙職人諸願書。244鳥子漉船株札。245名塩・東山弥右衛門永代経木札。277伊藤慎三塾英名簿。288太政官制札。303紙漉粹。305緒方八重写真。306伊藤慎三写真。307蘭学備忘録。
81301158	新市域紹介資料展覧会出品目録	西宮市教育委員会	西宮市教育委員会	19521101	名塩	基本文献。旧鳴尾・塩瀬・山口合併一周年記念。p6文書記録：教行寺(旧寺跡図、縁起、寺号改書札、毛利文書熊野懐紙、毛利文書、教行寺知行目録、有馬村秀の寄進状、蘆田吉則安堵状、秀頼の禁札、蓮芸律師画像、教行寺文書。p8名塩紙関係。p8撰津有馬郡名塩村免定書。p9見本：名塩紙、銀札、原料。p12写真の部。p33紙漉唄、名塩音頭。
81301159	藩札資料からみた名塩紙	亥野 彊		不明	名塩 近世 明治	撰津名塩の和紙資料。新出文書を発表。弓場五郎兵衛文書から発掘。麻田藩、尼崎藩、三田藩からの札紙、その他、辰馬など注文書。弓場から県へ公用紙注文依頼書。兵庫県易発行するも名塩紙かどうかは不明。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301160	越前五箇郷製紙関係史料について:経済史研究	寺尾 宏二	経済史研究学会	19350900	福井	経済史研究14巻3号別刷。五箇の史料を断片的備忘録として記載。
81301161	本県に於ける産業組合概況	兵庫県内務部商工課	兵庫県内務部商工課	19290700	兵庫 名塩	有馬郡の設置組合数は19。塩瀬、三田、有野は未設置と。
81301162	緒方洪庵と福沢諭吉と名塩の地	長濃 丈夫	西宮市名塩自治会	19611001	名塩	八重を通じて、緒方洪庵、百記、適適齋塾、伊藤、有馬撰蔵、福沢諭吉、大村益次郎に触れる。父百記は紙売子で大阪を往復。億川家は明治中期キリスト教に改宗、早くから大阪等に転出。重本
81301163	越前今立和紙の里絵図		今立町商工会	19870900	福井	名所旧跡、有名商店、優良企業ガイド。和紙関係企業の記載は、石川製紙。清水和紙、上山製紙所、杉原商店、うめ田、玉久製紙所、山一紙工、長田製紙所、山伝製紙、マルモ、福井特殊紙ほか。
81301164	藩札を漉く:江戸時代の名塩紙と藩札:西宮市立資料館第20回特別展	西宮市立郷土資料館	西宮市教育委員会	20050730	名塩	会期(2005.7.30-9.11)基本文献。略歴、製造法、藩札・私札・駄賃札、藩札の発行(西宮、鳥飼家文書)、注文(名塩産藩札文書と名塩の私札:黒川古文化研究所)。名塩の藩札に見分け方を史料、技法、分析して考察する記事は新規。重本。
81301165	西宮古地図大観	西宮市立郷土資料館	西宮市立郷土資料館	20000805	名塩 近世	広西両宮絵図(1686年)広田神社は1727年移転したので、その前の図。慶長10年撰津国絵図:郡毎の村高、田畑面積が集計。小浜、木元、名塩の青葉道が細い線で記載。生瀬村馬借村絵図。西宮町浜絵図。下瓦林絵図。今津町屋図。今津村絵図。撰津国武庫郡鳴尾村粗絵図。大井滝用水論所絵図。撰州武庫郡上ヶ原新田絵図。下大市絵図。
81301166	知ってほしい西宮:文化財資料11号	長濃 丈夫、南野武衛	西宮市教育委員会	19670300	名塩 兵庫	史跡や伝説を紹介:教行寺、名塩蘭学塾跡、名塩紙の里、武庫川溪谷と民話:高座岩は雨乞、名塩は黒犬の血、武庫郡は白馬の血を塗るといふ。米ヶ淵:米相場を一文銭で占う。表は上がる。cf3718
81301167	山村の手工業:西宮市史第二巻別刷	渡辺 久雄、作道洋太郎	西宮市役所	19600325	名塩 兵庫	p329山村の手工業、名塩紙。伝搬と発展。統制の考察深い。初見:駿府御分物御道具帳には見えず。鳥子(1638:雁皮原料物)打雲(1672:17世紀初頭に発明?越前は二つの系統)五色紙(1672泥入りでない)と区別)泥入鳥の子(1701)。越前の紙の流れで名塩紙の伝播を考察。名塩の雁皮は繊維が中程度で歩留まりが良い。物により、楮、反故紙を入れる。冬場はノリウツギ、夏場はギンバイソウ。箕肌側を板に。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301168	兵庫の伝統的工芸品	兵庫県産業労働部 商工労働局工業振興課	兵庫県産業労働部 商工労働局工業振興課	20030000	名塩 兵庫	国指定:播州そろばん、丹波立杭焼、出石焼、播州毛鉤、豊岡きりゅう細工、播州三木打刃物。県指定:平成4年指定制度創設。第一次(平成5,3,19)杉原紙など9件。第二次(平成5,12,21)名塩紙など3件。第5次まで。名塩紙:主な製品として、箔打紙、間似合紙、鳥子。製造者は馬場和比古、谷徳、八木が挙がる。
81301169	西宮観光30選	南野 武衛	西宮市 西宮観光協会	19850331	名塩	p63名塩紙の里:「紙漉にひねもすひびく名塩川」(太宰里乃)越前がルーツと。4軒存続。箔打ち紙、鳥の子、ふすま紙。
81301170	越前和紙集	福井県和紙工業協同組合	福井県和紙工業協同組合	197001		見本紙、限定500部のうち402。
81301171	有馬郡名塩紙:これくしょん40号		吾八	19400823	名塩、近代、見本紙	見本紙17種。販売価格記載。藩札用5種(1尺2寸5分*1尺7寸5分)徳川中期のもの。尺三古漉間似合2種(1.3*3.3.5/50-80銭)半切:馬場氏の試作品。皮入上包紙(1.3*3.2/10銭)葉袋紙2種(9寸8*1.4.2/10-20銭)箔打紙(1.3.5*1.9/10銭)湊紙2種(9寸3*1.5/8銭)鶯紙(1.2*3.1/11銭)染紙(7銭)
81301172	雁皮紙	柳橋真	アロー・アート・ワーク	19770000	見本、歴史、名塩、滋賀、石川、島根、岐阜	p1雁皮紙の沿革:江戸前期、中期、後期、明治初期の資料11種で産地を比較。通じて越前が筆頭。初期は和泉と名塩が挙がるが以後、越前と名塩が二大産地。越前は打雲、名塩は泥入りが特色。後期に小産地が誕生。名塩(谷野良弘)の金打紙の使用前後の見本。
81301173	書の紙	毎日新聞社手漉和紙委員会	毎日新聞社	19770630	見本 産地 名塩	日本、中国、韓国、手漉画仙紙と料紙の見本と解説。和紙・料紙42種。画仙紙・半紙110種。中国:上海宣紙25種。福建7種。広東1種。台湾22種など。韓国22種。間似合紙(谷野徳太郎)あり。
81301174	和紙巡歴	安部 栄四郎	木耳社	19750501	島根 産地 名塩 見本	限定300の番外。本美濃紙。石州半紙。鹿児島、熊本、佐賀、福岡、高知、愛媛、香川、山口、島根、鳥取、広島、岡山、兵庫:名塩は昭和31年訪問。奈良、京都、岐阜、福井、石川、富山、長野、山梨、神奈川、東京、埼玉、新潟、栃木、福島、宮城、沖縄、台湾。紙の博物館。
81301175	緒方洪庵伝	緒方 富雄	岩波書店	19630325	伝記 名塩 近世 近代	緒方洪庵「医の世に生活するものは人の為のみ、おのれのために非ず」ということを其の業の本旨とす」p1生涯p28蘭学者、著作紹介p51医学者、種痘年譜p80教育者、蘭学塾p137人、八重。年譜、著作、適々齋塾姓名録、旅行日記、勤仕向日記など資料あり。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301176	緒方洪庵の息子たち	西岡 まさ子	河出書房新社	19920316	名塩	次男はオランダ、三男ロシア、四男フランスと幕府留学生として海を渡る。10章:八重の死と兄弟の新しい出発。明治19年から八重は寝たきり、気管支カタルであった。2月23日、朝日新聞の「緒方花香女史の死去」の記事。65歳。名塩、藤田源三郎の記事あり。
81301177	高峰譲吉とその妻	飯沼 信子	新人物往来社	19931115	名塩	p87タカ・ジアスターゼ。アドレナリン。p103共同研究者・上中啓三:1876年6月29日生まれ。1897年副腎成分の研究開始。1901年アドレナリン中に成功。1900年7月21日から11月15日の実験記録は秀逸。6月29日に結晶。23才。1916年帰国。教行寺に碑。重本。
81301178	高峰譲吉の生涯	飯沼 和正 菅野 富夫	朝日新聞社	2000125	名塩 近代	高峰の生涯はベンチャーと言える。発酵、タジアスターゼとアドレナリン。特に最後者は、名塩出身の上中啓三との共同研究であった。にもかかわらず、特許、論文、発表など高峰の名だけがクローズアップされる。p212上中の紹介に割く。1876年名塩生まれ。10才で大阪に出、泰西学館に学ぶ。1891年大阪薬学校に入学、東京大学医学部薬学部、当助手、東京衛生研究所を経て渡米。実験ノートあり。教行寺に碑。1900年アドレナリン単離。I7E17命名の真相にも迫る。
81301179	洪庵・適塾の研究	梅溪 昇	思文閣出版	19930310	名塩 近世 明治	p61「洪庵夫人八重の生涯」と題して、生家(百記は弓場五郎兵衛の紙販売に従事か。村勘定書記載)。婚約・結婚。洪庵の妻として。七男六女の母として。適塾生の母として。洪庵の死。晩年を記録を基に検証する。p105緒方郁蔵についてp435渡辺卯三郎関係文書について
81301180	高峰譲吉伝	アグネス・デ・ミル、 山下 愛子	(株)雄松堂出版	19910425	名塩	p178上中啓三と高峰譲吉、p295アドレナリンの実験ノート:1900年7月20日-11月15日、8月5日成分生成を確信。
81301181	緒方洪庵歌集	緒方 洪庵、	近水観光振興会	?	名塩	20101009訪問。緒方富雄はしがき」は昭和29年1月付け。名塩の歌はない。文久2年53歳で幕府に。「よるへそと おもひしものを なにはかたあしのかりねとなりけるかな」「としことに おいそふのへの こまつ原 ちよにしけれと うえもかさねん」
81301182	DVD 紙を極める:筆墨硯紙の全て 第4巻	比田井 和子	天来書院	20090600	奈良 海外 (中国) 製造	DVD 福西さん(奈良)
81301182	因州和紙における産地問屋と流通経路の現状と問題点:経営経済12	高城 寛	大阪経済大学中小企業研究所	19760315	鳥取	p127

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301183	吉野和紙産地の変遷過程と生産業者の現状:経営経済14	高城 寛	大阪経済大学中小企業経営研究所	19780000	奈良	大阪経済大学中小企業経営研究所紀要 / 経営経済、14、103(1978) / 吉野の変遷過程。楮作農民、紙仲買商との関係。吉野の現状。産地規模小。機械漉きなしが特徴、吉野和良はそのまま干す。白土を入れる。
81301184	伝統的工芸品産地と原材料「輸入」問題:経営経済15	高城 寛	大阪経済大学	19790315	長野 山梨 高知 岐阜 埼玉 海外	p47郷土性の喪失。漆は桑に転換。内山:楮:県内ない。愛媛、群馬、韓国(66%)。岐阜:48年韓国から輸入、50年中止。53年楮高騰、タイ、台湾か「再開。山梨:昭和49年以降、需要減退、台湾、韓国から上質低価格品輸入紙、値崩れ。和紙系反故紙に原材料転換。埼玉:生産品多く品目別で影響異なる。チャチリ紙(襖下張り)韓国品出回る。技術移転もあり自作品として売る業者も。楮増殖は岐阜、鳥取、新潟。韓国:大正の末、高知県人深田氏が移植栽培。
81301185	黒谷和紙産地の産的諸条件について:経営経済21	高城 寛	大阪経済大学中小企業経営研究所	19850000	京都	大阪経済大学中小企業経営研究所紀要 / 経営経済、21.48.(1985)概況、和紙産業の形成と展開。生産・流通:事業者数、出荷数、収入、生産技術、組織など。
81301186	山間で栄えた手工業 / 西谷和紙の特徴と歴史的背景:奥越史料26号	永見繁雄	大野市文化財保護委員会	19970331		
81301187	ふるさとの和紙	上川町民俗資料館	上川町民俗資料館	19721003		
81301188	上川崎和紙 / 手漉き和紙の里福島県安達郡上川崎。	安達町和紙伝承館	安達町和紙伝承館	200305		
81301189	和紙のみほん【基礎篇】	編集工房OMURA	編集工房OMURA	20050501		
81301190	和紙のみほん【国指定文化財の和紙】	編集工房OMURA	編集工房OMURA	20061201		
81301191	戌第三十五号 / 第二回関西連合府県共進会規則		兵庫県	18860327	兵庫 産地 近代	1886年広島で開催。京都、兵庫、石川、福井、岡山、山口、鳥取、広島が参加。第四区紙。その他に繭、綿、織物、茶など。
81301192	水窪の型紙	水窪町教育委員会	水窪町教育委員会	200003		

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301193	時代紙万華 60年ごとにみる江戸から平成	紙の博物館	紙の博物館	20101211		創立60執念記念企画展
81301194	きんからかわ 革と紙の東西交流	伊奈ギャラリー企画委員会	伊奈製陶株式会社	19840201		
81301195	石州半紙 石州和紙	石州半紙技術者会・石州和紙協同組合				
81301196	金唐紙	金唐紙研究所	金唐紙研究所	20100501		
81301197	島根県歴史の道調査報告書第6集	島根県教育委員会	島根県教育委員会	19980300	島根	津和野廿日市街道:津和野(町田・中座、笹山)、柿木村(福川、柿木、大野原・木部谷)六日市町(真田、七日市、朝倉・立戸・広石、六日市・有飯、九郎原・蔵木、田野原。津和野奥筋往還:津和野町(後田、寺田・耕田。直地、日原町(木の頃・越原・小直、木の口、枕瀬、須川・岩倉、相撲ヶ原)益田市(長沢、波田)美都町(津茂・都茂、丸茂、宇津川、板井川)弥栄村、浜田市、金城町(上来原、久佐)旭町、石見町(日貫)。いずれも、尾根を伝う道。川沿いの道開拓の困難さ、農地の確保、最短距離を結ぶ知恵に驚く。
81301198	全国手すき和紙連合会 活路開拓・調査研究ビジョン報告書	全国手すき和紙連合会	全国手すき和紙連合会	20040201		平成15年度中小企業活路開拓調査・実現化事業全国中央会の助成による
81301199	日本の紙 漉き手と使い手の仲間たち展	女子美アートミュージアム	女子美アートミュージアム	20030212		
81301200	越前和紙製作技術 心が写る職人の技	ふくい伝統文化活性化事業実行委員会		20110331		
81301201	紙の博物館ガイド(1) MuseumGuide(1)	紙の博物館	紙の博物館	19990300		英文ガイド。

登録番号	書籍/文献名	著者名	発行者名	発行日	主題名	備考
81301202	紙の博物館ガイド(2) MuseumGuide(2)	紙の博物館	紙の博物館	19990300		英文ガイド。
81301203	紙の博物館ガイド(3) MuseumGuide(3)	紙の博物館	紙の博物館	19990300		英文ガイド。
81301204	内山紙 信州の伝統的工芸品	飯山市役 所商工観 光課				
81301205	万華鏡41号 越中和紙 富山写真語	岡田順一 風間耕司	ふるさと開 発研究所	199502		
81301206	美濃紙のできるまで	大滝 国義	美濃紙を 愛する会		岐阜 ビデ オ	ビデオ
81301207	美濃紙の道具づくり	美濃市	美濃市		岐阜 ビデ オ	ビデオ
81301208	因州和紙生産者の実態:経営経済12	高城 寛	大阪経済 大学中小 企業研究 所	19760315	鳥取	p64